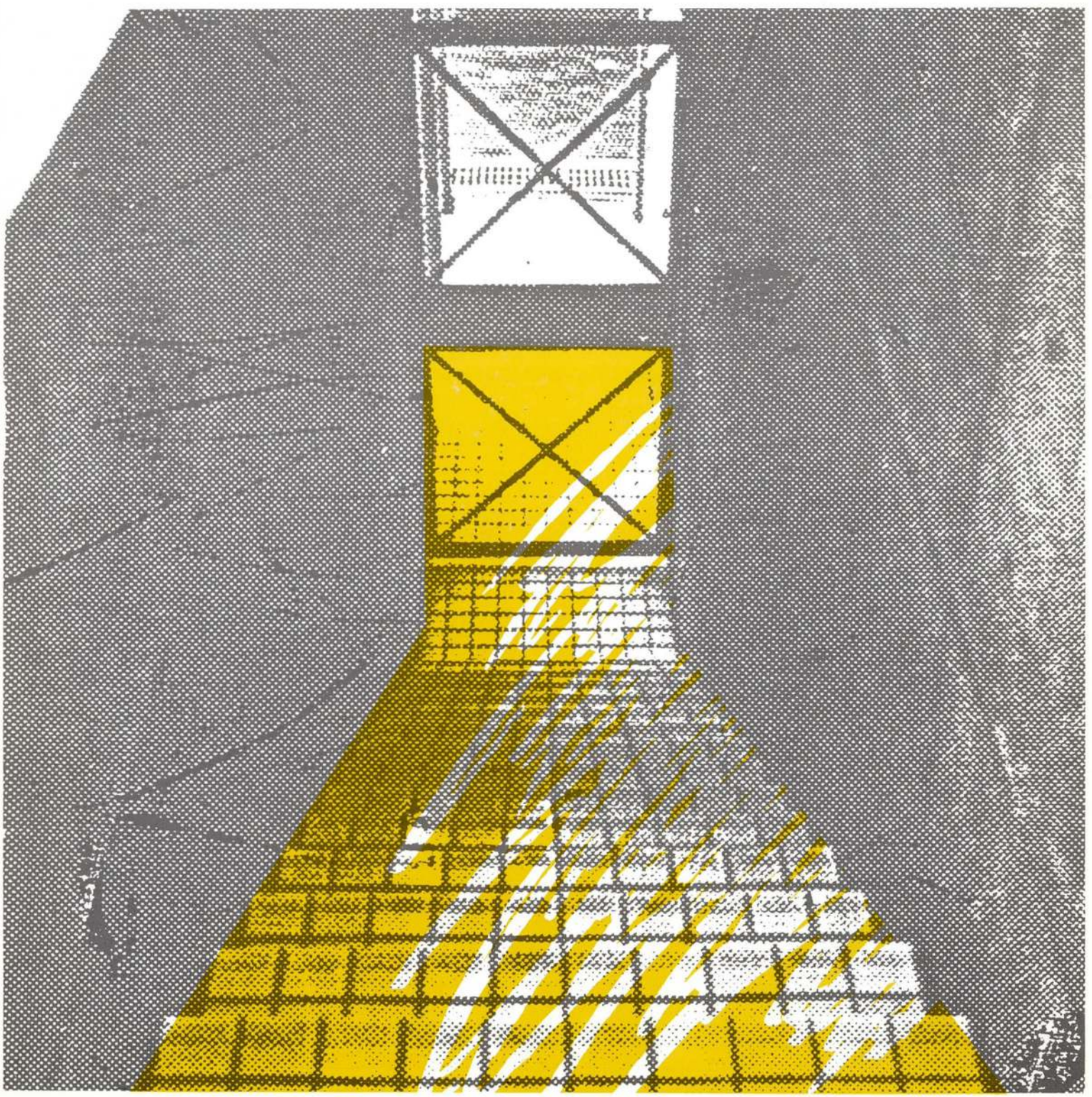
昭和58年1月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建　築　と　社　会

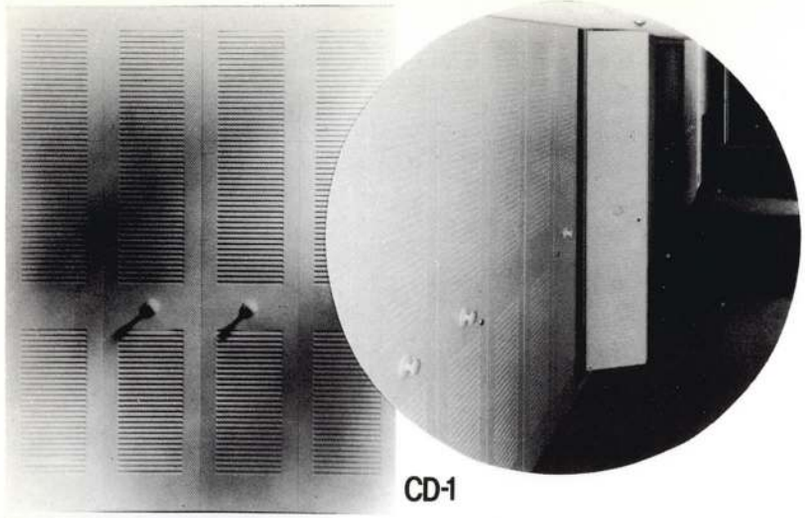
Vol. 64 通巻 730号

特集●関西の建築文化を考える

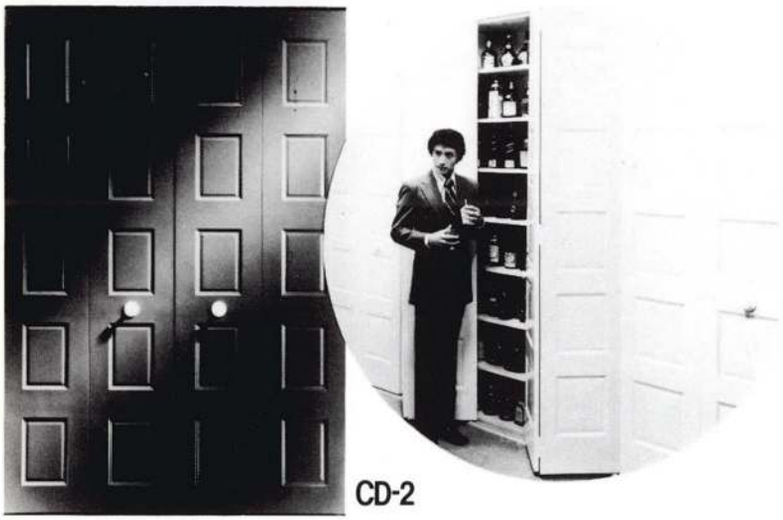
1
1983



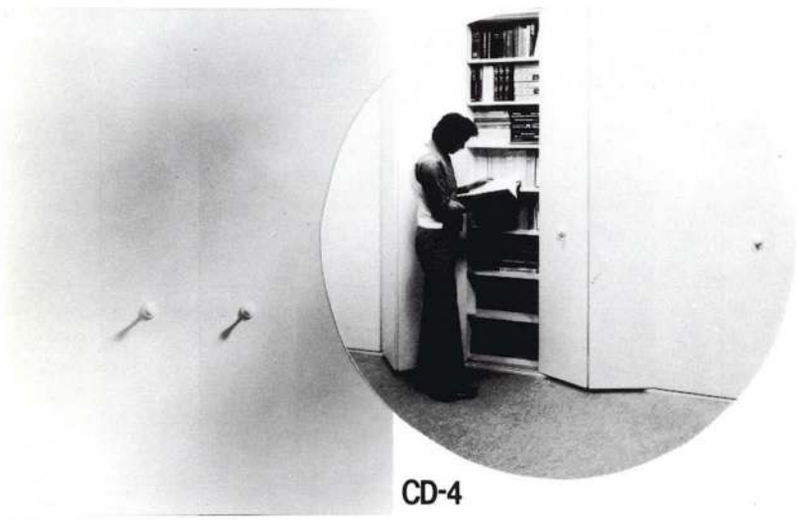
日本建築協会



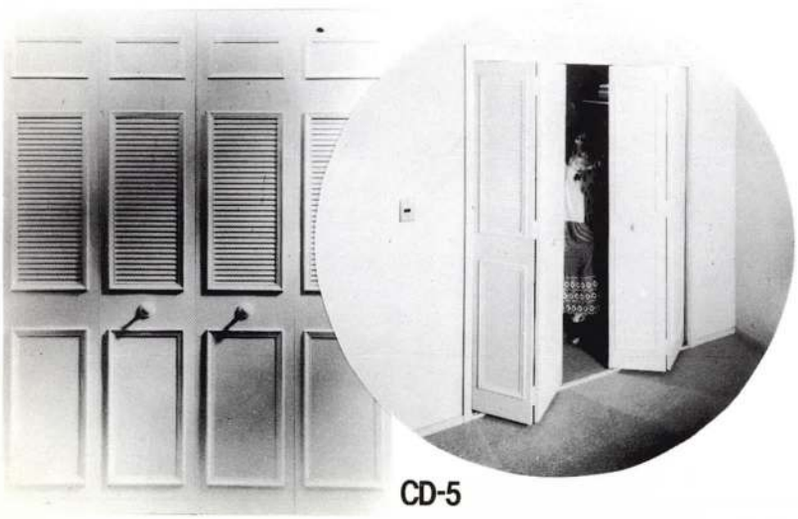
CD-1



CD-2



CD-4



CD-5

見かけだけどれだけすばらしい家であっても、収納と整理がスムーズでないかぎり、快適な生活は望めません。はたして「押入れ」は、どの部屋で何が使われ、またいつ必要か?、使われる回数はどのくらいか?など、生活者の住行動全体を見渡して考えられた収納のありかたと言えるでしょうか?

収納物に見合った奥行に切り詰め、垂直方向にいっぱい利用する合理的な収納ブースの設計を、クロセットドアーなら可能にしてくれます。

クロセットドアーは、スチール製の収納ブース用目かくしパネルで、屏風形式のため開き方向へのデッドスペースも少なく、しかも上下にあるガイドレールにより大変スムーズに開閉できます。また、木製ドアーのように、冷暖房による室温変化で、伸縮や歪みもなく、半永久的にご使用いただけます。

押し入れはお仕着せ

クロセットドアー®

UNION 株式会社ユニオン

●本社
大阪市西区南堀江2-13-22 〒550 ☎06(532)3731(代)
●東京営業所
東京都墨田区石原4-3-1 〒130 ☎03(625)8131(代)
●名古屋営業所
名古屋市東区車道町3-1 〒461 ☎052(935)6021(代)
●虎ノ門ショールーム(17森ビル1F)
東京都港区虎ノ門1-26-5 〒105 ☎03(508)2558(代)

謹賀新年
1983

1983年を迎えて

社団法人 日本建築協会会長　福　田　朝　生

1982年は波瀾の年でありました。世界経済の低迷、中東戦争・フォークランド戦争、中国・イタリー・西独・ソ連・日本の政変等々日々のニュースにこと欠かない年でありました。建築界においても不況、'81年から持ち越した談合問題、それに付随した入札ダンピングの問題、建築士法改正のための審議会の発足等々いずれもこれといった名案のない難しい諸問題をかかえたまま年を越した状態であります。

ひるがえって、われわれの協会も創立以来65年を閲(けみ)してようやく転換期にさしかかった観があります。言うまでもなく㈳日本建築協会は、

1）本部を関西にもつ唯一の建築団体であること

2）建築の全分野を網羅する会員からなること

を特色とした協会で、これまで幾多の先覚者の優れた運営により数々の輝かしい業績をのこしております。しかし第二次大戦後各種団体の設立に伴い、専門分化が進み、結果として協会の役割も漸次変わりつつあります。ことに最近約10年間の会員の漸減は、いわゆるシラケ時代といわれる社会風潮の影響もあるとはいえ、如実にこれを物語っていると思われます。

このような実情を直視して、今年は改めて初心に還り、当協会のもつ他に類のない特色を生かし、これを日頃の協会活動に反映する道を真剣に考えなければなりません。そのため、本年から「21世紀に向かって協会はいかにあるべきか」を審議していただく特別委員会を発足させるとともに、

1）PRを活発にして70周年（'87年）までに会員を倍増する

2）会誌「建築と社会」の内容を一層充実する

3）他の友好団体と競合しない独自の事業を開発する

を強力に推進したいと思っております。従来から各委員会の活動には格段のご協力をいただいておりますことはまことに有難く感謝をいたしておりますが、本年は役員はもとより会員各位の一層のご理解とご協力をお願いする次第であります。

「好、不況は人の気持ちが創り出す」と言いますが、新しい'83年を心機一転、明るい笑顔で良い年に育てるよう努力しなければならないと思います。

会員各位のますますのご繁栄とご健勝をお祈りいたします。



如庵　床柱と花生　　撮影　恒成一訓

建築と社会
©1917年創刊
第64集・1983

通巻730号 1

表紙デザイン：
水野哲雄(京都芸術短期大学講師)

特集予告
■2月号／マイコンの建築への利用
■3月号／多様化する運動施設
■4月号／建築と品質管理
■5月号／グラフィックプレゼンテーションの技法

会　長　福田朝生
副会長　足立　孝・市川　宏
　　佐野正一・松村雄二
編集委員会（昭和57年度）
編集委員長
横山　誠一
編集理事
井上　滉
今井潤之介
今西　祥郎
小林　清
竹中　錬一
武田　恭一
長谷部朝郎
堀内　史郎
前野慶太郎
松村　慶三
横山　誠一
渡辺　忠
編集委員
（特集小委員）
○福田　晴虔
●計画分科会
岡田　信幸
加藤　輝男
柏木　浩一
川口　正春
倉本　卿介
▪田中　直人
竹本　俊平
中馬　博良
手嶋　純一
富川　薫
轟　泰輔
藤本憲太郎
船越　暉由
宮口　恒樹
山口　繁雄
●構造分科会
▪観音　延平
柴田　道生
田渕　基嗣
高橋　尚
中西　尚晃
山口　猛
●設備分科会
磯田　憲生
大倉　良司
河津　隆之
阪田　弘二
▪澤柳　健
藤原庸二郎
●施工材料分科会
▪岡田　善弘
中尾　正
西牧　恵吉
三浦　康夫
横井　征夫
吉村　桂造
●法令分科会
坂　雅勝
▪中田　巌
（投稿欄小委員会）
池口　和雄
嘉積　俊一
谷崎　敏邦
○羽生　克彦
早田　平
（作品作風小委員会）
卯田　隆一
○小野　為一
小野知佳子
佐々木昭男
志方　敬育
高山　司郎
寺元　通夫
苫名　正
能丸　弘毅
宮崎　宗久
（広告企画小委員会）
△荒川　治徳
池渕　俊男
倉橋　岩夫
田中　功
下前　裕一
高田　茂
棚橋　和夫
中河　克則
原田　常介
福井　喜朗
○渡辺　忠
○副委員長 ▪幹事 △副委員長代行

編集人　松井昭光
印刷　昭和58年1月20日
発行　昭和58年1月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3－37
電　06－231－9648
振替口座　大阪39975-1
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06－606－1111(代)
株式会社研文社
電　06－314－0151
大信印刷株式会社
電　06－451－7631(代)
定　価　750円（送料別）

年頭のことば
作品作風・新建築
デザインコンクール
法令コーナー178
新建材紹介コーナー75
設計者のプロフィール
読者の頁
建築と社会ニュース
レポート
日本建築総合試験所だより
都市気球1
建築の眼
会告
若い会員の集いレポート
本年の抱負
特集
1 てい談会
コラム
2 アンケート
3 資料
月報

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

CONTENTS

ARCHITECTURE AND SOCIETY

特集●関西の建築文化を考える

SPECIAL FEATURES ON THE ARCHITECTURAL CULTURE IN KANSAI

1983年を迎えて／日本建築協会会長福田朝生…… 1
瀬戸市文化センター……設計監理：愛知県・瀬戸市・安井建築設計事務所　施工：大成建設 …… 4
徳山市文化会館……設計監理：日建設計／大阪　施工：大成建設・洋林建設共同企業体 …… 12
大阪ガーデンパレス（私立学校教職員共済組合大阪会館）設計監理：安井建築設計事務所　施工：竹中工務店 …… 18
大阪市立東洋陶磁美術館 …… 設計監理：大阪市都市整備局・日建設計／大阪　施工：住友建設 …… 20
建設交流館…… 設計指導：日建設計／大阪　設計施工：錢高組 …… 22
兵庫県立姫路短期大学本館…… 設計監理：兵庫県都市住宅部営繕課　施工：西播建設共同企業体 …… 24
兵庫県立姫路短期大学図書館 …… 設計監理：兵庫県都市住宅部営繕課　施工：三和建設 …… 28
田辺町立培良中学校 …… 設計監理：坂本克也一級建築事務所　施工：熊谷組 …… 30
京都東急ホテル…… 設計施工：戸田建設 …… 32
明石市立勤労福祉会館　設計監理：明石市建築部営繕課・光安建築設計事務所　施工：関西建設工業 …… 38
美津濃千里ビル …… 設計監理：東畑建築事務所　施工：竹中工務店 …… 40
信濃橋三井ビル　設計監理：三井不動産・鹿島建設　施工：鹿島建設・三井建設・戸田建設共同企業体 …… 42
第28回工高生デザインコンクール入選作品（テーマ：公民館）…… 44
街づくり関係法の最近の動き／近野正男…… 47
ポーマナイトプロセス／長橋英彦 …… 49
渡辺豊和氏を訪ねる／インタビュア・加藤力…… 51
アメリカ建築巡礼記(その1)ワシントンDCとナショナルギャラリー東館／小竹達也
書評―「建築工事監理」(大阪建築士事務所協会編)を読んで／山地英雄…… 53
大阪城国際文化スポーツホール(仮称)－昭和58年8月完工－．神戸外国人居留地の模型完成．…… 54
第14回中部建築賞…… 55
建築の原形を求めて(2)―ペルセポリス幻想／狩野忠正…… 56
リブラス使用木造軸組壁の面内せん断試験結果…… 59
都市の中の都市：盛場／鳴海邦碩…… 60
苦寺／藤原　勉．超高層ビル／白子典雄．情景－1／遠藤剛生．建築と社会／山本康雄…… 62
定時評議員会議決報告．灘の清酒・白鹿の「白鹿記念酒造博物館」を訪ねる．熟年ホーム「有馬・花之坊」新築見学会…… 63
日本の感性がいま…出江寛の作法「逆瀬台の家」を訪ねる―／内藤正・樽本美鈴 …… 65
常設委員会本年の抱負／日本建築協会常設委員会委員長…… 66

関西の建築文化を考える

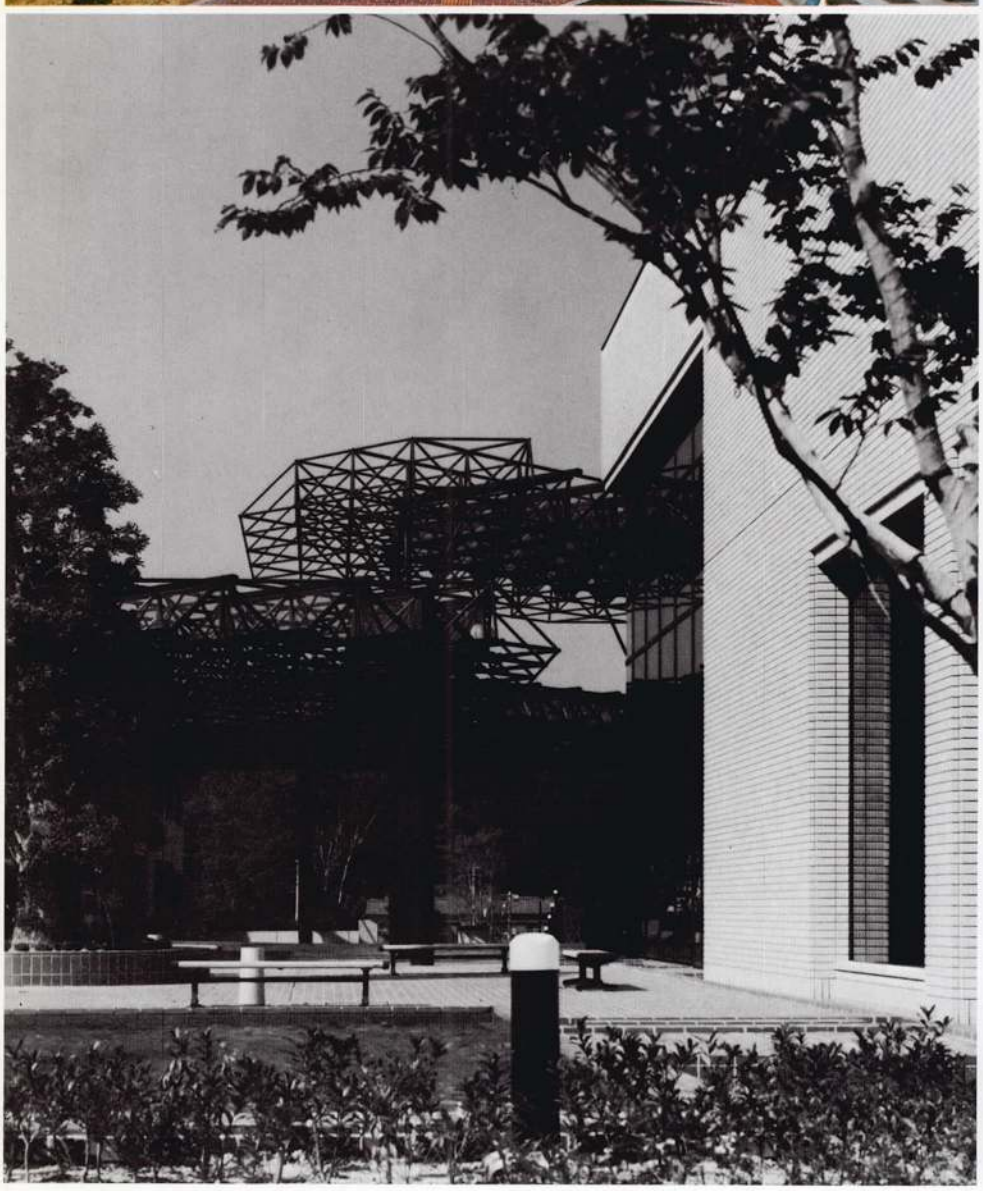
関西の建築文化を考える……なぜ、いま関西の建築文化か……その先駆性と特質 …… 80
小松益喜(画家)、玉置豊次郎(都市計画家)、吉田光邦(科学技術史家)　司会：福田晴虔
クレパスの発明と自由画運動
YMCA活動と屋内体育館
私鉄の多角経営
ターミナル百貨店とS・C
私鉄
市電物語
公営地下鉄の開通
『田園都市』と私鉄の住宅地開発
水族館
阪神間の生協活動
活動大写真(映画)の上映
ゴルフ場と六甲山の開発
デパートの土足入場
海洋気象台
三都会人の特質比較
関西の「建築」と「街なみ」―その風土・21世紀への遺産・展望…… 94
表面の温和さと底の厳しさ(神出津崇雄)
黄土色のやさしさ(小角　亨)
中間色の味と美的センス(石東直子)
肌理細やかさと功利的風土(好川忠延)
景観形成市民団体とともに(広沢真佐子)
自覚的な民主主義のなかで(蓮佛　亨)
地域住民が主体となって(大野木忠男)
民間の活力と自治体の叡智で(庄谷邦幸)
水と緑(力武利夫)
自然の素材―土・水・樹木・草花(井上卓之)
住み、生きている人の心で(瀬戸本　淳)
建築観の「幸福」と「不幸」(黒田公三)
個からの発想(歌一洋)
職住密着型都市へ(橋本周明)
18℃の都市空間(田中健三)
多核的風土(新田　隆)
建築文化の継承―関西の保存再生の事例― …… 100
日本銀行大阪支店
六甲パインモール
白鹿記念酒造博物館
神戸市立博物館
酒蔵地区（魚崎郷）
北野町山本通地区
南京町復興環境整備
武庫川学院第3学舎甲子園会館
同志社大学理科学館
京都市考古資料館
中京郵便局
今西家
日本建築協会月間の動き(昭和57年11月分)…… 107

「構造の頁」「設備の頁」「施工材料の頁」の実務シリーズは、都合により、本号休載

瀬戸市文化センター（瀬戸地域文化広場）

設計監理　瀬戸市文化センター建設室・安井建築設計事務所（文化ホール棟・ふれあいホール棟・外構）
東京大学教授／安岡正人・a十a建築音響研究所／堀池哲生（音響設計）
愛知県建築部営繕課・安井建築設計事務所（美術展示ホール棟）







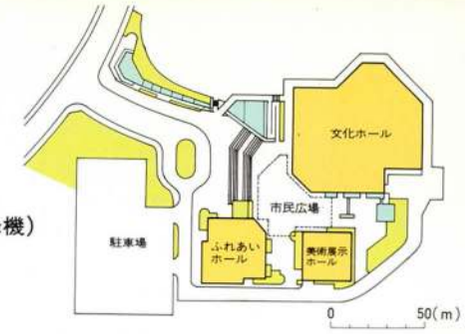
施　　工

〔文化ホール棟・ふれあいホール棟・外構〕

大成建設（建築）
菱和調温工業（空調･管工事）
東光電気工事（電気）
三精輸送機（舞台機構設備）
松村電機製作所（舞台照明設備）
サンセイエンジニアリング（舞台音響設備）

〔美術展示ホール棟〕

信和建設（建築）
共和工業（空調･管工事）
藤田電機工業（電気）
日本エレベーター製造（昇降機）



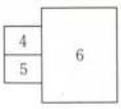


1	
2	3

1．西面全景
2．文化ホール棟外観
3．全景（航空写真）
撮影　ＳＳ名古屋

瀬戸市文化センター文化ホール棟

所 在 地　瀬戸市西茨町地内
敷地面積　58,034㎡
建築面積　6,586㎡
延床面積　12,082㎡
構造規模　SRC、RC、S、B1、3F
工　　期　昭和56年4月～昭和57年8月
最 寄 駅　名鉄、尾張瀬戸駅



4．市民広場、右より文化ホール棟、ふれあいホール棟、美術展示ホール棟
5．舞台（文化ホール棟）
6．エントランスホール（文化ホール棟）
撮影　ＳＳ名古屋

陶磁器のまちとして歴史的伝統にはぐくまれた瀬戸市の市民いこいの場として南公園全体が総合計画され、その中心施設として文化センターが建設された。文化センターは市民が深い豊かな文化芸術に接し、暖かいふれあいを求め合う施設であり、愛知県の地域文化広場づくりの一環として広域的利用を対象にした複合的文化施設である。

敷地は市街地に近く緑豊かな丘陵地の一角にある。県道からのアプローチの軸線上に市民広場、はなのき広場、ストリーム、カスケードが象徴的に配されており、ガラス張りのシェルターを持つ市民広場を中心にして、直交する軸線上に各棟を配置した。屋根は周囲の陵線の流れを生かした形状とし、外壁にはリブ、スクラッチ付の炻器質タイルを用い、全体として自然と心よく調和、共存できるように努めた。

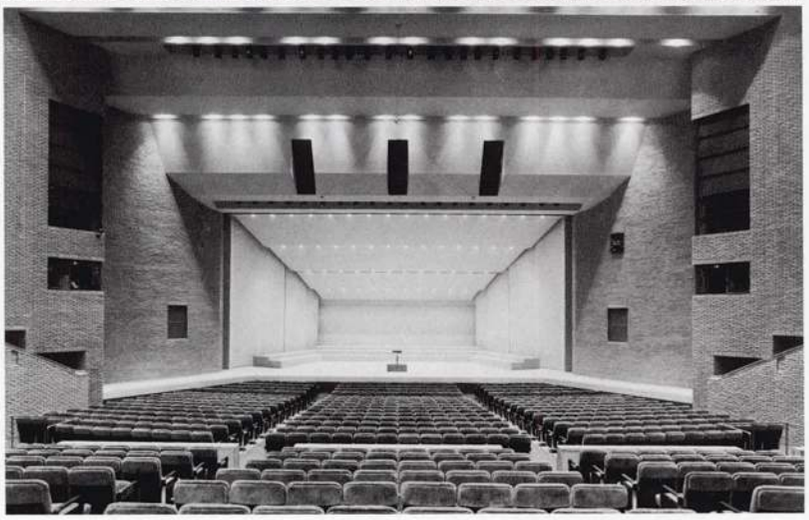
文化ホール棟の大ホールは観客が文化芸術を直接体験する場となるため、空間意識を重視し、暖かさ、おちつきを持たせるようにした。壁にはレンガ調タイル、割肌レンガ、吸音用レンガを用い音響的にも有効に使いわけ、天井は勾配屋根の形状を生かして両端を斜めに折り、音の反射面として臨場感を増すようにした。１階席と２階席を両側前方で連続させ、最後列と舞台との距離を少なくすることにより、舞台と客席、客席相互の一体感を持たせた。音響設計上はクラシック音楽を主演目とし、演劇、講演、その他の演目に対しても対応できるような舞台装置および電気音響設備を計画した。音響測定の結果、全体として良好な値が得られ、特に残響時間はその長さ、周波数特性共に満足できる値となった。

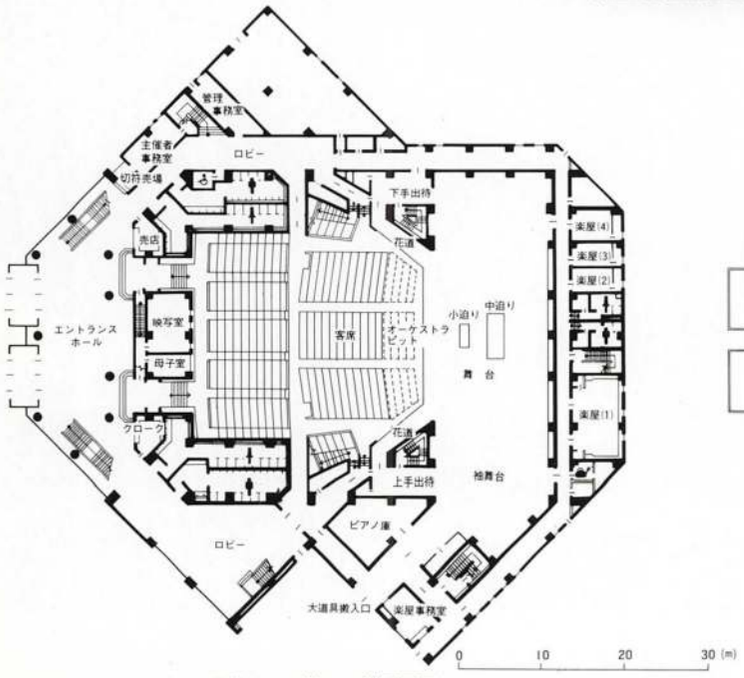
ふれあいホール棟は市民の心のふれあいの場、自主的な活動の場であり、特に老人、子供、身障者の利用を配慮し、使いやすさ、安全性を重視した設計とした。諸室の中央にある吹抜ロビーは外部的な扱いとするために、大きなトップライトを設け、明かるく楽しい雰囲気を出している。

美術展示ホールは愛知県の施設として建設された。地元出身の陶芸家、画家等の作品が常設展示され、企画展示に対しては、可動パネルを展示ケースの前や、間仕切として置くことにより対応できるフレキシビリティを持たせた。　（安井建築設計事務所）

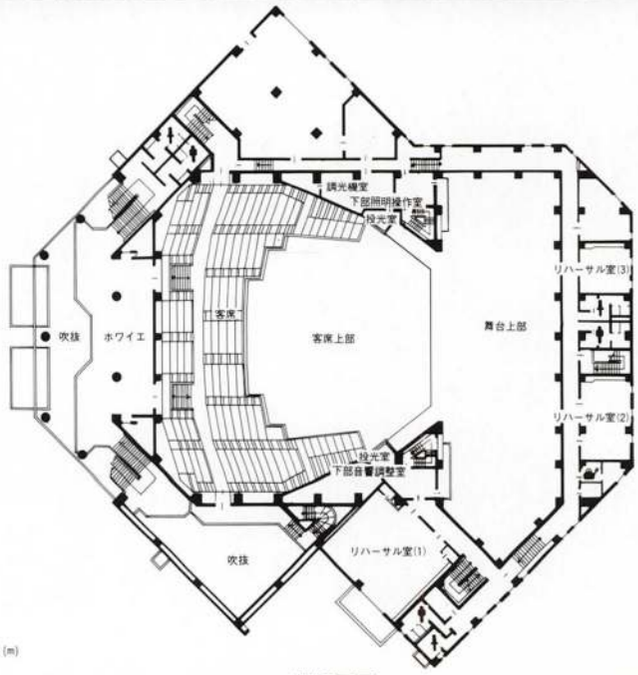
外装：リブ付レンガ調タイル







文化ホール棟　１階平面図



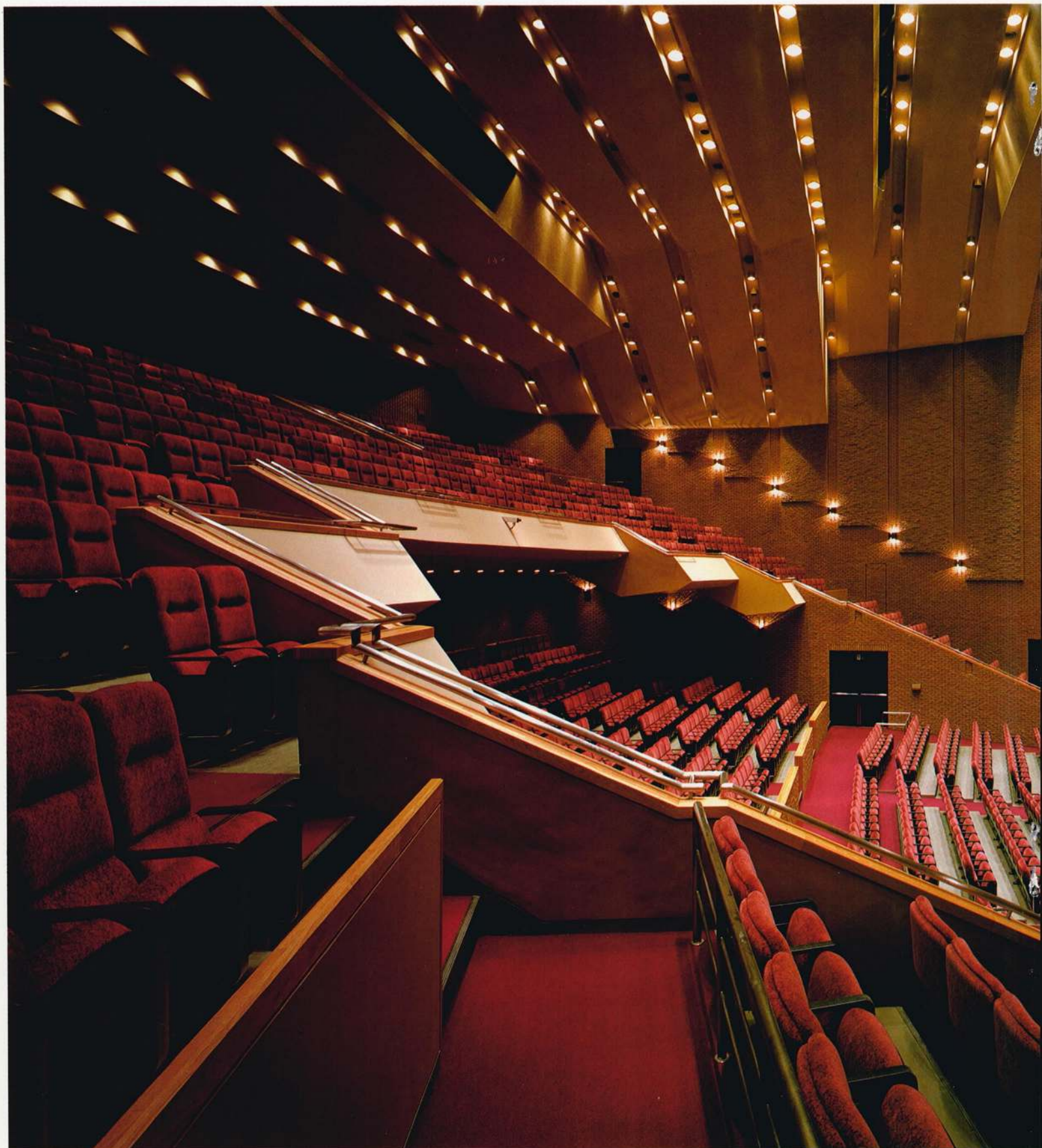
２階平面図



(50音順) 協力業者

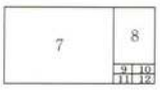
客席椅子	愛知	名古屋市東区筒井三丁目27番25号 TEL 052－937－5931	サイン工事	ダイチ	東京都江東区東陽３－24－14 TEL 03－647－1185
鉄骨工事	縣鉄工所	豊橋市関屋町126番地の１ TEL 0532－54－6611	タイル（材）	大和窯業	瀬戸市東古瀬戸町四 TEL 0561－82－5158
舞台大道具備品工事	共立	東京都渋谷区代々木５－40－13 TEL 03－469－1501	照明器具	東芝電材中部支店	名古屋市中区栄二丁目５番１号 TEL 052－203－5201
タイル（材）	国代耐火工業所	瀬戸市上本町496 TEL 0561－48－1122	木工事	服部工作所	名古屋市西区枇杷島通二丁目22番地 TEL 052－531－6336
鋼製建具工事	三協アルミニウム工業名古屋支店	名古屋市東区東桜1丁目10番37号 TEL 052－961－5621	照明器具	松下電工名古屋電設営業所	名古屋市中村区名駅南二丁目７番55号 TEL 052－581－3611
鋼製建具工事	セントラル建装	大阪市西区北堀江１丁目５番２号 TEL 06－538－0005	緞帳	丸昌	京都市右京区西院西貝川町58番地の１ TEL 075－871－2111
広場上屋鉄骨工事	太陽	大阪市淀川区木川東４丁目８番４号 TEL 06－305－2111	鋼製建具工事	ヤマキ工業	長野県須坂市大字八町1896 TEL 02624－５－1015

瀬戸市文化センター文化ホール棟



文化ホール棟　施設内容

収容人員	1,500人（固定席 1,382席、可動席 118席） 車椅子席4席、母子室席3席
舞台寸法	プロセニアム開口：幅20m、高さ9m 舞台：奥行15m、幅40m
舞台機構設備	オーケストラ迫り、中迫り、小迫り 吊物：46本
舞台照明設備	電子クロスバー：278回路 フェンダー数：100回路、3段
舞台音響設備	音声調整卓：入力24回路、マスター8回路 出力16回路 電力増幅器：15台
映写設備	35mm映写機：2台 16mm映写機：1台
楽屋	4室：和室1室、洋室3室
リハーサル室	3室：楽屋として使用可能



7．大ホール
8．大ホール側壁
9．大ホール舞台より
10．楽屋（文化ホール棟）
11．照明操作室（文化ホール棟）
12．音響調整室（文化ホール棟）
撮影　ＳＳ名古屋













瀬戸市文化センターふれあいホール棟

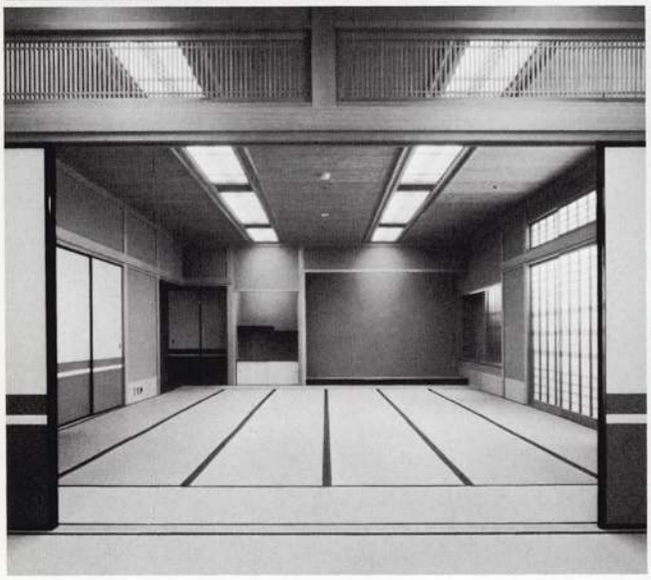
ふれあいホール棟　施設内容
大会議場：224人収容
小会議室、和室、茶室、レストラン、図書室
児童室、娯楽室、トレーニング室、相談室

13		14
15	16	17

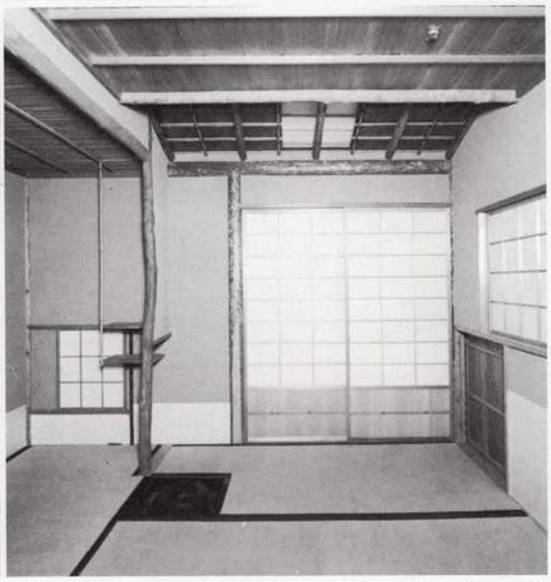
13．吹抜ホール
14．吹抜ホール
15．大広間
16．茶室
17．茶室













1 階平面図



2 階平面図



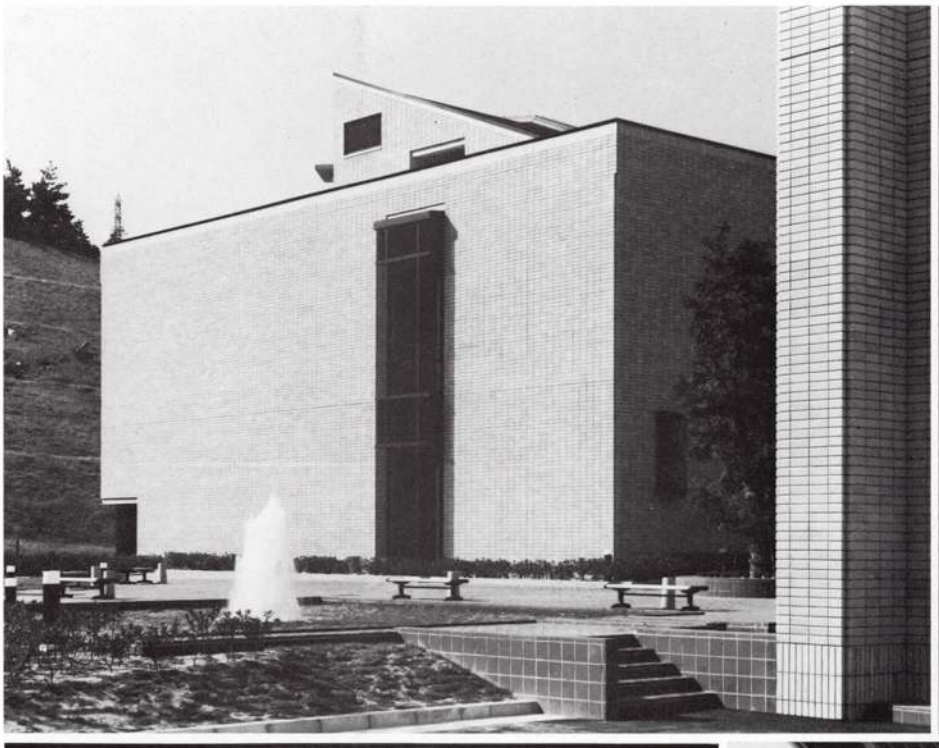
3 階平面図

瀬戸市文化センター美術展示ホール棟

18	19
20	21

18．美術展示ホール外観
19．ロビー
20．ロビー
21．常設展示室
撮影　ＳＳ名古屋

美術展示ホール棟　施設内容
常設展示室１室、企画展示室４室、収蔵庫２室











美術展示ホール棟　１階平面図



２階平面図

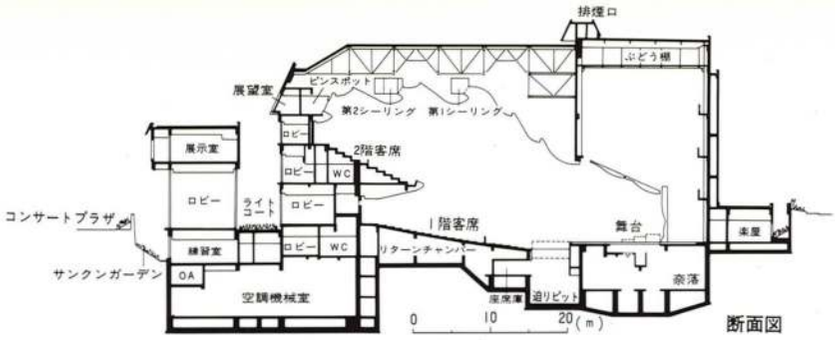
徳山市文化会館

設計監理　日建設計／大阪
音響技術協力　NHK技術本部
施　　工　大成建設・洋林建設共同企業体



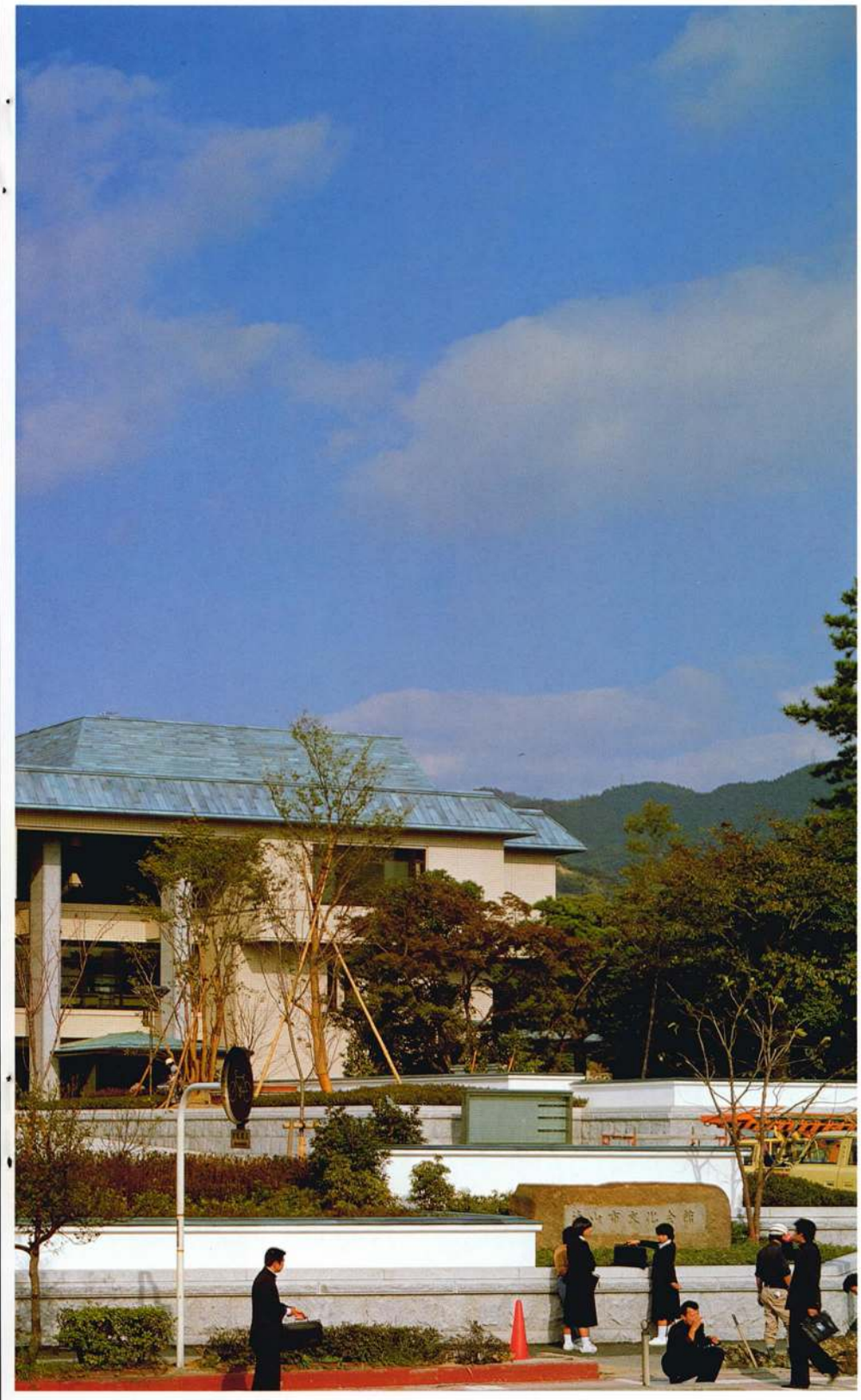
（50音順）

電気設備	近畿電気工事広島支社	広島市西区横川町２丁目13番５号　ＴＥＬ　082－294－6141
空調衛生設備	高砂熱学工業大阪支店	大阪市北区芝田１丁目４番８号(北阪急ビル)　ＴＥＬ　06－372－2511
舞台設備	博電舎	大阪市福島区海老江８丁目９番９号　ＴＥＬ　06－452－2325



断面図

所 在 地　徳山市公園区5854番の41
敷地面積　19,684.25㎡
建築面積　3,462.98㎡
延床面積　11,118.13㎡
構造規模　RC一部S（ホールトラス）、B2、3F、P1
工　　期　昭和55年10月～昭和57年8月
最 寄 駅　山陽新幹線、徳山駅
施設内容　大ホール(固定席 1,647席)、リハーサル室、練習室、常設展示室、展示室、和室、レストラン、動物展示室



市制施行45周年を迎える徳山市は、周南地域の中核都市として発展し、人口は約12万人に及んでいる。敷地は、山陽新幹線徳山駅より約1.4km山よりの位置にあり、由緒ある旧徳山藩主居館跡地の徳山公園内に建てられている。南面は国道２号線に面しているが、敷地の東角には旧庭園があり、緑にめぐまれ、国道よりのレベル差もあって比較的閑静な立地である。

配置計画において、建物へのアプローチは、まず国道より２ｍのレベル差を持ったコンサートプラザと呼ぶ広場へ導かれる。ここは交通騒音や車から解放された安全で緑豊かな空間があり、催し物に対する期待感を一層高めるための散策路でもある。建物は広場に面して展示棟を配し、大壁面となる大ホール棟は展示棟の裏側とした。建物への入口は広場側に設けているが、雨天時の寄付きやＶＩＰのため車寄玄関を東側に設けている。

周辺は住居地域であり、公園内の公共施設としての性格から、出来るだけ地表面から出る部分を押え、建物の外構のみならず、屋根面にも植栽するなど、緑豊かな環境との調和を計った。外観は敷地の持つ歴史的な背景を考慮して、日本建築の伝統美をとり入れた格調高いものとするため白系の磁器タイルの壁面と、緑青加工した銅板を用いた屋根による水平線を強調し、会館の機能上、ともすれば大きくなりがちなボリュームを、そのまま表現せず、壁面はできるだけ小さく分割するなどヒューマンスケールに近ずけることにも留意した。

大ホールへの導入は、まず北側の岐山（きさん）を借景とした中庭を望むエントランスホール、市民ロビーから始まる。ロビーを通りホワイエ、そしてホールロビーへと、観客の精神的高揚を考えて、出来るだけ距離と時間を長くするため、ライトコートを設けて、ここを回遊する形の計画とした。

ホールは、多目的ホールであるがクラシック音楽に重点を置く方針として音響設計を進めた。ホールの壁、天井には、桜材を全面に用い、舞台に向って求心的に円弧を描きながら、瀬戸内の波のうねりを現わした天井形とし、舞台と客席が一体となる劇場空間を目指した。

木質の内装が持つ暖かさ、親しみやすさは他の何にも比較することの出来ない雰囲気をホールに与えてくれたと考えている。

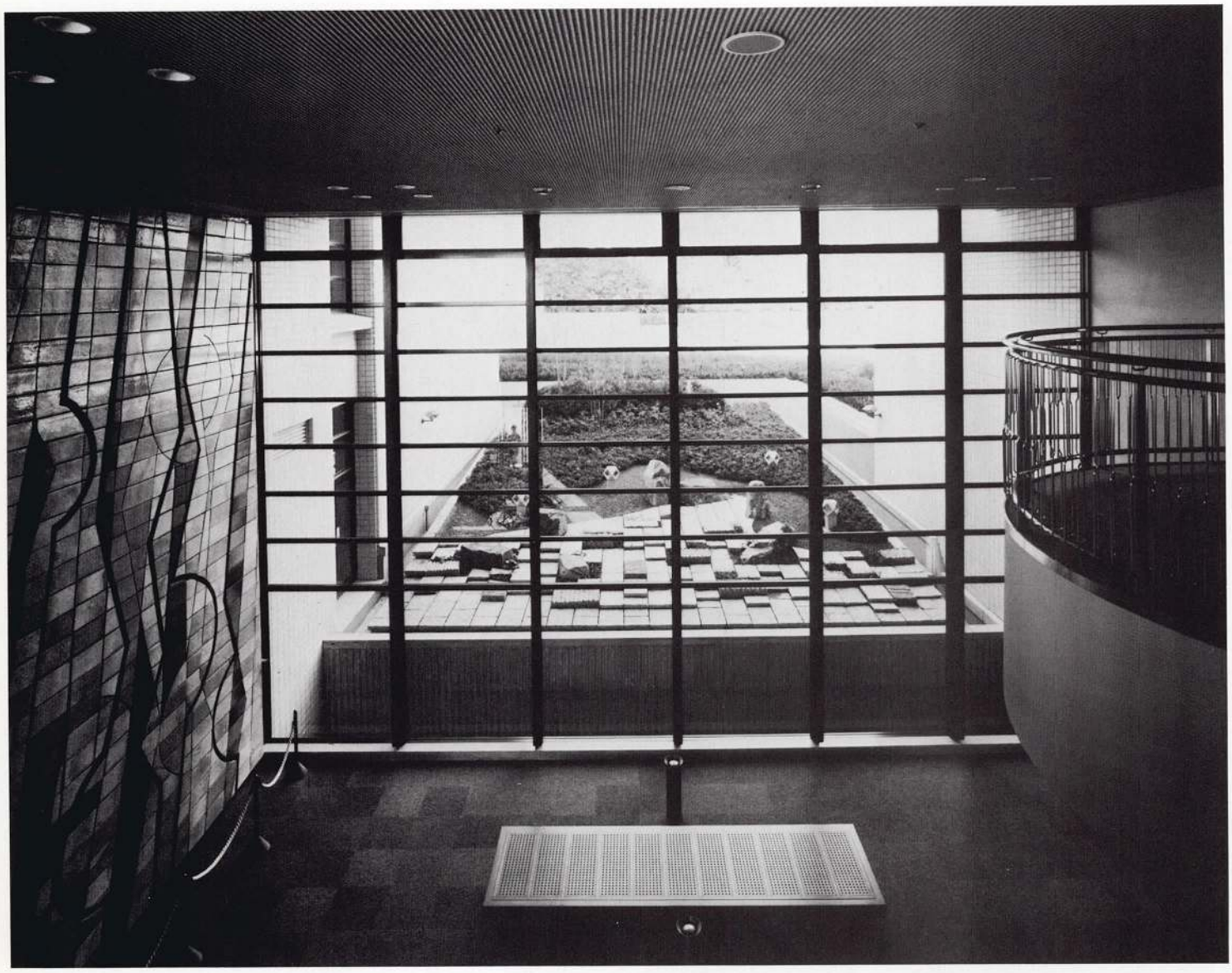
11月３日、ＮＨＫ交響楽団を率いる岩城宏之氏のタクトが振り降され、「歌劇オベロン－序曲」によってこけら落しのコンサートが行なわれた。岩城氏は徳山市文化会館について、「よい音が出るホールだ、木材を天井も壁にも使っていてとても良い」さらに「ホールの空気の量が丁度良く、今後２～３年たてば木材も乾燥しより響きが良くなるだろう」との感想を述べられた。

（小角　亨・大野一男／日建設計）

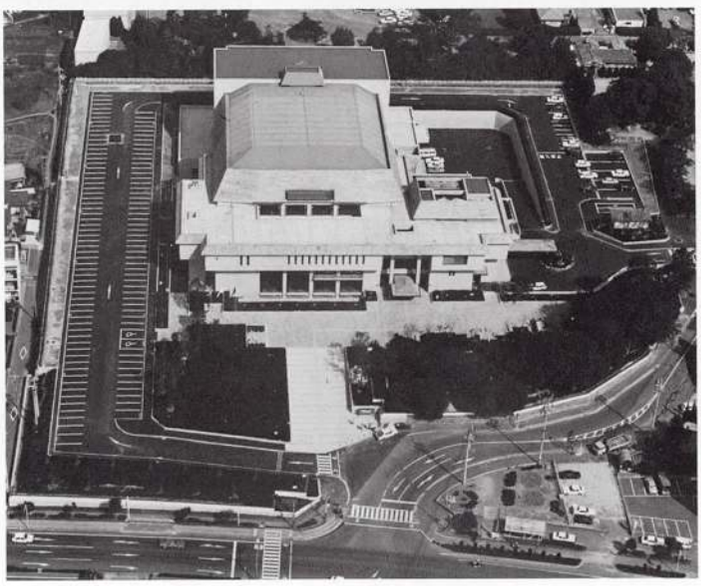
1

1．全　景
撮影　西日本写房

徳山市文化会館



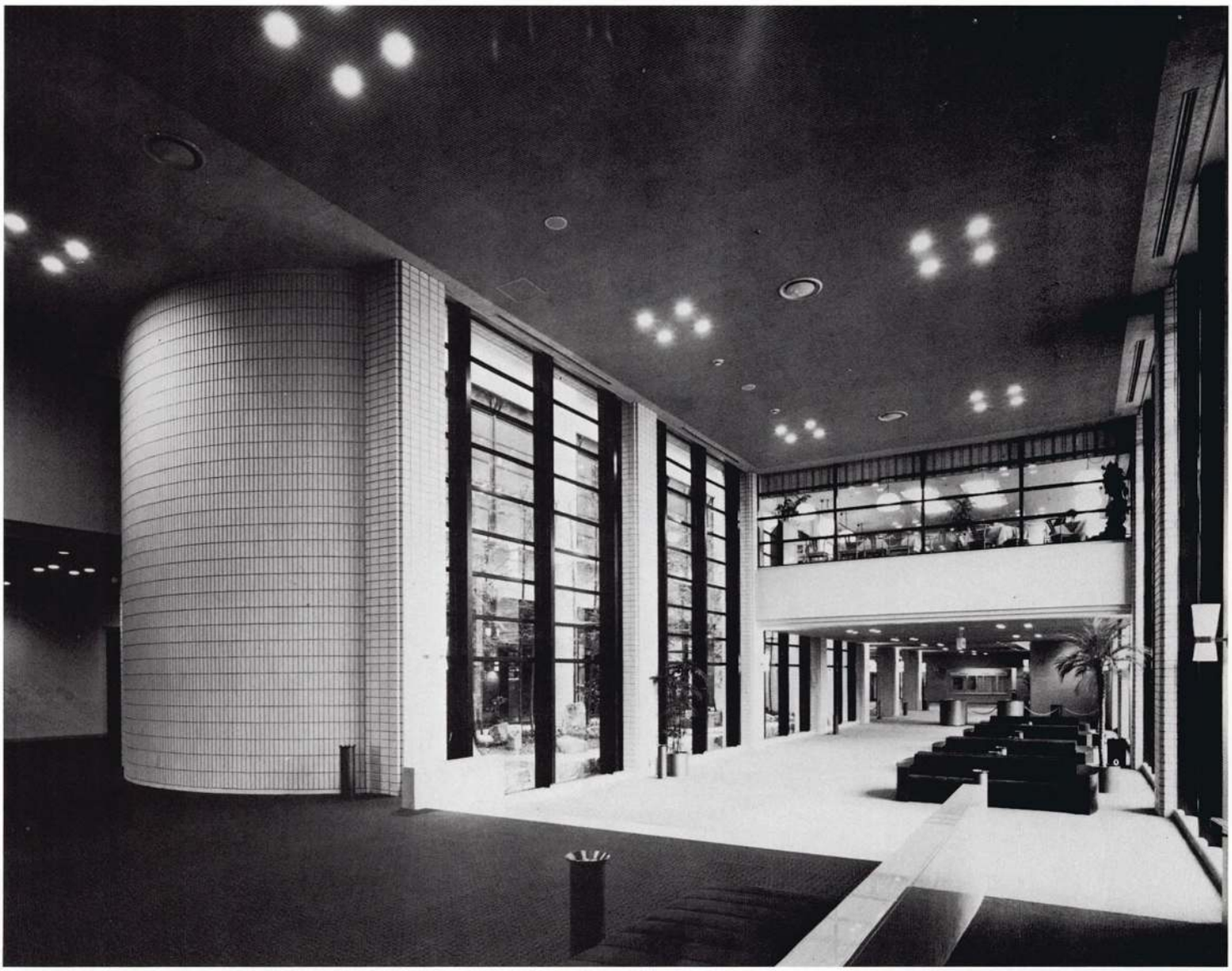

隣地
道路
大道具
搬入車溜り
神社
動物園
バス駐車場
5台
植込
スロープ
中庭
公衆WC
隣地
駐車場
113台
ライトコート
車寄
コンサートプラザ
植込
スロープ
市道
配置図 0 10 20 30 40 50(m)
地下道
国道2号線



（外装仕上）
屋　　根　大ホール棟：アスファルト露出防水
　　カラー砂付ルーフィング
　　一部緑青加工銅板、アスファルトシングル葺
　　展　示　棟：アスファルト防水豆砂利コンクリート
　　鏡押え目地
外　　壁　磁器質タイル、柱型一部花崗石貼
　　コンクリートリブ付化粧打ち放し
外装サッシュ　アルミサッシュ、アクリル樹脂焼付塗装
ガ　ラ　ス　透明フロートガラス



2．エントランスホールより中庭を見る
3．上空より
4．ロビー
5．コンサートプラザ
6．庭園より正面玄関
撮影　西日本写房







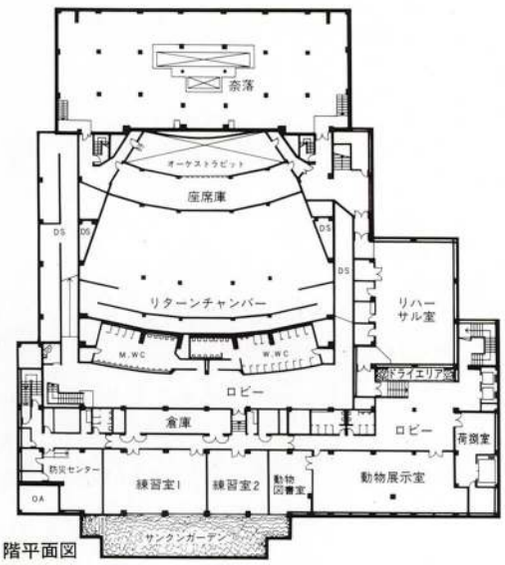
徳山市文化会館



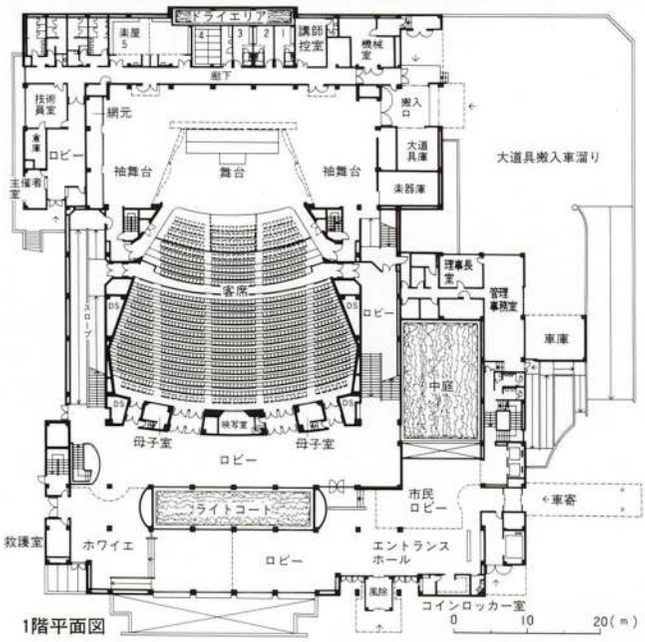






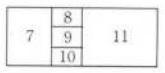


地下1階平面図



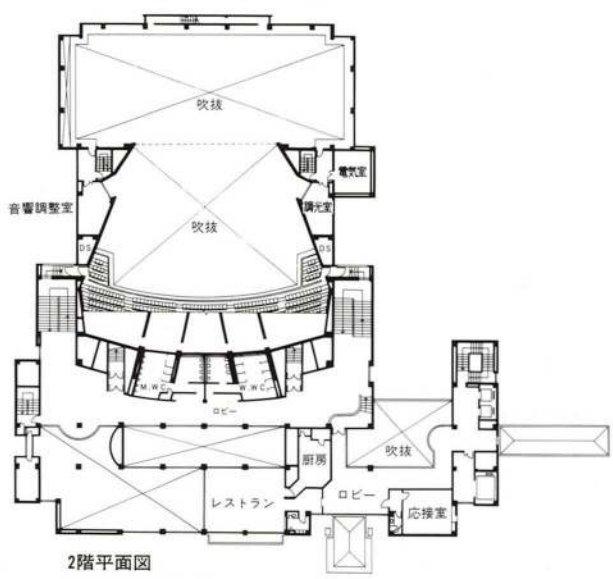
1階平面図

（大ホールの概要）
性　　格　クラシック音楽に重点をおく多目的ホール
所容人員　1,800人（固定席1,647席〕〔1階1,018席　2階 629席〕
　　（補助席66席　車椅子席4席　立見83人）
客席型式　2層バルコニー型式
舞台型式　プロセニアム型式、巾員19.300m、高さ9.500m
舞台面積　712㎡
残響時間　1.65秒（音響反射板使用時80%収容時、500HZ）

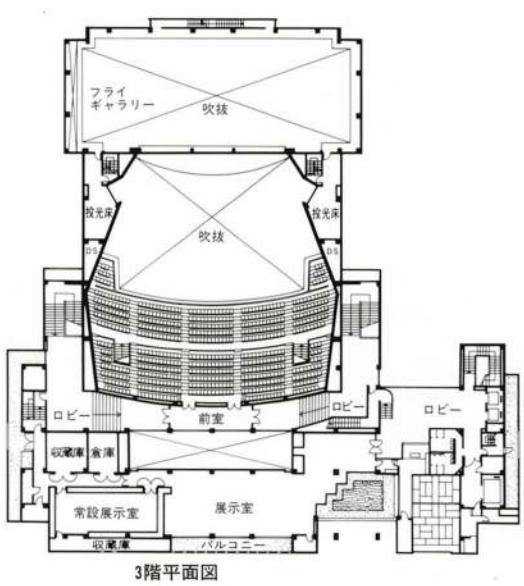


7．大ホール壁面
8．ホワイエ
9．2階客席
10．レストラン
11．大ホール
撮影　西日本写房





2階平面図



3階平面図

大阪ガーデンパレス 私立学校教職員共済組合大阪会館

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　竹中工務店

所 在 地　大阪市淀川区西宮原１丁目３番35号
敷地面積　6,240.61㎡
建築面積　3,694.74㎡
延床面積　19,082.45㎡
構造規模　SRC及びRC、B1、13F
工　　期　昭和55年７月～昭和57年９月
最 寄 駅　地下鉄御堂筋線、新大阪駅







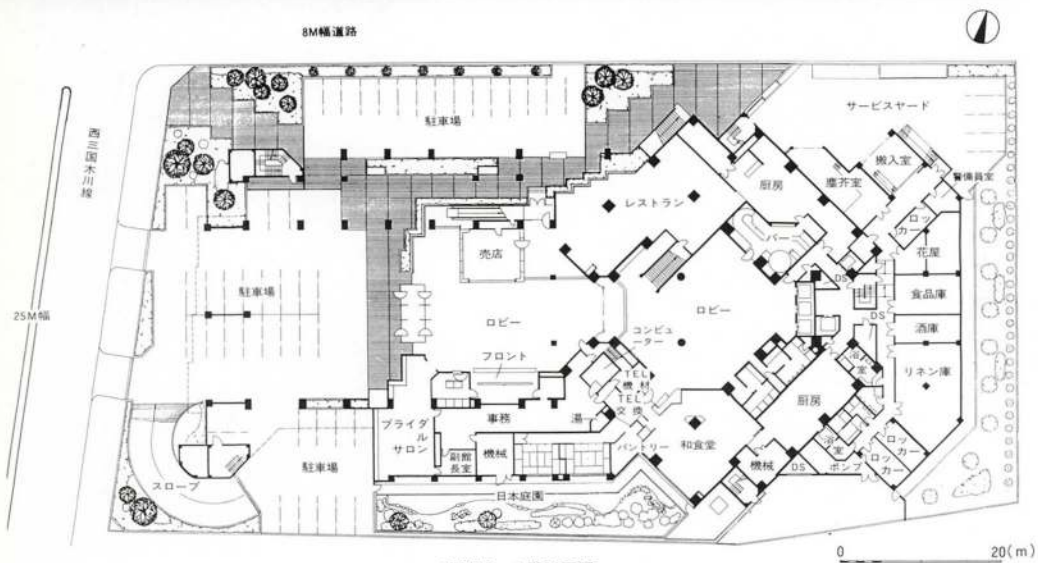

大阪ガーデンパレスは私立学校教職員のための福祉施設であると同時に、一般にも開放された、中規模のシティホテルでもある。1000名収容の大宴会場と、300室の客室、私学関係の事務室を骨子として、ホテルおよび会館としての諸機能を展開したものである。

敷地は国鉄新大阪駅から、北西へ約800メートルの、近時急激に民間マンションや、公営の高層住宅が建ち並び始めた一角にあり、ホテル立地としては必ずしも優れた条件とは言えない場所である。住宅密集地という周辺環境に対して、比較的ボリュームの大きなこの建物が悪い影響を与えないこと、さらに、新しく開けた土地特有の乾いた風景に潤いを与えるものであることが、建築計画上最も重要なポイントの一つであった。客室等を収める高層部を、大宴会場等を収める低層部に対して、軸線を45度振ることにより、日影、プライバシーの侵害、騒音、風害、威圧感等の周辺への影響を最小限にとどめることを意図した。結果的に外壁面が様々に傾斜した、陳腐な板状ホテルタイプとは異る変化のある形にすることができた。この形態を踏まえて、会館としての風格と、ホテルという商業施設としての親しみ易さを同時に表現するため、光線の当り方で様々に色彩の変化する、ラスター釉磁器タイルを外壁に使用した。

内部には299室の客室（身障者専用室を含む）と宴会場、婚礼関係室、茶室、和洋レストラン、バー、ゆったりした二つのロビー等、いずれも共済組合の会館としてはグレードの高い諸施設があり、サービスの水準も民間一流ホテルのソフトウェアを導入して、大阪ホテル戦争という状況に十分耐えられる施設内容となっている。

オープン後日も浅く、知名度は未だという感じではあるが、その料金の安さ、サービスの良さから、大阪の代表的中規模ホテルとして、親しまれる日の来ることを願って止まない。

（安井建築設計事務所）



配置図・１階平面図



客室階平面図





1	2
3	4
5	6

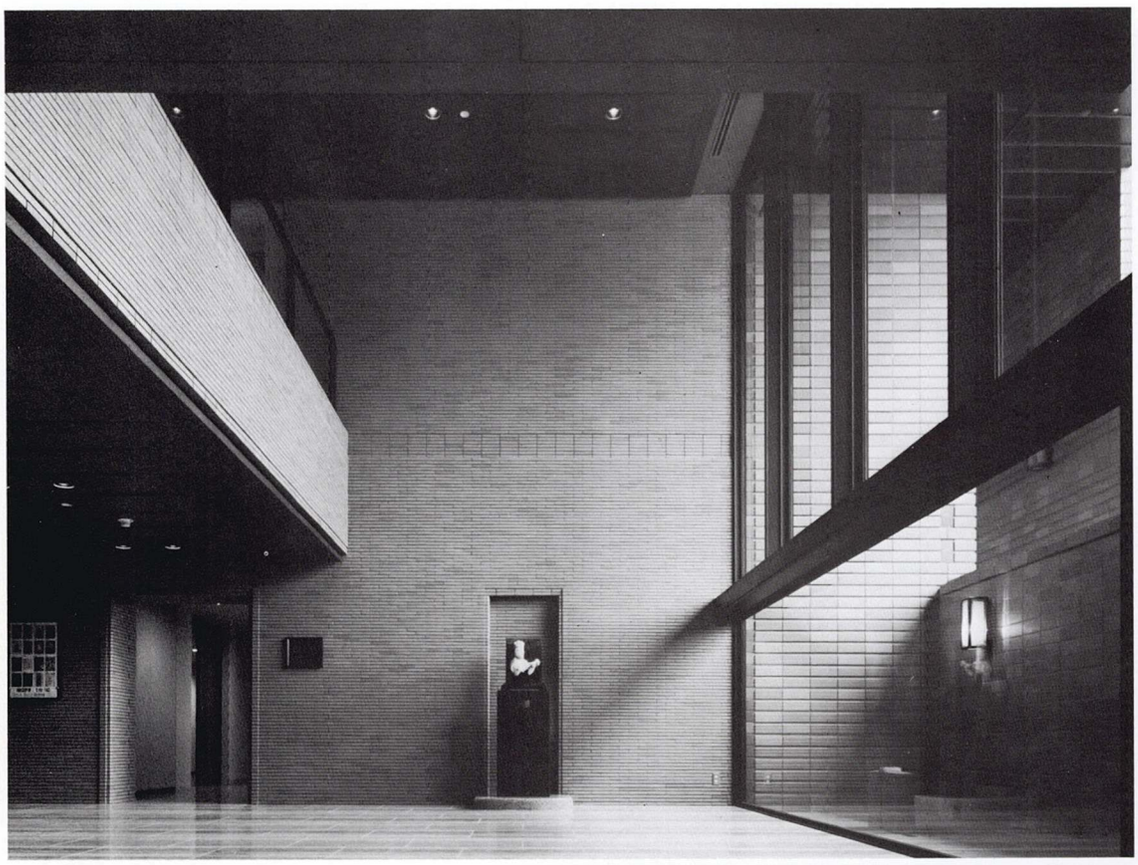
7

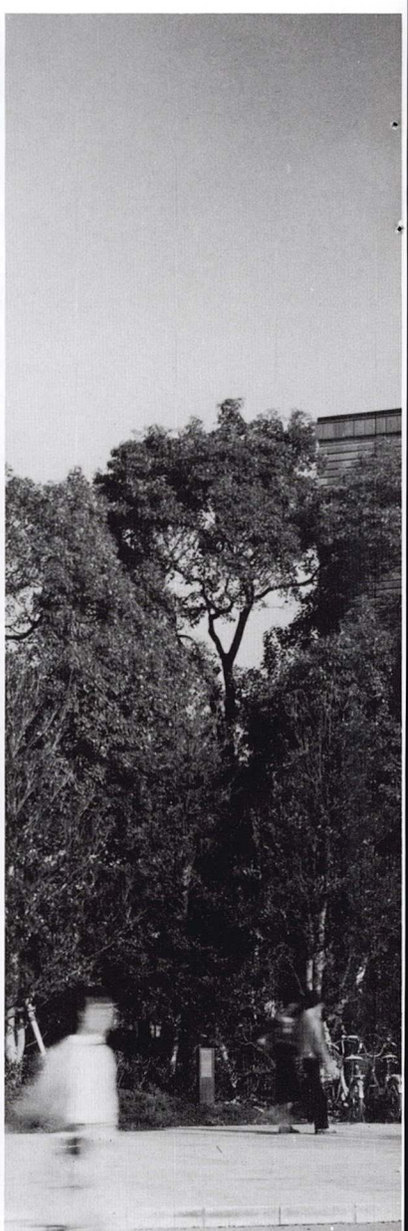
8

1．ロビー　　4．和食堂 花緑　　7．西側正面
2．吹抜ロビー　　5．大宴会場 芙蓉　　8．北側外観
3．レストラン アンカー　6．ツインルーム　　撮影　島修一

大阪市立東洋陶磁美術館

設計監理　大阪市都市整備局
　　日建設計／大阪





東洋陶磁の粋を集めて世界に名高い「安宅コレクション」を収蔵・展示するために、中之島の真唯中、中央公会堂と対面する最高の立地を得て、この美術館は建設された。中之島という環境から、建物は出来るだけコンパクトにまとめ、落ち着いた磁器タイルで外装して、周辺の豊かな緑の中で、自然と映る構成をもたせたいと考えた。

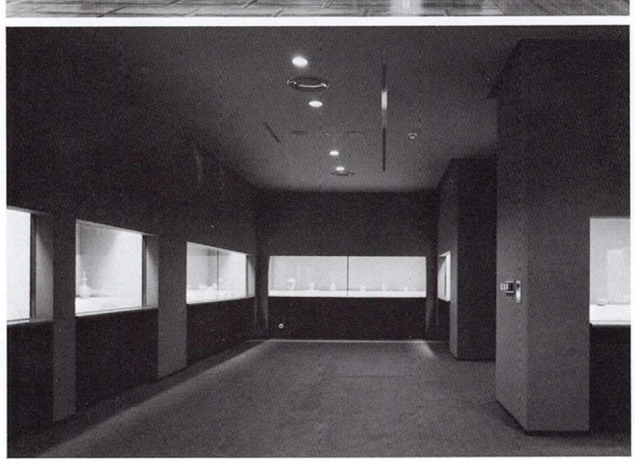
美術館の中心となる展示室は、コレクションをひとつの統一体として展示するため、すべて2階に設けており、1階収蔵庫に収めた中国・朝鮮の陶磁器約1,000点のうち、130～150点ほどが常時陳列される。

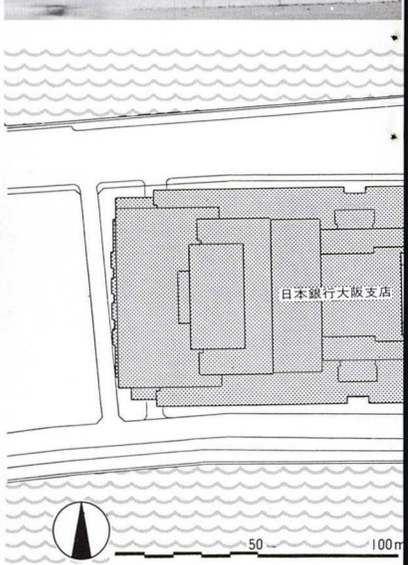
この美術館は、なによりも美術館本来の目的――美術を最良の状態で鑑賞する―というテーマを中心に据えて建築を追求し、生み出したものである。どちらかと言えば小さな展示品である陶磁器を効果的に見せて鑑賞へと誘い込む常設展示ケースや、ケースの中にだけ自然採光を導入するという試みを実現した世界でも初めての自然採光展示ケースは、その成果の一端だといえる。

ようやく永住の地を得た東洋陶磁の名品たちは、いま、静かに光彩を放っている。

（横川隆一／日建設計・大阪）







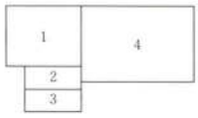
建設交流館

設計指導　日建設計／大阪
設計施工　錢 高 組



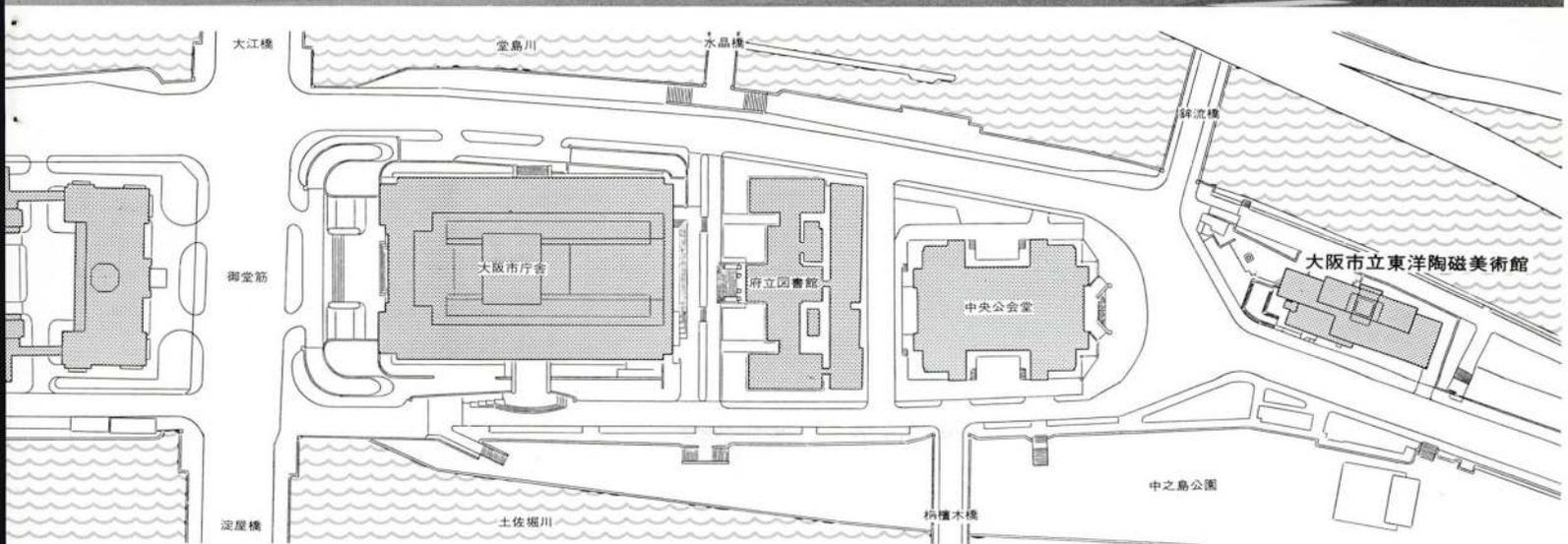
撮影：上川征洋

施　　工　住友建設
所 在 地　大阪市北区中之島１丁目１番(中之島公園内)
敷地面積　3,232.6㎡
建築面積　1,136.8㎡
延床面積　2,498.7㎡
構造規模　RC(一部SRC)、B1、2F、P1
工　　期　昭和56年６月～昭和57年10月
最 寄 駅　地下鉄御堂筋線「淀屋橋」、堺筋線「北浜」
　　京阪電車「淀屋橋」、「北浜」



1．玄関ホール
2．展示ロビー
3．第１展示室(朝鮮陶磁―高麗)
4．正面外観
撮影　黒田青巌





中之島附近配置図

建 築 主　西日本建設業保証株式会社
所 在 地　大阪市西区立売堀２－１－２
敷地面積　996.39㎡
建築面積　854.50㎡
延床面積　8,475.73㎡
構造規模　SRC　B2　9F　PH1　杭打地業
工　　期　昭和56年３月～昭和57年10月
最 寄 駅　地下鉄四ツ橋線本町駅

「大阪に建設界の人々のための集いと交流の場を提供し、未来の建設文化の創造と発展に資するため一石を投じる。」――このことばは、建設交流館の建設事業を発進させた西日本建設業保証㈱の社長のKey-Wordであった。

本会館の敷地は、建設業発展ゆかりの地である立売堀に位置し、しかも、これからの発展が期待される大阪の大動脈であるなにわ筋に面している。冒頭の構想を実現するには、まさに適地といえる環境にある。

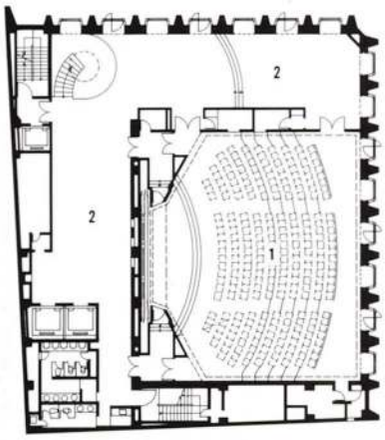
このような条件を背景として、建設人の館の設計にあたり、われわれはいわば「温故為新」を基本的な指針とした。これは、先人が築いてきたさまざまな建設技術と英知を今一度振り返り、良きものは継承しつつ必要あらば改革し、その上で新しきを手固く為していく思考を意味する。外装の花崗石とカーテンウォールのディテール、L型コア大スパン架構による無柱空間のプラン、内装の大理石・木・布貼りのあしらい、家具のフォルムとディテール、シンプルなカラースキームなどにとくに注意を払った。

企画当初、建築主とのごく自然な対話の中で、「この建物はnobleでありたい」ということばがあった。

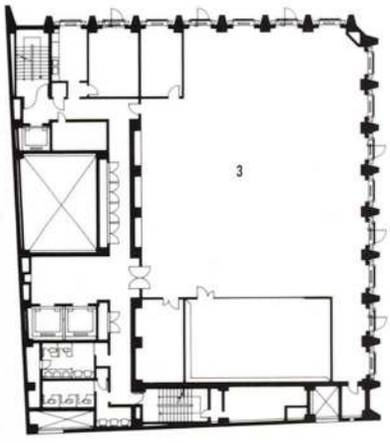
このことばは、冒頭のKey-Wordとともに、これらエッセンスを一つの系統立てられた脈絡に組み上げていく上で、強いモチーフとなって、外観および全体構成からディテールの制作に至るまで、終始われわれを支えてくれたのである。

ことばと、設計行為の中における推敲とを溶け合わせるのに苦闘したが、それだけの成果をそれぞれの立場（建築主・設計者・施工者）で見た作品となって完成し、建設界の関係者の今後の幅広い利用が期待されている建物である。

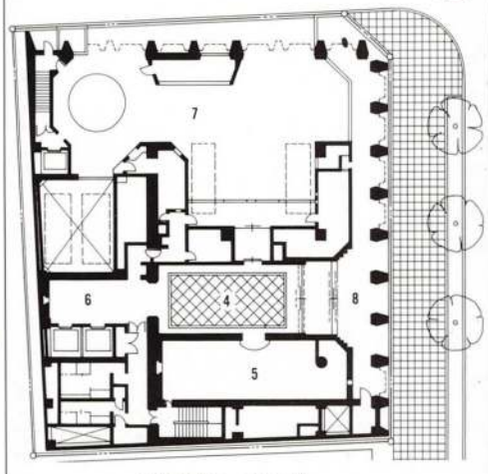
（与謝野　久／日建設計大阪本社
前田萬亀雄／錢高組一級建築士事務所）



8階平面図



基準階平面図



1階平面図　(1:600)

1．ホール　5．ラウンジ
2．ラウンジ　6．エレベーターホール
3．事務室　7．パーキング
4．エントランスホール　8．ピロティ







1
2
3
1．8階ホール
2．1階エントランスホール
3．地階レストラン
撮影：東洋クラフト

兵庫県立姫路短期大学本館

設計監理　兵庫県都市住宅部営繕課

施　　工　西播建設共同企業体(進藤組・永岡組・小西工務店)〔建築〕
大阪電気工事〔電気設備〕・水交社〔機械設備〕・大阪瓦斯姫路支社〔ガス設備〕・三菱電機関西支社〔昇降機設備〕



兵庫県立姫路短期大学本館

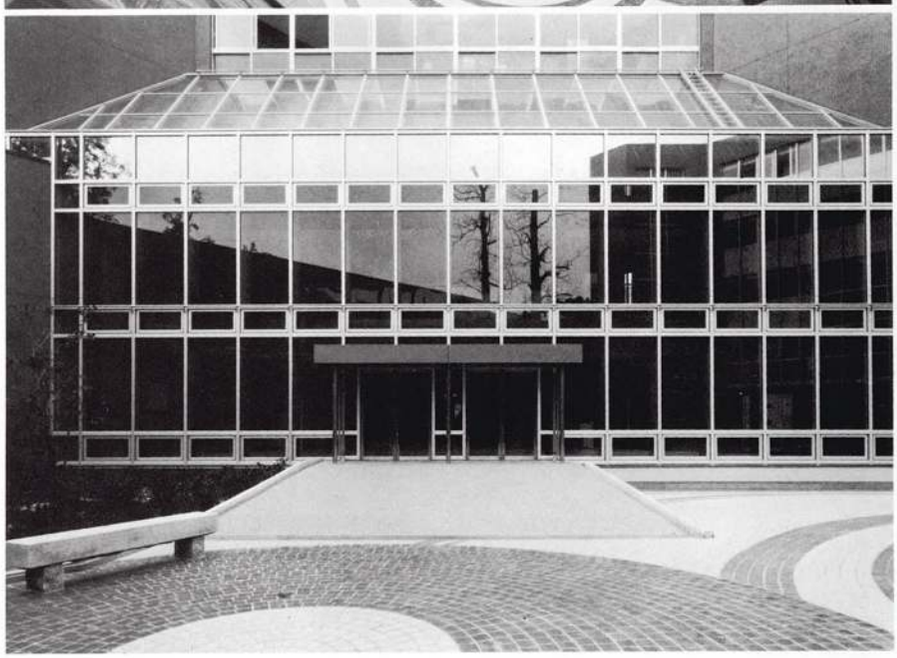
大正12年に建設された旧制姫路中学の木造２階建校舎と、樹木に囲まれた、いかにも歴史の重みを感じるキャンパス。樹木と旧講堂、および旧本館正面部分をモニュメントとして保存し、新しい教育の場としての新本館、図書館を建て直す、旧来のイメージを損わぬよう、荘重な環境を破損せぬよう――。

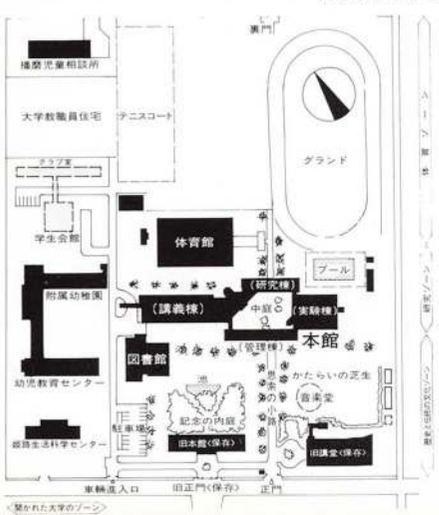
教育施設は、大別して教室、研究室、管理諸室からなり、各々の機能と、そこから要求される適切なmoduleが異なる。本館の計画では、建物を講義棟・実験棟・研究棟および管理棟の４つの棟に分けることによって、各棟の構造spanを室の機能と、積極的に従来の場所で存続させるべき樹木・施設との関連に合せて決定することができるとともに、壁面構成にも変化をもたせて単調に陥らないようにした。
また４つの棟の建設時期をズラせることによって、在来の建物を最大限に利用して、移転、仮設校舎等の経費を減らすことができた。
教育の場を、講義、ゼミといったカリキュラムの場だけで終ることなく、学生対学生、学生対教師のコミュニケーションの場にも広げられることを期待して、４つの棟の接点は単なる廊下の延長ではなく、NODE（結節点）としての機能をより明確にするためにホール・アルコーブ等を設けた。来訪者は、「思索の小路」と名づけた、車の立入りを拒否したイチョウの並木道から、ユリの樹のそびえる中庭をへて、これらのホール・アルコーブへと導かれていく。この中庭は、同時に本館北側の体育館・グランド・プールといった動的な体育ゾーンと、本館南側に位置する図書館・音楽堂といった静的な研究ゾーン、旧本館内庭から保存しようとしている旧本館および旧講堂等の歴史と伝統文化を継承するゾーンとのNODEでもある。
外観は、旧本館・旧講堂の従来の木造建築と、新しい鉄筋コンクリート造の本館および図書館が、これまでのように樹々の緑とゆとりを保って一体にとけあえるよう、外装タイルの色調、打放しコンクリート面のバランス、開口部の表現に意を払った。

昭和51年旧講堂の保存改修工事に始った整備計画は、来年度、旧本館の保存改修、学生会館・音楽堂の新築により完成する。前後８年にわたり、営繕課で終始設計することによって時々の要望の変化に対応しながら、一つの意志のもとに調和のとれた環境を形づくることができた。今後も、この環境を通して旧制姫路中学以来の伝統と歴史が、本校の学生に伝承され、地域文化の高揚に貢献することを願ってやまない。

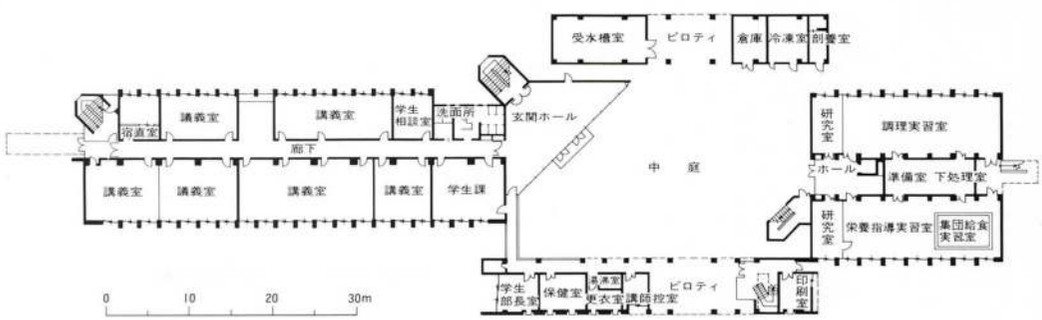
（兵庫県都市住宅部営繕課）







配置図

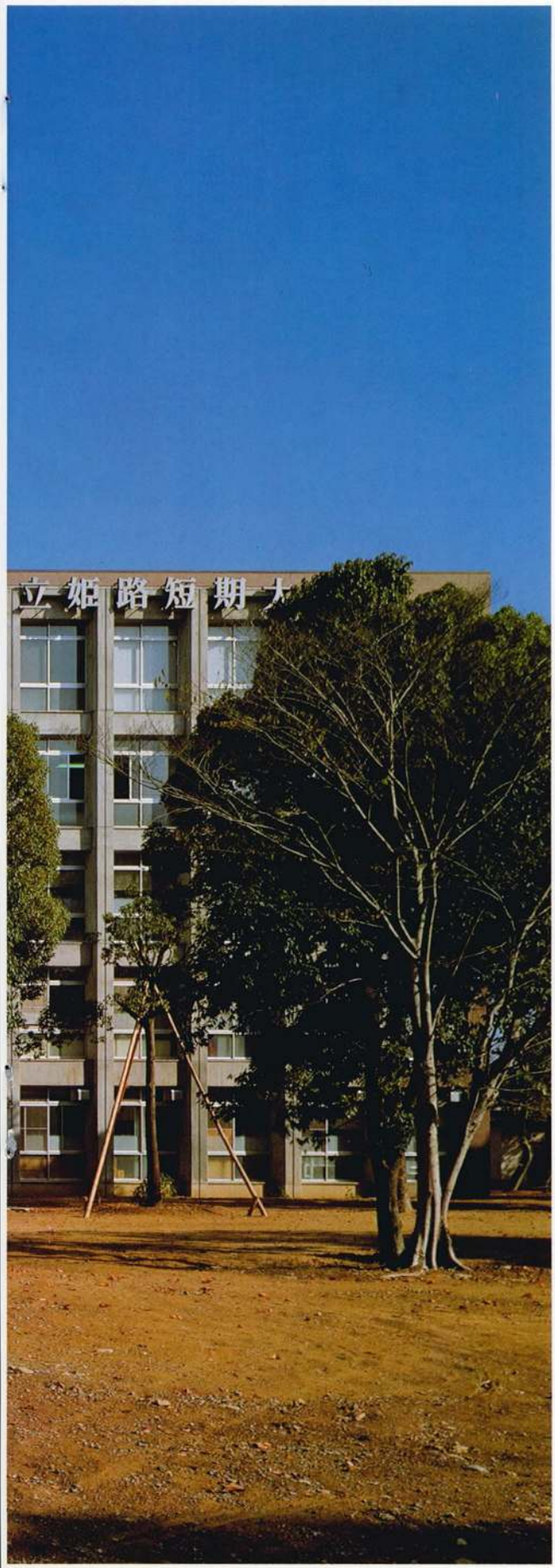


1階平面図

所 在 地　姫路市新在家本町1丁目1－12
敷地面積　49,503㎡
建築面積　 2,232㎡
延床面積　 7,789㎡
構造規模　ＲＣ、２Ｆ～５Ｆ
工　　期　昭和56年６月～昭和57年８月
最 寄 駅　国鉄山陽本線姫路駅

1	2
	3

1．本館
2．中庭より北面をみる
3．研究棟より中庭をみる
撮影　1、2、河野豊
　　3、東洋クラフト





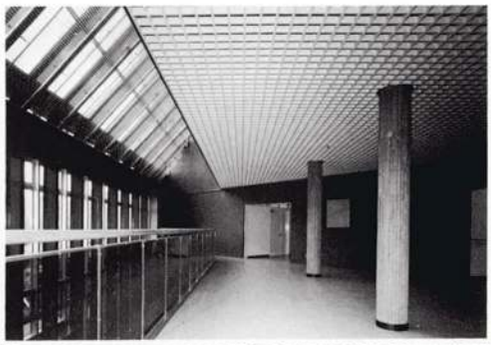


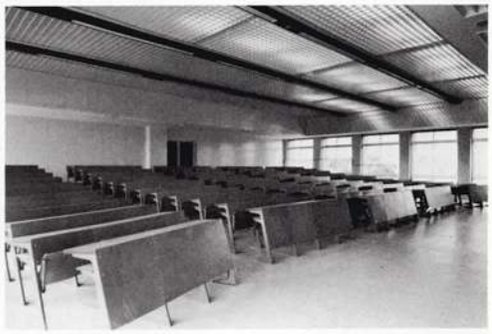


4．講義棟より中庭をみる
5．玄関ホール正面
6．本館1階ロビー
7．玄関ホール（2F）
8．大講義室
9．主階段
10．管理棟玄関

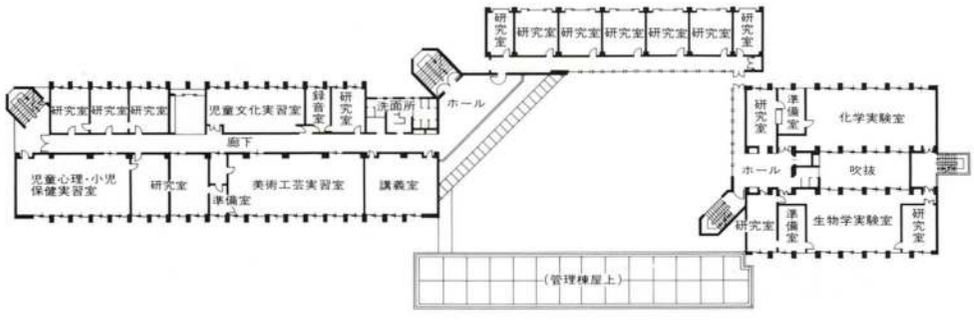
撮影　6、河野豊
　　他東洋クラフト











3階平面図



兵庫県立姫路短期大学図書館

設計監理　兵庫県都市住宅部営繕課
施　　工　三和建設(建築)
　　西部電気建設(電気設備)・三宅設備工業(機械設備)・三菱電機関西支社(昇降機設備)





1階平面図　0　5　10(m)



2階平面図

図書館はその機能として、学生のための図書館、教官などの研究者のための図書館、さらに一般県民の啓蒙の場としての図書館としての機能を合わせもったものとして計画された。ただし閲覧部門の一般公開は将来のこととし、現状では1階ブラウジングに閲覧コーナーを設けるにとどめ、これまでおこなってきた公開講座を、図書館の視聴覚室で実施することにした。このため視聴覚室は多目的な役割を担うこととなった。



平面計画は、本館との連絡動線を重視して北側に玄関を設け、この玄関脇にすべての利用者が共通に利用する部門をブラウジングを中心に位置づけた。ブラウジングは吹抜とし、広がりのある空間の中に、くつろぎとふれあいの場を提供し、また2階へのアプローチの場ともなっている。このブラウジングを中心に、閲覧室をキャンパス、旧本館内庭の緑にとけこむように配し、開放的ななかにも落ち着いた雰囲気となるように計画した。書庫については安全開架書庫とし、閲覧室の上階に位置させて縦動線で対応することとした。

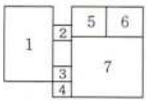
(兵庫県都市住宅部営繕課)





配置図は、前頁の兵庫県立姫路短期大学本館の3頁目にあります。

所 在 地　姫路市新在家本町１丁目１－12
敷地面積　49,503㎡
建築面積　584㎡
延床面積　1,156㎡
構造規模　RC、２F
工　　期　昭和56年６月～昭和57年１月
最 寄 駅　国鉄山陽本線、姫路駅



1．図書館外観
2．視聴覚室
3．学習室
4．西南面外観
5．北西面外観
6．閲覧室
7．ロビー(プラウジング)
撮影１、５、６、７河野豊
他 東洋クラフト







田辺町立培良中学校

設計監理　坂本克也一級建築事務所
施　　工　熊谷組大阪支店



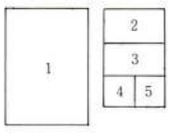
所 在 地　京都府綴喜郡田辺町大字東小字七反割３
敷地面積　27,066.205㎡
建築面積　 3,536.033㎡
延床面積　 7,435.190㎡
構造規模　RC（校舎4F＋体育館1F）
工　　期　昭和56年10月～昭和57年６月
最 寄 駅　近畿日本鉄道京都線新田辺駅

わが国の21世紀を代表する、文化学術研究都市の構想によって、京阪奈丘陵は全国から熱いまなざしが注がれている。この京都、大阪、奈良の三角点に位置するところが京都府田辺町である。“緑のある健康な文化都市”を目指す田辺町は、京阪奈への交通の便も良く、人口は42,812人（57年７月現在）で、京都府下の「町」としては、一番大きい。この人口増に伴い現在の田辺中学校からの分離校として、明治時代にあった「培良」という名を冠して「培良中学校」が計画された。

当地は田園地帯の、周りが緑に囲まれた静かな地域である。ここに当初18クラス、将来27クラスの中学校を建設することになり、全体配置は日照を考慮し、また校舎へのアプローチ、体育館、グラウンドへの移動等、合理的な動線に留意した。校舎については、配置の関係上、４階建てとし、普通教室棟と特別教室および管理棟を分離し、動線の整理を行うとともに、職員室から各教室への動線を合理的にするため、職員室の２階への配置、屋外段段の活用を考慮、また音の発する特別教室の配置と静の教室との関係を整理した。また２階に玄関を配し、玄関へのアプローチとして正面に階段を設け、自然に、できるだけ抵抗なしに行けるようにした。

全体デザインとして、中学校の学問の場に相応しい、堂々とした威厳を持ち、一方では、これからの無限の可能性を秘めた、若い人達の伸び行く姿に呼応するべく開放された、上空への空間を持つ正面、今にも羽ばたこうとするような軽快なイメージの底廻りなど、未知の力強さにあふれた若い世代をテーマにした。

（坂本克也・小西悦二・内田宗男/
坂本克也一級建築事務所）



1.玄関正面
2.正面外観
3.全景
4.体育館
5.中庭および渡廊下
撮影：Photes U

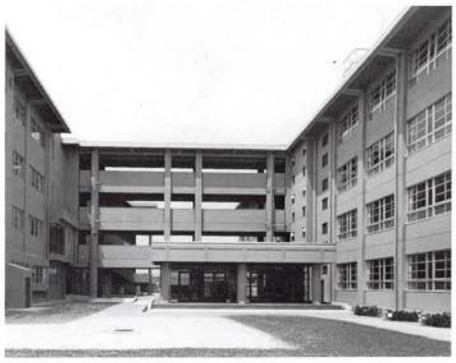


配置図











校舎1階平面



校舎4階平面

体育館屋根工事（シルバークール版工事）　フドウ建研大阪支店　大阪市東区平野町5－30　TEL 06-201-3737

京都東急ホテル

設計施工　戸田建設

水が流れて、みどりがあって……そういう空間を客室から楽しむことのできるホテル。……ある意味でホテルの理想型である。現実はなかなかきびしく、とくにシティホテルにおいては不可能な場合が多い。ポーツマンの一連の作品にみるアトリウムと称される内部大空間は廊下側からとはいえそうした意識の上でのものと理解できるし、その中に光とみどりを配し、人間の視覚的交錯を建築的面白さの要素の一つにまで昇華した作品として大いに評価している。このプロジェクトは絶対制限高20メートルというような各種の法的規制の中で、450室確保をめざした結果として『地下1階ロビー型』の展開をはじめ、ポーツマンのいう視覚的交錯の場であるアトリウムを地下5.5メートルに400㎡の広さで具現した。あくまで外部であるからみどりは育ち水は澄む。トンボもちょうちょもとんで来る。構成上地下1階にきてしまったロビーやフロント、レストラン、バーといったメインパブリックから地の底に居るという感じを抜くことにデザインの主力を注いでみた。なぜか水の流れる空間は心のやすらぎを生む。なぜかみどりは大地の上に居る安心感を育てる。今すでに暗渠工事が進んで1,000年の歴史の上から消えてゆこうとしている堀川を、この断面を利用して再現しようという大げ

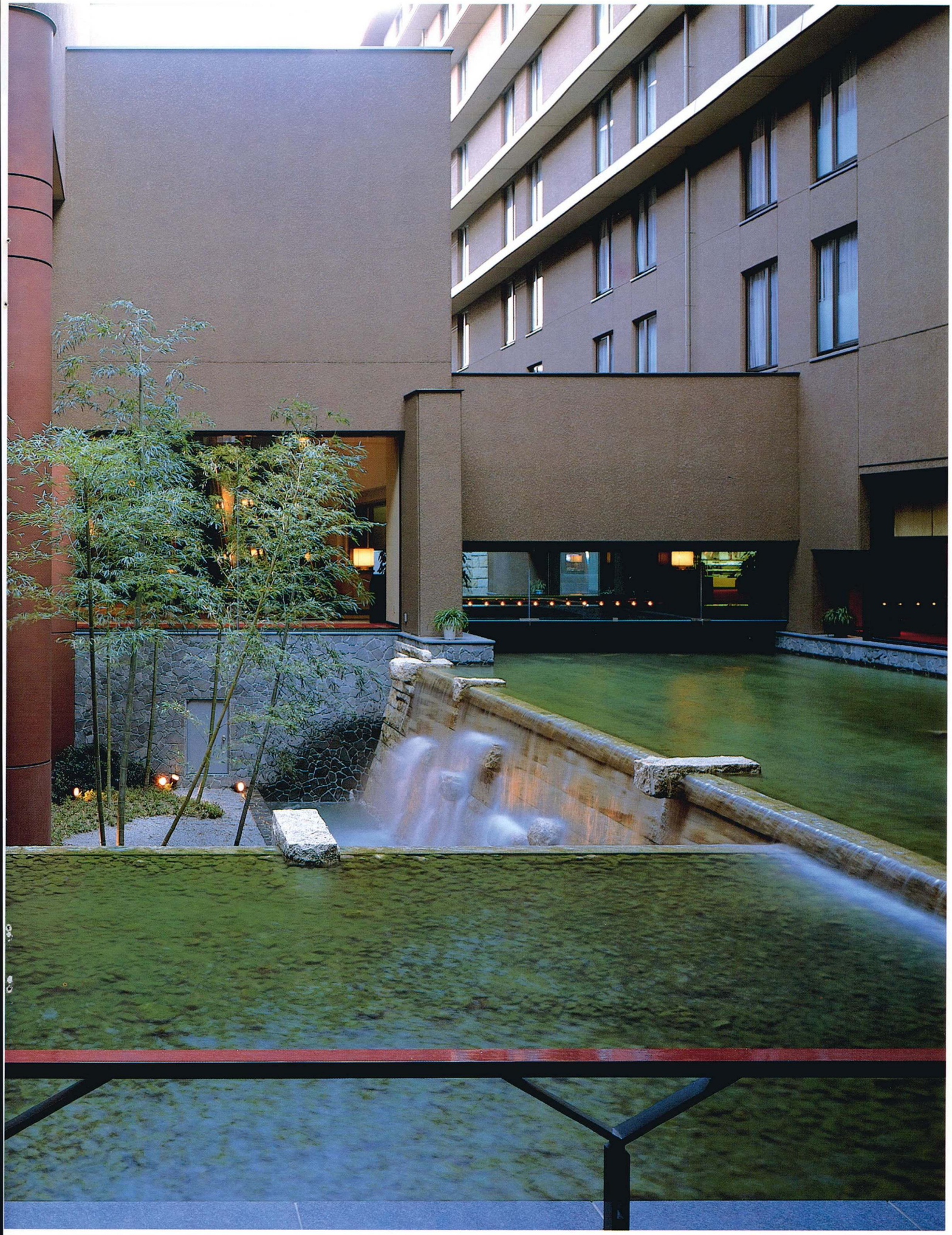


さなアイディアが断面構成上絶対的に不利なこの建物を心理的に救う方法として意味を持ち、幾多の検討が加えられて採用されたのである。湧き水、せせらぎに始り、急斜面を音をたて、すべり落ち、堂々たる流れとなって豊かな水量を保ち、さらに下へ滝となって消えてゆくという水のサイクルを、断面的にはＧＬからＢ２の−10メートルの間に、平面的には人、車の寄りつきからＢ１階のメインパブリックの中央までに展開したわけである。……緋毛氈の床几や朱笠、竹や白河砂。そういった京都のもつノスタルジアもアナクロニズムにならぬ程度に使い、ともすれば機械的でつめたくなり勝ちな大空間を何とかやわらかく京都のもつ二面性を意識しながらデザインしたつもりである。

成瀬嘉一、奈良井俊章／戸田建設



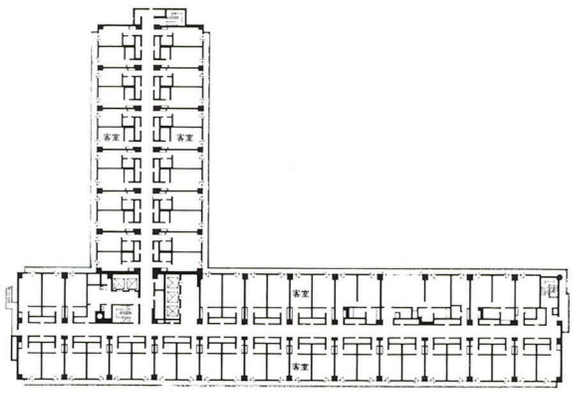
テラスより中庭をみる



撮影　東出清彦

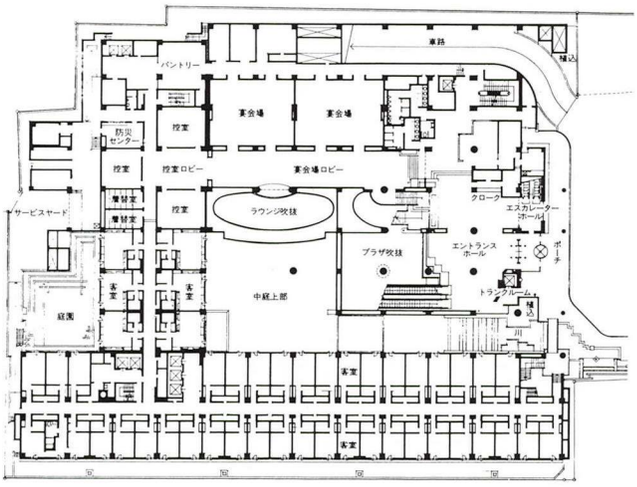
所 在 地　京都市下京区五条通堀川下ル柿本町
敷地面積　7,340.47㎡
建築面積　4,905.06㎡
延床面積　30,592.32㎡
構造規模　SRC一部RC　B2、7F、P1
工　　期　昭和56年４月～昭和57年10月


1階エントランスホール、コーナーの陶板は加藤唐九郎作「桃李貫道」



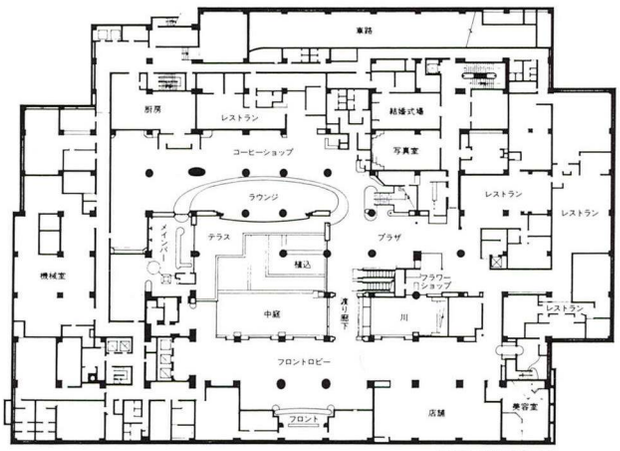
基準階平面図


1階エントランスホールより地下1階プラザと中庭へのピクチャーウィンドーをみる



1階平面図　1:1200


フロントロビーから中庭とプラザをみる(地下1階)



地下1階平面図



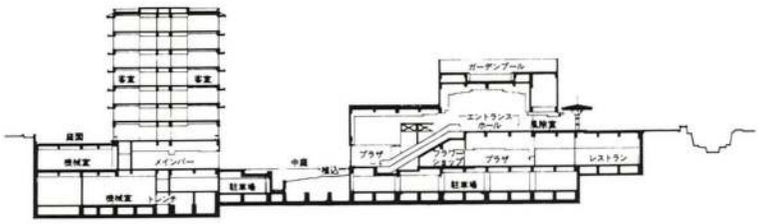
客室(スイートルーム)



中庭とテラスをみる



地下1階レストラン



断面図　1:1200



和食堂へのアプローチ



地下1階ステーキハウス



地下1階コーヒーラウンジ



地下1階プラザ



テラスより中庭をとおして雪見障子の手法をとりいれたフロントロビーをみる



フロントとフロントロビーをみる、正面はエレベータホール

京都東急ホテル

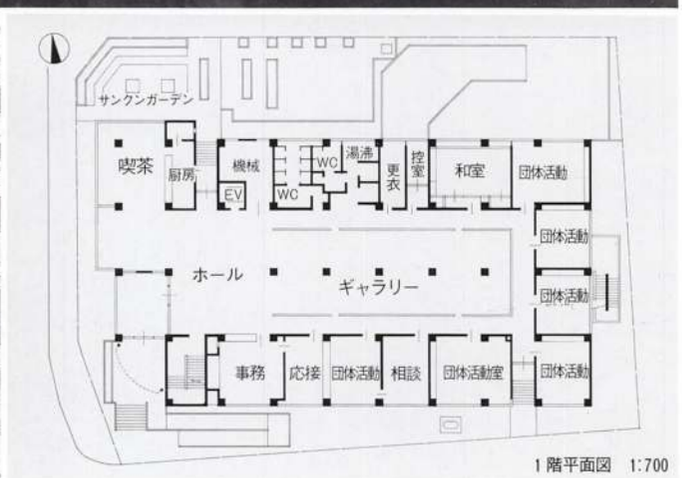
設計施工	戸田建設	東京都中央区京橋1-7-1　TEL　03-562-6111 大阪市西区西本町1-13-47　TEL　06-531-6561	電　気	日本電設工業	大阪市大淀区豊崎3-17-15　TEL　06-372-3531
電　気	近畿電気工事	大阪市大淀区本庄東2-3-41　TEL　06-375-6000	電　気	原田電業社	京都市左京区北白川山田町3　TEL　075-701-8131
空　調	高砂熱学工業	大阪市北区芝田町1-4-8　TEL　06-372-2511	空　調	日比谷総合設備	大阪市東区内本町2-45　TEL　06-942-1291
給排水衛生	西原衛生工業所大阪店	大阪市大淀区中津6-8-4　TEL　06-458-3531	家　具	東急百貨店	東京都渋谷区道玄坂2-24-1　TEL　03-477-3111
家　具	高島屋	京都市下京区四条河原町　TEL　075-221-8811	造　園	石勝エクステリア	東京都世田谷区玉川1-16-7　TEL　03-709-5591

明石市立勤労福祉会館

基本設計　明石市建築部営繕課
設計監理　明石市建築部営繕課・光安建築設計事務所







1階平面図　1:700



1．南東全景
2．サンクンガーデン
3．1階ホール
4．2階多目的ホール
5．1階ギャラリー
6．2階ホール
7．3階体育室
8．4階トレーニング室

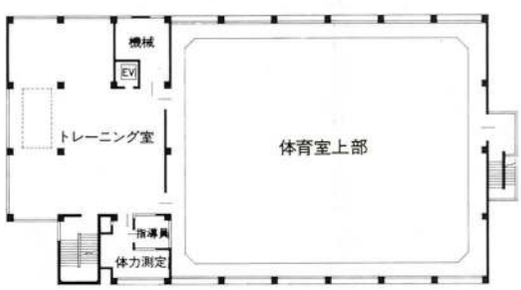
撮影：
1～4．STUDIO A・T
5～8．設計者提供

施　　工　関西建設工業
所 在 地　明石市相生町2丁目7－12
敷地面積　1998.0020㎡
建築面積　1171.6212㎡
延床面積　4373.0034㎡
構造規模　RC、B1、4F
工　　期　昭和56年7月～昭和57年8月
最 寄 駅　国鉄山陽本線明石駅

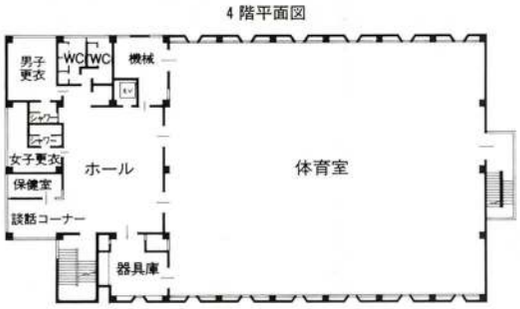
市当局の指導下に、多目的室、ギャラリー、会議室、体育館、事務室、音楽と講習室などをもった複雑な機能の建物設計を進めたのである。不特定多数の市民が気安く訪れ、健康増進、文化教養の向上、市民感情の交流の場にふさわしい空間を造型するように努めた。

市の主要な建物の一つとしても、街区のチャームポイントたるべく環境を重視し、若者の集い得る外部空間としてサンクンガーデンを設け、小さな音楽会や語らいの場とした。建物周辺には植栽を充分にし、道行く人々に緑したたる爽快感を味わってもらえるよう企図した。

市の英断によって、1000メートルの長さにわたり両側歩道のカラーブロックの舗設が進められ、駅前商店街からの連帯感をもつことができた。周辺住宅への日影を考え高度規制を自ら行い、環境計画を進めて外部空間を構成できたことを心から感謝している。　（光安義光）



4階平面図



3階平面図



2階平面図　1:700













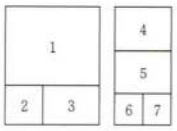
美津濃千里ビル

設計監理　東畑建築事務所
施　　工　竹中工務店





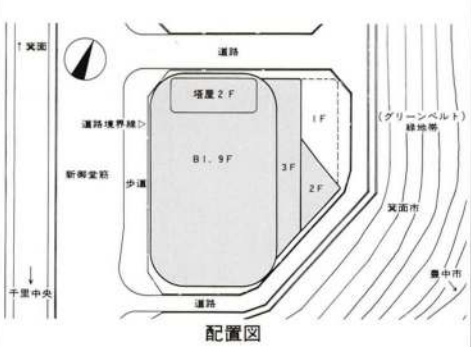




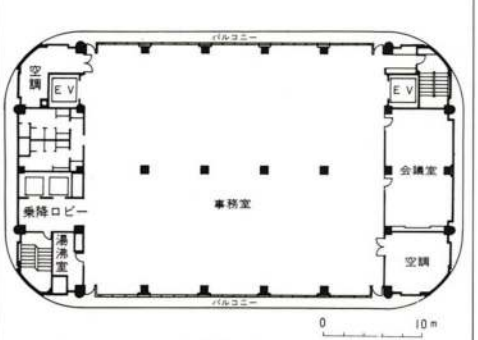
1．正面全景
2．航空写真
3．1階外観
4．マルチプレゼンテーションホール
5．展示場
6．ヒッコリールーム
7．食堂
撮影　SS大阪

所 在 地　箕面市船場東３－５
敷地面積　1,822.27㎡
建築面積　1,599.62㎡
延床面積　12,030.88㎡
構造規模　RC、SRC、B1、9F、P2
工　　期　昭和56年５月～昭和57年10月
最 寄 駅　地下鉄御堂筋線、千里中央駅

千里丘陵の豊かな緑に囲まれた大阪船場繊維シティの入口に建つ当建築は、スポーツ文化を指向する美津濃の象徴的ファッションビルである。建築形態を表現するメインテーマをスポーツの持つ要素から、「アクティブでエレガントな〝総合スポーツの美〟をオリンピックのグランプリレースにみられる極限の技、美、感動の如き、スポーツする人、観る人、語る人の渾然一体となったリズムが感じられる建築とする。」ことであった。
具体化にあたっては、コーポレートカラー（ブルー系）をテーマカラーとし、外壁を白磁タイルの型付にて結晶を思わせる輝きを与え、ゆったりした流動感のある建築に時間の変化を付し、ステンレスミラーに写される動きと共に企業イメージを重複させた。その他、１階ロビーは多目的使用の機能を装置化し、氷をテーマとしたタペストリー、オブジェを建築化して観せるホールにふさわしいダイナミックな室空間を計った。
（小西千年／東畑建築事務所）



配置図



基準階平面図









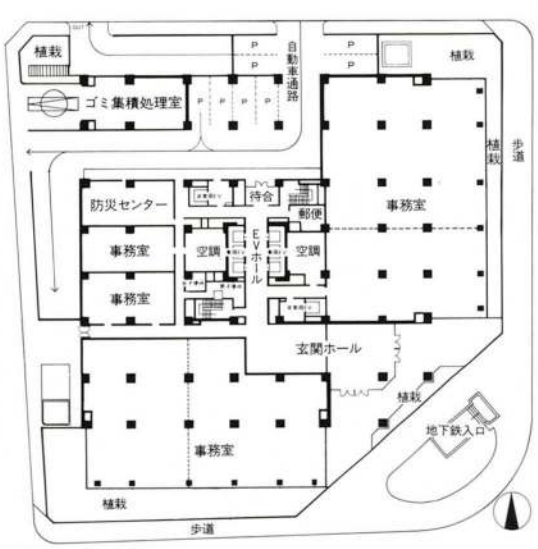

三井ビルディング
IBM

信濃橋三井ビル

設計監理　三井不動産・鹿島建設
施　　工　鹿島建設・三井建設・戸田建設共同企業体

所 在 地　大阪市西区靱本町１丁目11－７
敷地面積　4,301.38㎡
建築面積　3,083.84㎡
延床面積　36,968.41㎡
構造規模　SRC、B2、12F、P2（地下２階RC）
工　　期　昭和55年10月～昭和57年10月
最 寄 駅　地下鉄四ッ橋線本町駅

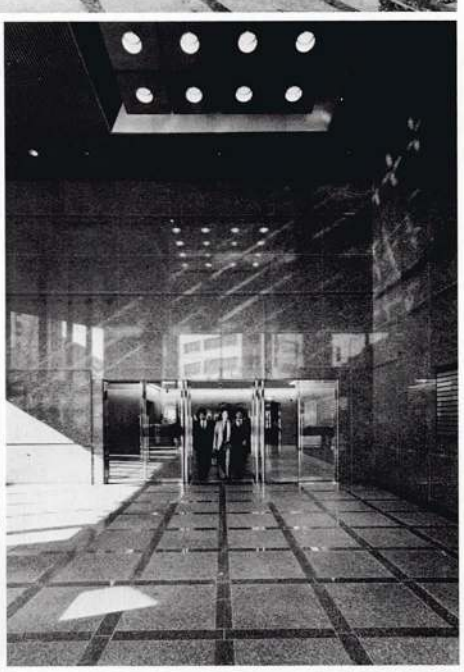
四周道路の斜線制限と軒高45ｍの制約が、外壁面の位置を決定する大きな要素となっている。そして、この軒高は、レンタブル比、建設コスト、設計・申請手続を含む建設工期等の検討から決定された。50ｍ角に近い正方形から南東の角を大きく面取りされた平面形、事務室空間の奥行き、さらに、南面、東面の二つの道路の性格の類似性、地下駐車場の処理などから、センターコア形式の採用となった。容積率の完全消化を目標としていたから、軒高45ｍに、12層を割り込む目標で、各階の梁成と室内独立性の有無が検討され、中間独立柱を設けても12層を確保することになった。そして、１階には低層部を東面と南面に設け、容積率の消化を達成すると同時に、サイコロのような外形に変化と表情を与えることとした。
南東角の地下鉄四ッ橋線本町駅出入口の存在、左右対称的角地の性格などから、玄関ホールは南東の角入りとなった。外構として植栽を含む比較的大きな地下鉄出入口との一体化をはかるため、玄関ホールの天井高さには、１、２階分を当て、効率を求めるテナントビルにあって余裕のある空間とした。このことは、低層部における表情の核となると同時に、東面、南面二つのキーテナントの外観における緩衝地帯ともなり得ている。



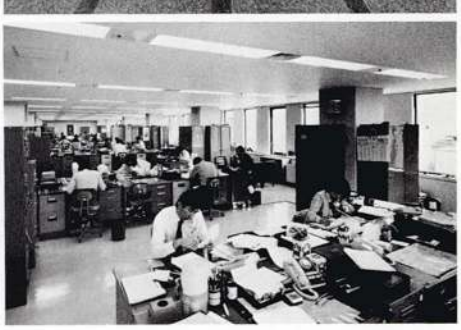
1階平面図・配置図

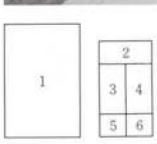












1．南東全景
2．１階アプローチ
3．外観の一部
4．玄関ホール
5．EVホール
6．執務中の事務室
撮影：アンコール

第28回工高生デザインコンクール入選作品

設計課題：「公　民　館」

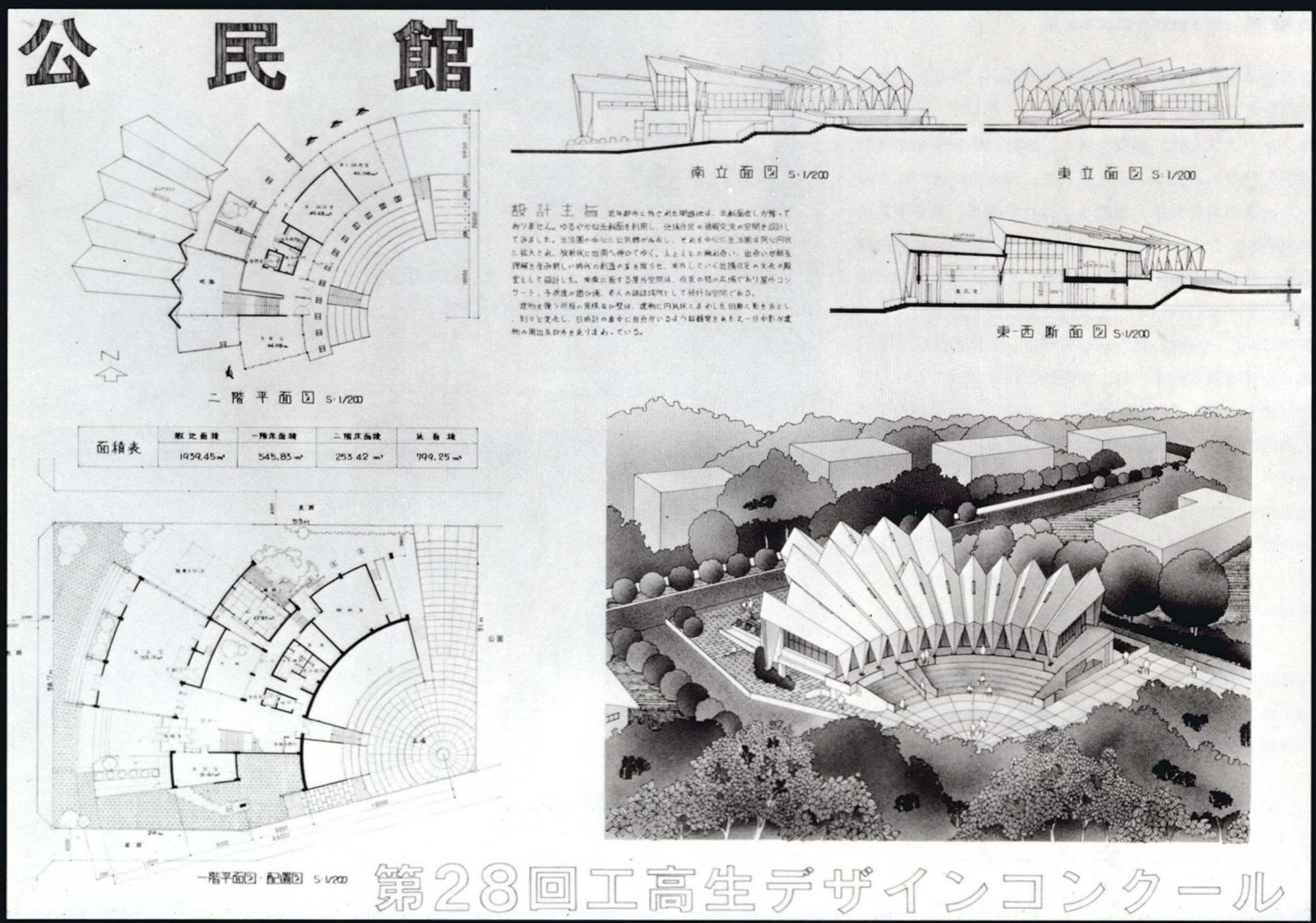
主　　催：日本建築協会

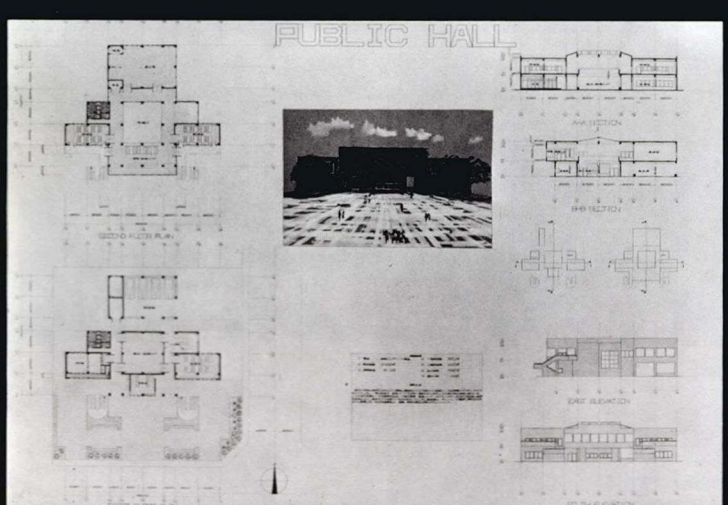
応募作品94点のうち、予備審査、第１次から第７次までの本審査を経て、入選作品10点を決定し、うち最優秀作品１点を選定した。

応募校数　15校　　**応募作品数**　94点
締 切 日　昭和57年９月20日
審 査 会　昭和57年10月９日
表 彰 式　昭和57年11月20日

審査委員長／片倉健雄
審査委員／井上宣延／大久保久能／岡田聿之／小角　亨／清水一雄／杉山茂一／高口恭行／高島義明／出口健蔵／福地　繁／藤原　博／舟橋國男／松山　新／森田孝夫／安田丑作／柳　眞也

〔掲載順不同〕　　（50音順・敬称略）





△入選・最優秀賞　石井晴彦（代表者・共同制作）（群馬県立高崎工業高等学校定時制・4年）

都市にやっと残された北斜面に敷地をとり、地域住民の自主活動を重視して情報交流の場を考えました。高低差を利用する建物配置を主眼とし、住区の理解と創造を生む文化の殿堂として設計した。外観は公共の建物なのでリズムをつけ、象徴性を持たせた。また、身体障害者に向ける心くばりを考えた。南東の屋外空間は子供の遊び場、住民の憩の広場となる。折版の屋根及び壁は円弧状にまわした回廊に影をおとし、刻々と変化し一日中影が建物の周辺を走りまわっている。

◁入選　中野賀寿正　（大阪市立都島工業高等学校・３年）

住民がいつでも気楽に利用できるよう建物を配置し、廊下でなくテラスで結びつけることを考えた。２階へも屋外から出入りできるようにした。１階中央展示と談話コーナーは通り掛りの人がふと立寄って展示物を見物し、休息できる気安さをもたせるようにした。屋外階段から２階に入った人は、ゆったりと図書に親しみ、だんらんに楽しめる雰囲気をもたせるように考えた。集会室では一寸した催物ができる。各部屋は通風と南面の採光に気をつけた。

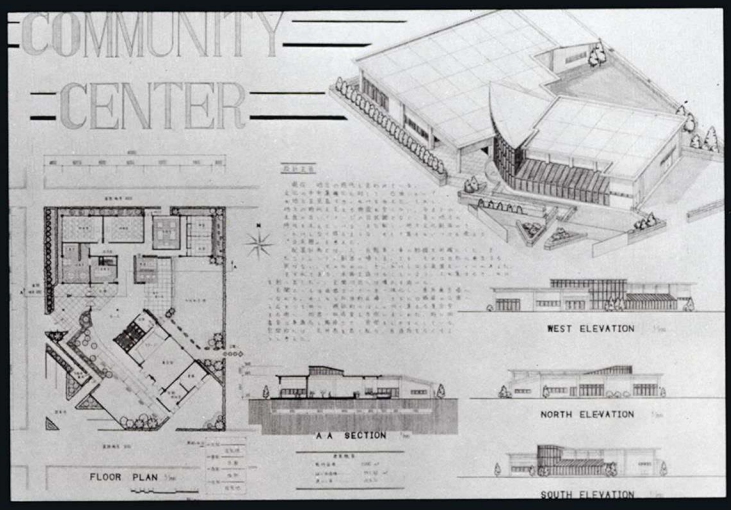
審査総評

応募作品は、審査員の眼からみれば未熟ではあるが、工高生として全力を尽して課題に取り組んだ姿が感じられるものが多く、審査にも熱がこもった。その詳しい経過は省かせていただくが、入選した10点だけでなくこれに続く数点は、内容に捨て難いものがあったり努力のあとが読みとれた。難しい課題にもかかわらず、上位の作品のレベルが高かったことを示すものといえる。わずかな差で選にもれたものにも拍手を贈りたい気持であった。

入選した作品は、大別すると次のようになる。ひとつは、街の中の公民館としてより親しみやすいものを創ろうとする意欲的なものである。そのために、空間が分節的な扱いになってまとまりが得にくくなったり、破たんを生じたものもあったが、積極的な取り組みが評価された。次に、建築的なまとまりを強く意識したものがあるが、これは形にこだわる結果になったり、機能や構造に無理を生じがちであった。しかしいちばん正統的な姿勢であり、難点を考慮しても選に入るものがいくつか出た。いまひとつは、地味ではあるが極めて忠実に取り組んだもので、この種のものは当然魅力が乏しくなるが、よくまとまったものは努力の成果が評価された。

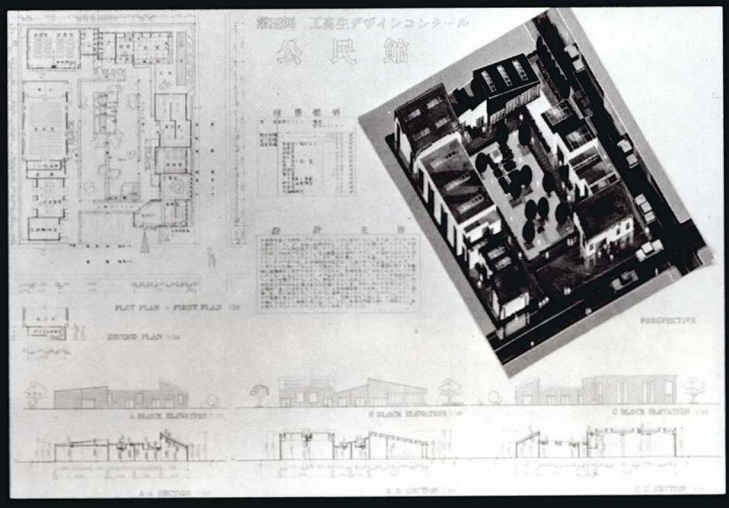
最優秀作の決定もまた僅差であった。この作品は審査の過程で終始注目されていたので、逆に問題点もよく読みとられており、たとえば所要の展示コーナーなどが図面に明示されていないことも論議された。しかし結果として、設計主旨の適切さ、その実現結果との整合、敷地の使い方と建築としてのまとまりなど、重要な観点について高い評価を得てこれを補った。条件の不備と、形がスケール的にみて不自然であることが惜しまれた。選考後にこれが定時制の2君の合作であることを知り、今後のコンクール参加への刺激にもなることが期待された。

全般にまじめな姿勢がうかがえたが、基礎的・常識的な問題の解決ができていないものが多いことと、図面表現の密度不足とその逆の過度の強調も目立った。指定条件を厳守することと共に、今後の指針にしてほしい。ひとりだけの自由応募から、学校ぐるみの参加までさまざまであったが、今年の選にもれた学校も、未参加の学校の方も、次回にはまた積極的に参加していただきたい。　（片倉健雄）



△入選　駒井智弘　（大阪府立今宮工業高等学校・2年）

現在の地方都市の活発化にこたえ、文化創造のきっかけとなり、利用しやすい公民館を考えた。配置計画では人と車の動線を明確にし、コミュニティ創造のきっかけとなる装置を考え水を使うことにし、噴水・水路を演出した。玄関ホールは談話コーナーと一体化し、そこから屋外展示・広場さらに公園へと広がりをもつようにした。機能的には、人の集りを考えて集会室を右に、図書・研修室を左側にまとめ、事務室からの管理をしやすくした。天井を高くし圧迫感をなくした。

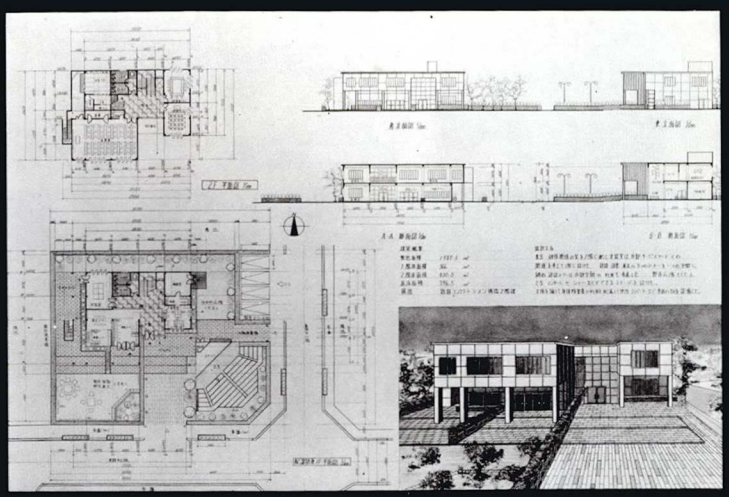


△入選　島　成彦　（神奈川県立神奈川工業高等学校・3年）

公民館は社会教育の中心的な役割を果す施設であるから、機能だけにこだわらないで〝より自由に〟ということを念願し、敷地をフルに利用して開かれた公民館を設計した。住民がどの面からでも入りやすいよう、室の配置は平面的な広がりをもつ三つのブロックとし、これをアーケードでつないだ。住民は見張られているという感じを持たずに利用できる。身体障害者も利用しやすいよう床面の段差をなくし、天井や屋根に変化をだし、中庭の植栽にも心を配った。

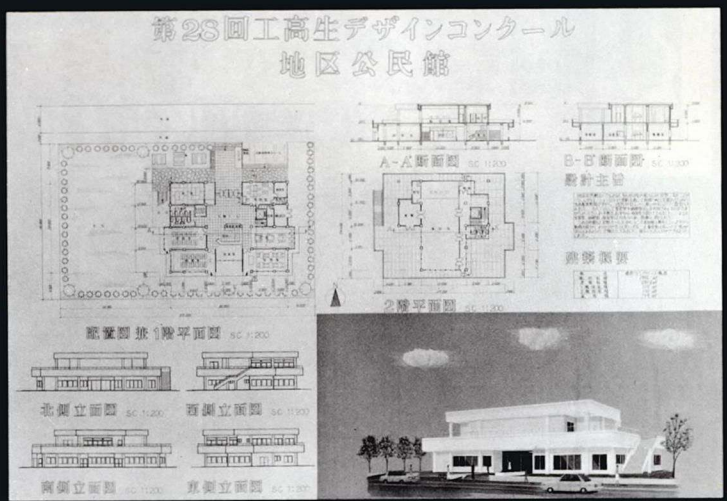
▽入選　山北忠則　（大阪府立西野田工業高等学校・3年）

公民館とは市民の教養・社交などを目的とする集会所であるということを基本とし、各室の使いやすさに重点をおいて設計した。そのため動線計画を入念に考え、集会・研修関係の室を2階に配置し、談話・図書・展示の3つのコーナーを一つの空間に納め、談話コーナーは屋外空間の利用も考慮した。野外広場は小さなコンサートなどができるステージを設けた。身体障害者の利用にも配慮しながら、全体にまとまりのある建物をと考えました。



▽入選　中里　勉　（神奈川県立神奈川工業高等学校・3年）

地区公民館は、その地域の皆さんが学習・文化・レクリエーションなどの活動を通じて、地域づくりを進めるための社会教育施設ですから、使いやすさを重点に設計した。実習室・研修室は日当りのよい南側にとり、ここを利用されるお母さん方のために子供の保育室を設けました。この公民館は玄関ホールを中心として各部屋を構成するホール型であるから、動線も短かくわかりやすいので身体障害者の方も利用しやすいと思います。集会室は2階で窓を広くとりました。



課題の主旨

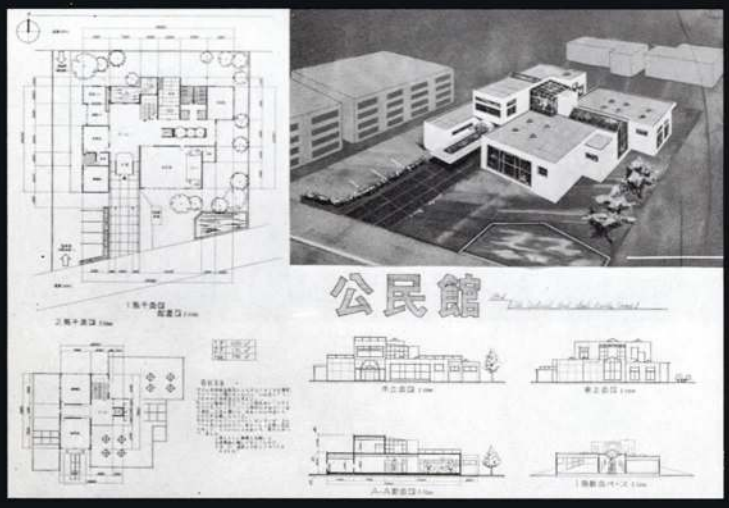
公民館は、社会教育の中心的な役割を果す施設として、その地域に密着して、実際生活に即した文化的活動を中心とする事業を行ってきた。各市町村では、小学校区又は中学校区ごとに１か所設けるのが望ましいとされているが、その標準的なものは地区公民館である。それらのうちの１つに中央公民館としての機能を持たせ、また補助的な役割を持つ分館を設ける場合も多い。

新しい公民館は、従来の基準に示されている機能だけではなく、住民の自主的な活動や余暇の充実のために、より自由に使えるように、また管理運営の面でも自由度と新鮮さが求められている。

本課題の公民館は、地方都市又は衛星都市で、その周辺部の住宅地に建つ地区公民館とする。敷地は自由に想定し、在来の公民館の機能を果すと共に、上に示したような新しい要求にも応ずるユニークな空間の提案を期待する。

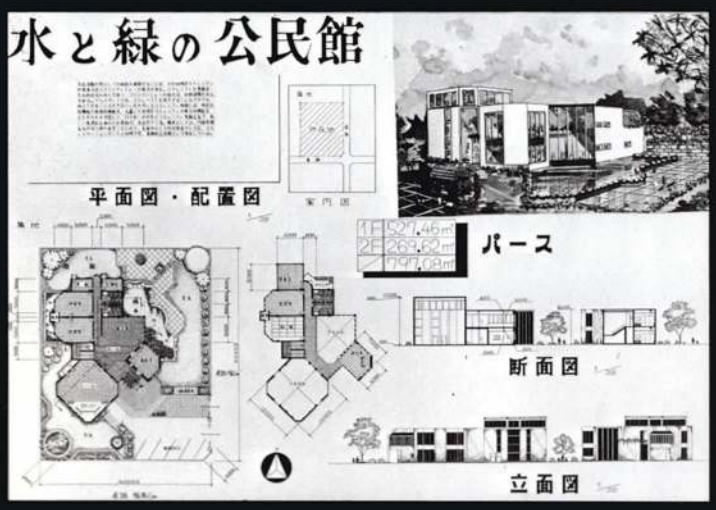
設計条件

１．敷　地：2,000㎡以内で、形状その他は自由とする。
２．建　物：延べ面積800㎡以内。平家又は２階建、構造は自由とする。
３．所要室：（室名）　（面積）
　集会室　150㎡程度（多目的に使用する）
　研修室　50㎡程度のもの２室
　和　室　20畳以上（前室その他を適宜加える）
　実習室　50㎡程度（工作など多目的に使用する）
　展示コーナー・図書コーナー・談話コーナー　適宜
　事務室　30㎡程度（湯沸、作業コーナーを含む）
　便所・倉庫・空調機械室　適宜
４．屋外所要施設：建物の機能と結びついた多目的の広場を設ける。
　自転車置場、サービスヤード、植栽などを計画する。



△入選　山田宏育　（群馬県立高崎工業高等学校・３年）

今日の経済成長にともなう障害の一つに、人間どうしの心の〝ふれあい〟の欠如がある。今回の課題で、親しみやすく、住民が利用しやすいものをと考えて設計を進めた。外観は建物全体でアピールできるようにし、平面計画では中央に緑地帯をもつ通路をとって諸室を配置し、動線を処理した。ふんだんに緑とゆとりをとり入れ内部空間におちつきをもたせることに工夫した。現在ある公民館のもつ問題は何なのかと考えていくうちに、発想がまとまってきた。

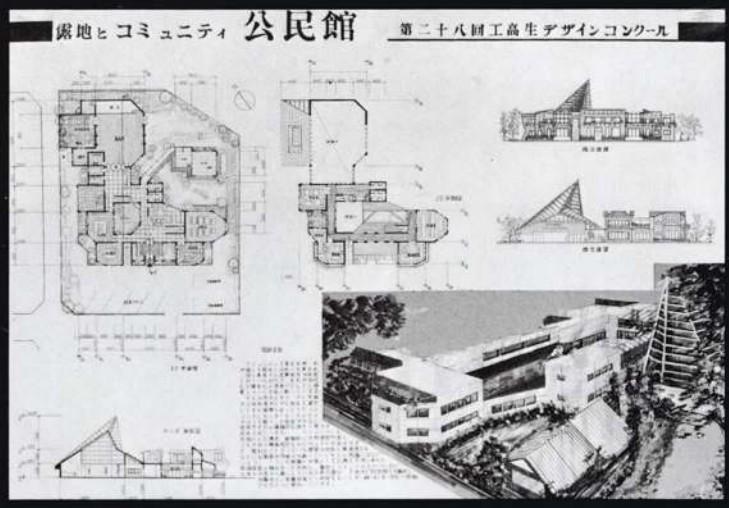


△入選　宮沢一夫　（群馬県立高崎工業高等学校・２年）

文化活動の核としての施設を建設することは、その地域のコミュニティの発展であり、コミュニケーションの拡大である。コミュニティの発展は文化的生活の向上であり、コミュニケーションの拡大は地域連帯の向上である。そのためにこの施設には、特定目的機能や情報的機能を網羅した、地域の媒介的機能をもたせたものが望ましい。構成としては、内部空間と水の上に持ち出すことにより、象徴的な空間として演出してみた。建物全体の採光計画には考慮した。

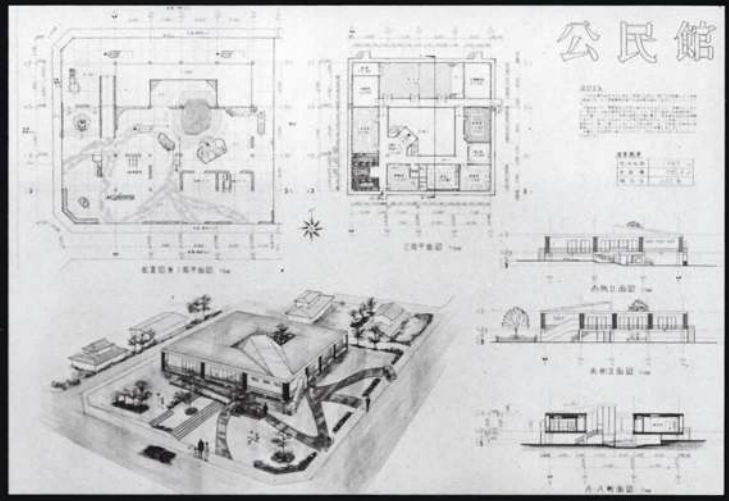
▽入選　大山　裕　（群馬県立高崎工業高等学校・２年）

近代都市化の中で崩壊してしまいそうな近隣社会のコミュニティが、住民サイドの積極的な努力で求められています。物理的内容よりも、かなり精神的なものにウェイトをおいて、使わせてもらうという住民の緊張感をとり除きたいと思います。そのために広場を中心として日本人が親しめる露路を考え、子供達が遊び夕涼みをする空間を外露路、生活のある内露路と二重露路風にし、緑・水・光・空気に接触させるよう演出してみました。



▽入選　大谷久美子　（群馬県立前橋工業高等学校・３年）

この設計にあたり目標としたことは、誰もが気軽に、自由に利用でき、かつ管理運営面の自由度が高いということでした。平面計画では、回廊式として中庭への視線と採光を考え、かつ事務室からの管理をしやすくしました。全部の部屋を２階におきましたが、身体障害者の方の利用にも心を配りました。１階部分は憩いの場としての演出を試み、池やベンチの配置で雰囲気をつくり、建物外観のイメージも地域の人々の温かい心のつながりが生れることを期待しました。



※上記入選者の感想文は、誌面の関係上委員会にて要約の上掲載しました。（文責・上野賢三／教育委員会委員）

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

178
街づくり関係法の最近の動き

わが国の街づくりに関連する法律は非常に多いが、建築基準法で、街づくり手法として直接関わりを持つものに、建築協定、地区計画、一団地の総合的設計、総合設計などの制度がある。このうち、建築協定については、57年6月号の本欄で紹介したし、一団地の総合的設計制度については府下の特定行政庁でその承認基準の見直し作業を現在進めており、結果がまとまり次第、またこの欄で紹介したいと考えている。

そこで、今回は、地区計画制度のその後の施行状況と、総合設計制度の改正についての最近の情報をお知らせすることにする。

地区計画制度

昭和56年4月25日より施行された地区計画制度は、その後各地で活用の努力が続けられているが、57年10月末までに、都市計画法の手続条例を制定したのは、**別表1**に示すように8都道府県の17市町である。また、具体的に都市計画決定までこぎつけたのは4市で、このうち、神戸市はポートアイランドの中の神戸国際港都建設計画地区と旧市街地の整備を目的とした真野地区の2ヵ所なので、全国では5地区になる。しかし、建築規制のための建築基準法に基づく建築条例を制定したのは、岩手県の盛岡駅前地区のみで、全体としては、やっとスタートについたという感じである。

府下でも、住宅・都市整備公団の土地区画整理事業区域を中心とした、枚方市の長尾地区が具体化されつつあるが、その他の地区では現在検討中のところが多く、この制度の定着にはまだまだ時間がかかりそうだ。

総合設計制度

一定規模以上の敷地内に一定規模以上の空地を確保し、総合的に良好な設計がなされた場合、一般的に制限されている容積率や斜線制限などによる高さの限度を超えて建築ができるとしたのが総合設計制度（建基法59条の2）である。

この制度は、市街地の敷地規模の拡大を促進することによって土地の有効利用を推進し、あわせて、敷地内に広く一般の利用に供される公開空地を確保しようとするもので、土地の高度利用を図ると同時に、市街地内に緑の小公園やオープンスペースを生み出すという優れた制度である。

昭和55年度末までの全国の実績は247件であるが（**別表2**参照）、大阪府下では、大阪市内が50件、その他の市町村が16件の合計66件で、全国に占める割合は26.7%と¼以上となっている。またこの制度で新たに生み出された公開空地は、大阪市内だけでも10万m²を超え、高密な都市内部の緑化や広場化などのオープンスペースの確保に大きく貢献している。

また、建設省では、この制度の積極的活用を図り、合わせて、大都市における市街地住宅の供給を促進するため、制度の改善と新制度の創設を計画している。

制度の改善は、現行総合設計制度の適用可能となる敷地規模の引き下げである。具体的には、特定行政庁が規則で定めることのできる最低敷地面積を、第1種住居専用地域では現行1,500m²を1,000m²に、第2種住居専用地域と住居地域では、現行1,000m²を500m²に引き下げる。

引き下げる理由としては、近年、都市内部では敷地規模が著しく狭小化している現状から、小さな敷地でも、この制度を活用できるようにすることによって、密集した市街地内に少しでも多くの空地を確保し、ポケットパークの整備などと合わせて、市街地の環境改善に利用しようとすることにあるようだ。

また、来年度に創設を予定しているのが、市街地住宅総合設計制度である。この制度は、大都市の既成市街地における良好な環境の形成と住宅供給の促進を図るため、一定規模の空地を確保し、環境の改善に寄与する主たる用途が住宅である建築物について、容積制限の緩和を行うもので、現行の総合設計による容積の割増率をさらに引き上げることによって、市街地住宅の供給促進を期待するものである。

（大阪府建築部建築指導課　近野正男）

別表1．地区計画制度の活用状況

(1) 手続条例（都市計画法第16条第2項）

都道府県	市町村	条例施行年月日
北海道	札幌市	56. 12. 17
	帯広市	57. 6. 21
岩手県	盛岡市	56. 12. 22
埼玉県	浦和市	57. 3. 29
	庄和町	57. 3. 20
	上里町	57. 3. 15
	大井町	57. 9. 25
	鷲宮町	57. 9. 20
	川越市	57. 10. 2
	熊谷市	57. 10. 8
東京都	世田谷区	57. 7. 1
神奈川県	横浜市	57. 10. 5
静岡県	清水市	57. 3. 15
	裾野市	57. 6. 17
	三島市	57. 9. 25
兵庫県	神戸市	57. 2. 15
大阪府	枚方市	57. 10. 2

(2) 都市計画決定の状況（都市計画法第12条の4）

都道府県	市町村	告示年月日
岩手県	盛岡市	57. 4. 1
埼玉県	浦和市	57. 10. 15
静岡県	清水市	57. 7. 7
兵庫県	神戸市（2地区）	57. 9. 24

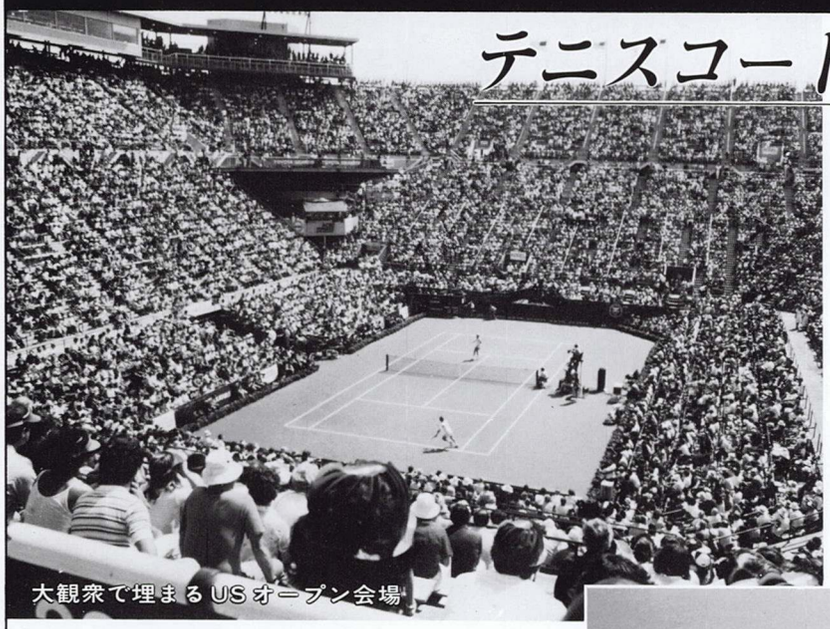
(3) 建築条例（建築基準法第68条の2）

都道府県	市町村	条例施行年月日
岩手県	盛岡市	57. 4. 1

別表2．総合設計許可実績（全国）

（昭和56年3月31日現在）

区分	緩和条項／年度	52条	55条	56条	52・55条	52・56条	55・56条	52・55・56条	合計
住宅系	47		2		1	1			4
	48	3	4	2		5			14
	49	2	4	5	1	4			16
	50	2	3	4	1	1			11
	51	5	7		2	2			16
	52	2	7	4	2	2		1	18
	53	3	5	2	2	5			17
	54	10		4	1	3			18
	55	3	1	1		3	2		10
非住宅系	47								
	48	3	2	6		11			22
	49	5	1	2		7			15
	50	1	2	3	1	4			11
	51	4	2	3		6			15
	52	6	4	3		3			16
	53	2	1	4		11			18
	54	3	2	7		3			15
	55	1	1	5		3	1		11
計	47		2		1	1			4
	48	6	6	8		16			36
	49	7	5	7	1	11			31
	50	3	5	7	2	5			22
	51	9	9	3	2	8			31
	52	8	11	7	2	5		1	34
	53	5	6	6	2	16			35
	54	13	2	11	1	6			33
	55	4	2	6		6	3		21
合計	住宅系	30	33	22	10	26	2	1	124
	非住宅系	25	15	33	1	48	1		123
	計	55	48	55	11	74	3	1	247



大観衆で埋まるUSオープン会場

テニスコートの歴史を変えた！

DecoTurf II

1978年からＵＳオープンが行われるようになったニューヨークのフラッシングメドウのUSTA（全米テニス協会）ナショナルテニスセンターのコート36面すべてに採用され、テニスコートの歴史を変えたとまでいわれる全天候型の**デコターフII**。四季を通じて快適にプレーできると、日本でも人気抜群!!

光公害をシャットアウトした！

ENVIRO LIGHT II

太陽が沈むということは、どんなにエキサイトしたゲームでも、昔はそれまでであった。しかし、いまの若者は口をそろえて抗議する。「ENVIRO LI-GHT IIがあるぞ」

光を最大限に利用、エネルギー効率を高めると同時に、低セット型で光公害を最小限にとどめるように設計!!



松蔭女子大学テニスコート

耐摩耗性で勝負する防湿床材

FLINTKOTE®

耐久性、耐摩性、またすべり抵抗性や亀裂ができても使用中に元通りになる復元性、粘着性を評価され、倉庫や工場、駐車場にも使われているだけでなく、不燃性を買われてガス工場や爆薬工場の床にも使用されています。

さらに、完全無毒無臭であるため、各種食品工場、貯蔵庫にも進出!!



神戸・名谷「須磨パティオ」駐車場

株式会社 シェル石油大阪発売所 建材施設部門

本　社　〒530 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル9階）　☎(06)343−0441
大阪本部　〒552 大阪市港区南市岡1丁目11−11　☎(06)584−0681
東　京　〒104 東京都中央区京橋2丁目9番2号（等1ぬり彦ビル）　☎(03)562−4676
福　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴1丁目1番5号（舞鶴ビル）　☎(092)721−6640

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　№96》

特殊加工によるコンクリート舗装の表面化粧仕上げ工法「ボーマナイトプロセス」

市原産業株式会社　（関西総発売並施工権者）
本　　社　尼崎市南塚口町３丁目29番30号　TEL（06）426－8008
東京営業所　東京都中央区銀座3丁目4－1大倉別館　TEL（03）562－0757

■ はじめに

高度成長下における機能中心の街づくりでアスファルト・ジャングルと化した都市に、緑と自然を取りもどし、人間性を優先させた街づくりが成されようとしている。

“ヨーロッパの街角に見受けられる落着いた雰囲気の、赤レンガや石畳の歩道や広場”、“歩くのが楽しくなるようなカラフルでモダンな、アメリカのショッピングプラザ”

これらは、従来の潤いのないアスファルトや灰色のコンクリート舗装では望めない。

ここに紹介するボーマナイトプロセスは、アメリカで開発されたコンクリート舗装の表面仕上げの特許工法である。これは本来コンクリートが持つ構造体としての堅牢性を損なうことなく、灰色のコンクリート路面を、カラフルなタイル状、アンティックな雰囲気のレンガ敷、自然と調和した石畳、などの美しい模様を形づくることで、周囲の環境と調和した街づくりを可能にしたものである。

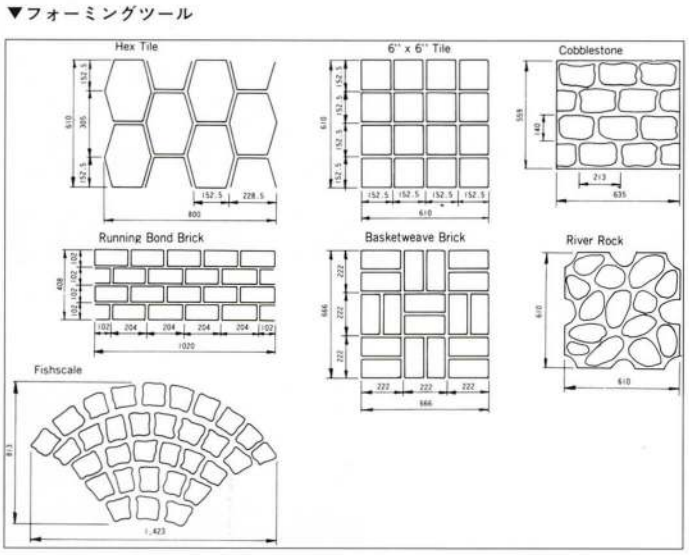
すでに、アメリカやヨーロッパでは、1956年以来数多くの実績を持つコンクリート舗装の一般的な仕上げ工法として定着しており、わが国においても1978年の技術導入以来、公園、学校、マンション、その他ビルの外構やショッピングモールなどに巾広く採用されている。

■ ボーマナイトプロセスの主な特長

１）鮮明で豊富なカラーと独創的なデザイン

標準在庫カラー12色、標準一般カラー20色の他、注文により30色以上におよぶ色数を有し、11種類のフォーミングツール（現在、わが国で保有している型押し道具）との組み合わせにより、220パターン（20色×11型）以上の自由なデザインが可能である。

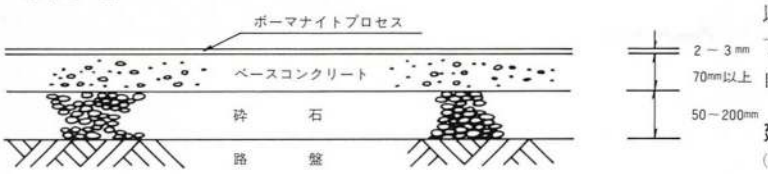
▼フォーミングツール



２）抜群の堅牢性

ボーマナイトプロセスを施した舗装路面はコンクリート版そのものであり、ベースコンクリートの厚さと配筋を考慮することにより、一般車輌はもとより重量車輌の乗り入れも可能である。

▼標準施工図



３）秀れた耐摩耗性

ボーマナイトのカラーハードナーは下記の成分で構成されており、レディーミクストコンクリートと一体硬化することにより、打ち放しコンクリート以上の秀れた耐摩耗性が得られる。

▼カラーハードナーの主成分

普通セメントの成分	砂の成分	顔料の成分	添加剤
1.珪酸カルシウム	1.92～98%のシリカ	1.金属性酸化物	1.活性シリカ
2.アルミネート	2.酸化マグネシウム		2.脂肪酸の金属性食塩
3.フェライト 4.酸化マグネシウム 5.過酸化イオウ	3.過酸化鉄		3.アルカリ性酸化物

▼JIS A 1451による摩耗試験の結果

試料番号	摩耗による厚さの減少量測定値(mm)		
	最大値	最小値	平均値
I	0.64	0.05	0.20
II	0.80	0.04	0.34
III	0.39	0.07	0.28
全体の平均値	－	－	0.27

４）秀れた施工性と経済性

ボーマナイトプロセスは、現場で直接レディーミクストコンクリートの投入と同時に順次仕上げていく工法であり、工期が短縮され、工場製品の張り物と異なり、カットロスによる喰い込みがなく経済的である。

■ ボーマナイトの施工手順










①コンクリートの打設

１回当たり、30m²～50m²位の面積でコンクリートを打設する。仕上がりを美しくするため、コンクリートは強度 210kg ℄／cm² 以上、スランプ６cm～15cmのものを気候条件により選定する。

②タッピング

模様を美しく仕上げるため、コンクリートを荒均しした後、タンパーでたたいて骨材を沈め、表面にアマを浮かせる。

③カラーハードナーの散布

木ゴテで表面を均した後、カラーハードナーをm²当り約３kgの割合で全体に均一になるように、２度に分けて散布する。

④木ゴテ仕上げ

木ゴテを用いて、カラーハードナーがコンクリートに馴染むまで均す。

⑤金ゴテ仕上げ

最後に金ゴテを用いて、表面をキレイな平滑面に仕上げる。

⑥フォーミングツールで型押し

模様をふっくらと美しく仕上げるため、仕上げ面をプラスチックシートで覆い、その上からボーマナイトフォーミングツールで型押しをする。

⑦刷毛引き

スリップ防止の効果を高めるため、表面を柔かい刷毛でサッと刷毛引きする。

⑧カラーワックスの散布

型押し作業終了後、直ぐにプラスチックシートを外し、その日の全作業が終る頃、表面の乾燥を押え、コンクリートの発華現象を防ぐ目的で、噴霧機またはローラーでカラーワックスを塗布する。

以上の作業でボーマナイトプロセスの施工は完了である。あとは通常のコンクリートと同様の自然養生を行う。

建材委員／長橋英彦
（㈱日本建築総合試験所材料試験室主査）



日本軽金属はビル開口部のあらゆる設計条件にお応えしています。

国内に限らず海外においても数多くの実績と高い信頼を得ている日本軽金属のビル用アルミ建材。耐風圧強度・水密性・気密性・遮音性、そして安全性や意匠性など、様々な設計条件を考えながら市場のニーズにお応えしています。

アルミの一貫総合メーカーである日本軽金属――。よりよい人間環境をめざし、新しい時代の「アルミ建材製品」づくりに努力してまいります。



日本軽金属株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－1（大阪興銀ビル）
TEL 06(202)6091　〒541

取扱い商品　●カーテンウォール●ビル用サッシ（特殊機能サッシ，断熱サッシ，防音サッシ，一般サッシ）●スチール製防火ドア●集合住宅用装飾防火ドア●学校間仕切●ショップフロント●サンルーム●アルアーチ●改装工法●バルコニー・手摺●その他

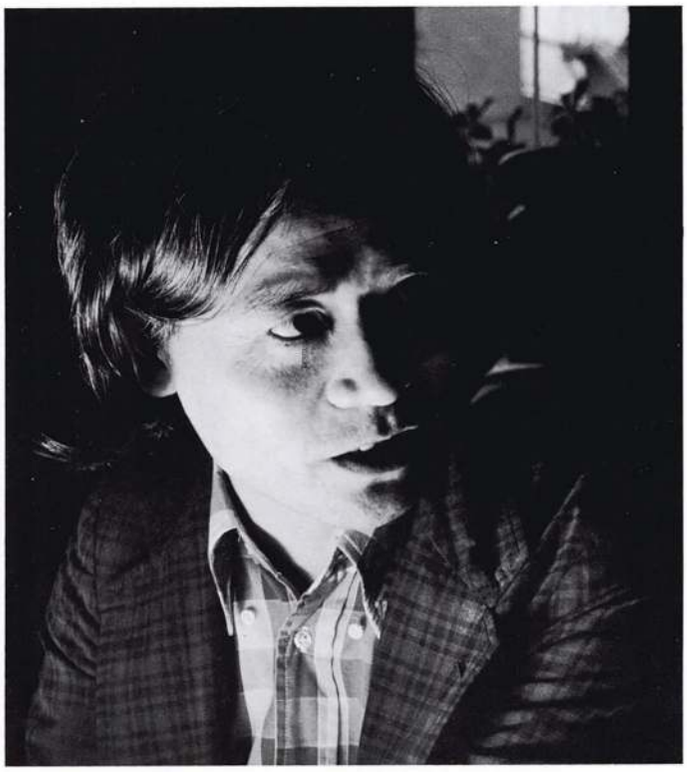
渡辺豊和

渡辺豊和建築工房

聞き手・編集幹事　加藤　力（京都工芸繊維大学）
プロフィール撮影　島　修一（STUDIO A・T）

略　歴

生年月日	昭和13年8月1日生(44歳)
出身地	秋田県仙北郡角館町
最終学歴	福井大学工学部建築学科 昭和36年卒業
職場	渡辺豊和建築工房主宰
事務所在地	〒550 大阪市西区南堀江 3－11－21 田賀ビル
教職	京都芸術短期大学教授
代表作品	吉岡邸（大阪府茨木市西中条町）
好きな空間・建築物	日光東照宮、パルテノン





吉岡邸

既存からの放縦

側から見ればどこか死に急ぐかのような、すさまじいエネルギーを燃やしつくして、活動の幅を多彩に広げ建築家の領域を拡大している。この20年余り、作品活動はもとより建築ジャーナリズムに登場した論文・総説の類はおびただしく数知れない。自ずから「建築美」なる雑誌を出版したり、アジア建築研究会なる会も主宰している。そんな活動の他にも福井工業大学、京都芸術短期大学で建築教育にも執念を燃やしている。その忙がしさの中をぬって「中之島」、「生魂神社」、そして「三輪山」などをテーマに見る人の心を何かしら荘大なロマンに駆立てる、いくつかの提言を社会に向かって打ち放っている。並み大抵の精神力や想像性ではとても立ち打ちできぬほどの重く、堅い一本の筋鉄入りが感じられる。また、体制への安住や既成の概念への接近さえも反射的に意味嫌う、鋭い嗅覚を持ち合せ、頑なに自己を押し通しているところもある。

東北人の情念とでもいおうか、生まれ育ったのは秋田の角館である。「英法学者であった父が、若い頃東京で東北訛りをバカにされ、東大の悪口を聞いて育った」と生まれながらの反骨、反背の精神を語る。結果としてこうなったというが、今日に至るまで無意識のうちに東京という中央の地に背を向けてきた気概がある。「大阪は天領の地、それなのに庶民の商売の力で幕府に対抗してきた。今でもその合理性は変わらず、例えば、人の言葉に対しても何もいわず他国者に保護的」とその語り口調に東北のなごりを折りまぜながら早口で語る。

物事の真偽を嗅ぎ分ける鋭敏な感触を持っていて、小気味の良いほどに、人にも、建物にも、そして街にも容赦のない論評を加えていく。例えば「一般には評価の高い桂離宮などはあまりに明快すぎてつまらない。京都の建築家は清水寺を馬鹿にするが、あれが建築でなくて何が建築ですか」、そして、また「日光東照宮があまりに不当な評価しかされていない」と悲憤する。その一方でローマのパルテノンについても「すごい感銘を受けたが結局は偽物」と切りつける。そんな鋭さが些か〝人に誤解を与える〟が、単に発想の豊かさだけで切りつけるのではない。その裏に高度にソフィストケートされた用意周到な論理を準備していて、その論評が常に〝文明に対する批判〟となっているのが特色である。さて、インタヴューの主題は「住宅は劇場である」の名言から始まった。「大阪は芝居の街、芝居が隅々までいき渡り、会話も劇的で、街全体に劇場のような構成があった」、「道頓堀には芝居の書割の雰囲気が漂っていた」と大阪の街のもつ劇性を例に上げる。「黒門市場が好きで、そこにあるバラックにも似た、即物的な簡素な建物に魅かれます。市場は劇的空間の代表的なもの」と語る。ところが「近代化とはそうしたバラックを打ち壊すことであり、次第に我々の生活の中から劇的なものが見失なわれていって、住みにくくなっていく」と今日の建築や都市の中での〝劇的な空間〟なるものの喪失を嘆く。「建築とは本来バラック造りであるべきで書割りで良い」と劇場の街、大阪の復活を説く。

「住宅も家族、それぞれが人生を演ずるための舞台、すなわち劇場」という。「都市に至っても、その表情は能面のようにのっぺりとしたものでなく、歌舞伎のクマどりのようにメリハリのきいたものが大切」と街の表層に対しても演劇に喩える。さらに「ものより人間が好き、とくに電車の中での人の会話を聞くのが好き、そんな会話が生きずくような劇性のある建築造り、街造りが今何よりも必要」と建築劇場論を展開する。

みずからの仕事でも「住宅を設計しているつもりは毛頭なく、劇場を建てているという意識が強い」それも「小さな住居しかやらないので、街に対する影響力はほんの僅かではあるが、それゆえに街としては劇的な街であって欲しいと思い、徹底的にエキセントリックにやります」とみずからの建築の寄って立つ基盤を解説する。そして、「そんなテーゼの前には建築のディテールなど問題にはなりません」と激しい。さらに「僕はナショナリスト。日本のものはそのままにしておきたい。西洋のものは結局物真似にすぎないのだから、徹底的に偽物の虚構を造り上げる。それが近代合理主義の見落しているフォルムの復権につながる」と日本のポストモダニズムの先駆者たらんことを自認する。

「庶民の自作自演の街、劇性のある街、大阪も最近ではスケールの大きな旦那衆も居なくなった上に、人情味も薄くなり、町人気迫もなくなって、文化の底も浅くなった」と手きびしい。自ずからを「職人、芸人」と規定はするが、その旺盛な好奇心と切れ味の良い発想を縦横無尽に酷使して、はてしなく建築の領分を拡大していく。その内容は単に建築家の域には止どまらず、芸術家、思想家といったところまで広がっていく感がある。この思想の深さを支えているのは底知れぬ想像力の豊饒さのためなのだろうか。

〔次号の登場者は三輪泰司氏（地域計画建築研究所）〕

日本建築協会企画　　建築技術選書 25

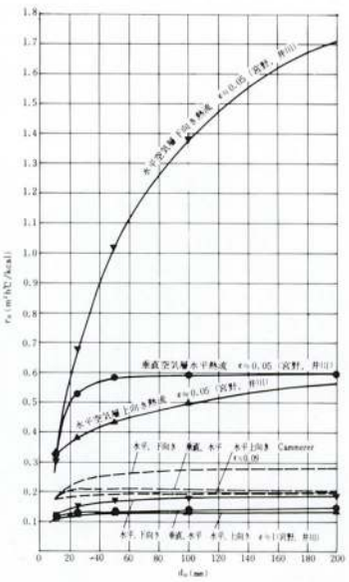
建物の断熱と防湿

名古屋工業大学教授 **宮野秋彦著**

建物の省エネと保全のための手引き

〈第1編　断熱編〉　1建物の断熱　エネルギー消費と断熱　省エネルギー化の手法‥‥　2建築材料の熱特性　伝熱特性値　伝熱特性値の測定と表示方法　建築材料の断熱性能　3建築用断熱材料　断熱材料の種類　繊維断熱材　気泡断熱材　その他の断熱材　4空気層・通気層の伝熱特性　構造体内の中空層　空気層の伝熱特性　通気層の伝熱特性　5構造体の断熱特性　構造体の熱貫流特性　開口部の熱貫流特性　しゃへい係数について　6断熱の考え方　快適な室内環境とは　断熱工法　断熱の要点と評価

〈第2編　防湿編〉　1建物と湿気　湿気による被害とその原因　結露はなぜ起きるか　いつどこに起きるか　2建築材料の湿気特性　材料の吸放湿特性と調湿作用　透湿特性の測定と表示方法　3建築用防湿材料　防湿材料の種類　シート状材料　塗装材料　シール材料　吹付け材料　4湿度境界層・中空層の透湿特性　湿度境界層の湿度分布と透湿特性　空気層内の湿度分布と透湿特性　5すき間・開口部の透湿特性　すきまの透湿　開口部の透湿　6結露防止の考え方　結露を防ぐには‥‥‥‥ 他失敗例等.

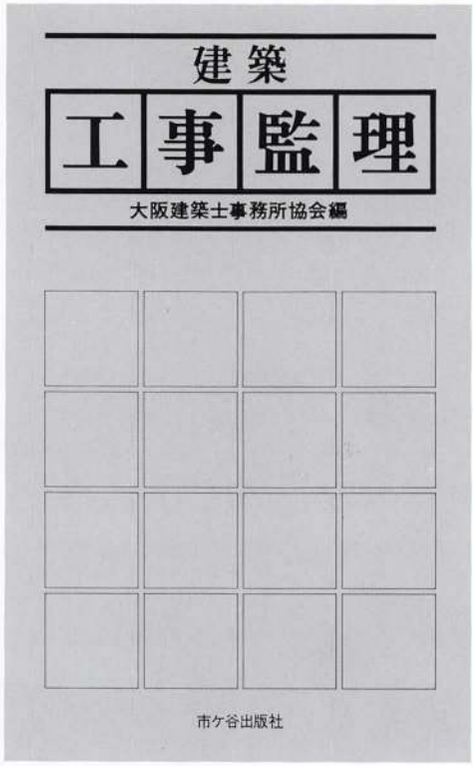


A5・176頁・定価1400円

〈目録進呈〉

学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

新刊　書店にて好評発売中！



斯界の第一人者共同執筆による決定版！

◆監理業務内容の標準化を提言
建設省告示・四会連合協定工事請負契約約款の大改正を基準にする

◆監理者の役割を体系的，かつ具体的に明示
新しい時代の工事監理はどうあるべきか

定価 4,300 円（B5判上製 288ページ）
解説用収録写真 148枚・図版 177枚

内容見本送呈

*

社団法人 大阪建築士事務所協会「工事監理」編集委員会

編集委員長：中原　茂　株式会社 中原茂建築事務所　代表取締役

編集委員：（五十音順）

池田武彦　株式会社 東畑建築事務所　取締役・大阪事務所次長兼監理部長
後藤吉康　株式会社 大林組　本店建築設計管理部次長
竹本丈太朗　株式会社 安井建築設計事務所　大阪事務所工事管理部長
中村　堯　株式会社 日建設計　大阪本社監理部長
長谷部朔郎　株式会社 日建設計　理事・大阪本社副代表兼監理部長
湊　成次　株式会社 竹中工務店　大阪本店設計部副部長（工事監理担当）
宮脇　毅　株式会社 大林組　本店設備部長

市ケ谷出版社　(102) 東京都千代田区五番町5 ／電話 東京(03)265-3711(代)

読者の頁

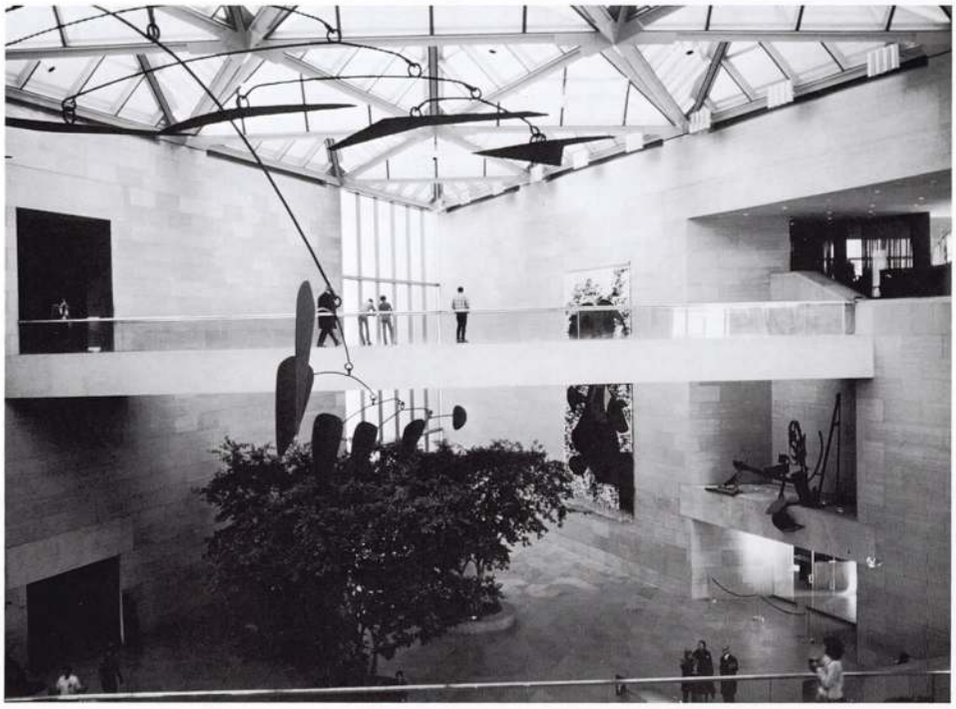
〝私のらくがき〟募集

○タイトルを適当におつけください。またスケッチ場所などを含めて200字程度のコメントをつけて下さい。
○サイズは150×200ミリ程度の白紙に、できるだけ黒インキで書いたものとします。（ハガキ大でも差しつかえありません。）
○掲載分には規定の稿料をさしあげます。原則としてスケッチの原稿の返却はいたしませんが、返却希望の場合はその旨特記下さい。
○氏名、住所、職業、年齢を明記して㈱日本建築協会編集部宛お送り下さい。

アメリカ建築巡礼記　その1
『ワシントンD.Cとナショナルギャラリー東館』

小竹達也／昭和設計





ワシントンを訪れたのは一昨年の正月頃だったと思う。寒い日で日中でも0°F（約−18℃）近かったと憶えている。一泊すると翌朝直ぐに当時雑誌を賑わせていたI.M.Peiのナショナルギャラリー東館に向った。ワシントンD.C.の中心部は大きく分けてモールと呼ばれるキャピトルからリンカーンメモリアルを結ぶ東西軸に沿って多くの連邦の建物の並ぶ一帯と、その北部に位置するダウンタウンより成る地区である。ダウンタウンもアメリカ屈指の大都市らしく大きなビルなどが建ち並んでいるが、ここでの観光の中心はなんといってもモール一帯に連立するアメリカの代表的な政治的、文化的機関の建物である。無論ナショナルギャラリーもそのひとつであるが、元々はアメリカらしく個人のコレクションの寄贈より発展してきたものである。その本館はネオクラシックな建築であるのに対し、街路を挟んで増設された東館は鋭いほどに現代性を表わしている。丁度キャピトルヒルに向ってペンシルベニア・アベニューを歩いて行くとその外観が議事堂の建物を消点とする視界の中におさまって、互いに対比し存在を高め合っているようである。流石に既存のコンテクストをよく考えた上でのデザインだと思わせる。そしてその内部は、巨大なスペースフレームを通してふり注ぐスカイライトの中を真赤に塗られたコールダーのフローティング・モビールが旋回していく吹抜空間である。ある雑誌の評論によると[1]この空間の印象を表わして一言するならば「exhilaration[2]」ということになるらしい。

そこで考えてみるにアメリカ文化というものは、この「exhilaration」という価値観のためにこの大がかりな空間が創造されることを許容し、またそれが存在していることを是認していると言えないだろうか。もし言えるとすれば、やはりアメリカ文化というものは、羨むべきスケールの大きさだと嘆ぜざるを得ない…と、思うのだが。

1) A.I.A. Journal／Mid-May. 1979. by Donald Canty.
2) exhilaration——㊀はしゃぎ気分、陽気（三省堂・英和辞典）

書評：「建築工事監理」（大阪建築士事務所協会編）を読んで

山地英雄／㈱大阪府建設監理協会理事長

建築の工事監理業務が、「建築生産の全過程の中で、その成果の質を左右する重要な業務であるにもかかわらず、それに対する考え方は各建築士事務所」によって差異があるのは勿論のこと、「その組織の規模や性格によっても異なっており、さらにまた各個人レベルにおいても、」この監理業務の認識については大きなばらつきがあるのが実情です。

私共の組織は、大阪府の建築施設の建設に関する監理業務を主要な事業内容としている「財団法人」ですが、その設立主旨は、自治法第234条の2に基づきまして、「普通地方団体が工事」について請負契約を締結した場合、「契約が適正な履行を確保するため」の必要な監督または検査を行うための協会として発足したものです。

この場合も原則としてはその「当該地方公共団体」の職員がこれに当るべきですが、最近とくに公共建築物の建設に当っては、それに伴う調整事務や行政的課題の解決がまずその建設の前提として必要で、しかもそれは住民の多様な行政需要に対応するため、年々複雑化してきております。

一方、行政機構の簡素化は強く進行中ですので、府の建築施設の建設に当っての監理業務については、府の機構に組み入れられた当協会が、これを効率的かつ公平に執行することによって、府の営繕行政の円滑な推進が図られることになったわけです。

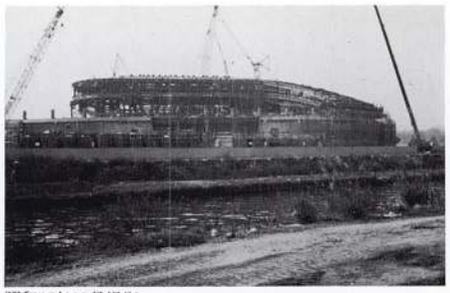
したがいまして、当協会の「工事監理」業務は余り一般的な範疇には入らないかも知れません。しかし、私がこの組織の運営に当ることになってから、常に頭を悩ませていますのが、監理業務の一般的なルール化でした。

この大阪建築士事務所協会編の「建築工事監理」から、このような私共の課題に大きなヒントを与えて頂きました。とくにその内容はさすがに大阪建築士事務所協会のお世話をされている優秀な委員の方々が、その各社のノーハウを持ち寄られて、一年有余を費して編集に当られただけに、その視野が遠大であり、その根拠も明快で、しかも細部のディティルが正確ですので、私共も充分参考にさして頂いて、今後の府の建築施設の質の向上に資していきたいと考えています。

ただ、工事監理者の位置づけとして、2頁では「建築主の立場に立って、建築主から委託を受けてその代行者として」「建築主の利害を直接代行するものである」としながら、12頁では「建築主、設計者、施工者の三者と等距離」を保つ公正さを指摘していますが、このあたりが実際の工事の監理業務にあたっては、その毎日の解決を迫られる問題点の一つのポイントになろうかと思います。

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。



昭和57年12月撮影

大阪城国際文化スポーツホール（仮称）　昭和58年8月完工、10月オープン

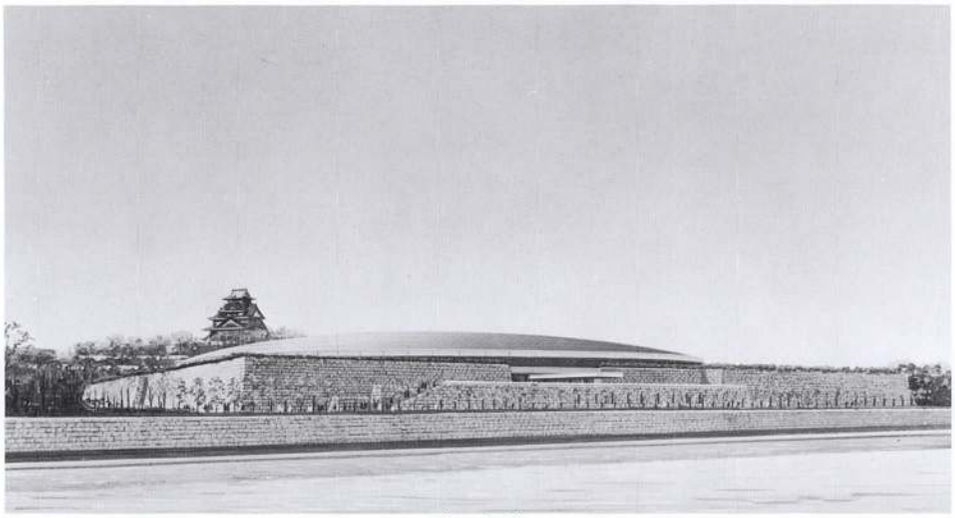
当ホールは昭和57年４月着工以来約９ヵ月を経た時点で、大成建設・松村組共同企業体の施工により大屋根鉄骨の架構も大略完了し、昭和58年８月完工を目指して工事は順調に進捗している。

当ホールは昭和58年10月に開始される「大阪21世紀計画」の行事の一つである「大阪築城400年まつり」のメーン会場として、大阪市および大阪市開発公社により企画され、日建設計が設計監理を担当している。

建設地の大阪城公園北東部は、風致地区および史跡指定地区内であることを考慮し、延30,000㎡を超える大規模建築を半地下に埋め、周辺には高さ約10ｍの石垣を配する意匠となっている。さらに大阪城天守閣の景観に合致するように、約10,000㎡の長円形のドーム屋根は銅板葺き緑青仕上とし、かつ最高部高も本丸石垣より低く抑えるべく計画がなされている。

ホールは音楽、芸能、式典、スポーツ等幅広い分野の催物に使用できる多目的ホールの内容を持ち、長辺125ｍ、短辺90ｍの観客席はNC30の室内騒音レベルを維持できるように、建築、設備ともハイグレードな仕様となっている。

最大収容人員は16,000人弱および、東京の日本武道館の同約15,000人をその規模においても凌ぎ、練習室、更衣室、楽屋、会議室、レストラン等付属施設も充実した内容となっている。



パース写真

設備関係の内、舞台音響設備はあらゆる演奏は電気音響方式を採る計画となっており、ＮＨＫ技術研究所の指導のもとに、残響付加や遅延ができる内容となっている。舞台機構設備は３種類の舞台設営が可能な吊物装置を内蔵しており、オーディトリウム並みの舞台調光照明設備と相俟って、自由な演出が可能な設計となっている。

一方21世紀計画が始まれば、多くの人がこのホールを訪れるため、国鉄大阪環状線の森の宮―京橋駅間に「(仮称)大阪城公園」駅が新設されることとなった。この新駅を含め、この建物に関係する外構整備工事も、10月オープンまでに完了する予定である。

当ホールが完成した時には、このたび設立された「財団法人大阪城ホール」が管理運営に当ることとなっている。

神戸外国人居留地の模型完成

明治30年頃、縮尺200分の1

慶応３年12月（1868）の神戸開港から明治中期まで神戸市中央区にあった外国人居留地の模型が完成し、昭和57年11月３日にオープンした神戸市立博物館（中央区京町24）に展示されている。〝異人館博士〟の坂本勝比古・千葉大工学部教授が設計を担当、居留地内の建物を一つ一つ再現したもので、精巧な居留地模型の製作は全国でも初めてという。

居留地は、現在の市役所裏―大丸北通り―鯉川筋―国道２号線に囲まれた25.6ヘクタール。アメリカなど５ヵ国と交わされた修好通商条約に基づき、英国人技師が126区画に区割り、外国人貿易商らに売り渡された。

今も残っているのは、ノザワ本社の木造異人館（中央区浪花町）だけだが、当時はしゃれた異人館が並び、外国人の自治制が敷かれた。明治32年に土地は返還された。

模型は明治30年ごろの模様を示し、縮尺は200分の１。3.5メートル四方の中に348棟の建物が並んでいる。その$\frac{1}{3}$は主屋（おもや）で$\frac{2}{3}$は倉庫その他である。神戸市から依頼を受けた坂本教授は、地図や銅版画、写真など現存する資料をもとに設計図をひき、製作には約３千万円かかった。



完成した居留地模型

当時の面影がしのばれ、博物館では１階の「開港をめぐって」というテーマの中に展示した。居留地は神戸のほか横浜、長崎、大阪、東京など７ヵ所にあったが、模型は横浜に簡単なものがあるだけという。

また、神戸市は中央区諏訪山町５の異人館「トムセン邸」の寄贈を受けていたが、解体後、玄関と居間、食堂を博物館１階に再現した。家具類もそのまま備えられている。（昭和57年10月10日神戸新聞より）

第14回中部建築賞

昭和57年度（第14回）中部建築賞の入賞作および入選作が決まったので、以下にその作品を紹介する。応募作品は総数87点、うち一般部門69点、住宅部門18点であった。このうち一般部門の入賞数は10点、入選数は９点であった。住宅部門の入選数は２点であった。

入賞作品 10点（一般部門）

①設計：竹中工務店名古屋　施工：竹中工務店
②設計：鹿島建設名古屋　施工：鹿島建設
③設計：岬建築事務所　施工：間組・市川工務店
④設計：石本建築事務所　施工：前田建設工業
⑤設計：山本勝建築設計室　施工：大林組
⑥設計：増沢建築設計事務所　施工：住友建設・三井建設・大岡建設工業
⑦設計：日建設計東京本社　施工：竹中工務店・五光建設
⑧設計：佐藤武夫設計事務所　施工　佐藤工業・砺波工業
⑨設計：日建設計　施工：熊谷組・飛島建設・前田建設工業
⑩設計：富家建築事務所　施工：大成建設



③犬山中央病院　犬山市大字五郎丸



⑦静岡産業館　静岡市曲金３丁目



④知北斎場　大府市吉田町



⑧砺波市文化会館　砺波市花園



⑤加賀屋「能登渚亭」　七尾市和倉町



⑨福井県庁舎　福井市大手３丁目



①ホテルコンコルド浜松
浜松市元城町



②皇学館大学100周年記念講堂
伊勢市神田久志本

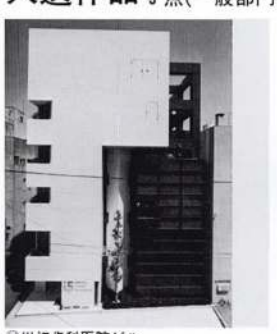


⑥沼津市民文化センター　沼津市御幸町



⑩三重県立美術館　津市大谷町地内

入選作品 9点(一般部門)



⑪川畑歯科医院ビル



⑬知立市福祉体育館



⑯垂井町文化会館



⑱草津市総合体育館



⑭信州新町美術館



⑰福井県立若狭歴史民俗資料館



⑲東員町庁舎および保健福祉センター



⑫御菓子司 "香梅"



⑮津市庁舎

住宅部門
入選作品 2 点

⑳設計：田中謙次建築研究所
㉑設計：竹中工務店



⑳滝ノ谷の家



㉑櫻井邸

建築の原形を求めて〈II〉

ペルセポリス幻想

狩野忠正

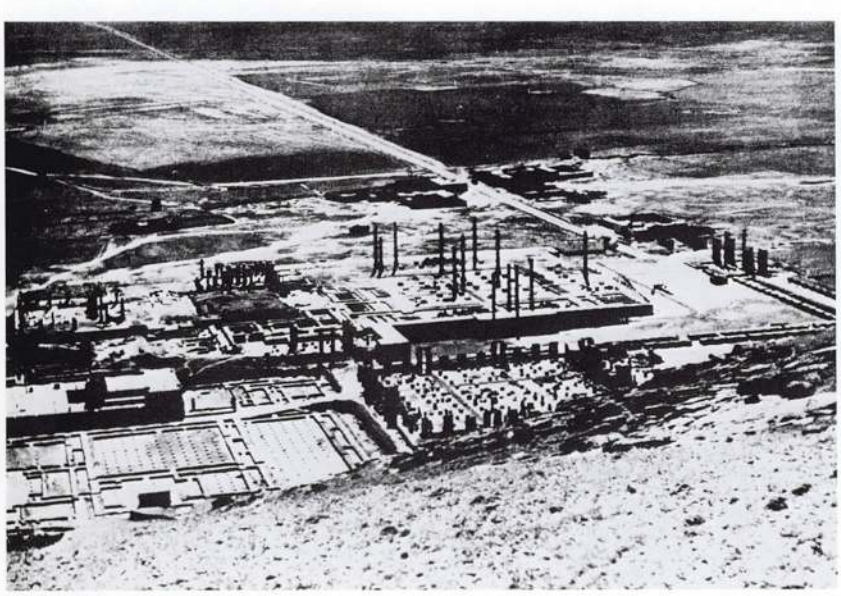
5年程前、平山郁夫展でみたペルセポリス炎上の作品は強い印象となって私の中に残った。炎の渦巻くペルセポリスは、あたかも2千5百年の昔から延々と燃えつづけているようであり、その炎の中に柱列と壁面彫刻の輪郭がはっきりと浮かび上っている。テーマから押し寄せてくる感動は考えることを全く拒否するかのようであった。炎上を描いたこの一枚の絵が、ペルセポリス傾斜へのタネ火となった。以来、折にふれてペルセポリスは私の中に定着を重ね、もはや内なる「自分の時間」となっている。今回、デルフォイの丘に続いて、訪れたかった場所であるがイラン政変により入国が実現できず、「自分の空間」となるまでに至っていない。しかし、私にとって、建築の原形としての美に想いを至すとき、この内なるペルセポリスを抜きにしては考えられない。今はただ、未だ見ぬ故に、より内面に向おうとする精神の高みによってのみ、ペルセポリスを見ようと思う。

イランの古代遺跡の多くは砂に埋っている。砂を払いのける力をなくしてしまった都市は砂漠の中にあっては一瞬にして大自然の景色の一部に組み込まれてしまった。人々は砂塵を払いのけるために必死になって、自然に対した。生活条件のハンデキャップをはねかえす力が高度の文明を生むこととなった。都市の存続は自然の埃を払いのける力のバランスによって成り立っているように思われる。

紀元前3千年メソポタミヤ文明は砂漠の中に形成された。生活するために運河を計画し、文字を発明し、レンガを作り、都市を必要とするようになった。都市では世界を論じ、宗教を生むこととなる。メソポタミヤ文明が人類の起点となるのは始めに自然を制御する努力を行ったからであろう。文明の成立する過程には民族の交流と衝突がある。メソポタミヤ文明は北方のセム族と南方のシュメール族の会合により創り出された。それは農耕に適しない北の草原地帯の文化と、オアシスを利用して生活を行っていた文化との融合であった。つまり遊牧民族と農耕民族の交流であり、北方アッシリヤの剛と南方シュメールの柔との混合である。紀元前、北方遊牧民族は高度の文化を求めて南下現象を繰り返した。民族の合理性を求めての移動、文化への憧れ、交流への情熱は都市を芸術へと高めようとする欲求への各人における同意の表われといえる。

紀元前5百年ペルシャの全盛期に地中海からインダス河までを支配したダリウス大王は、平和主義によって統一を計ることを考えペルセポリスを計画した。民族の力をすべて動員したペルセポリス建設は、メソポタミヤ文明の芸術の集合として西アジアで最も美しい都市として完成したのである。その結果そこにはギリシャ宮殿に見られる戦勝の彫刻もなく、平和な都市の発想によってそのプロポーションは威圧感を与えないものとなった。それまで民族の戦いが絶えない中にあって、突然このような御伽話の世界が現れたのは何故だろうか。砂漠の環境からくる幻想なのか、柱頭のグリフィンの像も壁面の横向きの人物像の行列も何か夢物語を見るようである。ダリウス大王の傑出した才能によって実現したペルセポリスは、大衆に芸術を理解させる場となると同時に、その統一理念によって専制の象徴となった。

後背地の砂岩の山を切り開き、400Mと250Mの方形の石の台座の上にデザインしたペルセポリスの建築方式は極めて独創的であったと思われる。高さ4Mの台上の上に建設された20Mの柱列は気宇雄大であり、平面計画の完璧さは、ややもすればやっつけ仕事になりがちな現代建築の平面からは考えられないことである。平面計画にある、記念門、百柱の間、ダリウス宮殿、宝庫など頑なにシンメトリーである。シンメトリーな平面形が軸線にそって、正確に計画されている。ギリシャ宮殿に見られるように、やや軸線をずらして計



ペルセポリス全景　東からみる



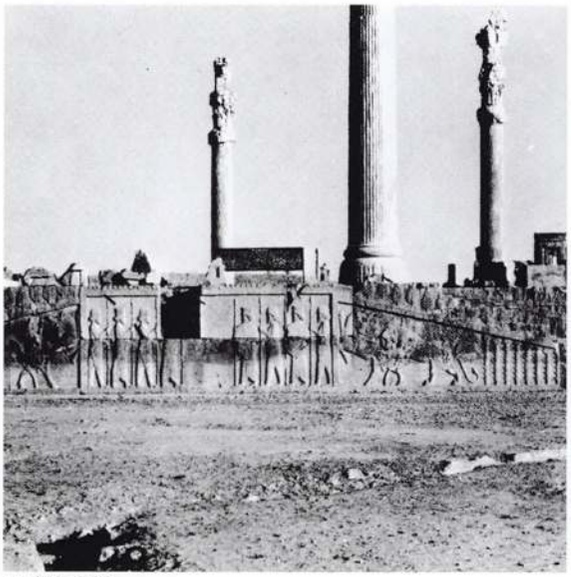
ペルセポリス基壇配置図

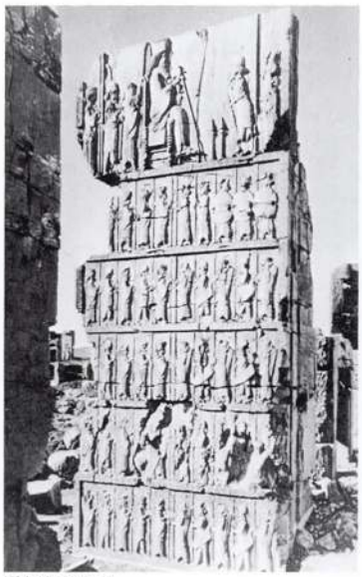
画するのとは根本思想が異るように思われる。シンメトリーな平面形の繰り返しは壁面レリーフの人物、動物、植物の紋様の多用にもあらわれる。多用であっても柔軟性を感じさせるのはどこからくるのだろうか。建築にあたっては各地から工匠が集まった。ギリシャからは石工、エジプトからは金工、バビロニアからはレンガ工が参加した。工匠達はペルセポリスの環境にふさわしい形像を考えた。砂漠の中という苛酷な環境にあっては、自然への迎合は死を意味することになる。そこでは自然との調和は考えられず民族は協同して自然と対決することになる。彼らは自然の輪廻と転生から学んだことを建築計画に生かした。平面形の静寂は砂嵐の後に感ずる深閑に通じるものである。横顔をみせる壁面彫刻の連続性は凛としてゆるぎない。堅固な石にくっきりと刻まれた輪郭のもつ表情はただひたすらオリジナルを追求する姿勢以前のものとして激しく生の証しを印しているようですさまじく思われる。さらに彫刻の表面を鏡のように磨き上げたのは石を単なる素材にとどまることなく生命を与えられた石として持続して行くことを願望したからにほかならない。製作者はエジプト、ギリシャを意識したであろうと思われるが全く異った構成となったところに民族のエネルギーの横溢がみられる。ダリウス大王の下に集まった工匠は他の地域の芸術さえも拒否する美意識によって、独自の建築を創ったのであろう。柱頭にデザインされた双頭のグリフィン、羊、馬の像は力学的に大梁を支持するものであり、力を集合して柱につなぐ接点である。日本建築の斗栱と同じ考え方がすでに考えられていたことになる。各国の民族の協働による創造へのエネルギーは高度のデザイン言語を生み、日々新しいテーマへと駆り立てたことであろう。エジプト、ギリシャ建築のどっしりした水平志向に対して、ほっそり垂直に伸びる都市は砂漠の中にあって無重力に浮上しようとする未来都市のイメージである。遠望のきく周辺の環境からすると、上へ、上へと上昇したい意識が強く働いたことであろう。

ペルセポリスはまた新春を祝う目的の場として計画された。各地に任命された高官が新年の挨拶のために貢物を携えて訪問した。100柱の間にみられるように上座、下座のない平面形は平等思想からくるものであろう。単純なスパン割は構えることなく自然体である。高く直立する柱から見えかくれする人々の表情は豊かであり、親密な喜びを含んだものであった。大空間を使いこなす人々は、誰一人として所在無げな表情は見あたらず、自己の存在感に満ちて在るのだった。そこには長い時間を通して確実に創り上げられた都市があらわす緻密な空間がある。

ペルセポリスを建築する思想の基本となったのはゾロアスター教であった。ゾロアスターは宇宙で最高位の神として火の神、アフラ・マズダによって守られていた。ペルシャ人はアフラ・マズダを創造の神としてたたえた。ダリウス大王はアフラ・マズダの声を人々に伝える神官でもあった。大王のことばは建築する人々に説得力を持った。その大王の行動に影響を与えたのは神の声を聞く巫女の存在であった。空間にただよう粋は背後に女性の存在を彷彿とさせる。秩序正しい平面形の品位と空間のもう一歩ずれると放逸する微妙な均衡の上になりたつペルセポリス。内なる性がそうさせたのであろうか。ここでも創造の世界におけるエロスの介在をみるおもいがする。彼らが考えた空間は大らかで大胆で緻密におもわれる。あふれる情熱によってできたのであろう。このような情熱は日本においても飛鳥の石舞台、酒船石にみられる。巨大な石塊を造形するこのエネルギーは風土に対する民族エネルギーの集中力の度合によるのである。これら密度の高い作品は歴史とは無関係に生きつづける。

（かのう ただまさ／竹中工務店）


アパダナ階段


百柱の間入口


クセルクセス宮殿階段

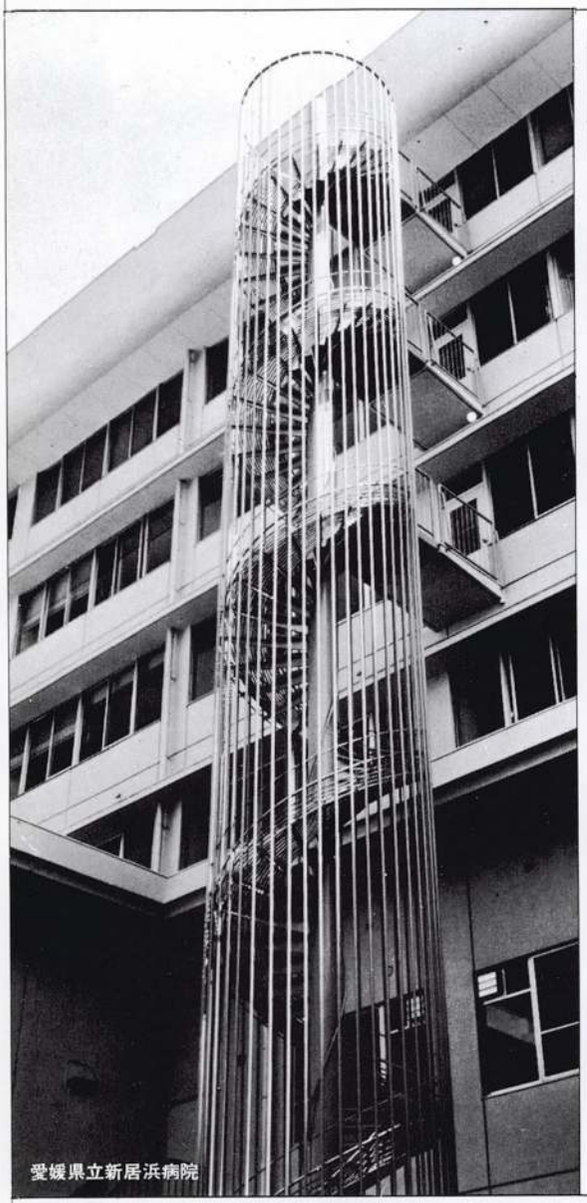
〈日本消防設備安全センター認定品〉

尊い命を守る スカイダー

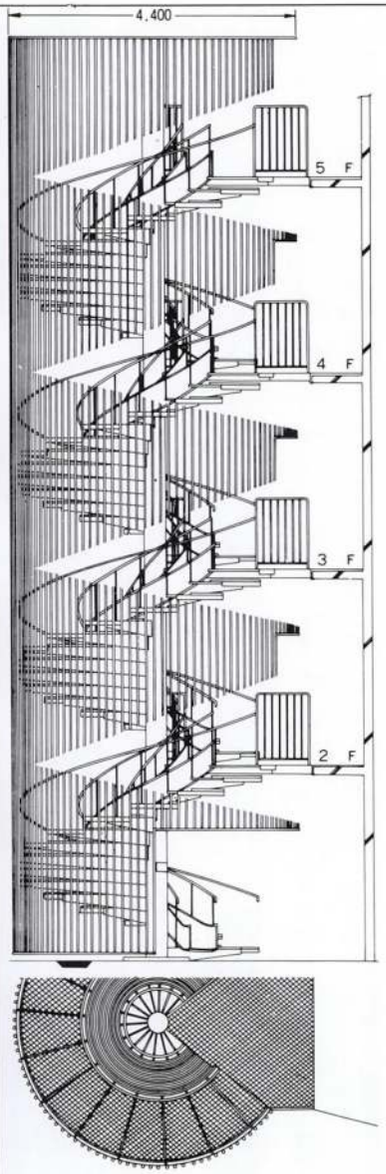
〈避難用すべり台〉

PAT

病院　幼稚園　身体障害者施設　老人ホーム　マンション　ホテル



愛媛県立新居浜病院



〈特長〉

1．なんの操作もいりません。

他の器具では操作に時間がかかり、またあわてて使用不能にする場合が多々あります。

2．身体不自由者、子供、老人など誰でも使用できます。

他の器具では作動及び心理的に無理です。

3．少ない時間に大量の脱出が出来ます。

待つ事はありません。次々と脱出できます。

4．永久的で結局は安くつきます。

他の器具の様に一定年数で取り替えれば高い物につきます。

5．せまいスペースで施工出来ます。

3ｍ角あれば充分です。

6．固定式なのでいつでも設置場所が頭に入っております。

非常の際は思わぬ精神状態になるものですがこれなら安心。

7．すべり台です。

誰でも乗れば自然に降下出来ます。

KL－X型
●建築基準法適合階段＋すべり台

SKK 山陽建工株式会社

本　　社	広島市中区西川口町5番2号	☎(0822) 91－1020	〒733
東京営業所	東京都中央区日本橋2－10－11(繊正ビル)	☎(03) 278－1780	〒103
名古屋営業所	名古屋市中区栄4丁目2－8(小浅ビル)	☎(052) 263－1825	〒460
大阪営業所	大阪市住吉区長居3丁目7－14	☎(06) 695－1551	〒558
福岡営業所	福岡市博多区博多駅前3丁目19－23	☎(092) 472－7267	〒810
仙台事務所	仙台市本町2丁目1－10(第二広瀬ビル)	☎(0222) 63－8521	〒980
高松事務所	高松市通町5－13	☎(0878) 22－5669	〒760

リブラス使用木造軸組壁の面内せん断試験結果

1．試験体および試験方法

試験体の種類は、表－1に示す計5種類とし、横型パネル面内せん断試験装置により、面内せん断試験を行った。

表－1　試験体の種類

試験体系列	壁の種類	試験体系列	壁の種類
A	こまい下地を用いた土塗り壁（在来工法）	D	アングルラス* を張ったモルタル塗り壁
B	ＮＲ木舞* を用いた土塗り壁	E	ワイヤーパネルラス* を張ったモルタル塗り壁
C	木ずり下地の上に平ラスを張ったモルタル塗り壁（在来工法）		

注）＊日本フェラス工業株式会社製リブラス

2．試験結果

(1)　土塗り壁（真壁）試験体

ａ．亀裂の発生および破壊の性状

試験体系列Ａの各試験体では、土塗り壁には曲げ亀裂のみが発生したのに対し、試験体系列Ｂの各試験体では、曲げ亀裂およびせん断亀裂が発生した。また、試験体系列Ａの各試験体では、曲げ亀裂が進展した後、貫板近傍のこまい下地として用いた間渡し竹およびこまい竹のそりあがりに伴って壁土が剥離し、せん断力に対する抵抗能力が低下した。

一方、リブラスを下地とした試験体系列Ｂの各試験体では、曲げ亀裂の著しい進展はみられず、せん断亀裂が進展した後、このせん断亀裂の近傍において試験体幅中央の壁土の圧壊が発生し、この部分の壁土が剥離することによってせん断力に対する抵抗能力が低下した。

なお、最大荷重時以降においては、試験体系列Ｂの各試験体では、試験体幅の中央付近の壁土が壁の高さ方向の全域にわたって剥離したため、剥離部分の少なかった試験体系列Ａの各試験体より荷重の低下は急であった。

ｂ．せん断耐力

試験体系列Ａの間渡し竹およびこまい竹によって構成される下地は、柱または梁に設けたほぞ穴に間渡し竹を差し込むことのみによって軸組とのつながりを保っているため、せん断力に対する抵抗力が期待できないのに対し、試験体系列Ｂのリブラス（ＮＲ木舞）によって構成される下地は、リブラスのリブ部分をひも材および貫板に釘打ちすることによって、リブラスがせん断力に対して抵抗するため、試験体系列Ａより試験体系列Ｂがせん断力に対して、より大きな耐力を示したと思われる。

なお、試験終了後の試験体を観察したところ、リブラスがせん断力に対して抵抗したために生じたと考えられるリブラスのひも材への留め付け用釘の抜け出しが一部で確認された。

(2)　モルタル塗り壁（大壁）試験体

ａ．亀裂の発生および破壊の性状

試験体Ｃ－１では、モルタル面に亀裂が発生せず、引張側側面において試験体高さにわたるモルタルの剥離が生じた後、この剥離が試験体全面に拡がり破壊に至った。

試験体Ｃ－２、Ｃ－３では、引張側柱脚部モルタル面に曲げ亀裂が生じた後、試験体Ｃ－１と同様に引張側側面のモルタルの剥離が生じ、その後この剥離が拡大することにより破壊に至った。

試験体系列Ｄの各試験体では、引張側柱脚部モルタル面にアングルラスのリブに沿って曲げ亀裂が載荷点側柱頭部モルタル面に斜め亀裂がそれぞれ生じた。その後、引張側側面における試験体全高さにわたるモルタルの剥離および柱脚部モルタル面の曲げ亀裂発生位置におけるアングルラスの破断がほぼ同時に生じ、破壊に至った。

試験体系列Ｅの各試験体では、引張側柱脚部モルタル面にワイヤーパネルラスのリブに沿って曲げ亀裂が生じた。その後、試験体Ｅ－１、Ｅ－２では、載荷点側柱頭部モルタル面に斜め亀裂が生じた後、最大荷重に達した。一方、試験体Ｅ－３では、載荷点側柱頭部モルタル面に亀裂は発生せず、また最大荷重に達しなかったが、荷重1700kgf にて試験を終了した。また、この系列の各試験体では引張側柱脚部近傍のモルタル面の曲げ亀裂より下部において、モルタルの剥離が顕著にみられたがその他の箇所ではモルタルの剥離は発生しなかった。なお、試験体Ｅ－１、Ｅ－２は最大荷重に達した後破壊したが、これは引張側柱脚部において箱金物が土台底面にめり込んだことおよび箱金物と柱の取付けボルト（Ｍ16）位置における箱金物の鋼板（厚さ4.5㎜）の引張降伏により起こったものと思われる。

ｂ．せん断耐力

各試験体系列の試験体のせん断耐力は、以下に述べる現象の発生によって決まった。

試験体系列Ｃ：試験体引張側側面において試験体全高さにわたって生じたモルタルの剥離が試験体全面に拡大。

試験体系列Ｄ：試験体系列Ｃと同様の引張側側面における試験体全高さにわたるモルタルの剥離および柱脚部モルタル面の曲げ亀裂発生位置におけるアングルラスの破断。

試験体系列Ｅ（最大荷重に達しなかった試験体Ｅ－３を除く）：試験体引張側柱脚部における箱金物の土台底面へのめり込み、および箱金物と柱の取付けボルト位置における箱金物の鋼板の引張降伏。

(3)　まとめ

各試験体系列ごとの３試験体の荷重～曲げせん断変形量関係（包絡線）の同一変形時の荷重を平均して求めた平均曲線を図－１に、同図より求めた。各試験体系列ごとの力学的特性値を表－２にまとめて示す。以下、図－１および表－２に基づいて、各試験体系列の荷重変形性状の比較を行うこととする。

ａ．試験体系列Ａと試験体系列Ｃとの比較（在来工法による土塗り壁とモルタル塗り壁との比較）

試験体系列Ａに比べ試験体系列Ｃは、モルタル塗りを施すことによって、初期剛性は４倍以上に、また最大荷重は1.5倍近くなっている。

しかし、最大荷重時の曲げせん断変形量は、試験体系列Ｃの方が小さくなっており、試験体系列Ａに比べぜい性的な破壊性状を示している。

ｂ．試験体系列Ａと試験体系列Ｂとの比較（在来工法と新工法による土塗り壁の比較）

試験体系列Ａに比べ試験体系列Ｂは、リブラス下地を用いることによって初期剛性は２倍以上に、また最大荷重は1.8倍になっている。

さらに、最大荷重時の曲げせん断変形量も試験体系列Ａに比べ試験体系列Ｂの方が1.2倍近く大きくなっているが、最大荷重以降の荷重の低下は試験体系列Ｂが試験体系列Ａに比べ急である。

ｃ．試験体系列Ｃと試験体系列Ｄ、Ｅとの比較（在来工法と新工法によるモルタル塗り壁の比較）

試験体系列Ｃに比べ試験体系列Ｄ、Ｅでは、初期剛性はほぼ等しいが、最大荷重は２倍以上に、また最大荷重時の曲げせん断変形量も２倍以上になっている。

ｄ．試験体系列Ｄと試験体系列Ｅとの比較（新工法による２つのモルタル塗り壁の比較）

初期剛性、最大荷重および最大荷重時の曲げせん断変形量とも両試験体系列間に大きな差はみられず、ほぼ同様の荷重変形性状を示している。

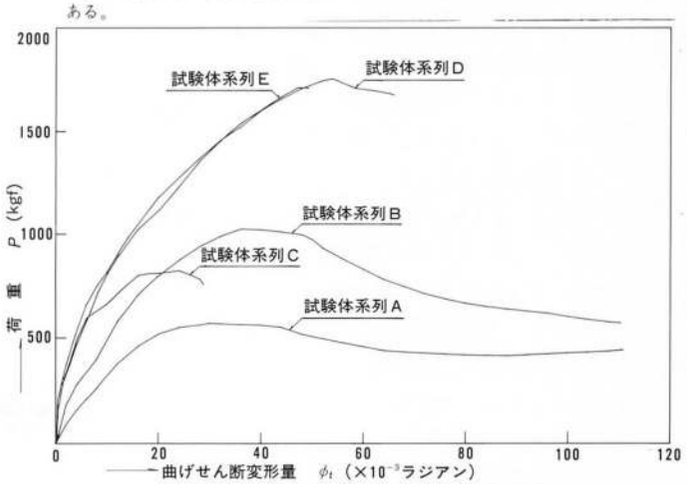
（紙数の都合上、試験の概要を述べた。詳細は当試験所の機関誌「ＧＢＲＣ」第29号をご覧いただきたい。）　（構造物試験室研究員　難波富治夫）

表－２　各試験体系列の荷重変形性状の比較

試験体系列	曲げせん断変形量 $\phi_t=1/120$ ラジアン時の荷重値（kgf）	最大荷重時 荷重値（kgf）	最大荷重時 曲げせん断変形量 ϕ_t（×10⁻³ラジアン）	初期剛性** （kgf/cm）
A	268	568	30.8	159
B	417	1025	36.8	349
C	641	820	23.6	678
D	758	1760	54.2	722
E	723	1850*	53.2*	620

注）＊　試験体系列Ｅでは、図－１において最大荷重値および最大荷重時の曲げせん断変形量が求められないため、最大荷重に達した試験体Ｅ－１、Ｅ－２の平均をそれぞれ示した。

＊＊　初期剛性は、図－１に示した荷重－曲げせん断変形量関係（包絡線の平均曲線）より求めた曲げせん断変形量 $\phi_t=1/500$ ラジアン時におけるセカントモデュラスである。



図－１　荷重－曲げせん断変形量関係（包絡線の平均曲線）

本試験所　〒565 吹田市藤白台5-125（阪急北千里駅より北西1㎞、国立循環器病センター西隣）、ＴＥＬ(06)872-0391㈹

都市気球 1

都市の中の都市：盛場

鳴海邦碩

連載にあたって

まもなく地球上に5000万人都市が生まれようという時代である。巨大都市域が出現し、都市的な地域が広がりつつある。一方、都市の生活も農村の生活もあまり違いがなくなってきている。「みえない都市化」も着々と進んでいるのだ。すべてが都市にまき込まれつつある時代なのである。

都市を考えることは、現代の文明を考えることであり、また、自分自身を考えることでもある。わたしたちは、そうした視点から都市を考えてみるために、「都市の会」という集まりをつくった。メンバーは主として建築系の人と社会学系の人からなっている。

ここに連載する小論は、この会での発表と議論に基づいて執筆されたものである。都市における諸現象を再考した内容のものが多い。そこでこの連載を「都市気球」と名づけた。都市の観測気球の意である。

1．村の中の町

今日、町といえば一般には地方公共団体のひとつである町や、町内会単位の町を思いうかべる人が多いのではないだろうか。ところが町は、それとは全く異なった空間概念をさすこともあるのである。

京都の南に伏見があるが、伏見の人達は、四条や河原町あたりに出ることを「町へ行く」というのだそうだ。農村地域でもこの表現はよく使われる。この場合の町は、その地域の中心都市全体をさしているのではない。その都市の中心的な地区を「町」と呼んでいるのである。

町は商業施設が集まった地区を特にさす場合があるのである。従って、村のなかにも町がありうることになる。実際、村のなかでも特に商店の集まった場所は町と呼ばれたのである。この「村の中に町がある」という構造は今日の都市についてもいえることである。「都市の中に都市」があるのである。

2．タイムトンネル

物質を瞬時に移動させる装置は今のところまだないのだから、ある地点からある地点に移動するために、一定の時間を必要とすることはやむを得ないことである。この移動には大まかに2つのタイプが考えられよう。

第一のタイプは、徒歩、自転車、マイカーなどによる移動である。この移動では移動者は、意識的に持続的に移動に関与しなければならない。

第2のタイプは、バス、電車、地下鉄などによる移動である。この移動では移動者は移動そのものに関与する必要がない。目的地に着くまでは、居眠りしていてもいいわけである。眠っていても自動的に目的地に着くわけだから、地下鉄はタイムトンネルといってもいい。

タイムトンネルはＳＦでは、時間をさかのぼったり先へ行ったりできるトンネルのことだが、ここでは、一定の時間を支払えば自動的に目的地へ行けるトンネルのことである。

3．コラージュとしての都市

都市という言葉が最近とみに使われる。しかし、それが具体的に何をさしているのかあいまいな場合が多い。

小都市であれば、その全貌を思い描くことができる。ところが都市の規模が拡大するにつれて、都市といわれてもその実態の認識が不可能になっていくのである。

都市の利用者達は、それぞれに、特定の地区を利用しているし、知ってもいる。しかし、経験を積んだタクシーの運転手でもない限り全体を熟知してはいないのである。

先に述べたように、大都市にはタイムトンネルのネットワークが形成されている。ある都市の利用者にとって、都市とは、タイムトンネルによって結びつけられた、自分の熟知している都市空間のコラージュなのではないかと思うわけである。

それぞれの都市のコラージュのなかで、少なくともひとつだけ共通したものがある。それが繁華地区であり、盛場である。

磯村英一はこのような空間を第3の空間と名付けている。第1の空間は住居空間であり、第2の空間は仕事の空間である。第1、第2の空間の利用者は一定範囲に限定されるが、第3の空間は、相互乗り入れ的に、多くの人人によって利用されるのである。こうした空間は「都市の中の都市」とでもよぶべき空間なのである。

4．盛場利用のライフステージ

日本人はやじ馬的で、群衆指向的だとよくいわれる。実際には、盛場をそれ程必要としない人も結構多いのではあるが、休日の盛場の群衆をみれば、日本人は向盛場心が旺盛なのだと思いたくもなる。

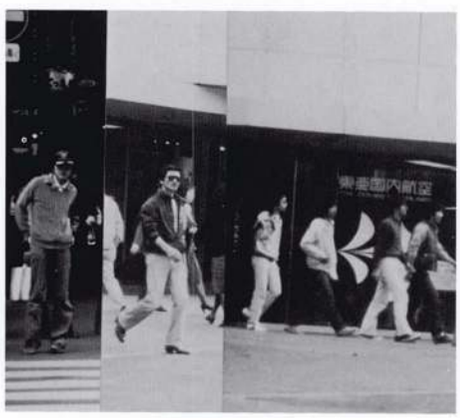
盛場は、多くの場合タイムトンネルの結節点に形成されており、老若男女を問わずあらゆる階層の人々が集まってくる。それぞれの人々は盛場を同じ目的で利用しているわけではなく、おもいおもいの利用目的がある。

また、盛場の光景には時間的な変化がある。日中と夜とではその様相は一変してしまうし、平日と休日を比べてもずい分と違う。盛場の利用者達は、自分の目的にみあったプログラムに従って利用しているのである。

このように盛場利用には、個人差、時間差があるわけだが、利用者のライフステージに応じて、いくつかの利用パターンがあるのではないかと考えられる。わたくしはこれを次の4つのタイプにわけてみたいと思う。

鷲ノ森 貴ヶ滝 多田 平野 一の鳥居
紺延橋 滝山 箕面 牧落 桜井
川西国鉄前 川西池田 北伊丹 伊丹 塚口
雲雀丘花屋敷 川西能勢口 池田 石橋 蛍池 岡町 服部
芦屋川 夙川 西宮北口 武庫之荘 阪急塚口
甲陽園 阪神国道 門戸厄神 甲東園 稲野
苦楽園口 芦屋 西ノ宮 甲子園口 立花
尼崎港
阪神芦屋 香櫨園 西宮東口 久寿川 鳴尾 出屋敷 大物 千船
打出 阪神西口 阪神今津 甲子園 武庫川 阪神尼崎
洲先 東鳴尾 尼崎センタ

塚西 東粉浜 東玉出 天神ノ森 聖天坂 北天下茶屋 松田町
鳥居前 住吉 帝塚山三丁目 住之江公園
安立町 細井川 神ノ木 帝塚山四丁目 姫松 北畠 東天下茶屋 松虫
大和川 我孫子道 百舌鳥 堺市 浅香 杉本町
綾ノ町 高須神社 東羽衣 鳳 津久野 上野芝 湊
伽羅橋 船尾 御陵前 妙国寺町 神明町 北信太 富木 諏訪ノ森
浜寺駅前 東湊 大小路 花田口 北助松 高石 羽衣
高師浜 石津 寺地町 宿院 泉大津 松ノ浜 北野田
光明池 栂



5．徘徊型の盛場利用

盛場を構成する商店には、多種多様の商品が陳列されているし、また、盛場に集まってくる人々も色とりどりである。その中をゆっくり散歩するだけでも結構楽しめるのである。

このような盛場を、まるで獲物を求めるように徘徊した経験のある読者はどれ位おられるだろうか。多くの読者は青年期のある時期に、あてもなく盛場を徘徊した経験をもっているに違いない。

盛場の徘徊はあてのない狩りに似ている。

それは単独行の狩りであったり、サバンナの狩猟者のようにバンドを組んでの狩りであったりしよう。しかし、獲物を常に獲得できるとは限らないのである。周囲に獲物はあふれているのだが、これを獲得できるかどうかは偶然にまかされている場合が多い。

これは青年期に特有な行動なのではないだろうか。こうした盛場利用のタイプを、徘徊型と呼んでおこう。

6．目的利用型の盛場利用

ヨーロッパの都市の商店は宵の口に閉じてしまう。つとめ人は仕事の後など暇な時にウインドショッピングであてをつけておき、昼休みなどに行ってさっと買うのだ、とよく話を聞く。品物を手にして、あれやこれや品定めをしながら商店のはしごをするわけにはいかないのである。

あるキャリア・ウーマンの話だが、残業が多いので夜はいつまでも開いている店が盛場にほしいという。それも洋服や洋品の店がほしいというのである。盛場はもはや徘徊する場所なのではなく、定まった目的を確実に達成するための場所になっているのである。

徘徊期をすぎると、すなわち徘徊するだけの暇とエネルギーがなくなってくると、人々は計画的な狩りをするようになる。品物を買うために店に行き、食事をするためにレストランに行く。

確かなプログラムに従って利用がなされるのであり、壮年期の、目的利用型の盛場空間と呼ぶことができるだろう。

7．根城型の盛場利用

なじみの酒場というのがある。イギリスではパブ、ドイツではビアハウス、日本では赤提燈にあたろうか。

イギリスのスパイ小説などを読んでいて、パブの場面になると、必ずといっていい程、なじみの客がでてくる。若者もときたまでてくるが、多くの場合それは中年や老年の男性である。なじみの客には奥さんをなくしたやもめぐらしの男性という設定が多い。彼にとってパブは家の代わりになっているのである。

なじみの酒場というのは外国にもあるが、ママさんがいてボトルのキープができる酒場があるのは日本ぐらいのものである。この酒場は、どういった性格をもった空間なのであろうか。

それは家でもなく仕事場でもない。かといって大勢の人が出入りする第3の空間でもない。それはクラブ（風俗営業のクラブではない）にも似ているし、町内の寄合い場所にも似ているのである。その場所を縁としたつながりがあるのである。

地縁的な共同体とは、居住する場所を媒介にして形成される共同体のことで、村的な社会についていわれることである。流動的な現代社会では、場所の拘束性が弱まり、知縁社会とも呼べる社会が形成されつつあるといわれる。こうした現代社会のなかで、前に述べた酒場は、疑似的な地縁社会を構成しているといえるのではないだろうか。

こうした人々は盛場を一種の根城として利用しているのである。根城型の利用と呼べるのではないだろうか。

8．居住型の盛場利用

アメリカの都市の都心部にある安ホテルには老人があふれているときく。彼等の多くはホテルを住居として利用しているのである。

ホテルだから食事の心配もないし、ランドリーの世話もしてもらえる。お金があれば、一人ぐらしの老人や老人夫婦の生活にはかっこうの住居である。境遇や年令を同じくする仲間もまわりに多いし、都心は交通の便がいいから、図書館や映画館に行って楽しくすごすこともできる。いくら環境がいいからといっても、車が運転できなければ生活できない効外住宅地に比べれば、天国なのである。

盛場には、この場合は都心といった方が適当であるが、これまで述べてきたような需要を充たすために、多種多様の施設が集積している。タイムトンネルがいかに発達しようとも移動することはなかなか骨のおれることである。タイムトンネルの結節点にこそ、老人のための住居があるべきだ、という考えはこのようなところから生まれてくる。居住型の盛場利用である。

9．盛場空間の将来

盛場的な空間の歴史はずい分と古い。それは原始時代の祭祀の空間にさかのぼることすらできるのである。しかし、今日的な景観の盛場が形成されたのは、江戸時代に入ってからのことである。それでもそれは見世物・飲食店中心の盛場であった。盛場の中心的な施設として商店が登場するようになったのは、明治以降のことなのである。

盛場がタイムトンネルの結節点に形成されるようになると、盛場の果たす役割は一層複雑になってくる。居住地としての役割すら期待されるのである。それは、都市の中の都市、凝縮された都市とも呼べる空間なのである。

わたしたちの都市の将来には、どのような盛場がまちうけているのだろうか。

（なるみ　くにひろ　大阪大学助教授）

大阪都市圏の鉄道駅

畦野 山下 笹野 桃山台 千里中央 十三 南方 崇禅寺 淡路 上新庄 相川 正雀 南茨木 茨木市 総持寺 阪急富田 高槻市
江坂 緑地公園 下新庄 豊津 関大前 千里山 南千里 山田 北千里
西中島南方 東三国 柴島 吹田 岸辺 千里丘 茨木 摂津富田 高槻
庄内 阪急三国 阪急梅田 新大阪 東淀川 天神橋筋六丁目 都島 野江内代 関目 千林大宮 太子橋今市 守口
園田 神崎川 阪急中津 **大阪** 中津 **天満** **桜ノ宮** **京橋** 緑橋 深江橋
新伊丹 伊丹 阪神梅田 東梅田 淀屋橋 扇町 片町 野江 森小路 千林 土居 西三荘 古川橋 蒲島 香里園 枚方公園 御殿山
尼崎 塚本 **福島** 西梅田 中崎町 心斎橋 南森町 天満橋 鴫野 放出 滝井 守口市 門真市 大和田 寝屋川市 光善寺 枚方市 牧野 樟葉
金楽寺 阿波座 肥後橋 四ツ橋 北浜 谷町四 **森ノ宮** 徳庵 鴻池新田 野崎 忍ヶ丘 宮之阪 星ヶ丘 村野
淀川 阪神福島 玉川 九条 本町 なんば 堺筋本町 **玉造** 住道 四条畷
杭瀬 姫島 阪神野田 **野田** 西長堀 難波 長堀橋 谷町六 **鶴橋**
一プール前 出来島 **西九条** 桜川 近鉄難波 日本橋 谷町九 **桃谷**
福 安治川口 **弁天町** 汐見橋 湊町 近鉄日本橋 上本町 **寺田町** 河内永和 河内小坂 八戸ノ里 若江岩田 東花園 牧岡 石切
千鳥橋 伝法 桜島 朝潮橋 **大正** **芦原橋** 大国町 恵美須町 今里 新深江 小路 布施 俊徳道 長瀬 河内花園 瓢箪山 額田
大阪港 南霞町 花園町 **新今宮** 四天王寺町 北巽 南巽 弥刀 近鉄八尾 高安 服部川
今池町 今池 森ノ茶屋 芦原町 岸里 動物園前 **天王寺** 久宝寺口 河内山本 恩智 信貴山口
北加賀屋 西天下茶屋 津守 木津川 玉出 昭和町 天王寺駅前 大阪阿部野橋 河堀口 中野 西平野 加美 久宝寺 八尾 志紀
中ふ頭 フェリーターミナル 住之江公園 西田辺 飛田 苗代田 北田辺 今川 矢田 布忍 河内松原 高鷲 土師ノ里
我孫子町 長居 鶴ヶ丘 南田辺 美章園 我孫子 阿倍野 股ヶ池 針中野 河内天美 高見ノ里 恵我ノ荘 藤井寺 道明寺
堺 七道 住ノ江 住吉公園 粉浜 今宮戎 文の里 田辺
石津川 我孫子町 沢ノ町 住吉東 帝塚山 天下茶屋 駒川中野 平野
浜寺公園 百舌鳥 八幡 三国ヶ丘 堺東 浅香山 岸ノ里 喜連瓜破 出戸
萩原天神 初芝 白鷺 中百舌鳥 長原 八尾南
美木多 泉ヶ丘 深井

都市行動の集団単位の事例（梅田界隈）





藤原　勉
明石工業高等専門学校建築学科教授

白子典雄
国鉄大阪工事局（建築担当）次長

遠藤剛生
遠藤剛生建築設計事務所代表取締役

山本康雄
大林組取締役建築本部副本部長

正月号から6月号まで上記の4氏が担当

苔寺

苔寺が一般拝観を廃して久しい。ふと道を枉げて訪ずれることもできなくなってしまった。苔寺とはいうまでもなく西芳寺のことで、その庭を蔽うみごとな苔ゆえにそのように呼びならわされてきた。しかし興味あることに、それほど有名な苔に関する記録が、寺に関する古文書にまったくといっていいほど見当らないのである。ただ、わずかに「夢窓国師年譜」に向上関を経て指東菴に至るくねくね曲った石段の道を登るところの描写に「曲折の間苔滑らかに、雲粘じ」と見えているのみである。これはいわゆる上部庭園に至る一部分であって、上部・下部庭園を問わず苔の絨毯を敷き詰めた観のある状景ではない。

重森三玲先生は、夢窓国師中興前の西方寺が浄土宗であったことから、下部庭園の中島を作庭記にいう一種の霞形の中島とされ「石もなく植木もなき白洲なるべし」を、国師年譜の「白沙之洲怪松之嶼嘉樹奇巌間錯シテ林ノ如シ」に擬しておられる。これははなはだ面白い発想で、今静かに目を閉じて、あの心字池の中島からいっさいの苔と樹木を取り去り、池底の泥を浚い、舗くに白沙をもってすると、さてどんなものであろうか？　国師創庭の原型と精神を窺うことは難しい。　（T・F）

超高層ビル

今春のオープンめざして、大阪ターミナルビル建設工事が急ピッチですすめられている。私が就職したころの日本一の高層ビルは、ちょうどお向いの「第一生命ビル」(12階建）であった。毎日、大阪駅３階の事務室からこのビルを眺めて仕事をしたのを思いだす。

日本の超高層ビルの歴史は、昭和30年代の始めに東京丸の内駅ビル計画（24階）に端を発するといわれている。当時の十河国鉄総裁が、東大に技術研究委託された、超高層ビルの設計手法・工法の検討が、柔構造を生み、三井霞ヶ関ビルを始めとする数々の実現につながったといっても過言ではない。不幸にして、東京駅ビルは陽の眼をみていないが、仙台・新宿・浜松町などに国鉄の高層ビルが建設され、今関連事業ビルとして、名古屋ターミナルビル（49年）につづいて、大阪駅ビル（122m）が完成しようとしている。丸の内ビルや新宿中央鉄道病院病棟の検討は、現在のようなコンピューターの普及していない頃で、建物を質点系におきかえたシミュレーションモデルをつくり、高速振動台にのせてデータを集めるアナログ方式で、何回も実験をくり返したものだった。42年に開発した自動図化と相まって、現在国鉄では、パースや設計にコンピューターが汎用されており、まさに今昔の感がある。　（T・H）

情景－1

私の部屋の北側の窓の外にある毎日見慣れた風景は、どこにでも見られる何の変哲もない建物によって作り出される、雑然とした風景だが、天気の良い朝は、これらの建物が南から太陽を受けて、白い壁が反射面になって私の部屋を明るくし、北向きの部屋の良さを感じさせてくれる。しかし、この風景が雑然としていることには変わりがない。このようなしまらない風景も、一日に一度だけ厳しいまでの美しさを現わす一瞬がある。11月も終わりになると、夕方の５時はもう暗い。建物はすべて夕闇と一体となって識別はできない。その黒いマスの中に、小さな明るい点がリズミカルに横に連なり、また壁と壁のスリットに少し大きな四角い窓が縦にくり返される。右にも左にもこのような明りが目に入る。空は今、まさに青を失い、闇に変る最後の深い青で、ディテールを失った風景は、そのシルエットを際立たせている。

油絵の技法に、けばけばしさを押えるため、バントアンバーやクリムソンレーキなど、透明系の絵具を油で溶かしグレースする技法があるが、今私の前にある情景は、物と光が織りなす綾の中で、総ての物を闇がグレースし、空の微かな青のみが唯一の色として際立ち、ぎりぎりのところで美しいタブローになる瞬間である。　（T・E）

建築と社会

私は以前からこの会誌の〝建築と社会〟という題名が、何か建設界への警告のようにみえて、会誌を手にするたびに、私自身いつも尻を叩かれているような思いがしてきた。現に立派な建築が次々に建てられても、街はあまりよくならないし、住宅地は住みにくくなっていくのをみると、あるいはマイナス面の方が多かったのではないかと気になってくる。ことに80年代に入り〝地方の時代〟とか〝文化の時代〟などといわれるようになってきてみると、これまでの建築や住宅の行政をはじめ、設計や施工の現業にしても、やたら画一化を押しつけてきて、せっかくの地方文化の芽を潰してきたようなうしろめたささえ覚える。大阪へ移って20年、戦後の大阪からはかつての大阪らしさも減り、住みたくなるようなまちも少なくなってしまった。いくら建築家が努力して住みいい家を建てても、そのまちの環境そのものが悪くては住む気がしない。建築と社会のギャップがここにも覗ける。

その意味から建築や建築家と社会の関係を、社会の側のフィルターを通して見直してみることも意味のあることではなかろうか。新年にあたりそんなことを考えながらこれから５回の文責を果したいと念じている。　（Y・Y）

◀定時評議員会議決報告

昭和57年11月25日開催の定時評議員会において下記のとおり決定いたしましたので、お知らせ致します。

記

1．昭和58年度評議員選出数の決定

本部42名、兵庫、京都、東海、中国、和歌山各支部それぞれ4名

2．理事11名の選任

細則第11条の一部変更により、新たに11名の方々が、理事に就任されました。(順不同)

金多　潔氏（京都大学工学部）
宮脇　和正氏（日本建築総合試験所）
村上　秀夫氏（新日本製鐵）
板井　亨介氏（熊谷組大阪支店）
志賀　修一氏（フジタ工業大阪支店）
藤木　鐵三氏（藤木工務店）
山口　道博氏（戸田建設大阪支店）
今村祐三郎氏（大阪建設業協会）
浅海　正雄氏（浅海電気）
城口　庸平氏（大阪城口研究所）
立野　一郎氏（ユニオン）

3．会費の改訂

細則第10条の変更により、本年4月より下記のとおり会費を改訂することになりました。

第10条　会費は、次の通りとし、これを年3回以内に分納することができる。
1．正会員　定款第9条第1号による者(個人会員)
年額金　9,000円　→　11,400円（@950円）
但し遠隔の地で且つ支部のない地方の正会員
年額金　8,400円　→　10,200円（@850円）
定款第9条第2号による者(団体会員)
1口につき　年額金　16,000円　→　20,000円
2．準会員　年額金　6,000円　→　7,200円
附則第1条　第10条の規定は昭和58年4月1日より実施する。

●喜十郎邸・帳場・酒蔵（いずれも兵庫県、西宮市の重要文化財並びに重要有形文化財指定）・たつみ蔵（PRコーナー）

明治20年代に南辰馬家初代当主喜十郎氏によって建てられたもので、明治の典型的な酒づくりの全工程や往時の帳場（店）風景を再現し、これら一連の建築群は一体となって往時の面影をよく伝えている貴重な遺構です。また、初代当主の住宅「喜十郎邸」は神戸の英国領事館を模して日本人の大工が建て、日本人が住んだ初めての洋館と伝えられています。

喜十郎邸



灘の清酒・白鹿の

◀「白鹿記念酒造博物館」を訪ねる

日本酒のふるさとといわれる灘五郷のうちでも西宮は、最も古くから発達した酒づくりのまちとして知られ、西宮における重要産業としての酒造業はその時代、時代の経済・文化の成長発展に大きく貢献し、徳川時代には灘の生一本が江戸市場を制するようになったと伝えられています。

辰馬本家酒造株式会社は、寛文2年（1662年）に酒造りをはじめ、清酒「白鹿」が生まれて300有余年の年輪に支えられ、

———酒はつくるものではなく、育てるもの———

を信条にして着実に発展してこられました。

この永く伝統ある酒造りの歴史を後世に伝える必要性を痛感され、創業320周年を記念して設立されたのが「白鹿記念酒造博物館」で、日本ではじめての酒造りのまちの博物館として注目をあびております。

今回は、現在の近代設備の醸造工場こそは見学しませんが、明治の典型的な酒づくりの様子を当時のままに保存された数かずの文化的建物と新築の記念館をじっくりと見学いたします。

日本人の生活文化に欠かせないお酒の歴史、時の流れを経てきた見事なレンガ色の建物群、また明治21年に建った初代辰馬喜十郎邸の白亜の洋館。記念館一帯の周辺は、古き明治の昔を偲ばせるレンガ色の街なみがつづき、かつての丹波杜氏の酒づくりの唄が聞こえてきそうな風景です。また特に非公開の「喜十郎邸」の内部の見学の許可を得ました。ふるってご参加下さい。

このたびの企画には、辰馬本家酒造株式会社の特別のご厚意と株式会社大林組のご協力をいただきました。

日　時　昭和58年 1 月29日(土)　集合13:00→解散17:00

集合場所　阪神電車・神戸線「西宮駅」・南改札出口前

〔参考〕集合所までの交通費は各自ご負担願います。
大阪より→阪神電車、梅田発12:36の特急に乗車→12:51西宮駅着、下車（所要約15分・運賃150円）

定　員　40名

説 明 者　南野武衛氏（記念博物館事業部長）、その他

参加会費　会　員　1,300円　（入場料、その他お土産付）当日いただきます。
会員外　1,800円

申　込　往復はがき1名1枚限りとし、氏名・勤務先名・所属部課名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「白鹿記念酒造博物館の見学」と明記の上1月20日(木)までに建築協会事業課へ。
申込者多数の時は抽せんにて決定しますので、会員・会員外の区別を必ずご記入願います。

〔主な見学先のご紹介〕

●記念館（新築）

周辺の歴史的環境と調和した個性的な美術館で、主に酒づくりの歴史の古い資料や文書、美術工芸品を展示し、2階にはホワイエ、講堂などを配し、建築空間と展示空間の見事な統一に、自然光のひかりと影が美術館の豊かな空間を造り出しています。

〔建築概要〕
建築設計施工　株式会社　大　林　組
展示設計施工　株式会社　乃村工藝社
構 造 規 模　鉄筋コンクリート造・地上2階
敷地面積　2,234.79㎡・建築面積　1,235.25㎡・延床面積　2,056.43㎡
工　　期　昭和55年12月→57年4月

◀熟年ホーム「有馬·花之坊」新築工事見学会

六甲山麓の緑に囲まれたわが国最古の温泉として知られ、道後・草津と並び日本三大名湯の一つである有馬の地に、新しい熟年ホームが誕生しました。

有馬には「何々坊」の名称の温泉旅館が今もいくつか残っておりますが、奈良時代（710年～784年）に仁西上人が移住して浴客のために12坊舎（宿坊）を建立し、今日の有馬温泉の基礎ができたといわれております。

有馬、花之坊も当時の12坊の一つで、この旅館の敷地跡に利用権による有料福祉老人ホームが「熟年ホーム有馬花之坊」と称して建設されました。

このホームの特徴は、居ながらにして敷地内に湧出する温泉による大浴場での生活が楽しめ、湯の香りのただよう静かな温泉街に都会的ムードのある近代設備の完備したホテル風の建物で、六甲連峰と有馬のまち、みどり豊かな素晴らしい眺望の大食堂、医師・看護婦などによる健康管理センター、リハビリーによる健康維持室、各個室のスプリンクラー、ナースコール、テレビ監視保護装置、エレベーター・廊下・階段の手摺、トイレ・車椅子などに見られる身障者にやさしい配慮など安全設備に万全を期し、24時間集中管理システムの完備で利用者の立場にたった設計がなされております。

今回は、児島建築事務所と灘工産株式会社の多大のご厚意とご協力により、急速に進んでいるわが国の高齢者社会に即応した熟年者の健康と安全を配慮された諸施設を見学いたします。また国立公園指定区域内の建設によるご苦労話も伺えることと思います。

特に当日は、同ホーム内の大浴場での入浴も利用できます。多数ご参加をお待ちいたします。

日　　時　2月26日(土)　集合13：→解散17：30
集合場所　大阪・国鉄大阪駅西口前、大阪中央郵便局・正面玄関前付近・目標会旗（現地までの往復は貸切バス利用）
定　　員　40名（貸切バス１台）
参加会費　会　員　　700円
会員外　1,000円　（当日、受付でいただきます）
申　　込　往復ハガキ１名に１枚限りとし、氏名・年令・勤務先名・所属部課名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「熟年ホーム有馬花之坊の見学」と明記の上１月31日(月)までに建築協会事業課へ。

建築概要

所 在 地　神戸市北区有馬町字射場山1730
建 築 主　株式会社　有馬花之坊
設計監理　児島建築事務所
施　　工　灘工産株式会社
構造規模　鉄筋コンクリート造、地上８階・塔屋３階
敷地面積　11,866.56㎡
建築面積　2,333.58㎡
延床面積　9,579.48㎡
各住居面積　32.56㎡～65.12㎡
バルコニー面積　4.44㎡～ 8.88㎡
戸　　数　総戸数104戸（Aタイプ、Bタイプ、Cタイプとも）
工　　期　昭和55年５月～57年10月末





◀新入会者歓迎——会員増強にご協力を

日本建築協会会勢委員会では、会員の増強運動にとりくんでいます。新会員として入会をおすすめする次第です。「日本建築協会案内」のしおりや入会申込書は事務局（大阪市東区北浜３－37日本建築協会、電話06-231-9648）にありますので、ご連絡いただければすぐ送付します。



昭和57年度・第5回若い会員の集い

日本の感性がいま……出江寛の作法「逆瀬台の家」を訪ねる——レポート

澄みきった秋の日射しを逆光に受けて、端正な三面の切妻が三筋の伸びやかなシルエットとなって静かに立っていた。「逆瀬台の家」は一瞬他人の近づくことを無表情に拒絶しながら、つぎの瞬間には翳りのなかに秘めたやさしい表情で人を引きつけている。

田舎家の土壁の小舞竹が見えた粗末な塗りさし窓を利休が茶室に写したという「下地窓」。「逆瀬台の家」のファサードに注意深くあけられた小さな窓は、その「下地窓」を思わせる。ひっそりと抑えた表情の打放しのファサードが美しい。

秋晴れの一日、「逆瀬台の家」に集まった見学者三十数名は十人程度のグループに分かれ、それぞれのグループごとに、設計者の出江寛氏の案内で家の内部を見学させていただいた。

赤味を帯びた黒の重いスチールドアを開けて一歩踏み込むと、玄関ホールは床から天井まで一面の障子である。大きく斜めに間仕切られており、斜めの障子の淡い光の面が暗い打放しの壁との対比で強調され、そこに入った者の方向感覚を一瞬奪いさる。

玄関ホールの右手食堂から左手の仏間へ回る。食堂と仏間の南側の引戸は壁とほぼ同じ幅まで広くとってある。ただし、引戸の丈は低く抑えてあり、天井は黒光りする床と打放しの壁に照り返されてうっすらと光るだけだ。

壁に穿たれた開口部の引戸は全部壁内に引き込めるようになっている。目を外に移せば、一面リュウノヒゲの深い緑である。その中に、瓦を埋め込んで青流波をあしらい複雑な海の姿を描いている。

目を内にもどせば、この開口部側の壁はメタリックに仕上げられており、逆光のなかでほんのりと光っている。それが室に華やかさを添えている。

2階の和室は、壁、天井共揉み和紙で仕上げられている。天井や壁の隅は丸く塗り込めてしまう「室床」である。天井には和紙でできた繭状の照明器具がつけられ室全体を和紙でやわらかく統一している。畳縁は銀色の布であしらわれ目立たないよう工夫されている。縁には黒塗りの踏込みを配して、外部との境界を画している。低い太陽が室の奥まで射し込み、室全体をほのかに照らしている。光の美しい表現にただただ感動した。

しばしの見学の後、全員が仏間に座し、出江寛氏の設計の心をうかがった。

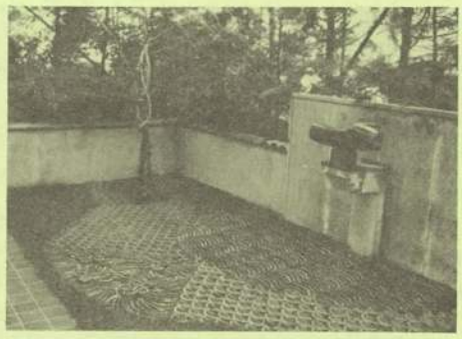
——安井埜氏の「黄金の茶室の中では黄金の壁が土壁と同様のものに感じられた」という言葉に心うごかされる。空間の美しさは材料の美しさによるのではなく、材料に対する光の美しさにある。「待庵」は仕上げにことさら悪い材料を使いながら、ことさらいい空間になっている。これは材料に関して利休が知的操作を行っているからだ。この知的操作に従えば、数寄屋においても、材料にこだわらず、現代の材料で新しい数寄屋を作ることが可能だ。殺伐とした日常生活のなかにはふっと安らぎを求める空間が必要であり、数寄屋の持つ「やさしさ」のある空間こそ、庶民一般の住宅にとり入れるべきものだろう。——

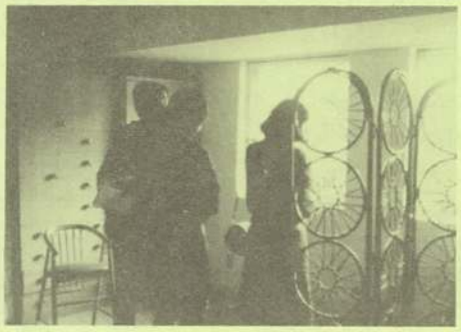
日本人の感性に基づく具体的な設計手法をまじえての出江寛氏の熱い言葉に、時のたつのを忘れて聞き入った楽しい講演であった。

最後に、現在生活を送られている住宅にもかかわらず多人数で見学させていただくという貴重な機会を与えて下さった堅正憲一郎氏ご夫妻、設計者である出江寛氏、資料の作成等さまざまに力を借していただいた出江建築事務所の方々に、この機会に改めてお礼申し上げたいと思います。

レポータ・内藤　正（小河建築設計事務所）







多能しめる場

樽本　美鈴

黒の障子戸と床が夕闇に呑まれ、シルバー壁が冴えはじめる頃、堅正邸のもう一面の顔が見られると言う。日本の地にはぐくまれたインテリア要素の数々は私にとってもやはり一番なじみやすく、実感として理解しやすいものの一つである。

堅正邸の外観、室内から連想される画は、日本の文明開化の悲喜劇を生んだと言われる明治維新からの、20年間の期の風俗画集である。そこには何が良い悪いのairは存在せず旧新東西を問わず、すべてのものが混ざりあい活用される中に光り輝く新しい要素が創られているのである。国境、時代を越えた一種の“遊びのできる空間”とも解せるものがある。

“OPEN THE 障子 SCREENS”で広がりをもつ1階部分は、多分に日本的情緒に包まれた演出用舞台を匂わせ、着物の柄からデザインされたという庭が、この舞台を脇から美しく創り支えている。

見る側も見せる側も互いに演技に酔いしれることのできる楽しいふれあいの領域がこの広間にはあり、住まい手にあわせ能舞台にもなれば歌舞伎にもなり、またオペラハウスにもなりえる多能しめる場である。その場の使われ方が、ここの生活をより快適なものにさせるか否かの鍵を握っているように思う。

建物とは対蹠的に、堅正邸をとりまく環境、逆瀬台山頂付近には遊びの楽しみというものが見あたらない。必要以上にコンクリート固めされアスファルト舗装された無言の道が、私邸の境界壁とにらみあっている。己の陣内に小さく、かたくなにとじこもり、近隣の建物と一緒に呼吸することもなく、握手することもせず、何を恐れているのか？軒下を同じくする犬や猫たちがもっと自由で大らかに伸び伸びと生活できる、うるおいのある地域はどこへ行ってしまったのか？彼らの排泄物さえも自然浄化できないCOVERされた大地は、もはや共有空間とは呼べないものがある。大地は植物や鳥や動物やその他すべての生きもののためにあり、共有のものであることを忘れてしまっているようである。

山頂だというのに安易に計画され開発された目前の景色に、現代の常識という何か複雑不可解な恐ろしさを感じる。地球を構成する一要因にすぎない人と地球とのかかわりあいが主客転倒になる錯覚性を、現代社会の多くは秘めていると思われるからである。

（株式会社モーリショップ）

日　時　昭和57年11月13日(土)　集合14:00→解散17:00
ゲスト　出江　寛氏（出江寛建築事務所所長）
参加者　36名
スケジュール
14：15　開会のあいさつ及び講師紹介　　天野主査
14：20→15：20　堅正邸　見学（3班に分ける）
15：20→16：50　出江寛氏の講演並びに懇談会
（質疑応答含む）

日本建築協会常設委員会・本年の抱負

編集委員会本年の抱負

編集委員長　横山　誠一

イタリアの建築家ジオ・ポンティは、その著「建築を愛しなさい」のなかで、「現代建築は社会的な予言であり、現代文明は建築のなかにその社会的な表現を求めている」といっております。われわれの会誌「建築と社会」も、社会的な予言を伝達する役割を果たせればと思っております。

本年の社会状勢も困難な厳しいものと予想されます。建築をつくることは、いままで以上に広く深い知識と経験を要求されることでしょう。今年の編集にあたって、「建築と社会」を通じて、建築に携わるすべての人々を結び、新しい情報を提供することに務め、同時に、会誌の内容充実こそが日本建築協会の発展の基本と信じて、各分野の共感を得られるものに育てる努力をします。最近の経済状況から、誌面の充実には多くの経費を要しますが、各位のご理解とご協力をよろしくお願いします。

出版委員会本年の抱負

出版委員長　小林　　清

年改まって年頭の挨拶を述べることになったが、当委員会の「建築技術選書」は昨年中第27巻「建築積算業務」ほか6冊を発行し、通算33冊となった。今年は趣をかえて計数的なことを書いてみよう。第1巻「茶室の話」より第31巻「住宅のエレクトロニクス」まで、製作部数は総計 135,000部(重版を含む)、このうち売上げは87,510部あり、残余は全国書店に委託中のものと、発行所在庫となる。発行所学芸出版社との契約によって、本協会には相当の企画料が入り、このうちから著者へ印税を払うのであるが、その残金と売上げを加算して昨年1ヵ年間で約 180万円の収益となるのである。また、著者への印税支払いもこの1ヵ年で約 270万円に達している。

願わくは本書のご購読はもとより、本書の普及にご協力願いたいものである。

建材委員会本年の抱負

建材委員長　牧田　顯治

昨年1年間に11回委員会を開催し、11件のメインテーマについて審議し、11件の新建材を本誌「新建材紹介コーナー」にとりあげました。当委員会では、新建材に関する情報を正確・迅速に皆様に提供するための運営を行っていますが、51年以来、紹介コーナーへの掲載数は、累計96件に達しました。本年も新しい建築材料の紹介はももちろんのこと、施工方法で新しい方法や、維持保全に都合のよい材料も、広く取り上げ、皆様のために役に立ちたいと思っております。当委員会のメンバーは、官公庁、設計事務所、ゼネコンの方々26名で形成されており、皆、正しい評価と、普及を目的に努力しておりますので、良い材料がありましたら、当委員会にお知らせ下さい。

事業委員会本年の抱負

事業委員長　三品　哲夫

昨今の社会経済状勢下において、わが建築協会も重大な局面を迎えていると思います。広く社会に貢献するという協会設立の主旨を踏まえながら、いかにして会員相互の連けいと会員へのサービス提供を図るかが当委員会の責務であると痛感しております。

これまで会員各位のご協力と委員のご尽力により、見学・研修・若い会員の集いの諸々の事業など相当の効果を挙げて参りましたが、遺憾ながらより幅広い会員への浸透と建築界の外との交流により会員の活力と意欲を惹き出すまでには至っておりません。

幸い当委員会には数多い青年層委員に恵まれていますので、この方々のよりフレッシュな意欲にとくに期待しております。会員各位のご鞭声をお願いいたします。

教育委員会本年の抱負

教育委員長　多胡　　進

新年あけましておめでとうございます。

当委員会には講習会小委員会、工高生教育小委員会があり、いずれも委員の方がたと会員の皆様のご努力により、徐々に成果をあげています。

講習会関係では、一昨年から広島でも開催されております「建築工事実務講習会」は、昨年度より今後の技術に適合するようにテキストを全面的に改訂し、将来に期せるようになりました。また「建築技術選書講座」は、著者の永年の研鑽と文化的香りの高い技術選書を教材として建築づくりの勘所ないしは急所を講義いただき、蓄積をもつようになりました。

一方、「工高生デザインコンクール」は諸先輩と参加生徒諸君の熱意によりまして、本年は第29回目を迎えることになり、この催しも参加者が実社会で活躍され、そろそろ審査員になっていただける時期に成長しました。

これらは、諸先輩をはじめ、会員の皆様からお寄せいただいたご厚意とご協力の賜と感謝しております。建築と社会とのつながりにより、次代への発展となるものがつくられつつあり、新しい企画のご提供を願って期待いたします。

委員会は微力ながら努力を致しますので、新しい展望や新機軸を含めて種々ご教示いただきたく、合わせて変わらぬご指導とご援助を下さるようお願い申し上げます。

*　　*
*　　*　　*
*　　*

(昭和57年度の住宅委員会と法規委員会は、委員長未定のため、この欄に委員長の抱負は掲載しておりません。ご了承ねがいます。)

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

阿部暢

東洋土建株式会社　取締役社長

〒546 大阪市東住吉区東田辺2丁目3番2号
電話06(692)1331～5
〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺4丁目5番12号
電話06(629)1008

代表取締役会長 **浅海正雄**
代表取締役社長 **森川禮次郎**

浅海電気株式会社

〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号　電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50—109号
電話0797(85)0745
〒565 自宅・豊中市新千里北町2丁目32番3号
電話06(831)2732

井川栄一

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
株式会社　熊倉工務店　常務取締役

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入建設会館分室
電話075(211)2857・2877
〒605 京都市東山区五条通東大路西入 株式会社熊倉工務店
電話075(551)1141代
〒606 自宅・京都市左京区吉田二本松57　電話075(771)3572

青山幸夫

株式会社　青山建築積算事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル　電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8082

新昭一

株式会社　新工務所　取締役社長

〒530 大阪市北区曽根崎2丁目8番7号　電話06(313)1331

井上秋次

井上窯業株式会社　代表取締役

〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号　電話06(771)2825代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号　電話0798(22)5930

安藝元清

株式会社　日建設計　取締役社長

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

姉川正男

東光電気工事株式会社大阪支社　監査役(大阪駐在)

〒541 大阪市東区高麗橋5丁目28番地　電話06(202)0325
〒565 自宅・吹田市藤白台4の30の12　電話06(872)3214

飯田精次郎

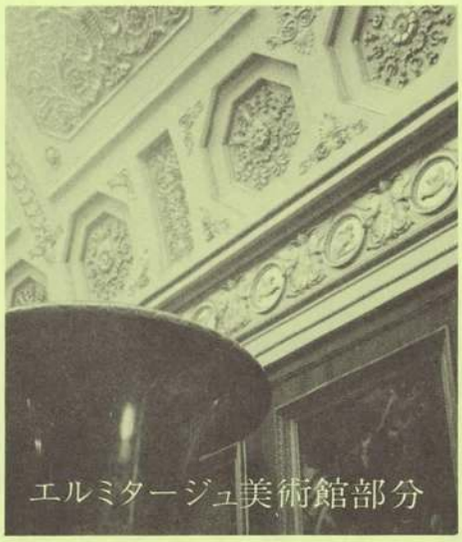
共同設計株式会社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目10番14号　電話06(364)5836代
〒105 東京事務所・東京都渋谷区渋谷1-10-1 八千代ビル8F
電話03(407)0912代
〒520 大津事務所・大津市浜大津4-4-4　電話0775(23)0388
〒620 福知山事務所・京都府福知山市末広町6丁目4番地 福電ビル
電話0773(23)5208

浅井泰

株式会社　笠谷工務店　専務取締役

〒659 芦屋市業平町4－1　電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ケ丘町13－5　電話0797(22)5291



生島道春

日積工務株式会社　代表取締役

〒542 大阪市南区島之内1丁目14番27号 宇野ビル
電話06(251)3195
〒460 名古屋支所・名古屋市中区錦2丁目9-25 豊島第2ビル
電話052(221)7561代
〒810 福岡支所・福岡市中央区天神3丁目3-14 梅居ビル
電話092(771)6877代
〒602 京都事務所・京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地
第二高橋ビル　電話075(441)5690

浅野真澄

株式会社　浅野建築設計事務所　代表取締役

〒543 大阪市天王寺区城南寺町5－35　電話06(768)0201代
〒572 自宅・寝屋川市成田西町4－21　電話0720(31)1750

生田重政

日本建設株式会社　取締役会長

〒541 大阪市東区備後町2丁目58番地　電話06(226)0630
〒659 自宅・芦屋市朝日ケ丘22番11号　電話0797(23)0657

淺沼茂夫

株式会社　淺沼組　取締役社長

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話06(768)5222

安部恒夫

安部建設株式会社　取締役社長

〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212代
〒559 自宅・大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号
電話06(671)7774

石川良興

日本冷熱工産株式会社　代表取締役社長

〒564 吹田市豊津町40番38号　電話06(384)1201代
〒560 自宅・豊中市蛍池東町4丁目7番12号
電話06(841)0032

淺沼誠夫

株式会社　淺沼組　取締役副社長

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話06(768)5222

諫早信夫

フドウ建研株式会社　相談役

〒110 東京都台東区台東1－2－1 日本地所第二ビル
電話03(835)2661
〒541 大阪市東区平野町5－30 不動ビル　電話06(201)3737
〒157 東京都世田谷区南烏山2－18－4　電話03(300)3705

泉沢哲史

株式会社　泉沢建築設計事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目12番2号　オオシマビル
電話06(364)9071代

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

市川繁雄

日本管工業株式会社　取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20　電話075(681)5101～6
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

市川宏

株式会社　東畑建築事務所　取締役社長
〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所　代表
〒541 大阪市東区南本町4－47 イトウビル
電話06(252)1011
〒606 京都市左京区下鴨北野々神町8－5 電話075(781)6573

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社　代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
〒547 大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム　代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江1丁目22番17号電話06(541)3051～9

今村騰
平木寛

取締役会長　今村　騰
取締役社長　平木　寛

中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号
電話06(312)8881代表

今村祐三郎

社団法人　大阪建設業協会　常務理事
事務局長
〒540 大阪市東区京橋3丁目70　電話06(941)3651

岩崎徹

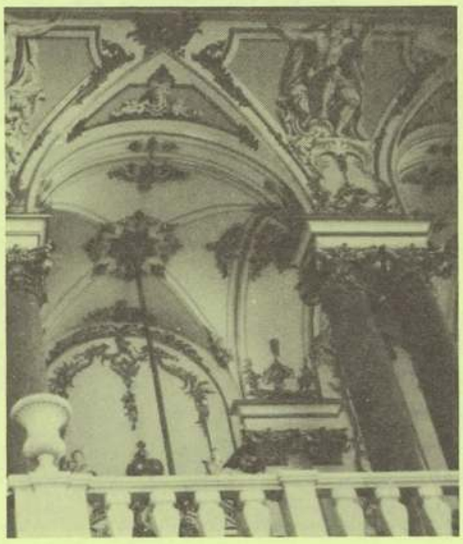
株式会社 岩崎建築設計事務所　代表取締役
〒630 本社・奈良市大森町57の3 農協会館内
電話0742(22)2283代
〒631 自宅・奈良市学園北1丁目5－11 電話0742(47)2210

専務取締役 岩崎弘
常務取締役所長 寺西禮一

株式会社　教育施設研究所　大阪事務所
〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号　電話 06(531)0913
大信ビル　電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046　電話0742(22)2217
〒661 自宅・尼崎市常吉字赤田9の5　電話 06(431)2101

岩本義心

野村建設工業株式会社　取締役社長
〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話06(202)4791代



上田宇三

株式会社　日匠設計　代表取締役
〒580 本社・大阪事務所・大阪府松原市西大塚1－5－6
電話0723(31)3857代
〒520-32 滋賀事務所・滋賀県甲賀郡甲西町中央2丁目15
電話07487(2)1114代
〒580 自宅・大阪府松原市西大塚1－5－6 電話0723(31)1554

上西圭治

株式会社　大気社　取締役社長
〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル7階
電話06(448)5871
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14　電話0797(22)5949

植野寿雄

株式会社　寿建築積算事務所　所長
〒542 大阪市南区東清水町48つるのすビル 電話06(244)1561
〒588 自宅・堺市大美野5－9 電話0722(37)1162

打浪政信

株式会社　新興建材工業所　常勤相談役
〒550 大阪市西区南堀江4丁目32番11号 電話06(538)2951代
〒564 自宅・吹田市吹東町43－3　電話06(383)0217

小川正

株式会社　竹中工務店　顧問
〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒560 自宅・豊中市上野西2－12－47　電話06(852)3478

尾亀清四郎

株式会社　三晃空調　取締役会長
〒530 大阪市北区西天満3丁目13番20号 電話 06(363)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－4 電話0720(41)3427

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所　代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1丁目10－8　福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11 電話0727(21)4113

名誉正会員

大倉三郎

〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町33 電話075(781)0636

大槻國秋

日本電設工業株式会社 大阪支店　取締役支店長
〒531 大阪市大淀区豊崎3丁目17－15　電話06(372)3531
〒658 神戸市東灘区西岡本6－5－23　電話078(411)1673

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

岡橋作太郎

株式会社　錂高組　技術顧問

〒550 大阪市西区西本町2－2－11　電話06(531)6431
〒659 自宅・芦屋市打出春日町156－1　電話0797(22)4500

岡本行善

株式会社　昭和設計　代表取締役社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号　四ツ橋ビル　電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－7　電話0797(31)3201

岡山竹雄

株式会社　岡山設計　代表取締役

〒604 京都市中京区烏丸通錦角　京都フクトクビル7F　電話075(255)0537～8
〒612 自宅・京都市伏見区深草平田町18　電話075(641)0536

沖田誠一

財団法人　建設工学研究会　事務局長

〒105 東京都港区虎ノ門2丁目6番7号　電話03(502)8017代
〒194-01 東京都町田市鶴川5－1－14－104　電話0427(35)8297

奥村紘行

奥村重兵衛株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号　電話06(312)4131代
〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号　電話0798(71)0011

加藤忠三郎

株式会社　平田タイル　代表取締役会長

〒550 大阪市西区阿波座1丁目1番10号　電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北烏丸町24　電話075(691)1334

垣内務

株式会社　団地サービス　常務取締役 大阪支社長

〒536 大阪市城東区森之宮2丁目9番201号　電話06(969)1001

数井利美

株式会社　西村建築事務所　取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8　楠六パレスビル　電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39－13　電話078(792)5862

兼高勇

有限会社　兼高設計事務所　代表取締役

〒590 堺市北花田口町3丁1番15号　東洋ビル　電話0722(22)1643 1648
〒590-01 自宅・堺市御池台3丁14－1　電話0722(99)2677

亀井晃治

一級建築士事務所　株式会社　A.R.I.(あり)建築事務所　代表取締役

〒542 本社事務所・大阪市南区谷町7丁目3番4-203　新谷町第3ビル2F　電話06(768)1771代
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479　電話0742(43)1226



鎌谷秀男

修成建設専門学校　校長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30　電話06(474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種3丁目8番23号　電話0797(72)1380

亀田六夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所　所長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番18号　島根ビル　電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町8－12　電話06(855)5356

柄谷順一郎

株式会社　柄谷工務店　取締役社長

〒660 尼崎市玄番南之町4　電話06(411)1451
〒663 自宅・西宮市甲子園浦風町9－14　電話0798(41)0700

川岸繁夫

株式会社　川岸窯業商店　代表取締役社長

〒550 大阪市西区西本町1丁目13－33　電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10－10　電話 0727(61)8598

川崎敬三

株式会社　近畿建設　代表取締役

〒550 大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話06(448)5601
〒556 自宅・大阪市浪速区難波中3丁目9番3-407　電話06(632)7369

川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社　代表取締役

〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157　大阪支店 電話06(353)0222　東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台6－7－2　電話06(834)1734

河井覚弘

株式会社 河井建築事務所　取締役所長

〒631 奈良県登美ケ丘4丁目8－10　電話0742(45)4378・(43)7507
〒631 奈良県登美ケ丘4丁目8－11　電話0742(44)8100

河裾和夫

蛍光産業株式会社　代表取締役

〒531 大阪市大淀区本庄東1丁目9番9号　電話06(371)5146代

北澤登

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区芝田1丁目4番8号北阪急ビル　電話06(372)2511
〒561 自宅・豊中市城山町1-8-1曽根ロイヤルハイツ202号　電話06(864)0162

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

木下國男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目8番5号 明星ビル
電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

汲川圭司

社団法人　全国鐵構工業連合会顧問
大阪鉄構建設業協同組合理事長
大阪鉄構建設業協同組合
〒543 大阪市天王寺区生玉前町1番21号 小山ビル　電話06(772)0182
連合会事務所
〒103 東京都中央区京橋2丁目10番2号 第2ぬり彦ビル9F
電話03(564)3711代

黒田譲

黒田建設株式会社　取締役社長

〒830 久留米市大石町32番地　電話0942(32)1911代
〒830 自宅・久留米市千山町547番地　電話0942(34)8527

小北博一

株式会社　ジャス　代表取締役

〒565 大阪府吹田市古江台6丁目3番1号 健康の森
電話06(833)6611代
〒565 自宅・豊中市新千里北町1－1　C5－209
電話06(872)6461

小阪永一

大信印刷株式会社　代表取締役

〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13－11　電話06(451)7631
〒553 大阪市福島区福島6丁目20－10　電話06(451)5346

小崎勇

株式会社　ミラノ工務店　取締役社長

〒604 京都市中京区寺川通河原町東入鉾田町310
電話075(231)0177代
〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町63番地
電話075(781)0676

小菅滋夫

株式会社　日建設計　常務取締役
大阪本社代表

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 代表取締役

〒541 大阪事務所・大阪市東区南本町4丁目41番地
イヨビル8階　電話06(252)8088代
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋本町4丁目14番地
山本ビル7階　電話03(661)0768代
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16－17
電話03(315)5435

小谷大作

株式会社 田渕建築設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261－2
〒641 自宅・和歌山市堀止西1丁目10-5　電話0734(24)9563

小西岬

株式会社　小西設計　取締役社長

〒550 大阪市西区立売堀1丁目12－16　電話06(532)4051
〒546 自宅・大阪市東住吉区今川3丁目6－6
電話06(701)0297



名誉正会員

小早川美武

美工装飾株式会社　取締役社長

〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9－41　電話06(651)0105
〒557 自宅・大阪市西成区玉出東2丁目10－17
電話06(653)0023

小林清

株式会社　新住宅社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話06(443)6641代
〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号　電話06(654)0584

取締役会長 小林四郎
取締役社長 代谷正元

太陽工藤工事株式会社

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号 電話06(452)1151大代
〒662 自宅・西宮市西平町19－11　電話0798(74)6621
〒665 自宅・宝塚市仁川北3－13－20　電話0798(52)5971

小林得志

株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役所長

〒530 大阪市北区堂島2-4-17 藤田ビル 電話06(341)5658代
〒662 自宅・西宮市丸橋町6－16 電話0798(66)2394

河内義就

有限会社 河内義就設計事務所 代表取締役

〒730 広島市中区上幟町2番37号　電話082(228)2271代
〒739-17 自宅・広島市安佐北区高陽町大字翠光台1-237
電話082(842)4141

鴻池藤一

株式会社 鴻池組　代表取締役社長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

佐々木森一

株式会社 佐々木建築事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1－3－22　電話06(443)0675
〒617 京都府向日市上植野浄徳11－19　電話075(921)0728

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長

〒540 大阪市東区島町2丁目7番地　電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(72)1569

佐野春吉

森井電業株式会社　代表取締役副社長

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番28号 三井ビル別館
電話06(443)8381代
〒661 自宅・尼崎市東園田町3丁目85番地－11
電話06(491)9402

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

斉藤國義

株式会社 斉藤工業所 代表取締役

〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東1丁目21番3号
電話06(652)0208

渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社 取締役社長

〒542 大阪市南区島之内2－12－21 電話06(211)7333代
〒581 自宅・八尾市二俣2527 電話0729(22)8644

須賀好富

近畿大学理工学部建築学科 助教授

〒577 東大阪市小若江3－4－1 電話06(721)2332
内線271
〒577 自宅・東大阪市小阪3－4－B911
電話06(789)8114

齋藤竹生

株式会社 石本建築事務所 常務取締役 大阪支所長

〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12 電話03(262)7161
〒541 大阪支所・大阪市東区南久太郎町4-34 池銀ビル
電話06(251)7507

島村忠男

西日本建設業保証株式会社 取締役社長

〒550 大阪市西区立売堀2丁目1番2号 電話06(543)2553

菅谷健児

大阪電気暖房株式会社 代表取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目24番6号
電話03(701)3535

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区上本町8丁目3番23号
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ヶ丘7丁目11-16 電話0720(54)0004

名誉正会員

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話06(671)3792

杉浦敏郎

三機工業株式会社大阪支店 取締役 支店長

〒541 大阪市東区北浜2－22 電話06(202)3051代3071代
〒560 豊中市岡町南1－7－7 電話06(855)5995



代表取締役 社長 **齋藤久典**

常務取締役 支社長 **黒澤太作**

斎久工業株式会社

〒100 東京本社・東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル
電話03(270)7411代
〒530 大阪支社・大阪市北区中之島4－2－38
電話06(443)5041代

鈴木仙吉郎

東海興業株式会社 大阪支店 常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区堂島浜2－2－8 東洋紡ビル
電話06(348)5611代

酒井貞

株式会社 都市科学研究所 取締役副所長

〒600 京都市下京区四条烏丸西入ル 住友生命ビル9F
電話075(221)8161
〒603 自宅・京都市北区西賀茂大深町70 電話075(491)6301

鈴木毅

株式会社 松田平田坂本設計事務所 大阪事務所 所長

〒530 大阪市北区堂島2－2－25 電話06(344)7821
〒185 自宅・東京都国分寺市富士本1-31-15
電話0425(75)1581

志賀修一

フジタ工業株式会社 大阪支店 常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区堂島2丁目1番16号 電話06(345)7671
〒567 自宅・大阪府茨木市下穂積4-11-39電話0726(26)5640

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長

〒530 大阪市北区角田町2番15号 電話06(372)7151代

相臺淳吉

日新工業株式会社 専務取締役

〒120 東京都足立区千住東2丁目23番4号 電話03(882)2424
〒271 自宅・松戸市松戸3の7の3 電話0473(62)9314

四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長

〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32-2 電話075(641)6091～2 6324
〒851-33 長崎出張所・長崎県西彼杵郡西彼町喰場郷
電話09592(7)0172
〒183 東京出張所・東京都府中市白糸台6丁目53－31
電話0423(67)0480・0424(84)0236
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32－2

須賀新

須賀工業株式会社 取締役社長

〒550 本店・大阪市西区土佐堀1丁目2番30号
電話06(441)5171
〒105 本社・東京都港区新橋6丁目17番19号
電話03(434)7111

田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区東天満2丁目1番26号 福山ビル
電話06(354)2781～4
〒536 大阪市城東区成育4丁目20番2号 電話06(931)8857

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

取締役社長　**高橋慶夫**
専務取締役　**上田宏二**

株式会社　高橋上田設計事務所

〒550 本社・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒103 東京支所・東京都中央区日本橋茅場町2－8－4
全国中小企業会館4F　電話03(669)6049

名誉会長

塚本猛次

株式会社　日建設計　最高顧問

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神2－6－27　電話0797(87)1940

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒558 自宅・大阪市住吉区長居東3丁目14番22－515
電話06(699)5326

武田弘

株式会社　武田工務店　代表取締役

〒602 京都市上京区出町通桝形上る青竜町196番地の2
電話075(211)3681代
〒602 自宅・京都市上京区寺町通今出川上る西入上る
上神興町282番地　電話075(231)9678

辻本豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市東長町中の丁12－3 電話0734(26)2030代
〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3電話0734(26)2030代

名誉会長・名誉正会員

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長

〒541 大阪市東区伏見町5－19　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

橘泰治

東邦パーライト株式会社　取締役社長

〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号 電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

津村芳仁

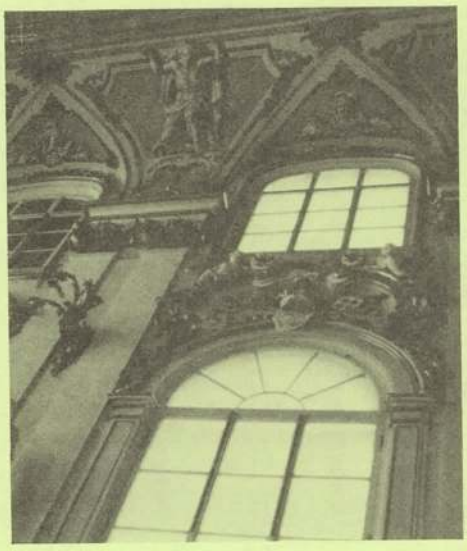
オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長

〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地　電話06(412)5131代
〒330 自宅・埼玉県大宮市高鼻町3丁目58番地
電話0486(41)0204

時岡保雄

株式会社　三和地質　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町3丁目8番6号
電話06(445)2521代～5



立田清

有限会社　柳々堂（建築専門書店）

〒550 大阪市西区京町堀1－12－3　電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル　電話06(251)8233

得田益男

得田電気株式会社　取締役社長

〒601 京都市南区東九条河辺町21番地　電話075(661)2727
〒606 自宅・京都市左京区北白川東伊織町10番地の3
電話075(722)3231

立野一郎

株式会社　ユニオン　代表取締役社長

〒550 大阪市西区南堀江2丁目13番22号
電話06(532)3731～8

富家宏泰

株式会社　富家建築事務所　代表取締役

〒604 京都市中京区押小路通東洞院西入ル
電話075(231)6357代
〒603 自宅・京都市北区平野八丁柳町68－1－704号
電話075(463)0050

名誉正会員

玉置豊次郎

大阪工業大学　名誉教授
(財)大阪住宅センター　理事長

〒530 大阪市北区中之島3－2－18住友中之島ビル
電話06(447)0615～6
〒557 自宅・大阪市西成区天神森1-19-15　電話06(661)7680

積山吉興

日本建設株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区備後町2丁目58番地　電話06(226)0630
〒662 自宅・西宮市甲子園口1丁目7番6号－406
電話0798(64)6668

富岡久男

株式会社　吉田建築事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江2丁目3番3号　電話06(538)2991
〒577 自宅・東大阪市荒本北30　電話06(744)2976

知見義夫

春日設備工業株式会社　取締役会長

〒601 京都市南区西九条春日町48番地　電話075(671)5377代
〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

寺田徳重

大成建設株式会社　常任顧問

〒541 大阪市東区本町4丁目27　電話06(262)1131
〒562 自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4-39　電話0727(21)4641

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役所長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話07946(2)4668

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

内藤薫男

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長

〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地 市川ビル2F
電話06(245) 6645
〒618 自宅・大阪府三島郡島本町広瀬4丁目11番3号
電話075(961)5092

中村正一

中村タイル株式会社 代表取締役

〒550 大阪市西区南堀江1丁目11番5号 電話06(531)7263
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁17番9号 電話0722(91)5592

中原茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町2丁目9番11号 岡崎橋ビル
電話06(445)0039
〒658 自宅・神戸市東灘区岡本2丁目8番3号

中原英雄

株式会社 創美設計 代表取締役

〒530 大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階
電話06(312)3587代
〒659 自宅・芦屋市打出小槌町1番地405

永井賢城

株式会社 久米建築事務所 取締役社長

〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26 電話0466(36)7706

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所 支所長

〒530 大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
電話06(313)3321
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

取締役会長 西嶋徳太郎
取締役社長 石中達夫

株式会社 大建企画設計

本社・〒550 大阪市西区京町堀1丁目13−20
電話06(443)8261
東京事務所・〒162 東京都新宿区下宮比町15番地
飯出橋ハイタウン333号 電話03(267)4711

橋本晃芳

株式会社 鴻池組 専務取締役

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地 電話06(244)3545
〒659 自宅・芦屋市精道町4−1 電話0797(31)6766

長谷川武彦

株式会社 長谷川工務店 代表取締役会長

〒105 東京都港区芝2丁目32番1号 電話03(456)5451
〒541 大阪市東区平野町5−40 電話06(203)5661

名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社 淺沼組 相談役

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町南登美ヶ丘3336−7
電話0742(43)1091



林唯夫

株式会社 昭和設計 代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41−11 電話06(872)3608

林昭八郎

菱和調温工業株式会社大阪支店 取締役支店長

〒530 大阪市北区天満2丁目7番3号 電話06(352) 4881
〒663 自宅・西宮市高木東町19番14号 電話0798(64)0324

原精一

甲南建設工業株式会社 代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号電話06(308)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号 電話0798(72)1504

代表取締役会長 原田重信
代表取締役社長 原田孝太郎

原田セメント化工株式会社
大統商事KK・泉州生コン工業KK

〒554 大阪市此花区西九条4丁目3−34 電話06(465)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41−8 電話06(421)4518

名誉正会員

坂静雄

財団法人 日本建築総合試験所 理事長

〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5丁目125番地
電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西2丁目1番18号
電話06(351) 7217
〒592 堺分室・大阪府堺市浜寺石津町西2丁1番34号
電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24番地の2
電話075(622)0713
〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

伴一郎

株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津六丁目8番4号電話06(458)3531代
〒563 自宅・池田市石橋3−11−14 電話0727(61)8652

名誉正会員

伴仲信次

春日建設株式会社
春日建設一級建築士事務所 代表取締役

〒102 東京都千代田区飯田橋2丁目9番3号
電話03(264)4011代
〒160 自宅・東京都新宿区西早稲田3-31-5 かすが701号
電話03(202)2411

久田良吉

株式会社 東洋建築設計事務所 代表取締役

〒542 大阪市南区上本町西4丁目1番8号 昭和ビル3F
電話06(768)2029直通
2020直通
〒581 自宅・八尾市山本町南4−10−14 電話0729(22)3095

平城勧

株式会社 朝日工業社 大阪支社 常務取締役大阪支社長

〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号 電話06(302)2271−9
〒665 自宅・宝塚市中山桜台4−15−4 電話0797(89)3884

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

福田朝生

株式会社　双星設計　代表取締役社長

〒530 大阪市北区茶屋町18—21 豊崎ビル　電話06(373)2281
〒663 自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号　電話0798(48)0989

福永薫

株式会社　建設技術センター　取締役社長

〒532 大阪市淀川区西中島5丁目7番17—602号
ヴィップ第2新大阪　電話06(304)1148
〒542 自宅・大阪市南区南船場4丁目7—3
電話06(251)3102

藤井稔

阪神不動産株式会社　専務取締役

〒530 大阪市北区梅田2丁目2番25号　電話06(346)1173

藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(944)1468代

淵上保夫

三井プレコン株式会社大阪支店　常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区中之島3丁目4番18号三井ビル2号館
電話06(444)4231代
〒595 自宅・大阪府泉大津市虫取51-1くすの木団地2-311

細野松雄

三友工業株式会社 大阪支店　常務取締役 支配人

〒550 大阪市西区南堀江1丁目19番8号　電話06(541)1922
〒631 奈良市二名町南登美ヶ丘3336　電話0742(45)6233

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661代
〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18電話0720(41)5396

堀元也

神戸材料株式会社　取締役社長

〒651 神戸市中央区熊内町2丁目1—37　電話078(222)2251
〒657 自宅・神戸市灘区篠原北町2丁目1—9
電話078(882)0755

前野慶太郎

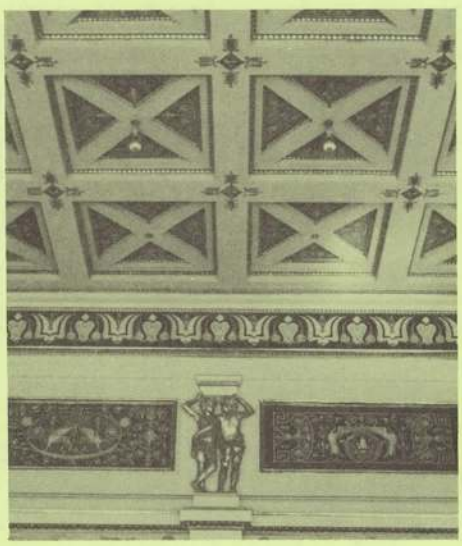
株式会社　あめりか屋　取締役社長

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話06(444)1501
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町4番18号　電話0797(22)2005

前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長

〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号　第1横井ビル
電話06(441)1462代
〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16—21　電話06(849)5764



松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区東天満2丁目3—10 田中ビル
電話06(357)5351代
〒546 大阪市東住吉区西今川2丁8—7　電話06(702)6738

松永嘉一郎

株式会社　梅彦　取締役社長

〒530 大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話06(312)6171代
〒659 自宅・芦屋市山手町15—25　電話 0797(22)4761

松丸哲也

豊國建設株式会社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区天満橋2丁目3番1号　電話 06(353)1001
〒663 自宅・西宮市甲子園口北町20—21　電話0798(67)2787

松村雄二

株式会社　松村組　取締役社長

〒530 大阪市北区天満2丁目1番3号　電話06(353)1131

名誉正会員

松本与作

第一生命保険相互会社　顧問技師

〒100 東京都千代田区有楽町1—13—1　電話03(216)1211
〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3 電話03(721)4723

松本重太郎

松本金物株式会社　取締役社長

〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号　電話06(774)2200
受付案内台
〒589 自宅・大阪府南河内郡狭山町字池尻29—31
電話0723(66)5859

三谷忠義

株式会社　三谷設計　代表取締役

〒694 島根県大田市久手町波根西777の1　電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

三輪泰司

株式会社　地域計画・建築研究所　代表取締役所長

〒600 京都市下京区四条通高倉西入ル立売西町82番地
大和銀行京都ビル　電話075(221)5132代
〒540 大阪市東区石町1丁目1番地 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95—45
電話075(601)3962

水間義雄

株式会社　水間組　代表取締役社長

〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代
〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15　電話06(961)0785

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

名誉正会員
取締役会長 **道田泰治郎**
取締役社長 **道田泰平**

株式会社　道田工務店
〒660-01 川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代
〒660-01 自宅・川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代

森　淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

安田誠一

安田株式会社会長
(建築金物・アルミ型材製造)
〒542 大阪市南区南船場1丁目11－9　電話06(251)7091
〒661 自宅・尼崎市南塚口町2丁目40-19　電話06(427)5752

村石全

浪速合板株式会社　代表取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

森忠一

村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話 06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市武庫山1丁目10－8　電話0797(72)4461

簀本弦三

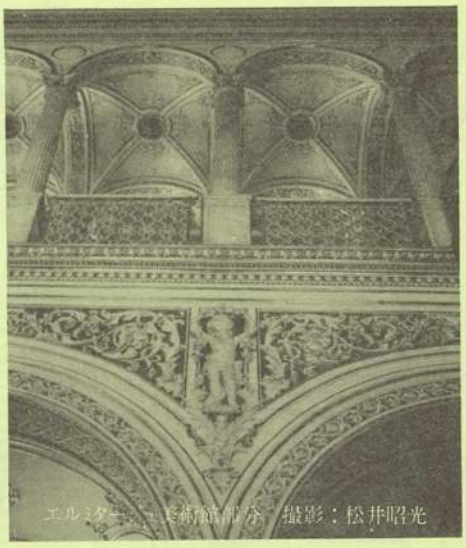
株式会社笹川組　取締役社長
〒520 大津市打出浜13－15　電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市一里山5－9－11　電話0775(45)3966

村上二郎

サンエス石膏株式会社　代表取締役社長
〒530 大阪市北区堂島2丁目4番17号 藤田ビル本館
電話06(344)6526～9
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

八木喜美蔵

八木惣株式会社　代表取締役社長
〒593 堺市津久野町3丁2071番地　電話0722(62)1175
〒593 自宅・堺市津久野町3丁2071番地　電話0722(62)0722


エルミタージュ美術館新館階段　撮影：松井昭光

山田保

株式会社山田保建築設計事務所　代表取締役
〒733 広島市中区本川町2丁目6番11号第7ウエノヤビル2階
電話082(292)8211代
〒734 自宅・広島市西区己斐東2丁目12番27号
電話082(271)0690

村上秀夫

新日本製鐵株式会社 大阪営業所　部長
〒530 大阪市北区中之島3丁目3　電話06(202)2201
〒666-01 自宅・兵庫県川西市清和台西1丁目6－23
電話0727(99)0438

山田恒治

株式会社山田工務店　取締役社長
〒651 神戸市中央区雲井通4丁目1番3号
電話078(232)1800代
〒651-11 自宅・神戸市北区泉台4丁目9番12号
電話078(592)5902

名誉正会員
村野藤吾

村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話 06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市清荒神2丁目18－27　電話0797(86)2559

名誉正会員
山田文次

山田工業株式会社　取締役会長
〒550 大阪市西区京町堀1丁目6番8号　電話06(443)8161大代
〒665 自宅・宝塚市南口1丁目2番2号　電話0797(72)2511

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役社長
〒650 神戸市中央区北長狭通4丁目2－4 英和ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17－17
電話078(221)5050

八十島健二

株式会社竹中工務店　取締役副社長
〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5－30　電話0798(41)0598

山田義行

株式会社竹中工務店
〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201
〒665 自宅・宝塚市寿楽荘14－11　電話0797(72)5858

両角保

浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長
〒130 本社・東京都墨田区錦糸2丁目8－7　電話03(624)2441
〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3－5
電話06(351)7502代

安井忠生

株式会社安井建築設計室　代表取締役
〒550 大阪市西区靱本町1丁目9－18　電話06(448)2765～6
〒662 自宅・西宮市城山町6－17－305
電話0798(72)0865

山本永造

ヤマト電気エンジニアリング株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区西天満5丁目1番3号　電話06(364)3056代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目13－6　電話 0727(23)5176

謹賀新年

昭和58年元旦　(50音順)

山本一彦

株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江2丁目9番15号　電話06(531)4488
〒536 大阪市城東区森之宮1丁目4番204号　電話06(969)0788

山本博三

朝陽電気株式会社 代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06(385)1361代
朝日ビルディング内
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号　電話06(831)6100

米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合 理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号
電話03(945)2311大代

和田眞一

株式会社 東和組 代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号　電話0797(22)3282

和中勝

株式会社 和中商店 取締役社長

〒531 大阪市大淀区豊崎5丁目8番11号　電話06(371)0731
〒662 自宅・西宮市大畑町10－22　電話0798(67)7544

名誉正会員

若林繁吉

二葉屋装備工業株式会社 会長

〒564 摂津市東別府3丁目7番8号　電話06(349)9193代
〒605 自宅・京都市東山区清水2丁目232　電話075(561)6283

名誉正会員

若林季雄

鹿島建設株式会社大阪支店

〒550 大阪市西区靱本町1－11－7　電話06(448)3311代
〒636 奈良県生駒郡三郷町信貴ケ丘211　電話0745(72)4121

渡辺忠

東洋シヤッター株式会社 取締役会長

〒540 大阪市東区両替町1－12日生ビル　電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話 06(856)0983

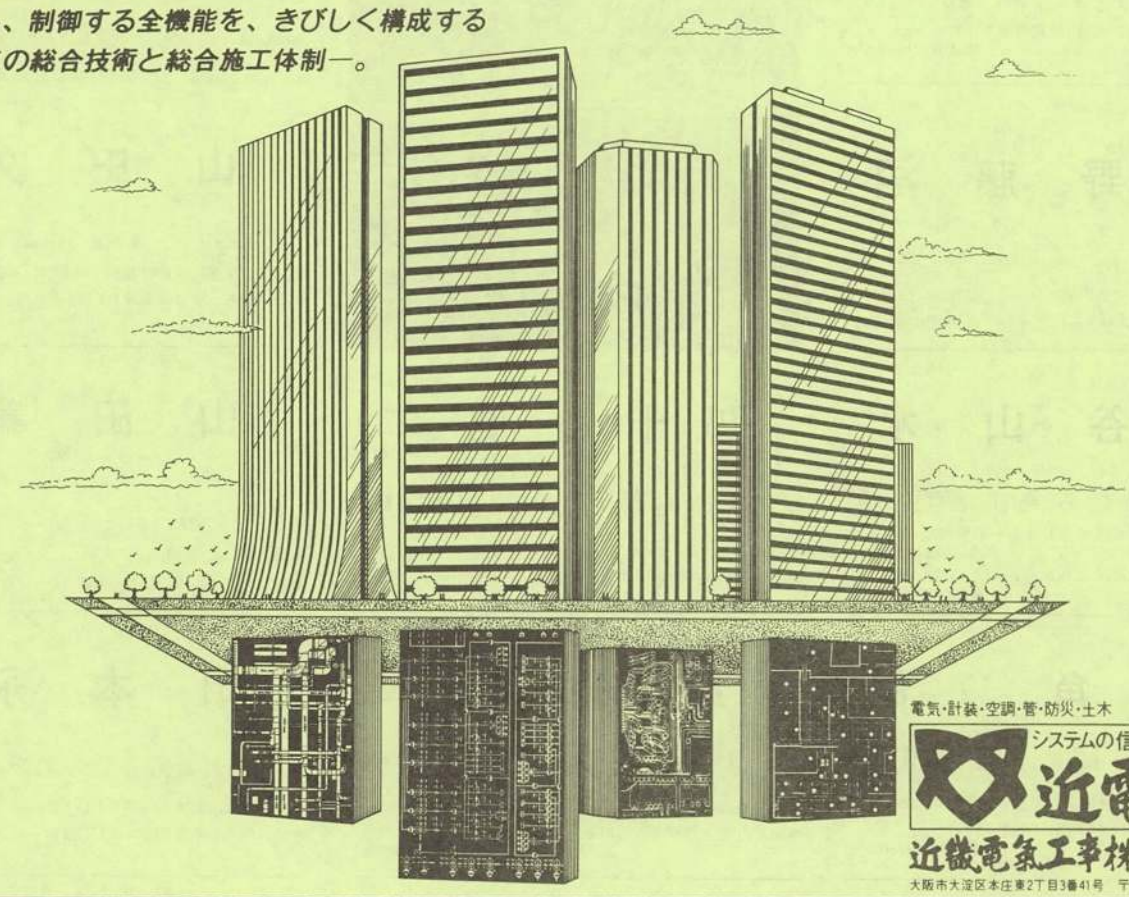
渡辺光一

株式会社 曽根組 代表取締役

〒676 本社・兵庫県高砂市曽根町2257の1
電話07944(7)1551代
〒541 大阪支店・大阪市東区伏見町2丁目15 ホンダビル
電話06(203)4415代
〒650 神戸支店・神戸市中央区北長狭通4丁目 高橋ビル
電話078(321)3471代

信頼の大きさ…近電工の技術です。

あすをめざす都市、あすをつくる技術…。
活動し、制御する全機能を、きびしく構成する
近電工の総合技術と総合施工体制―。



電気・計装・空調・管・防災・土木
システムの信頼を高める
近電工
近畿電気工事株式會社
大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号　〒531 ☎06(375)6000

◀「建築と社会」誌バックナンバーのおしらせ

バックナンバーがそろっております。購入ご希望の方は日本建築協会まで(電話06－231－9648)お申し込み下さい。バックナンバーは特価以外¥650(55年4月号以降は¥750)です。なお、郵送料は実費いただきます。年間購読(12冊¥9,000・送料当方負担)のお申し込みも応じます。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和39年(45集)	建築と照明	＊プレハブ	外部空間	ホテル建築	鋼管構造	施工	第11回青年建築家	宅地開発	オリンピック競技施設	交通施設	工事別建築材料集成(上)	工事別建築材料集成(中)
昭和40年(46集)	尾崎久助	委員会	工事別建築材料集成(下)	内部空間	人間工学	社会開発	第12回青年建築家	施工の手続	建物管理	＊建物と騒音	中小企業団地	医療施設
昭和41年(47集)	＊都市住居	地下街	空気調和設備	建具金物	建築法規	国立京都国際会館	第13回青年建築家	1970年万国博会場計画	＊造園	最近の地下工法	市街地改造	公害と都市・建築
昭和42年(48集)	＊国立劇場	建設機械	日本建築協会50周年記念号	社会と建築	都市と流通空間	住宅と設備	生産施設	モントリオール万博	建設資金	最近の外装	第14回青年建築家	建築と生命
昭和43年(49集)	都市生活	都市のいこいの場	＊50周年記念事業記録号	＊幼児施設	＊教育施設	＊医療施設	都市交通施設	都市供給処理施設	群としての住居	都市のアクセサリー	第15回青年技術者	新都市計画法の諸問題
昭和44年(50集)	＊建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民－中部からの報告	老人とすまい	建築史の方向－現代によみがえる過去－	建築行政に期待するもの	転換しつつある住宅生産	＊解決をせまられる公害問題	＊海洋開発	＊民家の系譜と保存計画	＊第16回青年技術者	九州からの報告
昭和45年(51集)	現代社会とは何か	建築と安全	日本万国博と技術開発	設計のシステム化	グッドデザイン運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	山陽・山陰からの報告
昭和46年(52集)	住宅－60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギと無公害化ビル	建築基準法	都市生活とみどり	＊企画と設計のプロセス	解体工学	都市と港湾	転換期のニュータウン	軟弱地盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	自然とレジャ空間
昭和47年(53集)	冬季オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	都市交通問題	水利用	量産住宅の設備	＊一般号(桂中学)		都市住環境へのアプローチ	都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年(54集)	建築教育	泉北ニュータウンのコミュニティ施設	大阪大林ビルディング	レジャーと施設	大阪国際ビルディング	老人コミュニティ	住宅－建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年(55集)	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギ化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年(56集)	図書館	東海の新建築	＊インテリア	PC板を使用した工業化住宅	社会・建築・法	＊都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	＊人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	＊集合住宅の設備
昭和51年(57集)	証言'76－建築デザインの動向	建築基礎構造の問題点	医療施設	床工法と材料	建築防災と法	市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	＊設備からみた建築の問題点
昭和52年(58集)	＊デザインの動向－部分と全体	兵庫県－その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号 ●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	日影規制と法	身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題－大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年(59集)	デザインの動向－新旧のコントラスト	水	医療施設－病院建築と情報システム	外壁塗装材料	電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	CAD－設計とコンピュータ	＊一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年(60集)	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設の変貌	建物の終局強度の検討	庄内のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年(61集)	80年代の都市と建築－まちづくりの歴史と展望	＊●今後の省エネルギーの趨勢 ●建築金物	＊●最近の銀行建築 ●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	＊最近の防水工法	都市景観とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第27回青年技術者 ●転機にたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年(62集)	職能論	＊中国の論文－北京の都市計画	ポートピア'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法－安全な環境をめざして	都市住宅－住まい手からの発想	●建築物と風－デザイナーのために ●日建設計作品集	住宅・都市整備公団－関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年(63集)	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設－地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観－まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎(第1期)	音とホール建築	大スパン構造	昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホテル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年(64集)	関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	多様化する運動施設	建築と品質管理	グラフィックプレゼンテーションの技法							

雑誌の大きさは第48集からは現行のA4判変形、それ以前はB5判

日本建築協会企画・建築技術選書33

建築式典の実際

若林嘉津雄 著

実際に担当する人の立場に立った，すぐに役立つ式典実務の格好の指導書



「祝詞奏上」
これは地鎮祭における
もので，左下に清砂に
立てた五行幣がみえる

主な内容

式典の意義と種類	上棟式
式典の形式	定礎式・定礎銘文の例
式次第	修祓式
式典用語	竣工式
式典の計画	落成式・竣工披露
式典の準備	直　会
現場係員としての注意事項	火入式・点灯式
手水之儀	除幕式
玉串奉奠について	古井戸埋鎮式
地鎮祭	式典実施要領
起工式	司会の要領
立柱式	挨拶の例・案内状の例

A５・136頁・定価1300円

〈目録進呈〉 ☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

日本建築協会企画・建築技術選書32

建築塗装の手引き

児島修二 著

失敗しないきれいな塗装のために

これまでの建築塗装に関する出版物は，塗料が主体になっており，塗装に関しては必ずしも満足でないものが多かった．本書では，塗料の説明は極力押え，塗装施工側に重点をおいて，どのような点に注意すれば失敗が防げるかについて主力をそそいだ．（本書まえがきより）

■ 本書５つの特徴

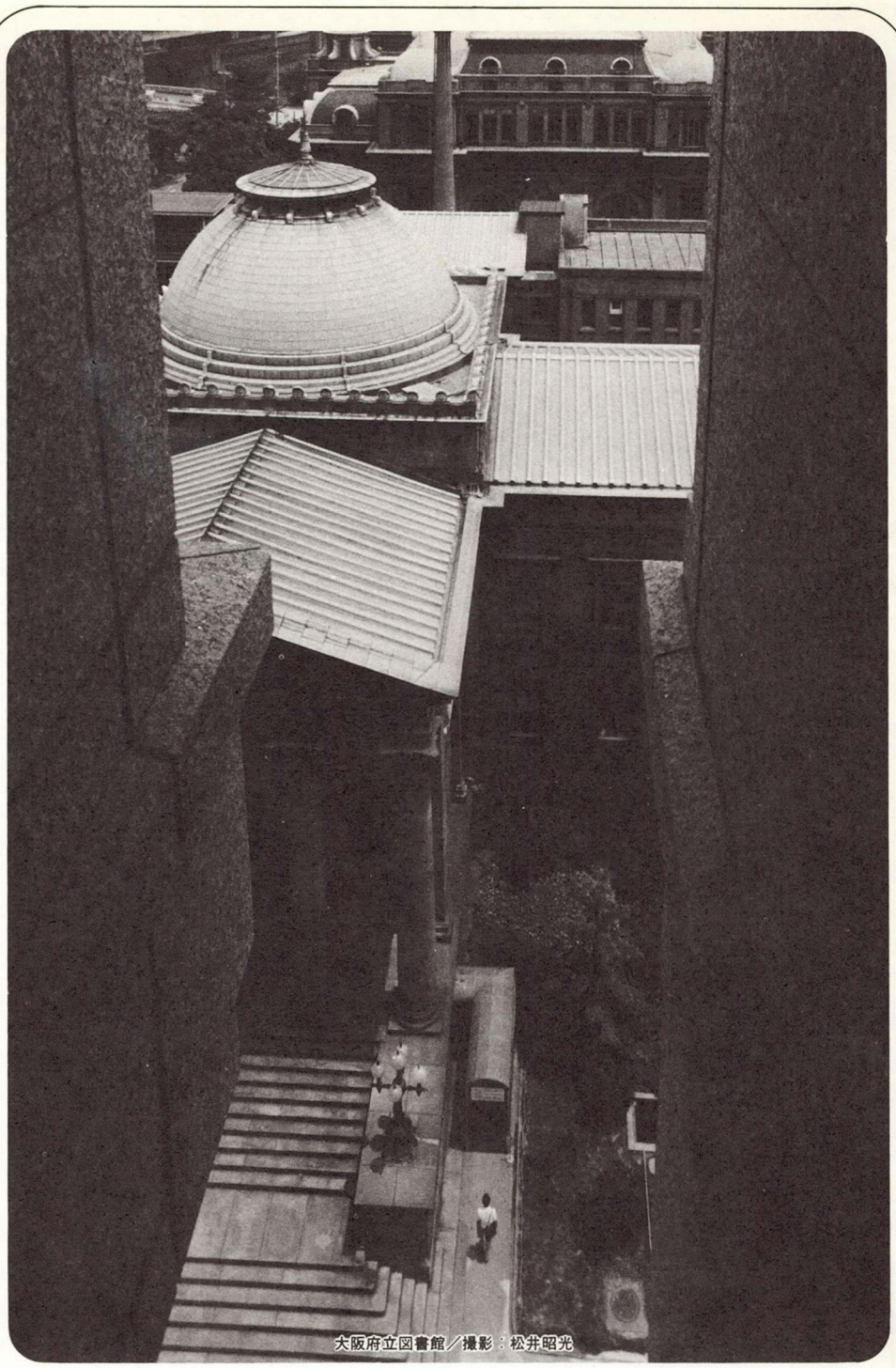
① 塗装の専門家でなくても，理解しやすく役立つ内容
② 塗装施工に重点をおき，失敗しない塗装を考える
③ 過去の塗装の歴史から現代にも通じる英知の紹介
④ ポイントとなる塗布量・塗装時間の工程を考える
⑤ 塗料・塗装における法規，規格の資料を巻末に掲載

A５・160頁・定価1300円

目　次

1. 建築塗装の歴史……法隆寺から現代まで
2. 建築塗装の基礎知識 …成分，種類，乾燥機構，ＪＩＳ，その他
3. 素地の調整……鉄材，木材，壁材
4. 塗布方法……ハケ塗りからエアースプレー塗りまで
5. 外壁の塗装…平たん仕上げ，粗面仕上げ，マスチック塗材仕上げ
6. 内壁の塗装……平たん仕上げ，模様仕上げ，粗面仕上げ
7. 鉄部の塗装……一般鉄部から多湿環境鉄部の仕上げまで
8. 亜鉛鉄板の塗装（付，アルミニウム面の塗装）
9. 木部の塗装……透明仕上げ，不透明仕上げ，ステイン仕上げ
10. 建築塗装の塗り替え ……塗装面の診断，塗り替えの目安，周期
11. 建築と色彩……色の分類・トーン・イメージ，色見本帳
12. 建築塗装の故障・事故 ……20例
付録……塗料・塗装における法規，規格

〈目録進呈〉 ☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入



大阪府立図書館／撮影：松井昭光

特集

関西の建築文化を考える

1 てい談会

関西の建築文化を考える……

……なぜ、いま関西の建築文化か……その先駆性と特質……

小松益喜／玉置豊次郎／吉田光邦

コラム：クレパスの発明と自由画運動ほか

2 アンケート

関西の「建築」と「街なみ」——その風土・21世紀への遺産・展望

3 資料

建築文化の継承——関西の保存再生の事例——

日本銀行大阪支店ほか11例

本号特集編集幹事：福田晴虔・田中直人・岡田信幸・柏木浩一・竹本俊平・手嶋純一・富川薫

てい談会

関西の建築文化を考える……

なぜ、いま関西の建築文化か……その先駆性と特質……

小松益喜（画家）
玉置豊次郎（都市計画家）
吉田光邦（科学技術史家）

司会：福田晴虔（大阪市立大学）

司会（福田）　今日はお忙しいところをありがとうございました。本業は建築の歴史ということになっておりまして、若干近代の都市建築ということにも関心を持っておりますことから、本日の司会を仰せつかったわけでございます。

今日は「関西の建築文化を考える」ということで、これは建築プロパーというよりは、もっと広く関西全般の生活文化というふうなところまで広げて、その中でとくに近代以降の関西の生活文化、関西的な特質みたいなものをできればつかみ出して、今後の関西の建築文化の進むべき道というようなところまでお話を進めていただければ幸いだと考えております。

そういうことで、早速本題のほうに入らせていただきますが、この関西の建築文化というテーマは大変漠然とした話でもありますので、何か取っかかりになるようなことというので一応編集スタッフのほうで考えさせていただきました。とくに明治以降でも私どもが忘れかけているようなおもしろい先駆的な例ないしは、いまあったらいいのになというようなものがずいぶんある気がするわけです。そういうものを少し拾いあげてみる、その中でもとくに関西的と思われるようなものを拾いあげてみる、というふうなことからお話を進めていただいてはいかがと存じます。

クレパス

司会　つい先ごろ新聞で見て驚いたんですが、大阪商工会議所の副会頭なんかもお務めになられた西村さんがついこの間亡くなられたんですね。この方が実はクレパスの発明者でいらっしゃる。クレパスというのは私なんか小学生のころからずっと使わせていただいてます。クレパスが、たしか大正ごろにすでに発明されてたということは、ついぞ知らなかったんですけれども、考えてみると大変におもしろい発明ではないかという気がするんです。いまではすっかり日本の学校教育にはなくてはならないものになっているわけですが。

吉田　クレヨンとパステルでしょう、その合成語なんですよ、あれは。だから〝サクラ〟というネーミングで出てましたよね。

司会　こういうクレヨンとパステルを合成するなんてのはなかなか普通思いつかないことだと思うのですけれども、そういうものを合成して全く違うものをつくり上げるあたりが関西の一つの特性のような気もするんです。これは小松先生、画材という点から見てどういうふうにお考えになりますか。

小松　あれは外国へ行って彫刻家の、この間日本で展覧会をやった彫刻家ですが、その人に持っていったら、お礼に、ずいぶんいいデッサンをくれたのです。クレパスというのは世界で一番きれいですね、優秀なものですわ。とくに画家用専門に特別の木箱に入った大きなクレパスなんてのは実に色がいいですわ。上品な色で、35、6色入っていて、断然いいですわ。

司会　クレパスが発明されたというのは、あの当時の背景みたいなものがあったんでしょうか？

吉田　あったんでしょうね。当時洋画を出て小学校・中学校の先生になる人が多かったんだけれども、そういうところにある画材というのはクレヨンか水彩の二つしかなかった、どうも油で習ってきた先生には向かないんですね、それで先生たちがみんなクレヨン画というのは苦労したんでしょう、それでパステルはまたパステルで非常に技術的にむずかしいというので、それでそういうものをミックスした何かがほしいという要求がかなりあったんですね。学校の先生が一番中心だったんですね。

小松　小学校の先生ですね。

司会　あの時分に大阪なり関西なりであいうパステルに代表されるような形で自由画運動みたいなものがかなり盛んだったのですか。

吉田　あのころはああいう一種の自由画運動風なものはかなり全国的にあったんですね。むしろ東京のほうが盛んでしたね。

小松　そうですね、山本鼎さん、信州におって、東京へ出てしょっちゅうやっとったからね。

吉田　結局自由画は信州教育、信濃教育派の一つの流れなんですけれどね、それまで文部省の絵手本というのは非常にきっちりしており、それに代わる自由画運動を山本鼎さんがずいぶんやったわけです。

あのころはそういう運動がありましてね、例の竹久夢二ですら榛名に農民美術研究所か何かつくったりしてるんですよ。

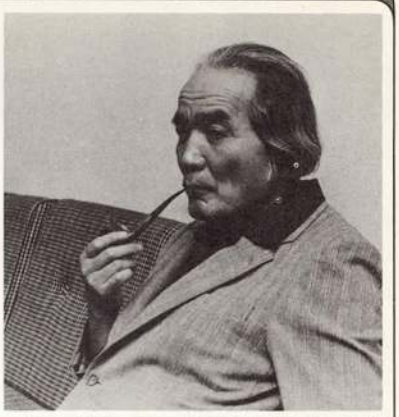
司会　竹久夢二といえばまた関西と非常に関係が深いんですね、ぼくらはいま周囲の状況を知らないものですから、非常に孤立的な現象としてとらえちゃうんですけれども、クレパスにしても竹久夢二にしてもそれを支えてたようないろんな運動がずいぶんいっぱいあったわけでしょうね。

吉田　大正・昭和の6、7年ごろまでは、割に一つのリベラリズムというか、まあデモクラシィというか、そういう気分が盛んだった





▲玉置豊次郎（大阪住宅センター理事長・大阪工業大学名誉教授・大阪在住）



▲吉田光邦（京都大学人文科学研究所教授・京都在住）

◀小松益喜（画家・神戸在住）

時期でしょう、学校教育でもそうで、いまほど厳しい指導要領はなかったですね。だから割に先生、自由にやらしてました。わたしらの世代なんてそういうものばっかりでやってましたから、文部省の絵手本なんて先生ら全然無視して使わなかったし、別にそれを使わなくても文句もなかった、そういう時期です。

魔法びんとガラス

司会　似たような話で、時代はもうちょっと後になってきますと、大阪にはおもしろいものがいっぱいあって、たとえばＮＴカッターみたいなものだとか、それから魔法びんも大阪の発明らしいですね。発明というか、商品化したというか……。

吉田　たくさんつくって商品化したのは初めてね。あれは大阪に割にかたまってガラスがあったからですね。大阪のガラスはほとんどがびん工業でしょう。

司会　そういう一種のやりくり――と言ったら言葉が悪いんですけれども、そういうやり方が関西人というのは得意なんでしょうか。

吉田　というより、あのころの商品分類で、小間物雑貨というんですがね。それは大阪というのは何でもつくったところでしょう、それがアジア、大体中国だとかインドだとかそういうところをマーケットにしてて……いまでも大阪でつくってるガラス玉がアフガニスタンの奥へ行ってますよ。

小松　ビー玉？

吉田　いや、飾り玉です。ネックレスなんかに使う。わたし20年ぐらい前にアフガニスタンの山奥で見てびっくりしました。

司会　意外に大阪というのは東南アジアとかそういうところと……。

吉田　それは何といっても基本に綿業があり、綿の買い付けというところから始まるんです。大阪の商社というのはもともと綿の買い付け業者ですからね、だからみんな「綿」がついてますわ。

玉置　紡績工業でもガラス工業でも大阪が最初ですからな。明治のごく初期にできてますね。

吉田　もう一つは工業試験所ですね。ガラス研究が大阪の工業試験所の中心だったわけですね。

司会　いまでも泉南のあたりだとか河内のあたり、かなりガラスの、しかも独特な美術品としてのガラスがつくられてますね。

吉田　河内長野、あのあたりがそうですね。例のガラス棒を引っ張っていろんな船や馬車やなんかつくる、あれがそうですね。しかしあれが香港物に全部やられたんですね、20年ぐらい前に。それはなぜかというと、それこそまさに一つの欠点なんですが、わたし河内長野のほうへどうしてやってるかと見に行ったことがあるんです。ただ敷居に並べてるんですよ。いろいろ並べて、で、これでいいなとか言って、それでひもを通してあのロングネックレスをつくってるんです。それでわたしは、そんなことをしてたらいまにだめになるぞと、そこへもう少しデザインというものを考えたらどうだ、と言ったことがあるんです。そこが大阪の一つの欠陥だと思うのです。そういうところへもう一つ知的なものを働かそうということがなくて、経験を過信し過ぎているんですね、これでいけたからいけるんだというような、そういう調子があったと思いますよ。

私鉄経営と文化

司会　関西は私鉄が非常に発達しておりまして、しかもその私鉄が関東の場合なんかと違って非常に多角経営をやっておる。単に電車を動かしてるだけじゃなくて、劇場をつくったり、住宅地をつくったり、遊園地をつくったり、これも非常に関西的な特色で、クレパスと同じような発想でやってるのかなというような気もするんですけれども……。

吉田　池田の一帯の建売り住宅の開発が、田園調布より早いんですね。

玉置　東京は７割までが江戸時代には武家屋敷だった、それがあくと、そのあとへどんどん一般の人が入っていくわけですわ。だから一人の大名の屋敷が５万坪、そうしますとその屋敷があきますと、そこへ何百戸という家が建つんだな。だから住宅地には苦労してなかった。大阪はそれがなくて、郊外に住宅地を求めざるを得なかった。そこを小林さんが目をつけて、箕面やとか宝塚ぐらいではどないもなれへんねんけども、最初から住宅地をね……。

吉田　池田にまだ残ってますよ、なかなかきれいな家並みで、敷地も広いです。あれが一番最初でしょう。

司会　そうしますと、いま日本の中で住宅地としてそこそこ非常に定着性もよくて環境もいいという安定した住宅地になってるところ

というとこの関西、とくに阪神一円がやっぱり筆頭という気がするんです、東京ではこういう安定した形の住宅地というのは育たなかったという気がするのですけれども、このあたりは小林さんの阪急なりあるいは阪神鉄道の鳴尾なり、ああいう私鉄のやり方がうまいところがあったからなんでしょうか、それとも偶然にこういうことになってしまったものなんでしょうか？

玉置　あれで箕面やとか宝塚目当てに、最初はもちろん住宅地をつくるのが目的だけれども、それができるまでは観光地としての箕面か宝塚でしょう、ところが箕面といったって紅葉の時期はしゃれてますわな、結局宝塚の温泉へ入ってもらわないかんわな、ところが温泉だけでは来ないもんだから、それで少女歌劇をやったんやね。それが当たったんやな、それが電鉄会社がいろんな兼業をやる始まりですわな。兼業をやって当たったもんやから、そうしたらほかのものもやったら当たるだろう、と。こういうようなことじゃないんですかな。

あれは新聞社でも、大阪朝日やとか大阪毎日がいろんなことをやってますが、外国の新聞社であんなことをやってるところはどこもないでしょう、だから兼業というのは一ヵ所の業種でやると、ほかの業種の連中もみんな兼業をやる。それが大阪の始まりでしょうな。東京はその点ずーと遅れてますわな。東京の田園調布というのは、大阪から比べたら5年遅れてますね。それで百貨店の経営なんかというのは、これは大阪が一等早いんですわな。

電鉄会社が百貨店を経営するなんていうのは、東京では十何年も遅れている。

旦那の文化

司会　たしかターミナルデパートという形式ができたのは、年代的に一番早いのは、東武の浅草だったと思いますが、しかし実質的にターミナルの名実を伴ったのは多分阪急梅田が最初じゃないかと思いますが、ああいうぼくなんか見てますと、確かに〝ついで〟といいますか、ねらいは別なところにあったのかもしれないんですけれども、ああいうふうにいろいろ多角経営に乗り出していくというのは、関西の企業の特質として、一種のパトロン的なといいますか、そういうふうな性格があるようにもわたしなんかには見えるんですけれども、その点はいかがでしょうか。

吉田　そうですねえ……しかし関西では、やはり江戸時代から大商人というものは何でもやるもんだという気分があるんです。明治も意外に早く関西は大商人が多く出るんですよ。新聞でもそうでして、同じ時代で比べていきますと、東京ではいろんな新聞がいっぱい出てたが、ところが関西ではあっさり朝日・毎日なんですよ。それ以外の新聞が出る気配もないし、また生まれる気配もなかったんですね、関西というのは。そういう大きいものができると、なんかそれについていっちゃうんですね。だから今度は朝日や毎日がいろんな事業に手を出していくと、やはり関西はみんなついていく。そういういろんな事業ができるような環境が確かにあったという気はしますね。旦那さんの芸というものはみんな認められてたわけですよ。

玉置　あれもやりたいこれもやりたいで、やっぱり欲ボケかな（笑い）。なにでもうけたろうという……小間物屋さんみたいに、あれも置かんならんこれも置かんならんというのと同じじゃないですか。それとやっぱり関西から西、中国・四国・九州が全部大阪の商域圏だったでしょう。ともかく幕府時代から蔵屋敷があって大阪を繁盛せしめた、つまり金融の中心地として西日本を掌握してましたわね。それの続きがずーと後の大阪にまで幸いしたんじゃないですかね。だから船場あたりの商社へはみんな西の方から買いに来ますわな。だから昔は商人宿というのがたくさんありましたな。それで九州から来たお客さんが宿屋へ泊まるでしょう、そうすると久宝寺町あたりの問屋からどっさり荷物を背負ってきて、そこでお客さんの前でダーッと並べるんですよ。宿屋やら商売屋やら、わからんようなね（笑い）。

司会　最近ではそういう旦那衆自身がいなくなったということもあるでしょうし、また商圏がずいぶん狭くなったという状況もあって、大阪の中にかつてのような多様性をもった文化というのが生まれてくるのはむずかしいということになりましょうか。

吉田　と思いますね。大阪はそれから後非常に勤勉になりまして、遊びをあまり認めないところになった（笑い）。やっぱり旦那衆が遊んだからカルチュアがあるんですが、そういう遊びが悪徳のようになってきた……。みんな働いてばかりいる。

玉置　昔は旦那衆がみんな船場に住んでましたわね、だからそこから道頓堀の芝居を見に行ったり、新町へ遊びに行ったりしても、すぐに帰れますわね。このごろそんな人がみんな阪神沿線へ行っちまったものですから、わざわざ出てくるのがおっくうになって、あまり行かなくなってしまったことが非常に影響してるんじゃないですかな。

吉田　その通りだと思いますよ。

都市の個性

司会　かつては大阪の商人は、遊ぶのは大体京都あたりへ出かけて行き、商売は大阪でやり、住むのは阪神間か、もしかすると須磨か。京都・大阪・神戸という三都市は微妙な連担関係といいますか、結びつきをもっていた時期がありましたね。こういう状況も近ごろは様子が変わってきたということですか……。

吉田　もういまは完全にバラバラじゃないですか。わたしらめったに大阪へ来なくなった、来る用事がない（笑い）。つまりわれわれのような仕事をする場所が大阪にもうないんですよ。

小松　ここ5年の間に非常に変わったですね、驚くほど変わった。建物でも全く変わってしまった。全く昔の面影なしですよ。神戸でも、色がでたらめについてくるし、勝手に色をつけて、困るんですよ。もっと色を整えて、赤いまち、黄色いまち、白いまちとこしらえると面白いですよ。たとえば牛肉を売る店だったら赤いまちにする、紙は白いまちにする、お医者さんは緑色にすると、そういうふうに色分けしてやってごらんなさい、とても気持ちがいいしきれいですよ。外国でもパリが昔はやっとったけれども、最近全然なくなってきて、いまはもうネオンサインでも赤緑青といっぱいついてる。

吉田　パリの色もきつくなりましたね。

小松　いやらしくなりました。昔は黄色に白にコバルトと三つだった、それ以上つくらせなかったわけです。

玉置　スイスのレマン湖あたりでもね。

小松　欧州もいまはどんどん崩れてるんですよ。

司会　玉置先生が大阪で都市計画をおやりになってた時期というのは、まだ三つの都市がある関係を保っていたと思うのですが……。

玉置　初めは大阪市の地図だけ広げとって仕事ができてたんや。ところが大阪がだんだん膨張してくるでしょう、そうすると今度は大阪府の地図を広げんと仕事になりませんねん。ところがこのごろは近畿圏の地図を広げんと仕事になれへん。ところがこの間、大阪市役所へいきまして、大阪市役所は大阪市の地図だけ広げて仕事してるじゃないか、だからお前んとこやってること間違うてるんだと…（笑い）。近畿圏全部の地図を広げて仕事するのと、大阪だけの地図を広げて仕事をするのとで、考え方はまるで変わってきます。

小松　第一、まちの建築と田舎の建築が同じになってきましたよ。田舎へ行ったって全部アルミサッシュでやったりね。藁葺探しに行ったって、そんなもの、少なくなりましたよ。ということから考えて、ラジオやテレビができると非常に影響してるんですよ、都会と田舎を平均化する役割をしているわけですよ。

司会　いまいみじくも小松先生おっしゃったみたいに、結局そうすると大阪の都市計画をやるときに近畿圏全体を見なくちゃいけない。逆にそのことは一つ一つの都市があまり個性がなくなったということにもなるのですね。

玉置　個性は完全になくなりましたね。

小松　どこへ行ったってモルタルばりの家で赤い屋根で、ちっとも変わりゃせんのですわ。ぼくらが建物の風景を描いとるでしょう、ゲッソリしますよ。せっかく藁葺の屋根みつけたって、アルミサッシュがビューッと張ってあってね、真っ白けの線ですが。外国はその点きちんと保存すべきところは保存してますね、大したもんですよ。しかしパリは非常にまちがこぎれいになって、つまらなくなった。昔は石炭のように真っ黒だったでしょう、ノートルダムでも真っ黒だったのが、いまは真っ白になって、それがカルキで洗って、臭いですよ。カルキ臭くて、まちを通る気がせんというくらいいやらしい。プンとにおいがするような色になって、真っ白にならずに大理石が黄色になってね。水洗いが足らんからですわ。

玉置　戦争前は秋田へ行ったら秋田らしいとか、高知へ行ったら高知らしいとか、鹿児島へ行ったら鹿児島らしい建物が建ってましたよ、だからおっしゃる通りまちを歩いとっても面白かったですよ。このごろはまあ空襲で一応みんなパーと焼けてしまって新しいものに替わってきたわけですが、学校が日本全国同じ教え方をするでしょう、建築規則が日本全国同じでしょう、だからどこへ行ったってみんな同じ建物が建っとる。ちっとも面白うない。

小松　ほんとに同じになってしもうたですね。あれは建材が問題なんですよ、一番。建材が大衆化したので、どこへもすぐ使って間に合うからそういうふうになったんですよ。

玉置　それでこのごろ住宅の大手のプレハブメーカーが日本全国に店をはって、同じ家を売っとる。だから大阪に建つやつも鹿児島に建つやつも同じですわ。違うのは北海道だけ違いますねん。北海道は雪の問題がありますからね、その雪が東北と違って凍ってカチカチになりますからな、こっちのような家を建てるわけにいかん。北海道だけが違いまんな。青森からこっちは鹿児島まで、みんな同じだ。

司会　近代というと個性がないように受け取られがちですが、しかし、戦前までは、京都なら京都らしい大正・昭和建築、それから大阪らしい大正建築、神戸らしい大正建築というのがあったような気がしますね。

小松　昔はあったですよ。

吉田　大体あれはコンクリートの手仕事ですよ。たとえば京都の市役所なんか壁の表面にずーと細い線が入れてありますね、あれは手仕事でやらないとできるはずがないですよ。それがいまはパネルで

コラム：関西における先駆的事例・1

クレパスの発明と自由画運動

尽力者：㈱サクラクレパス（桜商会）
発祥地：大阪市
時　期：大正14年（1925年）

『クレパス』は、1925年に（株）サクラクレパスという会社が、クレヨンとパステルのそれぞれの長所を採り、短所を補うものとして、日本はもちろんのことフランスなど世界各国の特許を受けて発売したものである。

クレパスが発明されるまで日本の子供たちは何で絵を描いていたかというと、明治のころは、墨絵が中心で、彩色する場合は色鉛筆が用いられていた。大正６年（1917年）にフランス生まれのクレヨンが日本に輸入される。――自由画の提唱者である山本鼎画伯らがアメリカの図画教育を視察し、そのとき、クレヨンの優秀さを認めて輸入教材として使用され始める。その後、日本でもクレヨンが製造され、サクラクレパスの前身である桜商会も、いちはやくクレヨンの製造を開始し、ひきつづいてパステルの製造も始め、そこからさらに優秀な描画材料の研究を前進させ、棒状油絵具ともいうべき世界的画期的な新製品を生み出した。それが「クレパス」である。

そのクレパスの誕生当時は、自由画運動という新しい運動が活発に行われようとしていた。1919年、山本鼎は、子供の創造力を重くみて「大人の絵を手本とせず自然から学ばせよ」と、自由画教育運動を提唱した。この考え方が学校の図画教育の主流となり、戦争で中断するも、今日にいたるまで、ずっと引き継がれて、教育の根底に流れている。これには、クレパスが最も適した絵具として今もなくてはならないものとなっている。

参考文献：『大阪春秋』第11号／平凡社「国民百科事典」



昭和10年頃のクレパスの箱の表貼り（左）と裏貼り（右）

コラム：関西における先駆的事例・2

YMCA活動と屋内体育館

発祥地：神戸市
時　期：明治44年１月７日（1911年）

神戸 YMCA の最初の会館として建設された青年会館に併設されたこの屋内体育館は、長さ70尺、幅35尺、高さ21尺で、ちょうど25ｍプールほどの大きさであったという。この後、ほぼ同時期に横浜、京都の YMCA でも同種の室内体育館がオープンしたという。

この神戸 YMCA の体育館の中で、バスケットボールが米国のジェームス・スミス博士の考案からわずか２、３年後に開催された。この後、日本でもインドアスポーツが盛んに行われるようになったそうである。

パンパンとつけちゃうから……。いまや建築とはアセンブリーの工業であって、コンストラクションする工業と違うんじゃないですか。

玉置　アメリカの設計と日本の設計と違いますねん。日本の設計はまだ建築屋さんが自分の意向の図面を描いてますけれども、アメリカの建築屋さんというたら、工場でできている品物をいかにひっつけるかというのが建築屋の仕事になってね。

吉田　すでに日本もいまはそうなってるのじゃないですか。わたしときどき眺めてるとそういうのが多いと思いますけれどね。

はじめ物語

司会　これはこちらの編集スタッフで新聞や何かで切り抜き集めた「はじめ物語」ですが、いろいろ探してみますと、こういうのでわれわれが知らなかった例がずいぶんあるもんだなという……。

玉置　大阪建設業協会、天満にありますが、向こうが似たような本を出してますよ。あれに大分書いてありますな。エレベーターのはじめはどうやとか、ガラスのはじめはどうやとかな。

小松　これはいいものをいただきましたな。話しに来たんじゃなくて、教えられに来たようなものですな。

やっぱり昔はよかったですね。昔を嘆くのはいかんけれども(笑い)、昔はよかった。時間をかけとるから。

玉置　いまおっしゃった通り念には念を入れてやってる。このごろはなんか知らん間に大きいやつが建っとる。わたしはこのごろ足が悪いもんだから、タクシーで御堂筋をしょっちゅう通るんですが、日航ビルが建ってるの、気いつかなんだ。あんなもの、知らん間に建ってしもうた。タクシーおりてから、あれあれ、あんなものいつ建ちよったんやなと。結局、工場でできてきたやつをくっつけた…。

小松　大工さんでもそうですよ。まちの大工さん、つくっているのを見ていたら、全部うちで木をこしらえてきてパパンと現場へ行って組み立ててるだけですよ。

司会　ああいう形でつくられると、目立たないと言いますかね、ほんとに見過ごしてしまう可能性がありますね。昔の日生など、古い建物のほうが存在感がそれぞれにあって、すぐわかるという感じがしますね。

まちなみ景観と緑

司会　ああいう御堂筋みたいな形で軒線を全部そろえてあれだけ壮大なものをつくったのは大阪がはじめてだと思うのですけれども、そのようなやり方が、よくあの時期に大阪にすんなりと取り入れられたものだなと、わたしなんか思うのですがね。

小松　あれはずいぶん問題になったからね、あんな広い道をつくってどうするんだとずいぶん抗議が出たわけですよ。

玉置　大阪の御堂筋が完成したのが昭和10年ちょっとでしたね、それでわたしが関東大震災のあとで東京の昭和通りをやったのですが、近所の人が大挙して怒ってきますねん、こんな広い道つくりやがって、と言うてね。銀座でも広かったんですからな、それよりまだうんと広い。両側に木造の平家か2階建ての家しか建てへんのですよ、ですから本当に広いんだな。怒るもんだから、見に行きました。いや、これは広過ぎたかなァ、しもうたなと思った(笑い)。それではじめは、銀座や昭和通りは電車はひかんということにしてたんですけれども、あんまりやかましく言うもんだから、新橋から三原橋まで市電を引いて、堪忍してもろうた。えらい時世が違いますなあ。それはいまから見たらもう五、六十年も昔の話だからしようがないけれどね。

小松　それから御堂筋の木なんか、四角にするなり丸にするなりして面白い形にこしらえたら、きっといいと思うのになあ。いまはドーンとのびてしもうて、まるで森の中へ入ってきたみたい。あれはいい剪裁方法を考えないかんね。

玉置　あれはしかしどっちがいいですか、関西では庭でもみんなきれいに丸く刈ったりいろんな形に刈ったりしますが、東京ではあまりやりませんな。東京は伸びっぱなしが多いんですよ。

小松　しかしまちの中では切ったほうがいいと思うねえ。イチョウなんかポンポンと四角に切ったらおもしろいですよ。そういうことをやってほしいな。

玉置　統一美というのがありますが、あのバーッとしてるのもまた美しい場合がありますよ(笑い)。人によって好みが違いますからね。

司会　東京ですと、たとえば日比谷公園というのは都心の、人工的でいながら緑がある。大阪の場合、そういう場所が少ないような気がしますね。

吉田　大阪というのはそういうことで、よくそのままで住んでるなと思いますね。

玉置　植木屋が高いからね、やたらに手を入れられへん。京都御所やとか修学院やとか桂離宮のあの庭、あの手入れの値段といったら大変なんですよ。あれは国持ちだからできるけれども……(笑い)。

司会　京都では御所とかが広い場所を占めてますので、そういう公開空地的みたいなものが重要になっているわけですね。

吉田　ですからいわゆる公園面積から言うと京都は悪いんですよ、土地の人口比率から言うと決してよくない。ですけれども公園でないところが、たとえば、下鴨神社の境内なんてものが公園になってますからね、広大な雑木林ですからね。東京も大宮御所や、青山墓地などがあってずいぶん大きなグリーンゾーンになってるでしょう。大阪が一番ひどいんじゃないですかな。大林のビルのてっぺんのレストランから大阪を昼見渡すと、真っ白ですね、コンクリートで。はるか向こうに高津あたりのグリーンがちょっと見えるだけ。あそこから見たら、大阪って、よくこんなとこで生きてるなという感じがしますね。

小松　中之島の上にハイウェーが通ったでしょう。あれで控訴院が見えなくなった。控訴院の赤い建物が見えてはじめはよかったのに。

――あれはまだ保存運動が起こらん時期だったんですよ。住民運動がまだ起こらんかった。あれから保存の住民運動が起こってきた。

玉置　日本橋の上に高速自動車道路が通ったり、大阪の堂島の上にハイウェーが通ったりね。あれが今日だったらもうできませんな。

司会　玉置先生がタッチしておられたころ、手を入れられたと思うのですが、大阪の公園計画というのはあの時点ではどんな構想がおありだったんですか。

玉置　公園なんか観念がなかったんじゃないですかね。

吉田　公園というのは太政官令で出てますけれどね。

玉置　だから住吉公園なんて早くから国の指定を受けたので公園にはなってますけれどね。新たにつくろうというような観念は貧弱だったですなあ。

司会　そうするとむしろ御堂筋なんというのはそういうものに対す

る一種の補完効果という意味もあったんでしょうか？

玉置　それとは関係がないと思いますね。

司会　そうすると街路樹のほうはむしろ重点があまりなかったということになりましょうか。

玉置　いま街路樹のお話が出ましたけれども、平安期はあの街路樹が植わってたんですよ。.延喜式にちゃんと出てますわ。

吉田　中国の長安、洛陽、みんな植わってましたからね、それをモデルにしたんですね。

玉置　ところがヨーロッパには全然街路樹はなかった。ポンペイでも街路樹を植えた形跡は全然ありません。ローマでも全然ない。ところが文芸復興で新しい道をつくりましてな、それでそのときにはじめてヨーロッパのまちに街路樹が植わりまんねん。それでそれをまねしてアメリカでワシントンをつくるのにおそろしく金がかかりました。それでまちというものは人間が住んで仕事をする場所や、そんなに金をどっさりつぎ込んで遊ぶような場所と違うんだと、こういうことになりましてね、非常な反感が起こりますねん。それで、その後のニューヨークにしてもシカゴにしてもロサンゼルスにしても街路樹はありません。メイン道路に街路樹、あれへんのですよ。それでずーときたんだけれども、これじゃいかんということになって、その後今度は大々的に公園道路というのをつくりましてね。まあいまは街の真ん中は街路樹はないけれども、あのぐるりにどっさり公園をつくるようになりました。反動、反動、反動の繰り返しですわな。

小松　とにかく建物が高くなったので道が狭くなったことは事実ですね。ピサロの絵とユトリロの絵では、同じところを描いているのに、ピサロの時分には全然まちが広いわけですよ、そこへ3階建てぐらいの建物が8階建てになってるでしょう、狭く見えてしようがないですよ。それを日本でこの間感じたことがありましたな、神戸の山本通り、あんなに狭いはずはなかったのにと思って見たですよ。どんどん大きなアパートがいっぱい建ってきたでしょう、全然変わってしまうんですね。だから道の幅が広いとか狭いとかいうのは建物によってずいぶん感じが違うから……。

吉田　それはヨーロッパで早いこと気づいてるんですよ。ヨーロッパは割に早く、紀元前1世紀のころからもうすでに道幅と高さという概念がありますね。

玉置　はじめはなかったけれど、途中からつくりますわね、つくるときには大体そういう……。

小松　それからまちにもっと木を植えてほしいということは確かですね。あんまり建物建てて木をつくらなかったら、人が死にまっせ。夜、酸素を出してくれるものがないからね。排気ガスばっかりになってしまうでしょう。だから炭酸ガスを吸収して酸素を出してくれるために、もっと街路樹、うんと大きくなってもいいから、街路樹をつくらないかんですね。

玉置　東京の原宿、かつて高級住宅地だったですわな、ところがいまはもう立派な商店街になってる。どうしてあんな商店街になったんか、これ、合点がいきまへん。

小松　明治神宮があって、とても静かだったですからね、それがいまは超モダンですからね。

玉置　そうしたらね、ああ、なるほどこれやなと思いましたわ。銀座は柳取ってしもうて、その歩道に下草だけですわ。ところが原宿はいまの街路樹がワーッと植わって、迫ってますねん。それであの下を歩いたら気持ちがいいんだ。夏はもちろんのこと、春でも秋でも、あの下歩いているのと銀座歩いてるのと、まるで感じが違いますわ。そうすると喫茶店に入ったって、やっぱり原宿の喫茶店のほ

コラム：関西の先駆的事例・3

私鉄の多角経営

——住宅開発、歌劇、遊園地、野球、図書館等

組織名：阪急電鉄等
発祥地：大阪府池田市等
時　期：明治43年(1910年)

わが国初の計画的〝街づくり〟は、大阪府池田市室町（10.9ha）の住宅地である。そのパンフレットには「土地100坪付き」「建坪30坪」「1戸に1つの井戸」「全戸に電灯有り」「庭園完備」とうたわれていたそうである。大正期から宝塚歌劇を発足させた阪急は、戦後も文化攻勢をかけ続け、昭和24年には全国初の芸能専門図書館「池田文庫」を開設している。これを追って、近鉄は東洋美術関係の「大和文華館」(奈良市）を設けている。

コラム：関西における先駆的事例・4

ターミナル百貨店とターミナル型ショッピング・センター

尽力者：小林一三の阪急電鉄㈱
発祥地：大阪梅田
時　期：大正14年6月1日(1925年)

明治40年10月19日、故小林一三氏より「箕面有馬電気軌道株式会社」として創立され、明治43年3月10日梅田～宝塚、石橋～箕面間の運転を開始した。沿線には一つの都市もなく、乗客の誘致策のため宝塚において宝塚新温泉を利用した娯楽場（室内温泉プール、宝塚唱歌隊のちの宝塚歌劇など）を計画する一方、当初から住宅経営にのりだすなど、アイディアあふれる経営であった。大正9年7月16日神戸本線の開業のあと同年11月に梅田に阪急ビル（旧館＝地上5階建）が完成し、当初1階を白木屋に店舗として貸していたが、大正14年6月1日に同ビルの1階を新たに停留場の出入口に使用するのと契約が切れたので、2階・3階に直営のマーケット、4階・5階に食堂を営業することとなる（各階80坪、全部で320坪で菓子、食料品類、書籍雑誌、玩具、靴、洋品雑貨、時計化粧品など、営業時間は9時～21時までの12時間営業であった)。阪急マーケットの好評で、昭和4年4月には、地上8階、地下2階の延べ面積3,200余坪の梅田阪急ビル（新館）第1期に、阪急百貨店を開店する。　参考：「阪急30年史」他

なお、「西阪神マート」（のちの阪神百貨店）は昭和8年3月。「高島屋」（創業天保2年）が南海電車のナンバに進出するのは昭和7年。ターミナル型ショッピング・センターとして〝川の流れるまち〟阪急三番街（当初店舗面積24,000㎡246店舗)が開業したのは昭和44年11月30日。ミナミの〝なんばCITY〟の第一次オープンが昭和53年11月、55年3月完成（店舗面積25,000㎡333店舗)。



マーケット時代



第2・第3期の阪急百貨店

コラム：関西における先駆的事例・5

私鉄——のりもの(その1)

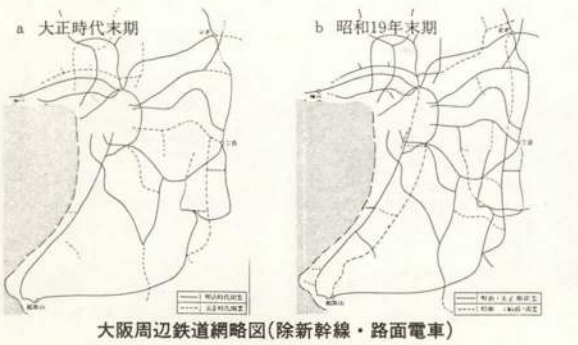
尽力者：阪堺鉄道
発祥地：大阪、難波～大和川間
時　期：明治18年12月27日(1885年)

わが国の純民間による私鉄の最初は、明治18年12月開通の阪堺鉄道（現南海電鉄）の難波～大和川間7.6kmである。関西における鉄道の建設は、明治7年5月の大阪～神戸間の官設鉄道に始まるが、明治10年に京都まで延伸され、明治22年7月には東海線全通に至るが、鉄道草創期においては、ほとんどが私設鉄道であった。私鉄の特色は、都市間、都市と郊外を結ぶ郊外電車である。明治36年6月阪神電車が神戸までの工事に着手し、38年4月に広軌道を完成したのをはじめ、明治末から大正期を通じて現在の主要路線はほぼ完成している。(下表・下図参照)

私鉄は名称の変更や合併をくりかえしながら、大いに発展した。明治39年の鉄道国有化法によって、私鉄の買収がすすみ、大阪においても西成鉄道（30年2月買収)、山陽鉄道（39年12月)、阪鶴鉄道（40年8月)、関西鉄道(大正4年10月）が、いずれも買収されて国有鉄道となった。

明治末～大正期の私鉄線路網の概要　資料：『明治大正大阪市史』第3巻

会社名	線路名	開業年月日	起終点
南海鉄道	南海本線	明治32.10. 1	難波—和歌山市
	同　支線	同　33.10.26	天下茶屋—天王寺
	同　支線	大正 7.10. 2	羽衣—高師浜
	高野線(以上鉄道線)	明治31. 1.26	汐見橋—高野下
	阪堺線	同　44.12. 1	恵美須町—浜寺
	同支線	同　45. 4. 1	宿院—大浜
	同支線	大正 3. 4.26	今池—平野
	上町線(以上軌道線)	明治43.10. 1	天王寺駅前—住吉
阪神電鉄	阪神本線	明治38. 4.12	梅田—神戸
	北大阪線	大正 3. 8.19	西野田—天六
	伝法線	同　13. 1.20	四貫島—大物
	甲子園支線	同　15. 7. 1	甲子園—浜甲子園
京阪電鉄	京阪本線	明治43. 4.15	天満橋—三条
	同　支線	大正 2. 6. 1	中書島—宇治
	和歌山線	同　11. 7. 1	和歌山市駅—日方口
	高津線	同　14. 2. 1	三条—浜大津
京阪神急行	宝塚線	明治43. 3.10	梅田—宝塚
	箕面線	同　43. 3.10	石橋—箕面
	神戸線	大正 9. 7. 6	梅田—神戸
	伊丹線	同　9. 7.16	塚口—伊丹
	今津線	同　10. 9. 2	夙川—甲陽園
	大阪市内路面線	同　15. 7. 5	梅田—中津
能勢電気軌道		大正 2. 4.13	一ノ鳥居—能勢口
大阪電気軌道	本線	大正 3. 4.30	大阪—奈良
	畝傍線	同　10. 4. 1	西大寺—橿原神宮前
	天理線	同　11. 4. 1	平端—天理
	国分線(以上軌道線)	同　13.10. 1	布施—恩智
	天理線(軽便線)	大正11. 4. 1	平端—新法隆寺
	綱索線	同　7. 8.29	生駒—宝山寺
新京阪鉄道	本線	大正10. 4. 1	淡路—千里山
	支線	〃	
	本線	同　14.10.15	天六—淡路
大阪鉄道	本線	明治31. 3.24	柏原—長居
	支線	大正11. 4.18	阿倍野橋—道明寺
水間鉄道		大正15. 1.30	水間—貝塚



大阪周辺鉄道網略図(除新幹線・路面電車)

コラム：関西における先駆的事例・6

市電物語——のりもの(その2)

尽力者：京都府知事(三代北垣国道)
発祥地：京都市
時　期：明治28年2月(1895年)

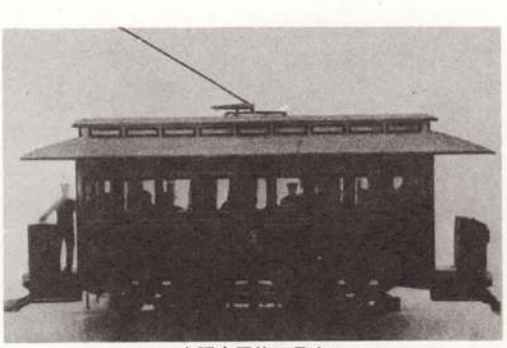
明治から大正初期にかけて、京都が100万人を越える大都市に発展しうる基礎をつくったのは、第三代北垣京都府知事（明14～25年）と第二代西郷京都市長（明37～44年）である。北垣知事は、水力エネルギーの活用、舟運、飲料水および灌漑用水確保のため、琵琶湖の水を京都に引くことを計画し実行した。

京都琵琶湖疏水工事（明治23年4月竣工）の進行中、水上発電方式の技術が加えられ、水力発電所がつくられ、明治25年に供給をはじめている。その電力を利用して明治28年2月に日本で最初の市電（市街地電気鉄道車）が走った。西郷市長の時代には、道路拡張ならびに軌道敷設工事を計画し、烏丸線ほか6線を明治44年に起工し、大正2年には総延長約22kmを建設している。

大阪の市電は、築港と市街地を結ぶために、西区花園駅から築港埠頭に至る築港線が、第5国内国勧業博の年明治36年9月に開通している。当初は単車2輌だったが、まもなく2階つき電車がデビューした。ついで、41年8月、幹線の南北線（梅田—四つ橋—恵美須町）と東西線（九条中通1—四つ橋）が開通、路線網は、おおむね昭和の初期までに出来あがり、明治36年の創業当時の営業キロ5kmから、昭和11年には106.5kmに達した。

神戸の市電は、民営の神戸電気㈱を同市が買収、軌道事業をはじめたのは大正6年。坂やカーブの多い神戸の街は、他都市より車体の傷みが激しかった。このハンディを克服するため研究し、大正12年、わが国初のスチールカー（鋼鉄車）を誕生させた。（市電長田工場で完成した200型スチールカーG車輌20台である)。また、昭和9年にはゴム弾性車輪を開発、翌10年12月神戸市電の名を一躍有名にしたわが国最初のロマンスカーを完成、女子車掌を乗務させるなど新しいアイディアを次々と打ち出した。

参考文献：「京都の都市計画」、「大阪の産業と社会」、「神戸新聞」


大阪市電第1号車


大阪の花園橋付近を走る2階つき電車

コラム：関西における先駆的事例・7

公営地下鉄の開通——のりもの（その３）

尽力者：大阪市（第７代関一市長）
発祥地：大阪（梅田～心斎橋間）
時　期：昭和８年５月20日開通（1933年）

大阪市が、わが国最初の市営地下鉄として、梅田～心斎橋間 3.1kmの営業を開始したのは、昭和８年（1933年）５月20日であった。この計画の発端は大正の中期にさかのぼる。すなわち大正８年の市の「都市計画に関する報告」の冒頭に、高速鉄道の路線決定の必要性が述べられている。大正９年２月には帝国鉄道協会・土木学会に高速鉄道網の調査を委嘱し、同13年に報告され、これに都市計画上の配慮を加えて計画路線を策定、同15年３月に都市計画決定、翌昭和２年６月軌道法による４路線54kmの特許を得た。不況の中で巨額の資金を要することから、建設計画の市会決定、政府への施行手続きなどで難渋し、昭和５年１月に起工式を挙げることとなる。工事施行でも失業者救済、河底隧道工事、浸水事故等種々の問題を克服して、昭和８年についに完成の運びとなった。以来、延長工事は着実に進み、御堂筋線は戦前（昭和13年）に天王寺まで延び（7.5km）、四つ橋線は大国町～花園町間（1.3km）が昭和17年に開通する。以後、戦争のために掘削途中のままで中断し、工事が再開されたのは、昭和25年６月である。これに先だって戦災復興の中で地下鉄計画の改訂が行われ、新たに５路線76.9kmの計画路線ができるが、路線の特許は34年まで得られず、26年の昭和町開通から、36年12月の中央線・弁天町～大阪港間の開通まで合計11kmの建設を行い、以降、45年の大阪での万博開催などもあり、開幕までに６路線64.2kmのネットワークを完成し、その後、昭和56年12月までに、ニュートラムを含めて路線延長は89.1kmとなっている。

参考文献：「大阪市営地下鉄」他

コラム：関西における先駆的事例・8

『田園都市』と私鉄の住宅地開発

——日本で最初の私鉄の住宅地開発

尽力者：阪神電鉄
発祥地：西宮駅前
時　期：明治42年（1909年）

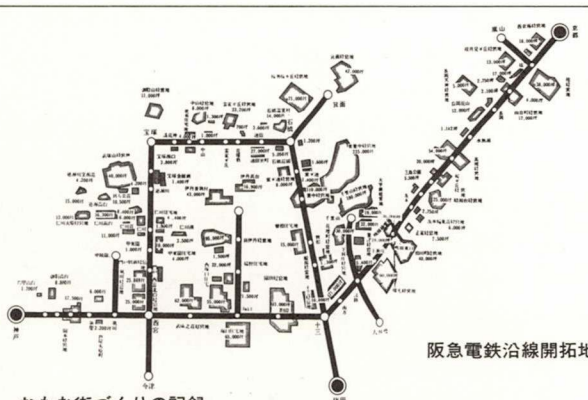
ロバート・オーエンのユートピア運動（1799年～）に端を発した19世紀後半のイギリスの田園都市運動の理論書である、E・ハワードの『明日』（1998年）、『明日の田園都市』（1902年出版）にもとづいて、翌年さっそく第１田園都市株式会社が設立され、レッチウォースに最初の田園都市が建設された。明治40年（1907年）末に内務省地方局有志によって「田園都市」と題した著書が出され、ハワードの田園都市論等が詳細に紹介された。

大阪郊外での住宅地開発の発端は、明治18年12月27日に開通した阪堺鉄道の最初の駅天下茶屋にいち早く別荘が建てられ、つぎの住吉駅までに中流住宅が建ち、住宅地となったことである。つぎに、明治38年出入橋～三宮間の都市間鉄道を開通した阪神電鉄は、自らの手で、西宮駅前に日本で最初の郊外住宅（賃貸住宅）を30戸建設した。翌43年には鳴尾に分譲住宅を70戸、御影に20戸を建設した。——分譲住宅のハシリであった。

明治43年に宝塚～梅田間、石橋～箕面間を開通した箕面有馬電軌は、さっそく明治44年に桜井、45年に池田室町と服部に、大正３年には豊中にとそれぞれ建売分譲住宅を建設した。この住宅はすぐ売れたわけではなく宣伝をしなければならず、そのときのキャッチフレーズが〝田園都市〟であった。（なお、東京の私鉄第１号は明治40年の玉川電鉄の渋谷～三軒屋間の開通であり、田園都市が顔を出すのは大正７年であり、田園都市株式会社が設立され、工事着手は大正11年からであった）

昭和51年に和歌山県橋本市に建設着工された南海電鉄の「南海橋本林間田園都市」は、計画面積730ha、計画戸数14,000戸と民間の単一企業が建設するニュータウンとしては日本最大規模の都市づくりである。

参考文献：玉置豊次郎著『大阪建設史夜話』／『南海ニュース』（南海発行）



阪急電鉄沿線開拓地略図



わが国初の住宅地開発・大阪府池田市室町の新市街地売り出しのパンフレット。「土地100坪付き」「建物30坪」「１戸に１つの井戸」「全戸に電灯有り」「庭園完備」とうたわれていた。

おもな街づくりの記録

分譲開始年	住宅地名	所　在　地	面積(ha)	開発会社名	分譲開始年	住宅地名	所　在　地	面積(ha)	開発会社名	分譲開始年	住宅地名	所　在　地	面積(ha)	開発会社名
明 治43年	室町	池田市	10.9	阪急電鉄	昭和４年	高槻	高槻市	18.9	阪急電鉄	昭和12年	武庫之荘	尼崎市	28.5	阪急電鉄
44年	桜井	箕面市	26.0	〃	〃	瑞光寺	大阪市	19.1	京阪電気鉄道	13年	竹の塚	東京・足立区	19.2	東武鉄道
大正３年	豊中	豊中市	47.2	阪急電鉄	5年	西宮北口	西宮市	11.8	阪急電鉄	19年	門戸駅前	西宮市	11.3	阪急電鉄
8年	箕面	箕面市	20.0	〃	6年	新田	吹田市	75.5	〃	20年	鎌倉山	鎌倉市	39.0	西武鉄道
11年	八丁畷	横浜市鶴見区 川崎市川崎区	92.4	京浜急行電鉄	8年	伊丹養鶏村	伊丹市	19.7	〃	22年	希望ヶ丘	横浜市	32.3	相模鉄道
〃	目白文化村	東京・新宿区	12.2	西武鉄道	〃	東豊中	豊中市	110.0	〃	25年	武庫山	宝塚市	28.0	阪急電鉄
〃	洗足	東京・大田区	25.8	東京急行電鉄	〃	瑞光	大阪市	28.3	〃	〃	三ッ境	横浜市	17.5	相模鉄道
12年	田園調布	〃	133.0	〃	〃	吹田町	吹田市	17.0	〃	26年	学園前	奈良市	87.6	近畿日本鉄道
13年	大岡山	〃	30.0	〃	9年	千住	東京・足立区	18.8	京成電鉄	〃	南台	横浜市	24.9	相模鉄道
〃	国立大学町	国立市	330.0	西武鉄道	〃	塚口	尼崎市	39.2	阪急電鉄	29年	越谷	越谷市	13.8	東武鉄道
昭和２年	桂	京都市	24.0	阪急電鉄	〃	初芝	堺市	13.0	南海電気鉄道	〃	久米川	東村山市	12.6	西武鉄道
〃	藤井寺	藤井寺市	36.0	近畿日本鉄道	10年	常盤台	東京・板橋区	26.4	東武鉄道	〃	長岡東台	長岡京市	11.9	阪急電鉄
3年	甲子園	西宮市	83.1	阪神電気鉄道	11年	大泉学園	東京・練馬区	167.2	西武鉄道	30年	座間	座間市	28.4	東急不動産
4年	相川町	大阪市	18.9	阪急電鉄	〃	園田	尼崎市	33.5	阪急電鉄	〃	富岡	横浜市	43.8	京浜急行電鉄
					〃	雲雀丘	宝塚市	11.6	〃					

うがいいですよ(笑い)。

吉田　だから東京がどんどんやってるでしょう、このごろ青山が電線埋めたし、そして木を植え始めたでしょう。ああいうことが大阪では全然進行しないんですね。あれはどういうわけですかね。大阪の人というのはああいうことは全然無関心なんですかね。青山通りというのはこれからもっとよくなると思いますね。電線はもう完全に埋まりましたから。

玉置　電線が空を通ってるでしょう、だから木を伸ばすわけにいかんのや。電線のために枝を切らないけませんねん。

吉田　だけどそれを東京あたりはどんどん共同溝で埋め始めてるわけです。それをなぜこっちはやらないのかですね。遅れてるなという感じになった。

司会　かつてはむしろ進んでたはずだったんですけれども、どこかで遅れたんですね。

小松　それに大阪は道幅が狭くなりましたね。建物が高くなったから、道幅が狭いです。神戸でも痛感しますね。

都市づくりあれこれ

司会　関西の三つの都市の間で自慢できるものが残ったとすると、住宅地だけのような気がしないでもないんですが……。そんなに文化的な密度が高いという感じもしないんですけれど、阪神間にはそこそこハイカラで住みやすい独特の住宅地文化みたいなものがあるような気がするんですがね。

小松　そうですね。それからもう一つ言いたいことは、阪神間が連なってしもうたということ。昔はずいぶん隙間があったんですよ。芦屋のまちと尼崎ではずいぶん隙間があったけれども、全部ピタッとくっついてしもうたんです。どうしてあんなに日本人、ふえたんでしょうね。

玉置　いまはもう日本国中つながってますよ。

吉田　新幹線で走ったら、全部つながってる。都市へ人口が集中してるからですわ。実は見えないところで過疎はいっぱいありますよ。

小松　それは田舎へ行ったら、上等な家がこわれて、もったいないというのがたくさんあるからね。

吉田　ちょっとした過疎地帯でしたら、500万円で広大な宅地が手に入りますよ、立派な家が建って。そういうように、過疎のところへ行ったらガラガラですよ。

玉置　ひところUターンと言ったが、このごろはJターンと言うんだな。農村から大阪へ来るでしょう、それでまた農村へ戻ったらUターンでしょう、ところが農村へ戻らんとそのそばの都市へ行く、だからJや(笑い)。Uになれへん。

吉田　だから都市は、より大きくなるんですね。

玉置　地方の都市はどんどん大きくなってますな。大阪やとか東京の大きいのはとまりましてな。

小松　しかし農地がなくなるじゃないですか。今度戦争でもあったら、目もあてられまへんで。その心配をするわけですよ、ぼくたちは。

司会　結局Jターンだとしますと、大都市人口そのものはあまりふえてないわけですね。周りに衛星都市みたいなものともまた違う都市みたいなものができていくという状況なわけですね。

吉田　しかし、その地方都市でも、主たる産業がない限りは縮小してますね。あるいは大都市と地方都市の持ち合いという格好ですね。

玉置　このごろ日本国中どこへ行きましても村の周囲に新しい家がどんどん建ってる。それから昔の家はみんな増築か改築してますよ。だから電車の窓から見たら、どの家もこの家もみんな新しいんだね。ところが大阪へ戻ってきたら汚ない家が……(笑い)。

司会　しかし依然として大阪周辺、この三都市周辺というのは非常に地価が高いわけで、ということはやっぱり住宅地として評判がいいんだろうと思うのです。関東あたりでそういうふうな高水準の地価を保ってる安定した住宅地というのはあまりないような気がするのですよ。関東の場合は住宅地というよりむしろもっと別な商業地域だとかそっちのほうで上がっていく要因が大きいと思います。良好な住宅地が戦前にでき上がっていまだにその質を保ってきているというのは、大変希有なことじゃなかろうかという気がするんですが……。

吉田　それは逆に言えば東京あたりは特殊な事情を持ってるせいであって、むしろこの辺のほうが常態なんと違いますか。東京というのは例の高度成長で異常な膨張をしているわけですからね、その異常膨張に対応したああいう異常な変動が絶えず起こっているということであって、だからこのあたりもそうでしょうし、それからたとえば岡山周辺とか広島周辺といったらやはり同じようなものだと思いますよ、そんなに変わっていないと思うのです。博多だってそうですよ、そんなに変わってないはずですよ。

玉置　生駒から大阪のまちを見たら、大阪のまちがターッと生駒のすそまで延びてきているわね。東京は武蔵野でまだずーと埼玉から群馬まで行こうと思ったら行けますわね。名古屋の場合は東のほうにまだなんぼでも延びる余地がある。日本国中でそういう余地があるのは名古屋だけですな。ほかはみんなぐるりを百姓さんが占領してござるから、ちょっと簡単にいきまへんけれど、名古屋はともかく区画整理して水道引いてもらわんとどないにもこないにもならんということですから、それでどんどん宅地造成進みますわな。日本国中で恵まれてるのは向こうだけじゃないですかな。

――関西は山の近くまでいってますけれども、たとえば千里ニュータウンとか神戸でしたら山を削って海を埋めたり、変わったことをやり出してますね。芦屋浜もありますけれども。

小松　六甲山ろくなんかひと山なくなった。

玉置　結局土地がないのはどんどん山を削って海を……。

堺の沖から南のほうへかけてずいぶん埋めましたわな。あれでただで土地ができるのだからな。わしはどんどんやったらいいと思うけれども、反対する人がおるもんだから、なかなかむずかしいですわな。

司会　神戸では急傾斜地によくつくったなと思うような家がたくさんありますね。

小松　一番すごいのは、岩の上へ家を建てる。あんなの、地震があったらいっぺんに落ちるような、岩の先へ家を建てとりますがね。あんなの、よう許可するものだと思うね。

司会　これは大変無責任な発言なのかもしれませんけれども、かえって勝手につくらしといて、そういうふうに狭いところでやりくりしていくものだから、それなりにかえって面白い都市景観ができたんじゃないかという気もするんですけれども(笑い)。

吉田　日本というのはそうだと思いますよ。わたし、日本というのは、都市があったのかどうか疑問だと思ってる。京都だけは別ですけれど、あれは外国をモデルにしてつくってますからね。大きな村があるだけ。

氏神さん—都市文化のコア？

吉田　それから大阪で一番だめなのは、氏神さんがないことだと思う。大阪の人は、一体どこへ初詣に行くんだろうと思うな。わたしはそれが非常に面白い問題だと思うのは、東京は明治神宮を持ってるんですよ、あそこへダーと行く。

玉置　大阪は住吉さんがありますよ。

吉田　ところがそういう古い所へは行かないんですよ。東京あたりは明治神宮ですよ、京都だったら平安神宮ですが、そういうのがないんですよ。つまり、バラバラにはあるでしょうが、大衆がドッと行く神社が、大阪にはないんですよ。そういうものが大阪にできなかったということが、わたしは大阪の一番の失敗だろうと思うのですよ。

司会　これはなかなかむずかしいことでしょうね。

小松　神様たてるというのは、ちょっとやそっとじゃいけないということになるからね。

吉田　東京の明治神宮というのは結構大変なものです。東京は明治神宮、京都は平安神宮ですわ。これらは明治の建物です。両方とも神宮というものが中心になってるんですよ。ところが大阪にはそれがない。

玉置　住吉さんは、しかし大阪の人はたんと参りますよ。

吉田　いや、しかし大阪中でドッと住吉向いてるということはないでしょう。

玉置　いや、相当行きますわ。

吉田　だけどそれが大阪の一つの文化になっていないと思うのです。やはり東京の人だったら明治神宮へ行くということが一つの新しい行動になってずーと伝統をつくってるわけですね。

司会　ただ、かえって大阪のように行く所がいくつかに分散している——神戸もそうでしょうけれども、むしろそういう状態が本来なのかもしれないというとらえ方はできないでしょうか。そういうコアの中から、それなりの文化として、たとえば灘生協運動みたいなのが出てきたり、あるいは谷崎の『細雪』に描かれたような独特の住宅地文化が出てくる、と。

吉田　しかしそれは戦前の話ですわな。谷崎のああいうものは戦後もあるかといったら、全然ありませんわな。まあそれは戦前を言ってりゃ、関西はよいところになるんだけれども、戦後をいったら果たして関西、よいところになるのかどうか、わたしは非常に疑問ですけれどね。つまり関西の人はいまあんまり昔話をし過ぎるんですわ(笑い)。それよりこの川の上にかかってる高速道路をやめようという運動ぐらいしたほうがいい（笑い)。

水の都盛衰

小松　この道路だけはやめたほうがいいね。水の都なんて言えんですよ。

吉田　それでもう一回水上交通をね。水上交通というのはハイウェーですからね。同じように信号なしで行けますから。

小松　ぼくは控訴院を取り壊す前に描けなくなったので腹が立った

コラム：関西における先駆的事例・9

水族館

尽力者：飯島魁教授（理科大いまの東大）
発祥地：神戸市
時　期：明治30年（1897年）

兵庫共済会社所有和楽園内の３万㎡の敷地に「木製西洋型の館」を建て、カン水魚用20、淡水魚用９の水ソウをつくり、118種の魚族を当時としては画期的な循環式の水かえ装置を備え展示した。水族館のハシリは明治23年上野で開かれた第３回勧業博に水ソウで魚を泳がせるのはあったが、本格的なものとしてはこれが本邦初のものであった。当時、神戸の水産業者の勢力は強く、全国に号令して必要な魚を集めることができた。

コラム：関西における先駆的事例・10

阪神間の生協活動

尽力者：賀川豊彦、那須重治
発祥地：神戸
時　期：大正10年５月～（1921年～）

フェビアン社会主義を生んだ英国が生協（生活協同組合）の発生の地といわれ、1844年に設立されたロッチデール公正先駆者組合の成功を画期として、世界的に発展した。とりわけ、欧州での食品業界では高いシェア（1971年）を占めている（デンマーク17.4％、英国12.3％、西独5.5％)。

日本では1879年（明治12年）以来さまざまな試みがなされたが、組織的成長が軌道に乗ったのは戦後のことである。1962年４月に合併した灘・神戸生協は、「東は尼崎から西は舞子まで、阪神間の全住宅地域を傘下におさめ、みそ、しょうゆからお墓までお世話するマンモス生協が、４月１日から発足」（週刊朝日、昭37．３．23号）といわれ日本一を誇り、その取り扱い高は37年度45億円が昭和53年度で1,393億円にも達し、小売業全体の中でも20位にランクされる規模である。合併時の組合員45,698人が昭和54年10月には 478,000人になった。

両生協の歴史は古く、ともに大正10年の発足であり、神戸生協は、神戸購買組合として産声を上げ、創立当初の役員の中には、日本の生協運動の生みの親、賀川豊彦が名を連ね、発足前１年間は賀川の家に準備事務所をおくなど、教えと支援を全面的に受けての誕生であった。

一方、灘生協も発足にあたっては、賀川豊彦の助言と激励が大きなきっかけとなっている。初代の組合長、那須善治が社会事業を志して教えを乞うたときのすすめが「協同組合」であった。ともに賀川を師と仰いだ組織であったが、それぞれ独自の道を歩むこととなる。両生協の主体が、神戸生協は川崎造船所の労働者であり、灘生協は神戸市郊外（当時、住吉村）の高級住宅地に住む人たちであったということから、長く競合関係にあった。しかし、戦後、両生協も経営再建にのりだし、百貨店、スーパーの追い上げに対抗し、経営の安定をはかるために、対立を解消して、合併・大型化にふみきったものである。

参考引用文献：『日本の消費者運動』他

ですよ。淀屋橋からイーゼル立ててずいぶん描いたものでしたが、いまはもう全然だめですわ、ハイウェーがダーッと通って……。

司会　ところで明治の30年代ですか、山口半六がつくった都市計画によりますと、大阪がずっと港のほうへ東西に延びていくという計画がありましたですね、あれはいつごろの時点で見直しがきたんでしょうか？

玉置　それはともかく太閤さんの時分から城が中心ですからね。東西の道路のほうが南北の道路より広かったですよ。それと築港の問題が早くに起こりましたからね、それでいざというときに軍隊がさっと築港へ行けるように、それでいまの高麗橋だったかな、あれからずーと築港へ行く線を山口半六さんが描きますわな、ところが実際は築港はそれほど栄えなかった、というて今度南北が主になっちゃうんですな。

司会　港がそれほど……あれは神戸に取られたということでしょうか？

玉置　いや、築港からそんなに積んで出す品物があれへんもの。

吉田　それは、大阪の経済が変わっちゃうんですよ。というのは大阪はもともと蔵屋敷か何かあった時代というのは取引だけのとこでしてね、プロダクトの、生産の場所じゃなかったわけです。それが明治維新になってそういう特権というか、そういうものがなくなったでしょう、ところが依然として取引のまちで進んだものだから、プロダクトが非常に遅れているんですね。これはすでに明治６年か７年ごろにある大蔵省の当時の役人がここを視察しまして、大阪はいままでのようなことでいけると思ったら間違いだという警告を発しているのがあるんですよ。もっと生産のまちへ切りかえていかんと、そういう特権がなくなってしまうんだから、ということを言ってるんですけれどね。だからおっしゃるようにせっかく港をつくっても出すものがない。

玉置　それはいまでも同じですね。大阪市内の工場にいまどんどん外へ出てもろうてるでしょう、そうするといよいよ大阪港から積み出すものがなくなるんだよ。港湾局の統計を年次的に比較しますと、確かに量はふえとる、しかしそれは大阪だけを見ただけの話であって、それを名古屋とかそれから成田と比べたら、大阪はちょっとしか伸びんのに、名古屋はうんと伸びた。いまは名古屋港のほうが大阪港よりずっと金額は多いですわ。それで港はどうやといったら、名古屋港といったら大阪港の３分の１ぐらいしかあらへん。それと成田はいま飛行機でどんどん……あの金額のほうが大阪港全部の取り扱い量よりずっと多いんですよ。

吉田　飛行機で運んでくるやつはみんな評価の高いものが入ってきますからね、実際は額にすると非常に大きいんですよ。通関統計見てると、はっきり出ますね。

小松　それで神戸市長が飛行場をつくるなんて言い出したんだな。

玉置　成田の航空荷物を扱う場所というのは、ほんの小そうてすむわけ。それが膨大な大阪湾で扱う荷物の金額より多いんですよ。

吉田　いまのシリコンの問題と同じでしょう、いまのシリコン工業というのは……結局陸路と海路ではなくて空路の問題がいま大きく出てきてるわけですね。それで空路で取り扱う荷物が一番値段の高いものばかりです。

司会　飛行機で運ぶような高価なものをつくらないかんということになりますな。

吉田　だから大阪のようにこれ以上工場が伸びないところは、そういうものをつくらんとだめなんですね。

司会　実際京都なんてのは産業がないといいながら、古いものの中から何か新しいものが出てきているようですね。

吉田　京都は、空気まで売れますからね、そのほうが大きいですよ（笑い）。

文化・情報の生産力の担い手

司会　これもすでに過去のことかもしれませんけれども、たとえば京都で映画産業が非常に盛んになったというような……。

吉田　だけど、みんなベースがあったんですよ。映画産業というのは芝居の実写からはじまるんですからね、そうするとやはり南座とか何かを中心に結構芝居屋さんがいたということが一つありますね。そうすると同じ上方歌舞伎があってなぜ大阪にそれが生まれなかったかという問題ですが、それはやはり基本的には旦那の問題だと思うのです。資本家の問題だと思います。京都で室町あたりの友禅や何かの問屋さんで、あの映画に金入れあげてつぶれた家はいくらでもあるんですよ。そういうところに旦那の遊びがあったんですよ。それを大阪の旦那はあまりやらなかったんじゃないですか、そういうところへ金を出して……。

司会　映写機を最初にしたのは神戸ですね。

――　エジソンが発明したのも、最初は２分間ほどしかなかったらしいですが、その後大阪でやって、浅草でやったらしいです。

小松　そうすると神戸が一番モダンですか？（笑い）

――　メカというか、最初取り入れたのはそうですけれども、後ふくらましていったのは大阪とか浅草とかそういう……。

玉置　いまと昔とは時世が全く違いましてね。芸能界だとか、それからいまの映画なんかのいわゆる興行物、あれは非常に下等な商売。上品な商売と違うんだ。

小松　昔は役者のことを河原乞食と言ったからね。

司会　しかし、曲がりなりにもそういう形で情報をかなり関西文化の中から送り出すというのがあって、大阪の漫才も一時期日本中を風靡する、そういうむしろ送り出す側であった……。

小松　しかし漫才なんてのはあまり上品な遊びじゃないよ。

司会　まあまあそうですが、しかし大阪でも一時期出版業というのはかなり盛んだったらしいですね。

吉田　いや、いまでも盛んなんですよ、学参物では。ハウ・トゥ物だったら大阪はいまでも大きいでしょう。だからあんまり実利的過ぎるんですな。学参物は安全……あれですけれどね。結構大きいんですよ、学参物は。

司会　しかし、しきりに財界サイドなんかでは、関西復権というと、情報が足りないとか、そういう言い方をするんですけれども、自分のところから送り出す情報みたいなものをどういうふうにつくるかというのは、どの程度めどがついているものなんでしょうかね。


司会の福田晴虔委員

吉田　つまり送り出すだけの情報の生産力があるかということ。それは非常にいま乏しいんじゃないですか。京都ではまだ一時期残ってますけれども、大阪はとくにそれがなくなってるのじ

ゃないんですかね。だからさっき、わたしあまり大阪へ来なくなったというのも、絶対ここへ来ないと手に入らないというものがなくなったから……。

小松　ぼくらも大阪へ出る数が少なくなったですよ。神戸で用が十分足りるから、大阪へ来る必要がなくなったわけです。

吉田　ところがわれわれは東京へは行かなくちゃならないわけですよ。そういう問題がありますね。ぜひ大阪へ来ないと困るものがないんですよ。

玉置　だからいま大阪で一番大切なことは、西日本の各都市の商売人が大阪の卸屋へいかにたくさん買いに来てもらうか、これが一番大切。前はそうだったんだからな。

吉田　たとえばイースタン・ストックなんてやってるでしょう、あれなんかでもなぜ大阪全体挙げた大きなお祭りにしないのかという気がしますね。あれなんかでもほんとに下手なんですよ、業者の間だけでゴチャゴチャやってるだけで。

たとえば具体的な話でも、京都やったらいま京都府あるいは京都市それから民間だけでいろんなコンクールやコンペをやってて、グランプリ100万円というのは5つ6つ出すんですよ。ところが大阪ではどうか……。

いま京都はある意味で自立しようという方向へいってるわけですね。だからいま言ったグランプリも、染色でしょう、それから彫刻、絵画、デザイン、もう一つ若手のやつが何かありますね。この若手のは海外へ2ヵ月ぐらい出してくれるんです。好きなところへ行かしてくれる。そういう手を使ってるんです。

玉置　それは府がお金を出すんですか？

吉田　府が出すのと民間のとありますね。それから民間で金を出して、毎年一つ日本の作曲家に委嘱の作品をつくってもらうというのでやってますね。それもたしか100万円でしょう。そういうことが出てこないとね。

小松　それはそうです。公会堂を寄付する資本家が出んかなあ（笑い）。

吉田　かつては大阪はそういう人がいたんですがね。

司会　そうすると人がいなくなったということなんでしょうか。

吉田　いまはわたしは民間先導型は無理だと思うのです。そうするとやはり行政が先導型になって、大阪のような大きな予算を組んでるところはそのくらいの金は出せるはずですがね、そういうことは全然やられてない。

小松　だから文化が栄えないというのは、お上が援助しないからですよ。お上が援助したら、断然盛んになりますよ。

玉置　また大阪市の悪口を言ったらいかんが（笑い）、昭和57年度の予算を見ましたら、産業振興費というのはほんのまね事しかあれへん。これは考えてもらわないかん。これはとてもいまお話の京都みたいなわけにいきませんわ。

英雄時代

司会　建築のほうで振り返ってみますと、大阪を中心とする一つの文化圏があり、建築家でいえば村野藤吾のような、あるいは竹中なり大林なりの有名な建築家や建設会社が関西的なものとして残っている部分があるような気がします。今後、それらがどのように残り、また発展させていくことができるか、気になるところですが……。

コラム：関西における先駆的事例・11

活動大写真（映画）の上映

尽力者：相生町鉄砲店主・高橋信次
大阪時計商・三木福助
発祥地：神戸市
時　期：明治28年9月（1895年）

エジソン発明のプロジェクティングキネストープの本邦初公演が、生田区神港クラブで行われた。居留地の貿易商リネル商会が見本用に輸入したキネスコという映写機の借り出しに成功したもので、この後、大阪南地演芸場、東京浅草、北海道まで、各地で興行。どこでも超満員の大人気であった。

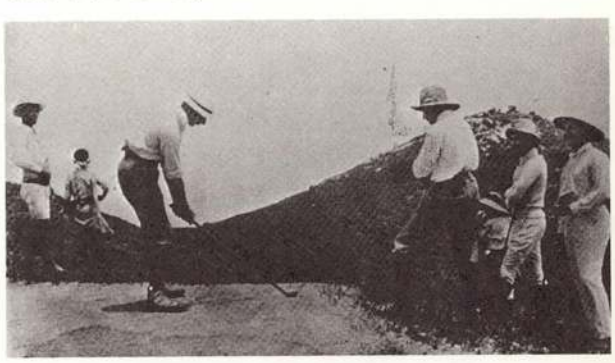
コラム：関西における先駆的事例・12

ゴルフ場と六甲山の開発

尽力者：英人A・H・グルーム
発祥地：神戸市
時　期：明治36年5月24日（1903年）

わが国のゴルフは六甲山ではじまった。当時の六甲山はまだ未開の地で、山には至る所に大きな岩があり、コース作りには苦労したようだ。今やゴルフの大衆化時代。

六甲山は都市近郊の貴重な自然の恵みの中に、ケーブルカー、ロープウェイ、牧場、保養別荘等を配し、関西のリゾートゾーンとしてにぎわっている。



コラム：関西における先駆的事例・13

デパートの土足入場

尽力者：白木屋神戸出張店
発祥地：神戸市
時　期：大正12年5月15日（1923年）

兵庫区に登場した百貨店は、「土足厳禁」の下足番ががんばっていた時代の常識を破ったゲタばきOKのデパートであった。呉服店から大きくなった日本のデパートにとっては画期的事件であった。押すな押すなの人出で、大入袋を出すのも忘れていたとか。



玉置　いまお話の建設会社ですけれども、東京は財閥系統のが多くて、個人は清水建設ぐらいです。大阪は大林さんでも竹中さんでも錢高さんでも鴻池さんでもみんな個人です。そこが大阪の非常に大きな特徴でしょうね。

司会　そうすると個人が支えてきたという感じがかなり強いんですけれども、それ自身先ほど吉田先生がおっしゃったこと、そろそろ民間ベースでは無理だということでしょうか？

吉田　大阪では一個人が公会堂を寄付したとか、小林一三の阪急時代、関市長の時代だとか、などそういう個人の英雄時代みたいなものがかつてあったんだけれども、それをいつまでも思ってたらいけないんじゃないかという気がするんですよ。集団指導体制の時代が来てるんでね。大阪の人というのは太閤さんが好きだけれども、大阪の人には太閤さんに代表されるような、英雄崇拝みたいな感覚が多分にあるんじゃないですかね。そういう時代はわたしはもう終わったんじゃないかという気がするんです。

玉置　あれは豊臣家の末路が悲惨だったものだからな、それに対する同情がね。

吉田　しかし名古屋でもあんなに言ってないですわね(笑い)。

司会　それじゃもう一度だれか英雄が出てこないと大阪はダメになるでしょうか？

玉置　発想はね。さっきからたびたびお話に出てくるけれども、いま日本は貿易は輸出が多くて輸入が少ないから、たんと外貨が残っていきますわな、その大部分の仕事は商社がやってますわね。だから上場商社の部分を見ましたら、東京の三井と三菱を除いたら全部大阪の商社ですよ。大阪の商社だけれども、ところが東京へ店を出すでしょう、そうしたら大阪の本社より東京の支店のほうがよけい仕事をしよるんだ(笑い)。はじめは大阪やけど、だんだん東京にやられていきまんねん。

小松　兼松なんかも東京へ移りましたね。神戸におったけれども、家を壊して、4階建てのレンガ建てを壊して、東京へ本店は移してもうた。

玉置　ともかく人口には負けますな、人口の多いところが勝ちますな。だからこのごろはもう美術でも、パリへ行く人よりニューヨークへ行く人が多いんと違いますか。

小松　そうなりましたね。美術もだんだんニューヨークへ行くという傾向がふえてきておる。

玉置　結局パリの人口が少なくてニューヨークの人口が多いもんだからな。ともかく人口の多いところが勝ちますわ。

小松　それで経済的に弱くなったんです、パリもね。

都市に目印を

司会　大阪の攻撃になってしまいましたが(笑い)、まだまだ後から出てきそうですけれども、少し関西のまちのよさみたいなものがあるとすればそれはどんなものなのか、残していきたいよさみたいなものはどんなものなのか、それから先生方として今後もっとどういうふうにしていかなければならないとお考えなのか、そこら辺について一言ずつお話しいただけますでしょうか。

玉置　いま注意して見ていただいたらいいと思いますけれども、大阪では容積地域制でやってるでしょう、それで敷地の5倍とか、多いところは10倍とかいうことでやってますわね、だからそれによって容積が決まりますわね、そうしたらその範囲内において、10倍地域だったら10階建つというやつ、それを半分にポンと割って上へ重ねたら20階になりますわな。それでこのあいたところをオープンスペースにして、そこへ木を植えさせてるでしょう、それによる緑地帯が高層ビルのところには大分できたね。これは東京もやってへんですよ、名古屋もやってへん。これは大阪独特や。あれがどんどんできましたら大阪のまちはきれいになりますよ。駅前の第一ビルも第二ビルも敷地いっぱい建っとるわな、第三ビルからいまの上へ積み足してぐるりへ木を植えたでしょう、第四ビルもやったでしょう、あの式をどんどん……あれは大阪だけですねん、いまのところまだ。だからそれで市が木を植えるより、あれによって植えられる木のほうがはるかに大きいんだ。これは大きい目を開いて見とってええですわ。

小松　大阪駅前はずいぶんよくなりましたね。立派になりましたよ。しかし歩いて家を探すのが大変ですわ。一つビル違って隣のビルやと言われたら、ずいぶん歩かないかんからしんどいから、何とかいい方法はないですかね(笑い)。疲れますな。

玉置　わしも向こうに用事があるもんやからよう行くけれども、ほんとにくたびれるわ。

小松　この間も友達が展覧会やっとるから来てくれと言うて、二度行ったけれども、二度行ってわからなくなってしもうてね。どっちへ曲がったかな……ビル回ってるだけで半日かかってアホらしくなりましてね。なんかわかる方法を立てなさいよ。ぼくはそういうことを提案したい。この建物のわきから行ったらこう行く、こう行くと、そういう目印を立てることですよ。パリなんか全部街角へ何町何町と全部ついているが、あれをやらないかん。それから色を塗りかえること。色も地上を塗っちゃだめです、屋上の一階分だけずっと色を変えて塗り替える。そういうふうにしたら大阪はよくなると思いますよ。証券ビルと貿易ビルと、これは商社のビルと、色を替えるわけです。

司会　先ほど京都は空気も商売になるとおっしゃったんですが、京都なんか逆にあんまり何でもかんでも商売し過ぎるんじゃないかなという感じがしないでもないんですが……。

吉田　ちょっと激しくなってますね、いまは。だからあれも頭打ちになるでしょう。京都の人間は賢いから、引っ込めるんじゃないですか。われわれも大分冷やかしてますからね(笑い)。

小松　しかし、大阪駅を降りたところは実にきれいになりましたね。あれは立派ですよ。あれぐらいになったら、どこの外国へ持っていっても恥ずかしくない。

司会　それで目印がつけば言うことなし、と(笑い)。

小松　そうそう。目印と、土地名を書くこと。あれを書いてないと困るねえ。

吉田　あれは横浜はよくやってます。

小松　あれをやってもらわないかん。ビルのどこか目につくところへ2ヵ所か……あんな大きなビルだったら、四方へ、ここは何町のどこ、で、どこへ行くにはどう、と、ちゃんと方向書いてもらわな困るですよ、それをぜひぼくは提案したい。

玉置　ヨーロッパはどのまちでもみんな外かくに、こっちは何通り、こっちは何通りと、書いてありますわ。

司会　その点、京都はわかりやすいですね、京都が一番わかりやすいでしょうけれど。

小松　ぼくは頭が悪いかしらんけれど、京都はわかりにくい。何々上る、何々下る、東入るとか西入るとか言ったって、田舎から出てきたらわからんが(笑い)。

玉置　確かに京都の人に年賀状書いたら、たんと書かんならんねん。よそは一行ですむところを、京都は二行半ぐらいになるところがありますよ。

小松　何々小路何上る何横なんて、大変ですね京都は。一度改良せんですかな。

吉田　あれはやらんでしょうね。あれは歴史的名称ですからね、そういう意味ではやらんでしょう。

小松　そういう意味では変えないほうがいいね。神戸なんかどんどん変えてるんだから、徹底的にやりゃいいと思うんだがね。神戸も実に不便になりましたよ。

司会　できるだけそういう歴史的なものというのは残しながら、何とかうまくやってほしいですね。

小松　それがむずかしい。

吉田　逆に大阪あたりはあんまり歴史はないんですからね、みんな焼けちゃって。だから日本で一等モダンなストリートぐらいあってもいいと思うのですが？そういうところがない。わたしはそういうところがあったほうがいいと思うのです。逆に言えば、世界で珍しい非常にモダンなストリートをね。

それに日本はいま非常にミドルクラスがふえたでしょう、でミドルクラスがふえたということに対応するようなミドルクラスのストリートなんてあっていいと思いますよ、そういうものをねらうストリートを。

司会　時間がきました。結論を出すということではありませんが、関西を考えるとき心機一転してもう少し新しいことを考えていった方がよいというようなことでしょうか。どうもありがとうございました。

「関西の建築文化を考える」てい談会：小松益喜・玉置豊次郎・吉田光邦
司会：福田晴虔
とき：昭和57年10月22日
ところ：日本建築協会会議室



傍聴者：左より、柏木浩一委員(竹中工務店)、岡田信幸委員(大阪市)、田中直人委員(神戸市)、松井昭光(日本建築協会)

コラム：関西における先駆的事例・14

海洋気象台



尽力者：文部省、兵庫県、金持ちの海運業者
発祥地：神戸市
時　期：大正9年8月(1920年)

日本唯一の海洋気象台が、中山手の高台に作られた。学究的雰囲気をもつこの気象台は、文部省が世界一といわれたドイツハンブルグの海洋気象台に範をとり、設計。工事は竹中組が請負った。大正11年8月には無線電信所が完成し、地上50mの鉄塔から世界で初めての船舶向けの気象無線放送が開始された。

コラム

三都会人の特質比較

三都会人の特質に関する一覧表

近代以前の歴史・文化	京　都	大　阪	神　戸
自然・風土	盆地、山紫水明 寒暑	台地,湿地,河・運河 温暖	背山，海 温暖
都市の性格	政治・文化の中心	流通センター	集落的
権力構造	天皇，公家，町人，庶民 (所司代)	封建権力弱体 町人主導	地方権力？
経済基盤	手工業,商業,献上品	商業，問屋、金融	農，漁，加工
文化の完成度	各分野で完成度高し	ゴタマゼの豊富さ	？
明治維新期の姿勢	**京　都　人**	**大　阪　人**	**神　戸　人**
近代以前への姿勢	誇り→危機感	気にとめていない	(流入者)
新時代への姿勢	"先走り"→実行→不安	値打ちがあるか→実行	好奇心,権利意識→実行
近代以降の都市	**京　都**	**大　阪**	**神　戸**
都市の性格	伝統文化・学術の中心地	産業・経済の中心地	外国貿易，市民文化都市 (大阪との関連強い)
経済基盤	・伝統産業 ・先進的工業 ・観光・消費 ・大学・社寺	・商品流通 ・繊維・金属・薬品・家電工業 ・中枢管理機能	・港湾流通 ・造船・鉄鋼工業 ・地場産業 ・ファッション産業 ・消費
資質・行動パターン	**京　都　人**	**大　阪　人**	**神　戸　人**
(生活態度)			
くらし	美学本位	実質本位	機能本位
しごと	コワゴワ	ガムシャラ	適当にする
持続性	何とはなしにねばる	したたか 思い切り(ホカす)	ほどほど
(センス)			
対人センス	警戒する	話しかける	気にしない
美的センス	トリスマシ	ドロ臭い	スマート
(視野)	発信者として広い	仲間うちの狭さ	受信者として広い
(他国人の悪口)	イケズ	エゲツナイ・ケチ	タヨリナイ

〈遊び〉に関する三都会人の特質

遊びについて	京　都　人	大　阪　人	神　戸　人
遊びの見方	大事にする	おもろい	楽しい ためになる
遊びの方法	見にゆく 習いにゆく	自分でやる	習ってやる
遊びのグループ	町内・身内・同業者	スキモノ同士	知り合い・地域
遊びの種類	古典芸能・技芸 祭り・信心	文学 舞台演芸	スポーツ 西洋技芸
遊びへの集中度	何とはなしにいつもゆく	やればトコトン	適当にする

「関西の〈遊び〉づくりの特色と市民余暇活用社会への戦略課題」昭和56年8月
総合研究開発機構P90.91.より

関西の「建築」と「街なみ」—その風土・21世紀への遺産・展望

明治34年、20世紀はスタートし、今年は1983年—あと18年で20世紀は終わろうとしています。この1世紀は、建築という分野でみれば、わが国古来の素材「木」に加えて「レンガ」、「鉄」、「コンクリート」、「ガラス」等を新しく素材に採り入れ、構造・意匠面でそれまでにみられなかった建物が建てられた時代でした。いうところの近代建築・現代建築の華が咲き誇ったわけで、それらは、素材という面からみれば1世紀以上の生命を保つことも可能だといえます。

千数百年の歴史をもつ関西においても、その関西のもつ歴史的風土の中で、調和と破壊の両側面をみせながら、これら近代建築、現代建築が数多く建てられてきました。

1983年を迎えるにあたり、この1世紀をふりかえり、これら近代建築・現代建築が関西の風土とどうかかわっているか、そしてそれはその素材のもつ生命力と同じように長い社会的生命力をもちうるものであるか、あなたの評価をお聞かせいただきたいと存じます。

アンケート設問

Q1　あなたからみた関西の風土の特色をあげて下さい。

Q2　20世紀の遺産として後世に残すべき関西の建物、街なみ（まちづくりを含めて）をあげて下さい(事例はいくつでも構いません)。また、それを選ばれた理由もお書き下さい。

Q3　21世紀における「建築」あるいは「街なみ」（まちづくりを含めて）に関する展望を、自由な論点でお書き下さい。

前記3つのQを設けて、全体として500字ていどで書いてほしいとアンケートしましたところ、16人の方より玉稿をいただきましたので、以下に順不同で掲載いたします。いずれも関西の風土と関連しての貴重なご意見です。（見出しは編集の側でつけました。ご了承下さい）

アンケートを寄せられた方々に誌面をかりまして厚く感謝いたします。

表面の温和さと底の厳しさ

神出津嶺雄

A1：風土性は相対的なものかと思われます。関西という範囲も広すぎますが、仕事で20年の東京と生れ育った大阪との、それも建築感性的な比較となると、東京の割切りの良さの裏の曖昧さ、大阪の—気候もマイルドですが—表面の温和さの表現とベースにある鋭さ厳しさが対比する様です。

大阪の優れた建築にはそれがよく表現されています。

A2：大阪に限って言えば、平凡ですが、淀屋橋—本町間の御堂筋でしょう。無論戦後の街なみですが良くバランスしています。

大阪駅前／梅田界隈が、ここ10年ばかり、チャンスが有りながら纏まりを失ったのが本当に残念です。

私共も現在、御堂筋に僅かの間口ですが、建物を計画中です。やはり何か一種の緊張感があります。

整理されたメインストリートの持つ何かでしょうか。

A3：御堂筋の街なみからして当然のことですが、しかるべき場所には、しかるべき力のあるオーナーのみが建てるべきです。

何も大会社の建物というわけではありません。

建築に理解のある、予算を持つ建築企画者です。

当初のしっかりしたデザイン、ちゃんとした使用者、入居者、豊富な保守予算、時期に応じた改造改装、そして、すっぱりとした決断による建替による新生、整備されたアクティブな街なみは、常に変化しながら、リフレッシュしてゆくものと考えます。

我国の物理的なウェザリング、また社会経済体制からして、建物単体なり街なみなりのライフスパンは、短くて当然かとも考えられます。変化しながらの建築と街なみというのが、今後の長い4次元的な計画テーマとなるかとも考えます。

（かみで　つねお　設計事務所ジェネラル・ドラフティング所長）

黄土色のやさしさ

小角　亨

A1：土の色が、やわらかい黄土色であり、関東平野の黒い土にくらべて、やさしい。

関西の特色を強いてあげようとすれば、京都や奈良に枠を限定せざるを得ない。思いつくままに、やさしさ、のどかさ、艶、粋、しめり、むくり。

A2：東部中之島の建築群、すなわち、日本銀行大阪支店、大阪市庁舎、大阪府立図書館、中央公会堂、大阪市立東洋陶磁美術館。

Q 1　あなたからみた関西の風土の特色
Q 2　後世に残すべき関西の建築・街なみ
Q 3　21世紀への建築・街なみの展望

どれも、その時代の精神や技術を最大限に発揮し、心血をそそいだ作品であると思う。

（こすみ　とおる　日建設計設計監理部長）

中間色の味と美的センス

石東　直子

A 1：関西の赤土を見なれた私は、初めて、関東にある造成中のニュータウンを訪れた時、まっ黒な土の色に、おどろおどろしい感じを受けた。関西の風土の特色は、この赤土に感じられるように、白黒の対比をはっきりさせない、中間色の味である。しかし、この中間色は没個性ではなくて、神戸、大阪、京都さらには奈良といった、独自の文化を主張できる味の深さをもっている。

A 2：千里ニュータウンに代表されるニュータウンづくり。

これらのＮＴづくりは、20世紀前半の戦争がもたらした大量の住宅不足に対して、20世紀後半の高度経済成長期にとった解決策であり、まさに20世紀を象徴する産物である。また千里ＮＴは、日本で最初に誕生した計画的まちづくりであり、そこには関西人の気風が凝縮されている。すなわち、関東のＮＴづくりは、あれこれ議論を重ね、慎重にかまえて、なかなか実行に移さなかったのに対して、千里ＮＴは、短期間に議論をきりあげ、まずやってみて、足らんもんは手直ししながら、ええもんをつくっていこうということでつくられてきた。従って、20世紀の遺物として、本当に後世に残すべきものに値するか否かは、今後の時代の要請に応えた維持管理にかかってくるが……。

A 3：20世紀の終りにさしかかって、やっと今、私たちはまちに対しても、その姿・形を気にしだした。今まで馬車うまのように走りつづけ、あまりなりふりをかまわずつくってきたまちを、すっきりしたまち並みにし、誰もが支障なく使えるようにしていこうという、アメニティ形成の気運が高まりつつある。

また、家の中はピカピカに磨かれているのに、一歩外に出るとゴミだらけという情景も、徐々に姿を消しつつあり、共同の生活空間も美しくあらねばならないということが認識されはじめた。

21世紀のまちづくりは、それをつくる人、使う人のすべてが、居心地のいい、美的センスをもったスタイリストであることが望まれる。

（いしとう　なおこ　市浦都市開発建築コンサルタンツ計画室長）

肌理細やかと功利的風土

好川　忠延

A 1：文化的には、早くから都市化していたためか、温和な気候と相まって、肌理細やかな洗練された文化を育んで来た。しかし一方、いわゆる関西商法に表わされる功利的風土でもある。これらの拮抗が関西の文化風土を特色あるものにしているのではないかと考えています。

A 2：20世紀の遺産として残すべき建物を個々に挙げれば切りがありません。明治時代に造られた数々の名建築から、今日、われわれが日常的に手がけている名もない建築まで、全てが、言わば20世紀の遺産となるものなのです。あれやこれや数え挙げれば限りなく挙がって来てどの建物も残されるべきでないなどと、とうていいえそうにありません。そこで視点を変えて、今回の解答として、建築ではないのですが、「奈良公園」を挙げたいと思います。建設に着手したのは20世紀に入る数年前と聞いていますが、この日本でも最大級の都市公園は、樹木を１本づつ枝ぶりを確かめながら植えられた人工の森であることを最近知りました。古い時代の建物から、今日の建物まで時代を超えた建築群を包含した雄大なスケールの公園は20世紀の遺産として21世紀に引継いでもらいたいものです。明治初期の建築を取壊して公園造りが行なわれている昨今、とくに奈良公園の貴重さを思います。

A 3：20世紀を、建設の時代とすれば、21世紀は再生の時代とでもいうのでしょうか。20世紀に作られた建物の再利用、増改築が、日常的になることでしょう。町並みは急激に様相を変えることもなく、従って凍結保存といった緊急手段で町を保護する必要もなく、新旧の建物の混在した落着いた深みのあるものとなるでしょう。資源も枯渇して来たようですし、こういったゆっくりした時代になってほしいものです。

（よしかわ　ただのぶ　好川忠延建築設計事務所所長）

景観形成市民団体とともに

広沢真佐子

A 1：中世以降の歴史が重層してそれぞれの都市に引きつがれているので、都市形成の歴史と文化・経済活動の多様性が都市景観に反映している。また、堺の自由都市や自治都市・寺内町、大阪の船場・島之内、神戸の外人居留地など、先進的な都市住民による自立する都市づくりがすすんだ。

A 2：１）都市部にあって、近代の都市形成の足跡が残された景観―大阪・中之島、船場、神戸・外人居留地、北野など。

２）地域の原風景として、市民が共有できる都市イメージにつながる景観―大阪の水辺、上町台地の緑と坂、谷町の町家群、住吉の旧街道、帝塚山、富田林、神戸の山並みと坂道など。

３）地域の文化的再生、活性化の素材として生かせる景観――龍野の城下町としょう油倉、神戸灘・京都伏見の酒倉、岸和田や泉佐野

の漁港など。

A3：それぞれの地域が歴史を引きつぎつつ、新しい景観を創造していくためには、地域が独自の個性の出し方を追求し、地域の共同の事業として実現していくシステムをまちづくりの中に組みこんでいくことが求められる。

そのモデル的なケースとして、大阪市北梅田地区では、地域が主体となって景観形成市民団体をつくり、地域の発意で、まちなみの基本イメージと、それを実現するための建築・開発時のルールをもっている。

手づくりで時間をかけて地域の歴史を創りあげていくことが、地域の個性を発揮できる条件ともなろう。

（ひろさわ　まさこ　COM計画研究所主任研究員）

自覚的な民主主義のなかで

蓮佛　亨

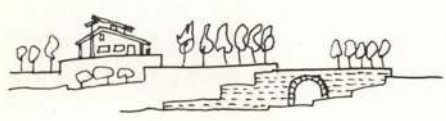
A1：あらゆる角度からしかも思いもつかないほど深い所からも見つめられ批判を受ける。そのしからしむるところは歴史性であり、いいかげんなことを許さぬ環境（雰囲気）であり、住む人の人柄である。したがって突飛な事は出来ないが時どき疎水やインクラインのように突然変異が起こり後世に残る。

A2：明治・大正・昭和通りと呼ばれる京都三条通りを好んだがこの頃少し味気無くなってきた。20年毎日のように見ているが新しく建替えられるものに良いものが少ないからであろう。建物と街なみのどちらもが揃い整っている所は殆んど見付からぬ。あえて選び出せば京都岡崎である。二条通りを西へ疎水を渡って東へ進むと左に京都会館（1960年、別館は'30年竣工）右に伝統産業館（'76年同）勧業館（'37年同）美術館（'33年同）と並ぶ公共建築の群像であろう。

月に1・2度は訪ねるが東山の大文字などの借景も含めて風景・建物共に20世紀の遺産の典型と見てよかろう。

A3：日本においても、民主主義的変革が進み自覚的な民主主義の蓄積が、国民や地域住民の中に相当しみ込んでいることを前提に答える。西欧のように時間や歴史を掛けずに建物や街なみは、公共的にも私的にも整えられてゆくであろう。醜くく感じの悪い建物や街なみは鋭く批判されるであろうし、ますます建築家の仕事はたやすくなくなるであろう。それは素質を持ち国民や住民の立場に立つ建築家の能力が真に生かされる時代の到来を意味する。

（れんぶつ　とおる　京都建築事務所代表取締役所長）



地域住民が主体となって

大野木忠男

A1：1）それぞれの風土的特性を持つ都市（大阪市、神戸市、京都市、奈良市）を核として、多核都市圏を形成していること（個々の風土的特性については、省略する）。

2）そして、それらの風土的特性が、今後とも持続され、発展性を持っていること。

A2：●住宅・都市整備公団が、京都市左京区に昭和51年に建設した、「北大路高野団地」

●当団地は、120戸のタウンハウスであるが、高野川沿いの風致地区の低層住宅地景観を十分に配慮（外周のコモングリーン、勾配屋根、色彩）するとともに、中世の町屋のイメージを再現しながら、周辺の木造住宅街になじむ配慮（露地、共同庭、勾配屋根、色彩、縦格子）がされている。

これらのことが、入居者（街の主人公）に深く浸透しており、さらに周辺住民に、ひいては、京都市全体の住宅地（都市の主要部分）への波及効果が、十分に期待される。（中・高層の住宅団地としては、「東大路高野団地」を推薦する）

A3：21世紀における「街なみ」は、その地域の住民が主体になって、その地域の特性を活かして造るものが、真の「街なみ」を形成するものと考えられる。

社会情勢が安定化（そうあってほしいと願っているのであるが）していれば、人々は定着性を志向し、自分達の街の発展と向上に強い願望を持つことになり、そこから街づくりへと発展していくであろう。

「街なみ」は、造るだけでなく、日常生活の中に深く浸透しなくては、真の「街なみ」になりえないものと考えられる。

（おおのぎ　ただお　住宅・都市整備公団関西支社）

民間の活力と自治体の叡智で

庄谷　邦幸

第2次大戦によって関西の文化財の多くが被害にあったが、それに加えて、高度経済成長期のスクラップ・アンド・ビルド方式によって歴史的遺産である建造物、産業施設が破壊された。またこの時期の工場分散や移転によって、また「公共事業」という名の破壊によって多くの名建築も失われた。

しかし、一部ではあるが、関西の経営者の中で啓蒙君主的（？）経営者や、オーナー企業の経営者の努力と理解によって、また民間企

Q 1　あなたからみた関西の風土の特色
Q 2　後世に残すべき関西の建築・街なみ
Q 3　21世紀への建築・街なみの展望

業の技術者の歴史的使命感によって、さらにマニアやコレクターの努力によって産業遺跡や産業記念物・産業文化財ともいうべきものが残されている。
したがって、民間の活力と、地方自治体の叡智によって、現在残っている文化遺産と歴史的建造物や街なみを保存しようではないか。そのために、例えば日本建築学会が1980年にまとめられた『日本近代建築総覧』にリストアップされている建築物を再点検し、その保存と再利用（リサイクル）を総合的に考えてみてはどうであろうか。

（しょうや　くにゆき　桃山学院大学経済学部教授）

水と緑

力武　利夫

A 1：関西といえば、関東との比較になります。東京を中心の核とした放射状かつ求心的な文化を持つのが関東であるとするならば、大阪・京都・神戸・奈良などの各都市が歴史的文化的特色を持ちながら形成しているのが関西であろうと思います。
A 2：「平安の都」京都・「港街」神戸・「古都」奈良とは昔からいわれている所ですが、大阪は関西圏を形成する最大の核でありながら特色に乏しい所です。商都、浪速の都、または水都とも呼ばれてきましたが、今日では実態に欠け、街なみからはそれらが感じられません。一旦埋めた堀割を元に戻すのは現実的ではありませんので、せめて水都の象徴である中之島は大切に守っていかなければと考えています。また御堂筋の銀杏並木も、20世紀の遺産として残すべきものと思います。
A 3：20世紀の都市は、自然を侵蝕しながら膨張を続けて形成されたものでした。その中で大切に残された水と緑は、尊くもあり美しいと思います。水と緑は、人間にとって自然そのものであって、人の心を和ませてくれます。
21世紀における街なみづくりは、ますます高度に集積化される都市の中にあって、「水と緑」を造り込んでいくものでありたいと考えています。

（りきたけ　としお　清水建設大阪支店次長）

自然の素材−土・水・樹木・草花

井上　卓之

A 1：京都はアカマツの風景が多い。いや多かったといい直さなければならないのかも知れない。何故ならば最近はアカマツの衰退が激しく近郊の山々の様子が変ってきた。
関西は関東以北とちがって照葉樹林帯といわれる。従って関西は将来常緑広葉樹の風景に変ってゆくのだろうか。少なくとも関東以北で見られる円錐形の針葉樹と落葉樹との組合せで見られる山の風景とは異なった風景になるだろう。
A 2：京都市南禅寺界隈——特に野村別邸の前から南禅寺の方を見たまちなみ。大変、ぜいたくで現在の個人の経済力や土地制度の中ではできないことであろうが、遺産としては是非残して欲しい処であり、現在でも、風致地区・歴史的風土保存地区などの制度によって、保護の施策が講じられている。



特に私達造園の先達である〝植治〟(小川治兵衛氏)が、当時の富豪の屋敷の庭を手がけた際、前面の道路から、前庭をもひっくるめて公私の所有の別なく一つの空間として把握し、扱っている点など、羨ましい限りである。
A 3：現代の街の風景は、その殆んどが、建築・構造物・舗装など、人工物によってすき間なく覆われているように思える。
また土地の所有が公私ともにはっきりしていて、お互いに人の往来を拒否しており、そのことが、スペースの自由さを失わせている。人間の行動は頗る自由で土地の所有に関係なく往来する。従って都市のスペースはその所有の如何にかかわらず、視覚的にも機能的にも開かれた場所として扱われ、街なみにゆとりを持たすべきである。そしてそこには現代の都市が拒否している自然の素材、土・水・樹木・草花などを豊富に盛り込むべきであり、さらにそれらは常に美しく手入れされているべきである。

（いのうえ　たくし　井上造園設計事務所代表取締役）

住み、生きている人の心で

瀬戸本　淳

A 1：他の地域と比較して風土の特色をつかむ場合、そこに住んでいる人々を見つめてみるのがわかりやすい。関東と関西の違い、大阪と神戸の違い、神戸の中でも須磨と岡本の違いは、そこに住んで生きている人々の顔、しぐさ、言葉、わきまえ方、つきあい方、こだわり方、などの違いとすべて対応している。さらにつきつめてゆくと、個々の地域、あるいは個々の建物の中で、その人間関係の段

階的構成が、ちょうどその空間の段階的構成と対応しているのに気がつく。つまり共同幻想の異なる地域では、風土も異なってくる。しかし生まれた街をいつもは母胎のように感じているのに、客観的にこのように書く瞬間から、もはや楽園ではなくなっているのは間違いない。

A 2：私個人の私的幻想を許していただけるならば、神戸の摩耶山のふもと、北野町、青谷の神仙寺町（北野町程ではないが異人館が多い）、芦屋の西山、三条、月若の各町、ここはすべて私が生活した（している）場所なので残したい。その他にいくつか点在している自分の設計した建物を残したい。そしてすばらしい思い出、悲しい思い出のある街かどを残したい。

それらの街なみは、私の触覚が、表面よりは深部に、空間よりは時間に鋭敏にはたらいてしまう場所である。しかしいつも回想録調に過ぎ去った時の中を旅するだけではない。なぜなら、だれでもただいたずらにそんな場所で幼い時や青春を過ごしただけではないので、追憶は過去とは正反対の方向をきっちりと指し示してくれてはいる。街自体がめまぐるしく変容を重ねているのではない。むしろそれを眺める人間の方に時間が大いに働きかけている。

A 3：私自身は幸か不幸か老舗の銘菓というようなものを子供に食べさせる家庭には育たなかった。黒アメ、カリントウ、イモヨウカン、ポンポンというような駄菓子がもっぱらだった。今でもそれを口にすれば、たちまち忘れていたなつかしい幼時体験が立ちもどってくる。このような魔法の小箱はお菓子にかぎらず手に入りにくくなっている。現実は意味の見つけにくい建物が林立して、日増しにどこも手掛かりのないズルッとした街になりかけており、感情移入を拒否されるのではないかという恐れを抱くものも増えてきた。しかし共同幻想化ができない建物はいずれ滅びることだろう。

真のジプシーのように地上に何ものも設立しないという配慮によって地上を制圧するということが将来許されない以上は、子供から年老いた人まで、たしかに自分が感じている快感という内的確信、ないしは現実感をとり戻して、自分の言葉（心）をしっかり持った人々みんなでひとつの建物、ひとつの通り、ひとつの街をつくってゆくというのが理想である。生きることに余りにむなしさを感じないために。

（せともと　じゅん　瀬戸本淳建築研究室主宰）

建築観の「幸福」と「不幸」

黒田　公三

A 1：「人」と「もの」と「自然」のかかわりを、風土として捉えたいのですが、その意味で、関西の風土の特色を格別に語るのは、私には少し無理のように思えますが、どうでしょうか。

A 2：「神戸ポートアイランド」

特にポートライナーからの景観をおすすめします。あまり例のない眺めか、と思います。「神戸」の街と、空と海とが一望できて、スケール感からくる、迫力と実在感があります。ポートアイランドは、20世紀末の壮大な試みであったのですが、新しい質の景観の創出が、たくまずして現出した点は、感銘深く思います。

その時代のもつ、指向とポテンシャルが、その時代の表情として、残るべき、と考えます。同じ意味で「芦屋浜の超高層住宅群」も、是非あげておきたい。

A 3：「ポストモダニズム」というようなことが、近頃しきりといわれるのですが、そう痙攣的に次々と意識の変換をやらねばおれないのはどうでしょうか。人間の「いとなみ」から、おのずと派生し、陶汰され、集約されて、新しい「様相」が生れると思うのです。今生きる一人として、現代建築観の「幸福」と「不幸」について、もっと考えを深めたいと思っています。したがって、来るべき「様相」についての展望ないしは予言は、私には困難です。つくる側の人間として、信ずる処、好む処を懸命にやるだけです。

（くろだ　こうぞう　黒田建築設計事務所所長）

個からの発想

歌　一洋

A 1：人と人との連携が少なく、人を育てる気風に欠ける。創作活動への認識が希薄で、表現手段あるいはその場が少ない。ユニークな発想はできても、仕上げる過程が悪いのか、大きく育たない。ごった煮の都市空間と味は、ある意味でおもしろさと可能性がある。

A 2：●通天閣とその周辺のかいわい。人が路地で寝ころがれるような多様性を持っている。

●夕陽ヶ丘周辺の上町台地。原色のホテル、寺、墓地、坂道、樹木が混在しているこの空間は一種のアイデンティティが存在している。またここからは鉛色の夕陽が遠くに眺められる。

●西成の飛田。人間の肌のぬくもりと冷酷さ、打水の清浄なる空間は都市の表裏を表現している。

A 3：●建築、都市空間をつくることのできる民間人のプロデューサーやコーディネーターを養成すること。

●建築、街づくりは最大公約数的ではなく、個からの発想をおこなうべきである。

●経済の論理でつくられてきた現在の都市空間で、失なわれたものをとりもどす街づくりをおこなうこと。人間本来のプリミティブな情に還り発想すること。

（うた　いちよう　歌一洋建築研究室）

Q 1　あなたからみた関西の風土の特色
Q 2　後世に残すべき関西の建築・街なみ
Q 3　21世紀への建築・街なみの展望

職住密着型都市へ

橋本　周明

A 1：昔より関西は生活によい自然環境として選ばれてきたが、今世紀、建築技術の革新は建築を自然より離反する結果を招いてきた。しかしこの非風土化は人を災害に巻込む――地下街の警鐘――との反省が生れてきている。

A 2：大阪府総合青少年野外活動センター

建築と風土との調和とは建築が人に害を与えない関係とみる。自然にさからわないで、人間の無理な欲望を押しつけない建築姿勢が必要かと思う。昔は建築には無心で、人が実用的であれ、宗教的であれ安心を求めてきた。しかし今世紀物質万能主義の流れにおいては、このような建築は見はなされてきたように思えるが、当センターは自然の地形を利用して低層で無理のない設計がなされている。

A 3：新都市は人口30万人以下で、それぞれ独自の経済圏を構成する職住密着型都市とし、簡素な行政機構は光通信エレクトロニクス技術により各都市を結びコントロールされ、都市間も、この技術でその距離を０化する。私有権より優先する自然基本法は人の安全且快適な生活を保障する。これにより建築行政も刷新される。今世紀より動き出した物質万能経済追求主義に代り精神主義の評価が高まり、自然と人と建築とがむつまじくなる社会の到来を期待する。

（はしもと　かねあき　高島屋大阪店装飾部次長）

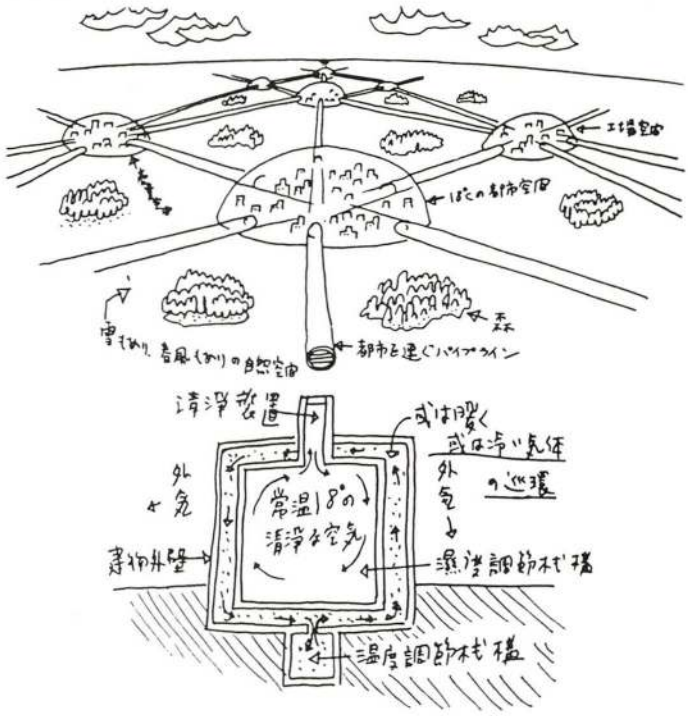
18℃の都市空間

田中　健三

A 1：私は関西育ちです。関西は未来を考えられる土地です。鷹揚としていて他国の誰がやってきても、大阪やその周辺一帯は自由に動き廻れます。それだけにまとまりにくく、個性がありませんが、国際性を充分に発揮できます。

A 2：建造物を永久に保存できる材料が基本的には使用されていないように思えるのです。随って20世紀の遺産的建造物は見当りません。明治維新以後、富国強兵政策による国造りのため、文化は皆無で産業が先行し、人間の真実社会的都市計画は放擲（ほうてき）され、人間機械の都市計画が現在も尚つづいているのです。今世紀には、文化的には全く何も出来ていなかったと思います。埋めた大阪の川を今一度掘りかえしてみるようなアースワークが遺産でしょうか。

A 3：人間の住む街が自然発生的に拡がっていったのは、何十万年か昔の話で、五千年前に人間が社会機構をつくり、都市計画が行なわれた筈であります。日本の現在都市は現代機能のない都市ですから、今からでも人間を基盤とした都市づくりを考え出さねばならないのです。考え、働き、憩い、楽しむ都市をつくりたい。どこへでも適度に歩いて行けて、太陽を充分に浴び、緑のふんだんにある土地、しかも常温18°の住宅に生活したいと思います。



（たなか　けんぞう　大阪芸術大学教授）

多核的風土

新田　隆

A 1：大阪、京都、奈良など各地域が、穏やかな丘陵山地によって空間的に適度に分節され、相互に密接に関連しながらもそれぞれが歴史的、文化的に独自の特性と厚みを有するといった、多核的風土を有しています。その多様さは箱庭的でもあり、しかしまた、地域相互間によい刺激を与えあう精神的緊張感をも維持しています。

A 2：千里ニュータウン――先進性、総合性、完結性を兼ねそなえ、かつ質の高さの点でまず思いあたるプロジェクト。

20世紀にあっても建築的には前時代に属していて、現在ではむしろ評価が安定していて、保存修景の対象となっている、誰もが思い浮かべる数々の近代建築の建築・建築群。

A 3：つぎの世紀の都市景観として、都心部の超高層化と町中に散在する古きよき町並みとの共存をイメージします。関西の多核的風土が相互に質を高め合うものと思います。（一部文章省略）

（にった　たかし　大阪芸術大学建築学科助教授）

資料 分類 関西の保存再生の事例

分類内容
A：景観保存
B：ストラクチュアの保存
C：モニュメント保存
D：用途の変更時の再生
E：その他

この項は、『関西における文化の継承を、建築の立場からのように行っていけば良いのか』を考える一つの材料となることを意図してまとめている。
文化の継承とは言っても、建物の場合は物理的・機能的に寿命のあるものであり、その点では現在にもはや適応しなくなった時点で取り壊され、そこで文化的使命も終わってしまう運命にある。このことから、建築を通じての文化の継承は、建物の存続ということが一つの前提となるが、その存続のあり方にも保存と再生という二つの側面を考えることができよう。ここでは、そのうち再生という側面にスポットをあてている。
再生（リニューアル）は、現在まで存続してきた建物を現在の中で生きかえらせるものであり、建物に新たな意義を付与させつつ、現在あるいは将来へと継承させていこうとする考え方である。関西においても、近年、こうした再生に対する動きがでてきており、着実にその効をあげてきつつある。
こうした動きを背景とした、ここでは関西でのこうした再生の事例を紹介し、設計者のねらいがどこにあり、現在の中で再生された意義がどこにあるのかをみている。ここに採り上げた事例の中には、それぞれの異なった建物において、その建物が現在持ち得る機能を模索しつつ、多様な技術・手法を駆使してその建物を将来へ継承していこうとするオーナーおよび設計者の貴重な姿勢をみることができる。
資料の収集は、設計担当者の方にアンケートに答えていただく形でおこなった。

建築文化の継承

アンケートの結果、つぎの三点が浮き彫りにされてきた。
(1)保存に至った動機としては、地元の人に馴染みが深いレンガ工場〈六甲バインモール〉、歴史を物語る記念碑・愛着の深い建物〈同志社理科学館〉、酒づくりの歴史を後世に正しく伝えようとする〈白鹿記念館〉、文化的遺産であるから残すのが使命の〈武庫川学院甲子園会館〉、など文化的遺産の継承を目指したもの。地域の核として神戸らしい都市景観を育てる〈異人館のあるまち〉の都市活性化への媒体創り。また荘重で重厚な雰囲気は現代建築では表現できない〈神戸市立博物館〉のようなわれわれには耳の痛い理由もあった。
(2)保存するにあたり、問題点としてあがったものがある。昔のものは現代の住生活を営むにはかなり不便〈今西家〉、外観はそのままで内部は新しい機能でやり替える〈日銀〉〈同志社理科学館〉のように保存と現代生活の間でギャップが生じた部分がみられるもの。近隣に景観無視のビルが建つなど環境は必ずしも好意的でない〈中京郵便局〉の街並みとして保存する難しさ。明治の建築の迫力に圧倒されないためには明治の人達以上の情熱と意欲を傾ける必要がある〈中京郵便局〉の現代建築作りの時間のかけ方という基本的な問題。また企業活動の場に保存が支障とならないか、〈灘の酒蔵地区保全〉のように経済と保存の摩擦もあわせて浮き彫りになった。
(3)再生の結果、周辺地区に波及効果をもたらしたものもある。地元のコミュニティセンター的役目を果たしてきている〈武庫川学院甲子園会館〉。地域を守る会が結成された〈異人館のあるまち〉のように地元意識にまで変化をもたらしたものもある。また、〈南京町〉のように中国風化の景観復興の環境整備をして、地元の賑いをとりもどそうというものもある。

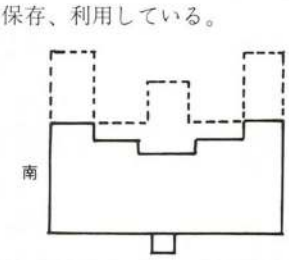
*

最後に、ご多忙にもかかわらず貴重なご意見・資料を提供していただきました関係各位の方々に対しまして深く感謝いたします。

1 分類A 日本銀行大阪支店

旧 名 称　日本銀行大阪支店
所 在 地　大阪市北区中之島２丁目
旧 用 途　銀行営業室等　　新築当初年度　明治36年
新 用 途　会議室等　　保存・再生年度　昭和57年
旧設計者　辰野金吾
新設計者　株式会社日建設計大阪本社

日本銀行大阪支店旧本館は、レンガ造で、地盤沈下の進行にともなって、中央部を頂点に、くの字型に南北の両翼が沈下し、建物内部のいたるところに亀裂が走っていた。昭和48年５月、坂静雄博士が建物の耐力調査をされて、窓や出入口の上部など構造的に弱い部分は、震度４で広範囲に崩壊すると報告がなされ、これにもとづいて種々多方面からの検討の結果、地盤改良の技術的進歩もあり、外壁保存くらいなら可能と決定した。すなわち、今回の工事は、饅頭の皮の部分である外壁だけ残し、あんこの部分の内部の諸室や造作を全部撤去した後、新しい構造体を挿入し、外壁と一体化した後、屋根も新たに復元するというわが国でも初めての困難な試みであった。
結果として、外壁の石は洗滌し、目地の補修にとどめ、窓廻りは、新材にて復旧した。屋根は、すべて新しい銅板で葺き変え復元したが、中央ドームの下地鉄骨は旧材を強度確認のうえ再利用した。内部については、中央ドーム下部にあった旧貴賓室は、記念室として保存されるよう決定されたため、旧材を丁寧に取りはずし、補修したのち復元した。ステンドグラスも目地が相当いたんでいたが、手を入れて、そのまま用いた。このように新材は、壁や天井のクロス、カーテンおよびジュータン等の布製品、床の寄木貼りのみであった。また、旧館の中央部にあった鉄骨の階段は、鉄骨材をイギリスから輸入した建築史的にも貴重なものなので、以前の姿のまま、わざわざ階段を収める部屋、すなわち大階段室を作って保存、利用している。　（文責　**小角　亨**／日建設計）



実線部分が保存され、外観はそのまま復元または修復され、点線部分は、解体撤去された。



2 分類A・D 六甲パインモール（六甲イケアタウン）

旧 名 称　小泉製麻株式会社第１工場
所 在 地　神戸市灘区新在家南町1-2-3
旧 用 途　黄麻紡績工場　　新築当初年度　明治23年
新 用 途　インテリアマート　　保存・再生年度　昭和57年
旧設計者　不明
新設計者　株式会社竹中工務店

六甲パインモールは、小泉製麻株式会社が明治23年、わが国最初の黄麻工場として建築した工場の用途変更による再生である。
遊休工場の再利用計画は、種々の案の検討の結果、周辺地域が神戸市で保存計画を進めている灘五郷のひとつである西郷にあること、また、地元の人になじみ深いレンガ造の工場であることから、明治の遺産である同工場を保存・再生させることを出発点と考え、再生の用途として、インテリアマート構想が決定された。
主要構造材である松材も、外壁のレンガ壁も、90年を経た現在でも十分使用に耐えるものであり、柱１本１本が、また、ペンキで塗りかためられていたレンガ壁が、職人の手によって研摩され、もと素材のよさをよみがえらせることができた。
大スパンの商業空間が建築されるなかにあって、紡績工場の織機のモデュールによる松材の柱列も、素材のもつ暖かさからか、ぬくもりのある雰囲気があり、来店者にも好評である。（六甲パインモールは、六甲イケアタウンが、インテリアマートとして規模を拡張したことから、名称変更をしたものである）

（文責　**本城邦彦**／竹中工務店）



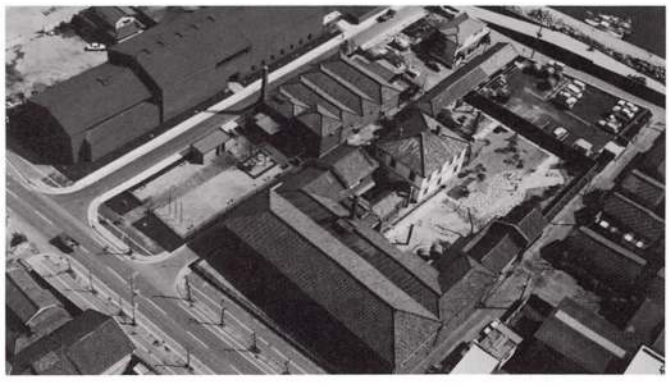


3 分類A・D 白鹿記念酒造博物館

旧 名 称　辰馬喜十郎住宅、辰馬喜十郎店・辰馬喜十郎内蔵
所 在 地　兵庫県西宮市鞍掛町８－21
旧 用 途　住宅＋営業所＋酒蔵　　新築当初年度　明治20年代
新 用 途　博物館　　保存・再生年度　昭和57年
旧設計者　不明
新設計者　株式会社大林組

西宮は古くから酒どころで知られている。江戸時代には宮水と樽廻船とにより天領として栄え、明治20年代、日本最初の産業革命期には、その技術躍進により灘五郷の一つとして発展をとげた。以来、酒づくりの近代化とともに、施設の面でも、伝統的な酒蔵が画一化された醸造工場に姿を変えていく中で、今回の計画の中心である鞍掛町一帯では、いまだに明治の洋風建築が数多く残されている。そのまちなみからは発展過程にあった当時が偲ばれる。
このような時代の動きの中で、生活文化遺産である酒づくりの歴史を後世に正しく伝えようと、辰馬本家酒造では創業 320周年を記念して、兵庫県および西宮市の重要有形文化財にも指定されている「酒蔵」「喜十郎邸」「帳場」のある10,000㎡のまちなみを保存するための〝酒の文化ゾーン〟を企画し、その構想の中心となる「白鹿記念酒造博物館」を設立した。保存する建物の内部では、当時の酒づくりの様子が再現され、新しく建てられた記念館では、お酒に関する文献、美術工芸品等が展示されている。このプロジェクトは、単なるまちなみ保存に留まることなく、新しい建物と古い建物との調和の中で、まちなみを再編成する保存再開発といえる。そういった意味で、この計画が西宮郷に与える影響は、これからのまちなみ保存の一つの典型と考えられる。

（文責　**上村幸之・海野克則**／大林組）





4 分類D 神戸市立博物館

旧 名 称　東京銀行神戸支店
所 在 地　神戸市中央区京町24番地
旧 用 途　銀行　　新築当初年度　昭和10年 9 月
新 用 途　博物館　　保存・再生年度　昭和57年 3 月
旧設計者　桜井小太郎
新設計者　神戸市住宅局営繕部＋坂倉建築研究所

神戸市立博物館は、東京銀行神戸支店であった旧館に新館を増築したものである。旧館は竣工後約50年を迎えようとしているが、老朽化も見られず、また耐震性においても優れており、当時の設計者、施工者の努力が偲ばれる建物である。この旧館の特長として、博物館の１階ホールとして再生した吹抜空間をあげることもできるが、とりわけすばらしいのは、この建物を京町筋の街並みの中で印象づけている古典ギリシャ神殿様式のファサードであろう。ドーリック・オーダーによるエンタシスの大円柱の荘重で重厚な雰囲気は、現代建築では表現できないものである。

今回の工事ではこの外観について、玄関庇、屋外階段、身障スロープ、街灯の新設、窓の取り替えといった最小限の工事をするにとどめ、またそのデザイン、材質、ディテール、色彩についても、外観との調和を重視して決定している。旧館の裏側に増築した新館は５階建である。この新館についても、３階建旧館とのスケール感を合わせるため、３階までの外観を旧館に模し、４階以上については、緑青仕上のヴォールト屋根といった旧館とは異質なデザインをすることで処理している。

この工事は保存と再生についての一解答例になるが、保存より再生に重点をおいたものであり、私自身保存といったテーマについて踏絵をしたような気がしたものである。この工事で旧館の一部を解体したが、その外壁の花こう岩や営業室カウンターの大理石を幼稚園、体育館のベンチ、カウンター、舗石にすべて再使用できたことは心嬉しいことであった。　（文責　**遠藤繁光**／神戸市）


京町筋ファサード（旧館）


新館（左）と旧館

5 分類A 酒蔵地区（魚崎郷）の景観保全

旧 名 称　――
所 在 地　神戸市東灘区魚崎南町
旧 用 途　――　　新築当初年度　――
新 用 途　――　　保存・再生年度　――
旧設計者　――
新設計者　――

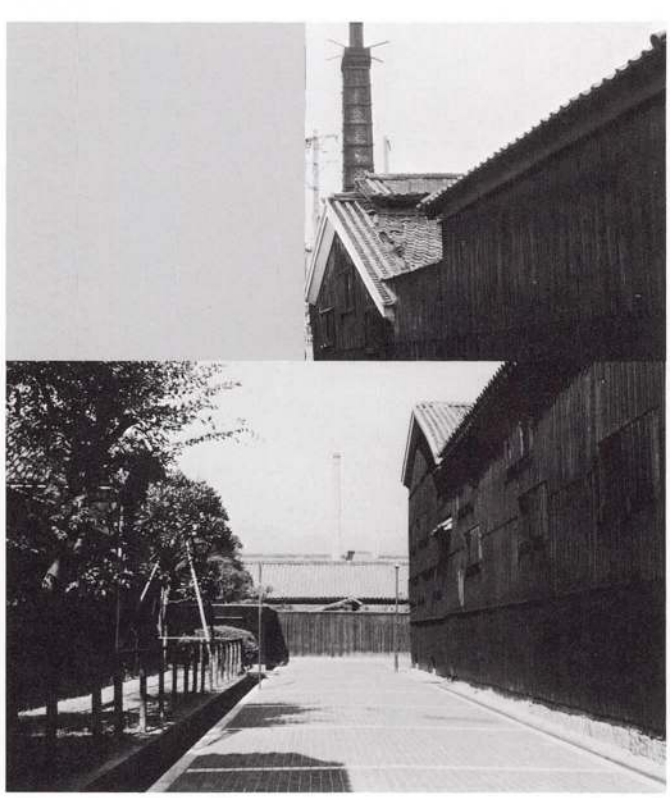
〝灘の酒〟で著名な灘五郷は、神戸市東部の西郷、御影郷、魚崎郷と西宮市の西宮郷、今津郷である。神戸の三郷は立地条件に恵まれ、古くから日本酒の生産地として栄え、神戸を代表する地場産業となっている。各郷は市内を流れる川の河口附近に形成された酒蔵の街で、古い木造蔵が多数現存し、独特の雰囲気を構成しており、現在も生産活動が活発に続けられている。

神戸市は昭和55年度に酒蔵群の現状把握と保存の手法を探るため調査を実施し、その調査結果を踏まえて、引き続き都市景観審議会で魚崎郷の歴史的景観の保全について審議を重ねているところである。

三郷の中で特に魚崎郷の酒蔵は、江戸時代後期から大正に至る各年代の特徴を残し、多数の蔵が集中しており、住吉川の景観とともに優れた歴史的風致を維持している。また、ここには重要有形民俗文化財の菊正宗酒造記念館、兵庫県重要文化財の山邑酒造酒蔵などが保存されている。

一方、最近の酒造業界も厳しい経済環境の中にあり、歴史的遺産である酒蔵群は、設備の近代化や四季醸造など生産性向上のために改築されたり、廃業等により他業種の進出やマンション用地になるなど変貌しつつある。したがって、景観保全のための対策が重要であり急がれる。しかし、これら古い酒蔵は現在も企業活動の場であり、景観上重要な伝統的建造物の保存や景観形成への配慮と酒造業の振興をいかに調和させるかが大きな課題である。

（文責　**八尾　明**／神戸市）



6 北野町山本通地区の景観保全

分類A

旧 名 称 ——
所 在 地 神戸市中央区北野町1丁目～4丁目および山本通1丁目～3丁目
旧 用 途 ——　　新築当初年度 明治初年より
新 用 途 ——　　保存・再生年度 昭和55年度から
旧設計者 ——
新設計者 ——

〝異人館のあるまち〟として知られている北野町山本通地区は、近代都市神戸発祥の地である旧外国人居留地から約 1.5km、神戸港を望む南面した山麓に位置する。ここは明治初年に設けられた内外人の雑居地の一部で、多くの外国人が住居を構え、異人館と呼ぶ洋風住宅が和風住宅と混在して、神戸独特の異国情緒豊かな町並みが形成された。異人館等の歴史的遺産は、戦災、老朽化、マンションに建て替えなどにより失われたが、今なお多くが残り歴史的な雰囲気をよく伝えている。

この神戸を代表する歴史的景観をまもり、ここを核として神戸らしい都市景観をそだてようと、神戸市都市景観条例に基づく都市景観形成地域および文化財保護法による伝統的建造物群保存地区に指定している。歴史的遺産の保存、環境の整備、神戸らしい文化の創造を基本方針として各種の事業を進めている。異人館などの伝統的建造物の保存修理(所有者に助成金を交付)、買い上げや借り上げの異人館を無料一般公開するなどの保存と活用を図るほか、公園の整備、道路の修景、街路灯や案内板の設置などの事業を実施している。また、昨年８月には自治会を中心とした〝まもる会〟が結成された。

市街地の中心部にあるこの地区は、地価が高く、土地の効率的利用指向が強い。また、閑静な住宅地の観光地化など多くの課題を抱えている。町並み保存は、住民と行政が互いの理解と協力により、根気よく推進する事業である。　（文責　**八尾　明**／神戸市）





7 南京町復興環境整備

分類E

旧 名 称 ——
所 在 地 神戸市中央区栄町通1丁目～2丁目および元町通1丁目～2丁目
旧 用 途 ——　　新築当初年度 ——
新 用 途 ——　　保存・再生年度 ——
旧設計者 ——
新設計者 ——

１．目的および経緯：戦後さびれる一方であった南京町に戦前の賑いを取りもどそうと、地元南京町商店街振興組合と区画整理事業施行者の神戸市とが協力し、コンサルタントを導入して事業の基本設計の検討協議を重ねた結果、昭和56年８月に実施計画がまとまった。翌57年１月から工事が開始され、58年３月に完成の予定である。

２．事業のあらまし

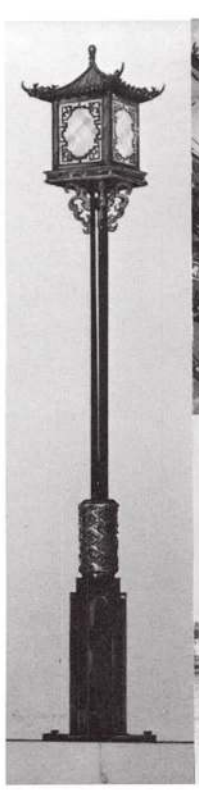
(1)メイン道路の歩行者専用道化――東西160m、南北110m、幅員８mの道路を南京町らしいみちにするため一部戦前の石畳を利用するほか、中国の伝統的な「舗地」の手法をとりいれ、磚（カワラの類・イブシ陶板）や石により路面を仕上げる。また、ランタン(街路灯)、植栽などを配して個性とうるおいのある道路にする。

(2)道路広場の設置（307m²）――街の中心部に広場を設ける。中国風のあずまやや緑陰樹を配するなどして、買い物客に憩いの場を提供する。

(3)景観形成のための助成等――景観条例にもとづく景観形成地区の指定を予定しており、建築物の中国風化のために助成を行う。このため地元は、建築協定、街づくり協定を結び中国風の建物外装となるよう努力する。

(4)楼門の設置――南京町のシンボルとなる楼門を２基設置する。１基は57年６月に完成済み。(将来は３～４基)

（文責　**吉田仁三**／神戸市）

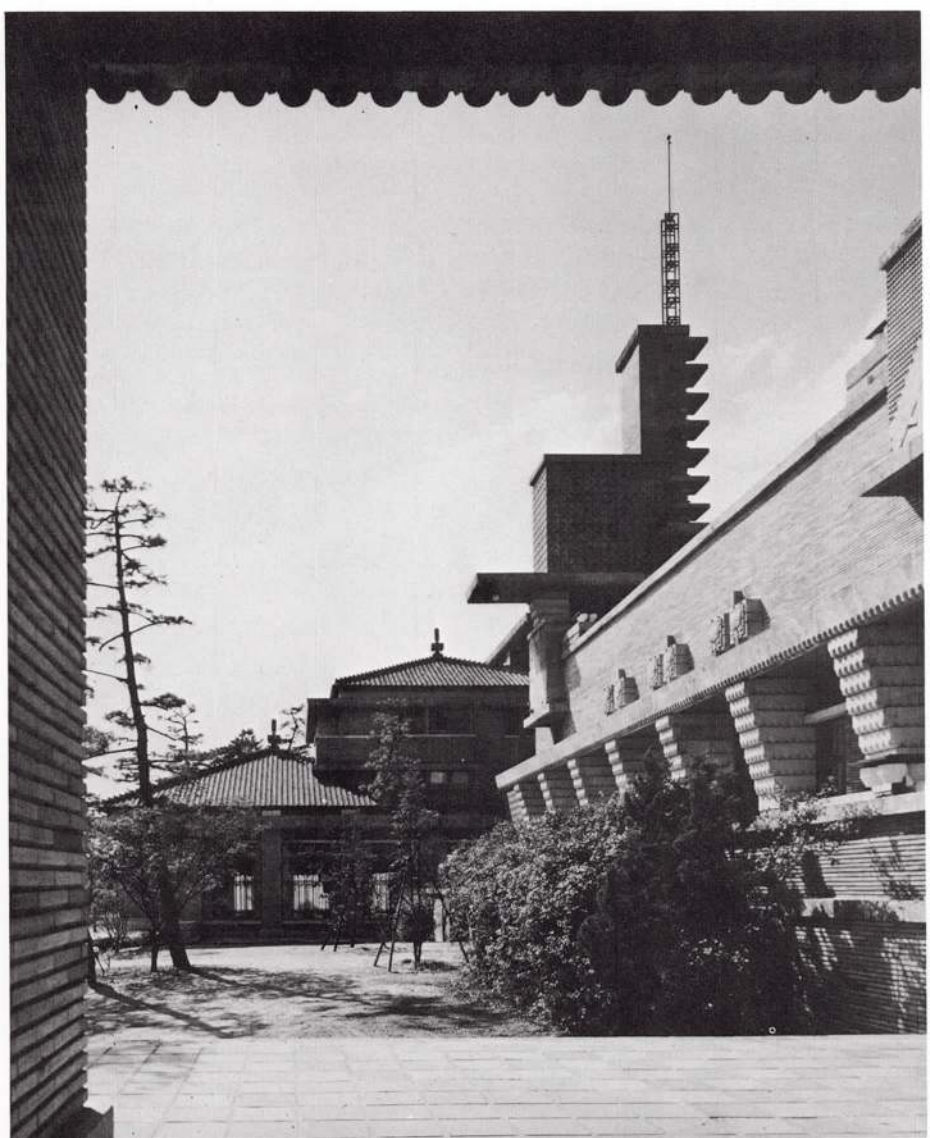




8 武庫川学院第3学舎甲子園会館

分類D

旧 名 称　甲子園ホテル
所 在 地　西宮市戸崎町１－13
旧 用 途　ホテル　　新築当初年度　昭和５年
新 用 途　学校　　保存・再生年度　昭和41年
旧設計者　遠藤　新
新設計者　株式会社竹中工務店、設計顧問／遠藤　楽





甲子園ホテルは、遠藤新氏の設計、大林組の施工によって、1930年（昭和５年）に竣工した。

「ホスピタリティに満ちた日本伝統の良さを洋式の中に生かした理想のホテルを造る」という、当時、帝国ホテルのマネージャーであった林愛作氏の考えに基づいて建築されたが、ホテルとしての生命は短く、戦時中の海軍の接収、戦後の米軍の接収を経て、国有財産として管理され、昭和40年、武庫川学院の所有するところとなった。

昭和40年当時は、建築の保存・再生という考えより、高度成長下の経済にあっては、土地の高効率使用の考えが支配的であった。そのなかにあって、この建物の文化的遺産としての価値を継続、保存することは、教育界が、世に示す大きな使命であるという立場から、外観の改修保存と、内部空間の改修再生に着手した（用途の変更から、客室部分は撤去した）。当時あまり注目されなかったこのオーナーの決断の意義は、今日からすれば、先駆的な事業として、賞賛されるべきものである。

教室・研究室・学寮に改修された客室部分、音楽ホール・講堂に生まれかわったグリル、バンケットルーム等、豊かな空間は、女子教育の場として、重要な役割を果たしている。

その後、外部庭園工事等を経て、現在は地域社会との結びつきを深め、展示室、集会等の用途にも、積極的に利用されている。

（文責　**本城邦彦**／竹中工務店）

写真撮影：多比良敏雄

9 同志社大学理科学館

分類C

旧 名 称　同志社大学ハリス理化学館
所 在 地　京都市上京区相国寺門前町629
旧 用 途　工学部研究室　　新築当初年度　明治23年
新 用 途　〃　　保存・再生年度　昭和52年
旧設計者　J．ハンセル
新設計者　株式会社大林組

明治23年に建てられたこの建物は、大学創立者・新島襄がその建設に情熱を燃やしたものであり、同志社の歴史を物語る記念碑ともいえるものである。

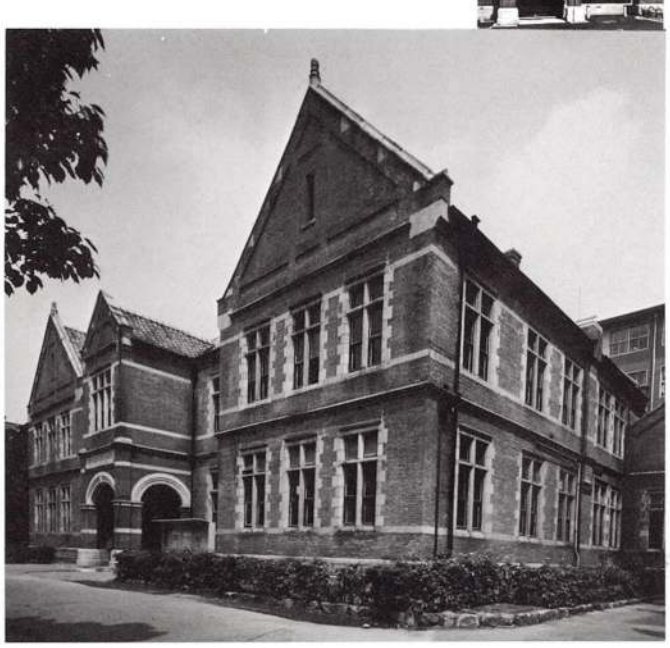
工学部の研究室・実験室として使われていたが使いにくくなり、また90年に近い歳月による老朽化が進み、耐震性能を検討したところ、今後発生の予想される規模の地震に対して崩壊の危険性があることが判明した。大学関係者にとって愛着の深い建物だけに保存の声が強く、耐震補強を施して保存・再利用することとなった。そして設計者に与えられた課題は「キャンパスの景観保存のため外観はそのまま残し、内部は研究室としての機能を充実させ、かつ耐震性能を確保する」ということであった。

耐震補強の方法としては、レンガ積みの外壁をそのまま残しその内側にＲＣ壁をつくり、両者を5000本のジベルアンカーで緊結した。木造床は撤去してＲＣスラブにした。すなわち構造的に、レンガ組構造を壁式ＲＣ造に変換することにより耐震補強することとした。

その結果、外壁のレンガはそのまま残り、キャンパスの景観は以前とまったく変わらないようにすることができた。内部はＲＣ壁の分だけ狭くなったが、設備を充実させることにより実験室に必要な機能の向上をはかり、プロジェクトの目標を達成した。

（文責　**本間利雄**／大林組）





10 京都市考古資料館

分類B

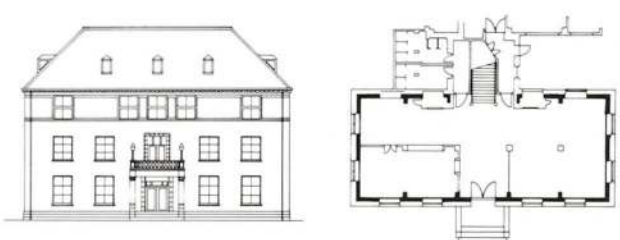
旧 名 称　西陣織物館
所 在 地　京都市上京区今出川大宮東入元伊佐町
旧 用 途　展示館　　新築当初年度　大正３年
新 用 途　資料館　　保存・再生年度　昭和54年
旧設計者　本野精吾
新設計者　京都市住宅局庁舎営繕課

京都市考古資料館は、大正３年に京都高等工芸学校（現京都工芸繊維大学）教授本野精吾の設計、株式会社清水組（現清水建設）施工によって建設された西陣織物館陳列館が母体となっている。昭和53年に京都市埋蔵文化財研究所の施設として再生・利用するための調査がなされ、これに基づき練瓦外壁ＲＣ補強・改装工事を行い、現在、考古資料館として再出発し、京都市埋蔵文化財研究所の調査・研究の成果に基づく埋蔵文化財の公開展示を行っている。

考古資料館の１・２階は展示室として「埋蔵文化財を見て、触れて、楽しく学ぶ資料館」をキャッチフレーズに運営されており、３階は貴賓室を建設当初の形態のまま残し、他の室は研究所の資料室として使用されている。この点において、大正初期の建物形態保存・使用面において十分成功していると思われる。

現時点において、この補強・改装工事の設計に参加した者としてこの建物をふり返るならば、西陣会館として使用されていた当時改修変更された屋根葺材・窓の形態について復元ができていたならばという思いがするが、これは、屋根・外壁の補修工事時点に残された課題であると思う。　（文責　**吉田博昭**／京都市）

「西陣織物館実測調査報告」大阪市立大学工学部建築学科建築史研究室
「西陣織物館の耐震安全性調査報告」京都大学工学部建築学第二教室
「京都市考古資料館年報」京都市考古資料館



京都市考古資料館



西陣織物館時代

11 中京郵便局

分類A・C

旧 名 称　京都郵便電信局
所 在 地　京都市中京区三条通東洞院東入ル菱屋町
旧 用 途　郵便局　　新築当初年度　明治35年(1902)
新 用 途　同　上　　保存・再生年度　昭和53年(1978)
旧設計者　不明（三橋四郎か）
新設計者　郵政省建築部

日本では数少ない外壁保存の先駆として注目され、その景観保存への貢献と、新しい保存手法の確立により、昭和53年度日本建築学会賞を受けたプロジェクト。保存といえば、記念館など旧と全く異なる建物用途で再生される場合が多い中で、用途を変えず、新しい機能に対応する現代建築として蘇らせた点で、画期的であろう。工事の実際については、本誌1977年７・８月号に詳しい。

設計・施工を通して、保存を懐旧を超えた冷徹な目で見据え、それを一つのモチーフとして、新しい文化を創造する姿勢で臨んだが、明治の建築の迫力に圧倒されないためには、明治の人たちが注いだであろう以上の情熱と意欲を傾ける必要があると痛感した。

竣工後６年近くになる。完璧とは言えないが、新しい郵便局として十分その機能を発揮している。外観も新旧の調和を見せて端然としているが、街路景観の保全という当初の趣旨からすれば、近隣に景観無視のビルが建つなど、必ずしも環境は好意的でない。単体としての保存の場合も、ユーザー側の理解が必要であるが、まして、群としての保存が成功するためには、多くの人々の理解と共感にもとづく協力、そしてそれを導く行政当局の確固たる姿勢が不可欠であろう。いずれにせよ、保存が過去を未来につなぐ高次元の創造であるという共通の認識が確立されない限り、保存の成功はおぼつかない。

ともあれ、中京郵便局の保存再生に注がれた熱意が、創建当初のそれと相俟って、未来の人々に感得されれば、この保存の使命の一端は達成されたことになろう。（文責　**観音克平**／東海郵政局）


外観全景


三条通ファサード部分


ロビー内壁

12 今西家(今井町)角座敷

分類A

旧 名 称　今西家
所 在 地　奈良県橿原市今井町
旧 用 途　住宅　　新築当初年度　慶安３年(1650年)
新 用 途　住宅　　保存・再生年度　昭和58年
旧設計者　——
新設計者　建築：安井毅　庭園：森蘊

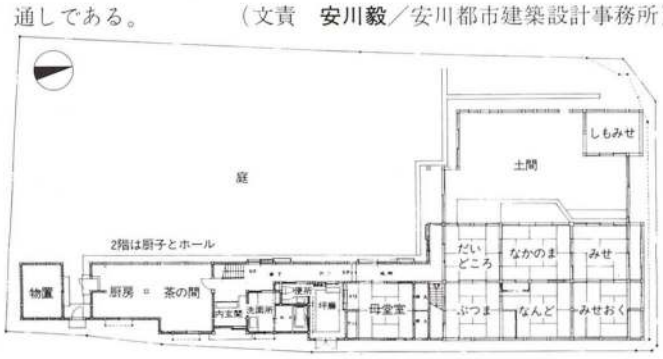
今西家住宅は、慶安３年(1650年)に建立され、昭和32年、民家として初めて重要文化財に指定された。今西家は、幕末まで代々今井町の惣年寄を務め、その建築の豪壮さは当時の権勢を偲ばせるに十分であった。その後、昭和37年に解体修理がなされたが、現代の住生活を営むには、かなり不便だった。

一方、今西家住宅が位置する橿原市の今井町は、軒を連ねた瓦屋根と漆喰壁が調和した古い屋並みが、いまなお大部分残っている街である。以前より、街並み保存が叫ばれ、伝統的建造物群の指定になる日もそう遠くないと思われる。

このような状況のなかでは、〝景観保存と現代の住まい〟を共存させることが、この設計の必然的テーマであった。計画は、重要文化財指定部分から突き出た形の角座敷（建立は同年であるが、指定にならなかった）の解体修復と、サニタリー、厨子二階(寝室)をもつＬＤＫの増築棟を渡廊で繋ぎ、重文部分を含め、一体の住宅としている。

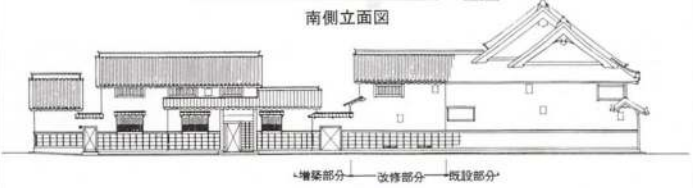
外観は当然、重文に同調させ、下見板の外腰に漆喰壁とした。構造は、厨子を寝室として利用するため、角座敷の厨子にならって登梁構造とした。内部は、基本的には腰部は除き、真壁の構造体現しである。今後の耐用年数を考え、最も苦慮したのが、諸設備であり、住生活の変化と設備機器・配管の老朽化に備え、チェンジしやすく考慮した。

昭和55年２月より開始された工事も、いよいよ終盤を迎え、いまは、森蘊氏の設計による庭園工事も始まり、58年春には完成の見通しである。　（文責　**安川毅**／安川都市建築設計事務所）



1階平面図


南側立面図



東側立面図

日本建築協会

月間の動き

昭和57年11月分

評　議　員　会

定時評議員会
25日　5時～5時30分　於本会集会室
出席者　高橋議長ほか43名（委任状共）
福田会長ほか2名
議事　(1)昭和58年度評議員選出数決定の件
(2)細則第11条の一部変更の件（理事の増員）
(3)理事11名選任の件
(4)細則第10条変更の件（会費の改訂）

理　事　会

17日　4時～5時　於本会集会室
出席者　福田会長ほか14名
議事　(1)定時評議員会開催日変更承認の件
(2)建築関係団体合同忘年懇親会の件
(3)建築工事実務講習会開催の件
(4)理事会内規の廃棄と慶弔規程制定の件
(5)事務局職員下期賞与支給の件
(6)昭和58年度より会費値上げの件
(7)入退会者承認の件
(8)報告事項
編集理事会
16日　4時～5時　於本会集会室
出席者　足立・市川両副会長、横山委員長
議事　(1)「建築と社会」編集経過報告と今後の編集方針
(2)収支状況報告と見込み
(3)広告料金値上承認の件

総　務　委　員　会

2日　3時～5時　於本会会議室
出席者　福田会長、佐野委員長ほか2名
議事　(1)定時評議員会の件
(2)忘年懇親会の件
(3)理事会内規改正の件
(4)細則一部変更の件
(5)定款一部変更の件
(6)会費値上げに関する件

事　業　委　員　会

広報PR分科会
2日　6時～7時半　於本会会議室
出席者　今野幹事ほか3名
議事　(1)第54回展示写真「オー・エム・ホテル日航大阪」(仮称）の展示について
(2)第55回以降の展示写真について
若い会員の集い小委員会
2日　6時～9時半　於本会集会室
出席者　山形副委員長ほか4名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)第4回「大阪の都市住宅像をめぐる」の実施報告
(3)第5回「逆瀬台の家を訪ねる」の経過報告
(4)第6回以降の企画について
見学会小委員会
4日　6時～8時　於本会集会室
出席者　上出副委員長ほか7名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)9月、10月の見学会実施報告
(3)11月の企画の経過報告
(4)12月以降の企画について
広報小委員会
10日　6時～8時半　於本会集会室
出席者　原見副委員長ほか6名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)第54回展示写真について
(3)第55回以降の展示写真について
(4)本年度の研修会の企画について
委員会
11日　0時半～2時　於本会集会室
出席者　鶴田副委員長ほか4名
議事　(1)各小委員会の事業報告および事業企画
(2)本年度忘年懇親会開催
広報研修分科会
24日　6時～9時45分　於本会会議室
出席者　原見副委員長、奥村・北岡両幹事ほか3名
議事　「パソコンについての研修会」(仮称）のアンケートについて

編　集　委　員　会

投稿欄小委員会
4日　2時～4時半　於本会会議室
出席者　羽生副委員長ほか4名、疋田正博氏（シィー・ディー・アイ）、前田裕資氏（都市の会事務局）
議事　(1)新シリーズ「都市気球」の打ち合わせ
(2)読者の頁、ニュース等の企画
委員会
10日　4時～6時　於本会集会室
出席者　横山委員長ほか5名
議事　(1)11月号＝第29回青年技術者および地方の庁舎建築特集経過報告
(2)12月号＝風土・空気と人間特集および東畑建築事務所作品特集経過報告
(3)1月号＝関西の建築文化を考える特集報告
(4)2月号＝マイコンの建築への利用特集編集幹事会報告
(5)3月号＝スポーツ施設特集編集幹事会の件
(6)4月号＝施工材料特集の企画について
(7)5月号以降の特集の割りふりについて
(8)各小委員会報告（投稿欄小委員会ほか）
(9)そのほか（表紙デザイン案ほか）
(10)収支状況報告
3月号「スポーツ施設」特集編集幹事会
11日　2時～4時　於本会会議室
出席者　横尾迪夫特別幹事ほか4名
議事　「多様化するスポーツ施設」特集の企画
「関西の建築文化を考える」てい談原稿打合せ
16日　6時～11時半　於本会会議室
出席者　福田副委員長、田中・岡田委員
議事　てい談速記録の原稿整理とコラムの作成
広告企画小委員会
24日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　横山委員長、渡辺副委員長ほか8名
議事　(1)11月号「地方の庁舎建築」広告収入報告
(2)12月号「東畑建築事務所作品経歴」収入報告
(3)正月号「謹賀新年挨拶広告」報告
(4)2月号「マイコンの建築への利用」広告企画
(5)3月号「スポーツ施設」特集報告
(6)作品作風関係報告
作品作風小委員会
25日　3時～5時半　於本会会議室
出席者　小野副委員長ほか6名
議事　新建築調査表選定

出　版　委　員　会

出版小委員会
9日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　小林委員長ほか3名、学芸出版社
議事　(1)建築技術選書売上報告
(2)進行状況報告
(3)企画・新依頼のもの
(4)次回委員会

建　材　委　員　会

18日　4時～5時半　於本会集会室
出席者　牧田委員長ほか9名
議事　(1)材料説明「ボーマナイトプロセス」
市原産業株式会社2名
(2)今後のメインテーマ

デザインコンクール

第28回工高生デザインコンクール表彰式
20日　2時～3時　於本会集会室
出席者　一の会代表・坂内幾男氏、片倉審査委員長、清水審査委員、多胡教育委員長ほか4名



入選者　10名
入選者に対し賞状・賞牌を、また最優秀作に対し関西建築家懇談会一の会より「一の会賞」を授与した後、現在工事中の「大阪ターミナルビル」の現場見学を行った。

建築関係団体合同忘年懇親会

打合会
1日　3時～5時　於大阪府建築士会
出席者　藤川委員長ほか8名
議事　(1)進行方法及び予算について
打合会
25日　3時～5時　於本会会議室
出席者　藤原委員長代行ほか11名
議事　賛助及び景品寄贈先などについて

見　学　会

神戸・須磨寺の三重塔再建工事の見学と伝統を支える工匠・松軒順蔵氏に聞く
6日　2時～4時半　於須磨寺
参加者　24名
講　師　松軒順蔵氏（株式会社松軒工務店社長）

若い会員の集い

日本の感性がいま……出江寛の作法
「逆瀬台の家」を訪ねる――
13日　2時～5時
参加者　36名
ゲスト　出江寛氏（出江寛建築事務所々長）

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
9日　8時半～10時　於大阪グランドホテル
出席者　79名
当日は、長らくソウル特派員として、両国の親善に尽くされた毎日新聞社社会部長、古野喜政氏より、日韓関係の深層にあるものと題して、対日感情などについてお話を伺った。

11月の入会者　（敬称略）

〔個人会員7名〕
片山　茂樹　　金多　潔　　金　永徳
中村　甲一　　藤木　鐵三　　松下　督
山口　道博

賀　正

1983
設計事務所有志



株式会社
A.R.I 建築事務所

代表取締役　亀井晃治

本社事務所　大阪市南区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (0743) 73—6137
東京事務所　東京都新宿区新宿2丁目4－1　TEL (03) 354－9230

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀保

大阪市北区天神橋2丁目5番18号 南森町センタービル4F　電話 06(358)5598・3497

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井上達明

〒530　大阪市北区鶴野町1番3号（安田ビル）　電話　06（372）2821(代)

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目2番20号(清光ビル) 電話(562)4343～5

株式会社 伊藤建築設計事務所

取締役会長　伊藤鑛一
代表取締役　島田幸信
代表取締役　鋤納忠治

本　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話〈052〉951-1110(代)
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話〈03〉294-6061(代)

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

〒530 大阪市北区西天満4丁目12番2号(オオシマビル) TEL (06) 364-9071(代)

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役　浦辺鎮太郎
代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル　電話 06(341) 1727
東京事務所　電話 03(263) 9758　福岡事務所　電話 092(761) 2206

株式会社 久米建築事務所

取締役社長　永井賢城

本　社　東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03(403)0251大代表
大阪事務所　大阪市北区堂島浜1丁目4番27号 堂島中町ビル　電話06(344)2096代　表

株式会社 小西設計

取締役社長　小西　岬

本　社　大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表
大阪事務所　大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表
広島事務所　広島市中区大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(246) 0144

株式会社 佐藤武夫設計事務所

代表取締役社長　佐々木　群

本　社　東京都港区新橋4－6－15(日新建物ビル)　電話東京(03)436-3511(代)
東北支所　仙台市本町2－16－15(中村ビル)　電話仙台(0222)61－7511
関西支所　大阪市淀川区西中島3-19-7(第1ユヤマビル)　電話大阪(06) 304－8011
中国支所　広島市中区大手町1-1-26(大手町1番ビル)　電話広島(082)244－1356
九州支所　福岡市博多区博多駅南1-2-15(事務機ビル)　電話福岡(092)451－2557

株式会社 篠田川口建築事務所
株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区泉1丁目21番21号　TEL 962－7581(代)　TEL 971－2255(協同)

株式会社 昭和設計

建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林唯夫

本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532—3421
神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078—251—0651
東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03—583—2086

株式会社 AAA（スリーエース）総合設計

代表取締役社長　浅井潤一
代表取締役所長　浅井謙

大阪市南区東清水町66（朝日プラザ心斎橋東ビル2F）〒542 TEL06(245)7300(代)

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312—3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　千原大五郎
常務取締役 大阪事務所長　木村喬夫

本社　東京都港区新橋1丁目10番7号（大和銀行新橋ビル）　電話 03-572-4595(代)
大阪事務所　大阪市西区江戸堀1丁目12番8号 安田生命大阪ビル　電話 06-441-9351(代)
名古屋事務所　名古屋市中区栄4丁目6番15号名古屋日産生命館ビル　電話052-261-8531(代)
九州事務所　北九州市小倉北区紺屋町9番1号 明治生命小倉ビル6階　電話093-521-4285(代)
室蘭事務所　室蘭市仲町12番地　電話0143-45-7910

株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真

大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1（日亜ビル）　電話（211）2706(代)

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本社　名古屋市中区栄3丁目7番1号（伊勢町ビル）〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号（東信ビル）〒104 TEL 03-561-0815(代表)

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社
大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話大阪(06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1－4－21(北九州清和ビル)　電話小倉(093)541-6531

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役会長　内藤資忠
代表取締役社長　片山光生

本社　〒606 京都市左京区田中大堰町189番地　電話 075(781)4111代
事務所・出張所　青森・東京・静岡・名古屋・京都・奈良・大阪・高知・福岡

株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市南区上汐2丁目4-12　ケーエスビル　電話 768－6121

株式会社 日建設計

取締役社長　安藝元清
大阪本社代表　小菅滋夫
土木業務所代表　藤谷憲男

〒541 大阪市東区横堀2丁目38
電話 06-203-2361(大代表)

有限会社 村野，森建築事務所

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話(624)0926代表
東京事務所　東京都中央区日本橋茅場町2－3　電話(669)5651代表

株式会社 安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐野正一

本社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話 06(943)1371(大代)

株式会社 横河建築設計事務所

代表取締役社長　小池正雄
取締役所長　河村栄蔵

本社　東京都目黒区下目黒1－2－18　TEL (03) 492—7441
大阪事務所　大阪市東区伏見町5－42(大和生命ビル)　TEL (06) 202—4509

賀正

1983
建設業者有志

株式会社 あめりか屋

取締役社長　前野慶太郎

本社　〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話　代表 (444) 1501番

株式会社 淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店・大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話 大代表 (768) 5222
東京本店・東京都新宿区荒木町5番地　電話 代表 (357) 0261
支店・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

株式会社 新工務所

取締役社長　新昭一

本店・大阪市北区曽根崎2丁目8番7号　電話 代表 大阪(313) 1331番
支店・東京都千代田区猿楽町2丁目1番14号　電話 代表 東京(291) 3741番
支店・名古屋市中区大須4丁目1番71号(時計ビル)　電話 名古屋 (262) 1725番

考える・創る・前進する

安藤建設株式会社大阪支店

取締役支店長　坂本博

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話 代表 (453) 2190
本社・東京都中央区八重洲2丁目2番7号　電話 大代表 (272) 7411
支店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町6丁目6番23-309号　電話06(779)3361
支店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03(354)0581
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表(292)1111番
本店・大阪市東区京橋3丁目37番地　電話 大代表(943)1131番
支店・札幌・仙台・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・福岡

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本社　大阪市阿倍野区松崎町2の2の2　電話 大阪(06)621−1101(大代表)
東京支社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)404−8111(大代表)
支店　札幌・仙台・浦和・東京・横浜・千葉・新潟・名古屋・大阪・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

取締役社長　石川六郎
取締役支店長　奥村吉朗

本社　東京都港区元赤坂1−2−7　電話 03 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区靱本町1−11−7　電話 06 (448)3311(大代)

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(411)1451(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田

株式会社 近畿建設

取締役社長　川崎敬三

本社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話　大阪06 (448)5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡193の1　電話　0775 (52) 1361〜2

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役会長　牧田甚一
取締役社長　熊谷太一郎
専務取締役大阪支店長　星野晴彦

本　社　東京都新宿区津久戸町17番1　電話（260）2111番（大代表）
大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話（352）1151番（大代表）

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)308—1551大代表
尼崎市南武庫荘2丁目7番23号　電話　(06)437—9631代表
東京都千代田区神田須田町1—18(共同ビル)　電話　(03)253—4455代表
神戸市中央区磯上通5丁目1番24号　電話　(078)221—6293代表
堺市宿屋町東3丁1番19号　電話　(0722)29—0088
福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命ビル)　電話　(092)471—7271
名古屋市熱田区富江町1111　電話　(052)681—6745
寝屋川・高槻・吹田・西宮・宝塚

株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本　社
大阪本店　大阪市東区北久宝寺町4—27　電話 大阪(244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話 東京(296)7700(ダイヤルイン受付台)
支　店　名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・札幌・横浜・神戸・京都・金沢

佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・取締役大阪支店長　梅木正二

本　社・東京都中央区日本橋本町4—8　電話　東京(661)1231(大代)
大阪支店・大阪市東区瓦町4丁目15番地　電話　大阪(203)7221(代表)
支　店・札幌・東北・関東・東京・横浜・北陸・名古屋・中国・四国・九州

清水建設株式会社

社　長　吉野照蔵
大阪支店長　宮武保義

本　社　東京都中央区京橋2—16—1　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市西区土佐堀1—3—37　電話06(443)5431
支　店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜

よりよい住環境づくりをめざして

住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　川下好明

大阪支店　大阪市東区北浜5丁目22番地（住友ビル2号館）電話 06(220)8712
本　店　東京都新宿区荒木町13番地電話 03(353)代表5111番

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長 錢高善雄

本社・大阪支社　大阪市西区西本町2丁目2番11号
大阪(06)531－6431
東京支社　東京都千代田区一番町31番地
東京(03)265－4611
支店　札幌・仙台・千葉・横浜・北陸
名古屋・広島・四国・福岡

大成建設株式会社

取締役社長　佐古一
専務取締役大阪支店長　原田眞三

本社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区本町4丁目27番地　TEL 大阪(262)1131大代表
支店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・新潟・四国

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪(252)1201番(大代表)

鉄建建設株式会社大阪支店

西日本業務担当常務取締役　児島章
常務取締役支店長　金子越郎

大阪市大淀区天神橋7丁目1－10(天六阪急ビル)　電話(358)0321(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京(262)3411(代表)

戸田建設株式会社

取締役社長　戸田順之助
常務取締役大阪支店長　山口道博

本社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(562)6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06(531)6561
支店　東京・関東・横浜・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

東洋興業株式會社大阪支店

取締役副社長大阪駐在　小松英二
常務取締役支店長　鈴木仙吉郎

本社　東京都中央区銀座7－13－10　電話 東京(545)5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348)5611
支店　東京・名古屋・仙台・札幌・福岡・横浜

飛島建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　熊谷良訓

大阪市東区島町２丁目２８番地　電話　大阪（９４２）２４８１(代表)
本　社　東京都千代田区九段南2丁目3番28号　電話 東京（263)3151(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・北陸・四国・広島・福岡

限りない可能性を追求する

日本建設株式会社

会　長　生田重政
社　長　積山吉興

本　社　大阪市東区備後町２丁目58番地　TEL (06) 226－０６３０(代)
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島・沖縄

明日をささえる

西松建設

本　社　東京都港区虎ノ門１－20－10　電話 03(502)0211
関西支店　大阪市東区釣鐘町２－41　電話 06(942)1131

野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋２丁目９番地　電話(202)４７９１代表
東京支店　東京都千代田区大手町２丁目１番１号　電話(241)４１７１代表

株式会社 間組大阪支店

常務取締役
支店長　森　隆雄

大阪市東区瓦町５丁目20番１号　電話（201)２７５１(大代表)
本　店・東京都港区北青山２丁目５番８号　(405)　１１１１番(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・高松・海外工事局

株式会社 長谷川工務店

代表取締役会長　長谷川武彦

大阪支社　大阪市東区平野町５－４０　電話06(203)5661
本　社　東京都港区芝２丁目32番１号　電話03(456)5451

未来をひらく　フジタ工業

常務取締役大阪支店長　志賀修一

大阪市北区堂島2丁目1番16号　電話（345）代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ケ谷4－6－15
支店・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・札幌・仙台
海外・ペルー・ベネズエラ・ボリビア・アメリカ・クウェート・イラク・カタール

不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市西区西本町3丁目1番9号　〒550 電話 06－541－5534代表
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 03－377－5171代表
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・静岡・大垣・京都・姫路・広島・大分

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社・大阪市東区両替町1丁目13　電話 06(944) 1468(代)
大阪本店・大阪市東区両替町1丁目13　電話 06(944) 1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町23の4　電話 03(357) 1611(代)
倉敷市鶴形1丁目10の32　電話 0864(22) 3330(代)
高松市丸ノ内11の13　電話 0878(51) 7272(代)
京都市右京区西院寿町13　電話 075(311) 4131(代)
福岡市博多区博多駅南4丁目18の2　電話 092(441) 6585(代)
営業所・埼玉・多摩・静岡・名古屋・宇治・泉南・岡山・徳島・新居浜・長崎

真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　佐々木孝治

大阪支店　大阪市淀川区宮原4丁目4番50号　電話 大阪(06) 393－1171(代表)
東京本社　東京都千代田区麹町5丁目1番地　電話 東京(03) 263－1211(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟・福岡

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　井戸賢二

支　店　大阪市都島区東野田町2丁目4番20号　電話大阪（353)7891(代表)
本　社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京（265)5551(代表)

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄二

本　社・大阪市北区天満2丁目1番33号　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

三井建設 株式会社 大阪支店

常務取締役大阪支店長　森 川 祐 二

大阪支店　大阪市北区中之島３－４－18(三井ビル２号館) ＴＥＬ　06－443－1321
本　　店　東京都千代田区岩本町３－10－１　ＴＥＬ　03－863－3111

村本建設株式会社

代表取締役社長　村 本 豊 嗣

本　　店　奈良県北葛城郡広陵町安部５４７番地　電話 0745 (55) １１５１(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区上本町9丁目6番15号　電話06(774)2111(ダイヤル受付案内台)
支　　店　東京・東北・横浜・名古屋・三重・中国・九州

望月建設株式会社

取締役社長　望 月 小 太 郎

本　　社　大阪市北区曽根崎新地１丁目１番23号　電話 大阪 (344)8651(代表)

株式会社 森組

取締役社長　森　幸 彦

本　　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電 話 ２０１－２７６１(代)
支　　店　東京・名古屋・九州・奈良
営 業 所　仙台・新潟・横浜・甲府・京滋・神戸・広島・熊本・高松・徳島

株式會社 米田工務店

代表取締役　米 田 良 男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表

綜合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業

株式会社 薮内工務店

本　　社　大阪府貝塚市鳥羽183－1　電話 (0724) 33－2001(代)
営 業 所　大阪・堺・西宮・和泉
展 示 場　大阪府貝塚市三ツ松招山１７２６番地

賀　正

1983

団体・建材・設備工事・報道有志

財団法人 **大阪建築防災センター**

理事長　小西　岬

〒540 大阪市東区常盤町1丁目39(大阪フコク生命ビル5階)　電話 06 (943) 7253

クリーンエアのコンサルタント

アイエム換気工業株式会社

代表取締役　松岡晃一郎

本　社　大阪市浪速区塩草3丁目9番4号　TEL (06)561−3901代
東京営業所　東京都荒川区西日暮里6-42-8飯田ビル1階　TEL (03)894−8831

青盛建材株式会社

取締役社長　青盛　巖

広島市中区舟入幸町19番10号　電話 082−292−3200
福岡・岡山・松江・下関・徳山・鳥取・福山

株式会社 梅彦

取締役社長　松永嘉一郎

営業所　大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市豊川3丁目1番6号　電話0726 (43) 5185代

大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀1丁目13番24号　電話 06(444)1410(代)
営業所　東京都千代田区麹町6-6-1(松尾ビル)　電話 03(234)0551(代)
神戸市中央区下山手通2-13-10(聯合ビル)　電話078(321)2009(代)

大塚グループ

大塚オーミ陶業株式会社

代表取締役　大塚　正士

本　社　大阪市東区豊後町10番地　TEL 06 (943) 7711
支　店　東京都千代田区神田司町2丁目9番地　TEL 03 (292) 0011
工　場　滋賀県甲賀郡信楽町大字柞原字寿谷　TEL 07488 (2) 3001

須賀工業株式会社

取締役社長　須賀　新

本　店　大阪市西区土佐堀1丁目2番30号　電話 (06) 441－5171
本　社　東京都港区新橋6丁目17番19号　電話 (03) 434－7111
支　社　東京・大阪　支店　名古屋・京都・神戸・広島・福岡
営業所　札幌・東北・千葉・横浜・静岡・金沢・高松

よりよき環境へ技術で挑む――

株式会社 精研

取締役会長　木内清三
取締役社長　和田正八郎

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11－16(オートセンタービル)　電話 768－5031㈹
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル)　電話 262－3241㈹
四国営業所　徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28－3(西谷ビル)　電話08868-6-6794

TAJIMA

田島応用化工株式会社

東京営業所　〒101 東京都千代田区岩本町3－11　電話 (03) 866－6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話 (06) 441－5951

田島ルーフィング株式会社

東西アスファルト事業協同組合

西日本三星シングル工事協同組合

東　京：〒101　東京都千代田区岩本町3－11－13　電話 (03) 862－8531
　　(03) 863－5631
大　阪：〒555　大阪市西区京町堀1－10－5　電話 (06) 443－0431
札　幌：〒060　札幌市中央区北2条東2丁目　電話 (011)221－4014
仙　台：〒980　仙台市中央2－11－19　電話 (0222)61－3628
金　沢：〒920　金沢市瓢箪町19－3　電話 (0762)33－1030
名古屋：〒451　名古屋市西区菊井1－13－4　電話 (052)562－0501
広　島：〒730　広島市中区西平塚町8－13　電話 (082)246－8625
高　松：〒760　高松市栗林町2－8－1　電話 (0878)34－5362
福　岡：〒810　福岡市中央区赤坂1－14－23　電話 (092)712－0800

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 **タテバヤシ商店**

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221（代）

東亜印ルーフィング

東亜工業株式会社

建設省計振発
第５５号認可　東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－94－5682
営業所　東京・名古屋
工　場　大阪・東京・和歌山

東洋シヤッター株式会社

本社　〒540 大阪市東区両替町１－12(日生谷町ビル)　電話(06) 943－6571(代)
支店　〒106 東京都港区六本木6-3(第一地所麻布ビル)　電話(03) 497－2911
〒454 名古屋市中川区山王1－2－30(時計ビル)　電話(052)331－6171(代)
〒615 京都市右京区西京極新明町77　電話(075)313－8641(代)

各種複写とＯＡ業務処理

naigai　株式会社 **ナイガイ**

代表取締役社長　木下みどり

本　社　大阪市北区堂島２丁目１番１８号　TEL(06)345-9055
御堂営業所　大阪市東区本町４－27(御堂ビル)　TEL (06)252-3906
横堀営業所　大阪市東区横堀２丁目36－４　TEL (06)202-5260
神戸営業所　神戸市中央区磯辺通　4－2－26　TEL (078)251-0595
新大阪営業所　大阪市淀川区西中島５－13－15　TEL (06)308-2668

TOTO特約店　株式会社 **ナニワ**

代表取締役　吉田廣助

本　社　〒543 大阪市天王寺区烏ケ辻1丁目3番6号　電話771－9123(代)
生野営業所　〒544 大阪市生野区巽西２丁目７番24号　電話758－7280(代)
柏原営業所　〒582 柏原市円明町２１７番６６　電話(0729)77-7280(代)

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

代表取締役社長　伴　一郎

大阪市大淀区中津六丁目８番４号　電話 大阪（458）3531番(代)

大阪で唯一の

株式会社 **日刊建設新聞社**

代表取締役　中山豊雄
代表取締役　中山敏夫

大阪本社　大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル）　電話 202—6861(代表)
役員室　大阪市東区高麗橋詰町26（ユニ高麗橋）　電話 941—6847(代表)

建設業界の情報は……日刊建設産業新聞
近畿圏の工事ニュースは……日刊建産速報

株式会社 **日刊建設産業新聞社**

取締役大阪支社長　中村勝則

大阪支社　〒541 大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
神戸支局　〒651 神戸市中央区八幡通4丁目2—25　電話078(291)0541～2
京都支局　〒602 京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911
本　社　〒173 東京都板橋区板橋4丁目4—3　電話03(961)1691(代)

株式会社 **日刊建設通信新社関西支社**

取締役関西支社長　山口哲雄

大阪市西区京町堀1—6—23　エハラビル　電話（444）4451代表
本　社・東京都港区西新橋2—11—4　電話（502）8581代表

電算写植システム

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7—5—30　電話06(606)1111代
広島営業所　〒724 東広島市八本松町米満109—5　電話0824(28)6253
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4—7　三宝ビル　電話0992(26)4371
津山写植センター　〒708 津山市福田1372—1　電話08682(8)4377
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷工業団地　電話0988(55)6100

不二サッシ株式会社

取締役社長　堀込聡夫

本　社　神奈川県川崎市中原区中丸子135　電話 044（422）1111(大代)
東京事務所　東京都中央区日本橋室町1—3　電話 03（279）1611(代)
大阪支店　大阪市東区本町4—4—1　電話 06（262）2541(代)

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
ACジョブ35　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール　製造販売
コーキング　製造販売

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀1—10—17(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札　幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)

三協アルミニウム工業株式会社代理店 日立化成工業株式會社代理店
アルケン工業株式会社代理店 新明和工業株式會社代理店
豊和工業株式會社代理店 近畿車輛株式会社 代理店
信越ユニット株式会社代理店 住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳馬正明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号　電話（06）大代表 441－0378番
出張所：東京・広島　　工場：大津・竹原

M.Y

営業品目　建築金物、装飾金物、家具金物、
其他諸金物別注設計製作、オリジナル金属製家具

株式会社 山本金属製作所

取締役社長　山本正治

〒542 本社・本社工場　大阪市南区谷町6－11－15　TEL（761）0127代
〒570 守口工場　守口市浜町2－1　TEL（993）7192代

ヤマケン

装美建材
金属建材

株式会社 山建建材

No.1販売部・No.2施工部

本　　社　大阪市西区北堀江1－1－1　電話 541－1861～8
東　　店　東大阪市金物町3番1号　電話 723－2277～8
山建ソービ　大阪市西区南堀江1（立花通）　電話 541－2152～3

デザインされた環境づくり

UNION

株式会社ユニオン

取締役社長　立野一郎

本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京営業所　東京都墨田区石原4－3－1　〒130 電話 03(625)8131(代)
名古屋営業所　名古屋市東区筒井町1-14-9　〒461 電話052(935)6021(代)
虎ノ門ショールーム(17森ビル1F)東京都港区虎ノ門1-26-5　〒105 電話 03(508)2558(代)



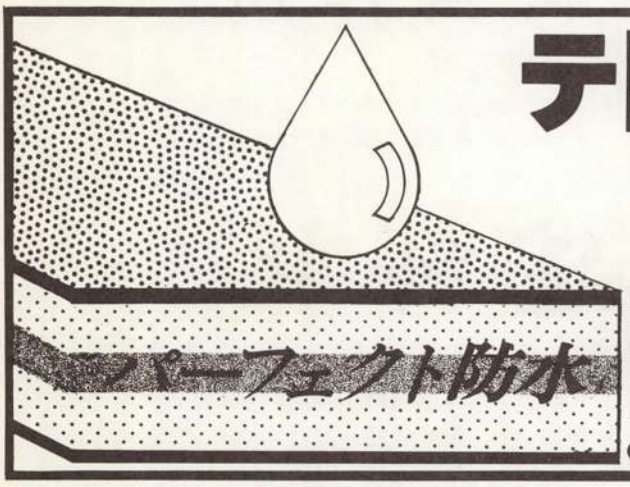
レニングラードのネバ河畔　撮影：松井昭光

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区北長狭通4丁目2番4号(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目(電話811-3610)



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03（571）2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06（391）1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462（21）1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052（811）3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952（47）2945

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許　鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

鈴木シャッター販売株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号　電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119番地　電話金沢(0762市外局番)65－5135～6
神戸営業所　神戸市長田区大橋8-4-7　電話神戸(078市外局番)611－7971
631－2021

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1－12　日生ビル　☎(943)6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271(代)
支　　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営 業 所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131（代）
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話（667）3431（大代）
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

取締役社長　齋藤博

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿 新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　　店　仙台市中央2丁目10番12号　電話0222—61—3002
　　名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
　　広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話0822—47—4535
　　福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出 張 所　青森・秋田・宇都宮・横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 〒550 電話(441)8231
本　社　東京都中央区銀座2丁目2番17号 〒104 電話(535)5251
支　社　大阪・東京・名古屋
支　店　札幌・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　新潟・天理・岡山・高松・熊本
出張所　帯広・青森・秋田・盛岡・前橋・千葉・横浜・静岡
　　富山・福井・豊田・京都・神戸・徳山・鹿児島・那覇
海外支店　シンガポール

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル2階)
　　郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031番
メンテナンス部　大阪市大淀区豊崎4丁目5番21号
　　郵便番号531　電話 大阪(06) 374—2455番
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
　　郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241～4番

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
　　電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　　店　札幌・岡山
営 業 所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出 張 所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大 阪 支 店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
　　電話（06）344—6031（代）
本　　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
　　電話（03）279—5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　玉置純治郎
取締役支店長　杉浦敏郎

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　　店　東京・日比谷・三信ビル
支　　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸
出 張 所　横浜・四国・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟

---

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550

FUTABAYA DECORATORS,LTD



建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/設計施工

二葉屋装備工業株式会社

（創業大正7年）

取締役会長　若林繁吉
大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話 大阪（06）349—9193代表
大阪府知事建築業者許可(般—48)第12064号

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－488－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3531番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話 06－364－6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 03－211－8511(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501㈹
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738㈹
名古屋営業所　名古屋市中村区則武1－23　電話(052)452－3701㈹

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話 大阪(372)2511　(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

Carrier
冷暖房はCARRIER キャリア
東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443) 8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支　店　名古屋・福岡

営業種目
空気調和・衛生設備工事・設計・施工

平山工業株式会社

大阪市西区江戸堀1丁目22番7号
☎06－441－1994・443－0331

空気調和・衛生設備　設計・施工　大阪ガス指定工事会社
ガス設備・ガス住宅設備　大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
ガス工営事業部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
大阪ガス方営事業所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128
枚方ガス設備部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1－6－8　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

飛鳥野瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750, 110751)　製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年　綜合施工卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本　社　大阪市生野区林寺1丁目5番14号　〒544
電話 06(715) 0201代表～5番
営業所　大阪市平野区　工場　兵庫県三原郡(淡路島)

文化庁・宮内庁・各府県庁
国宝 重要文化財　社寺・天理教教会本部　御用達

株式会社 瓦宇工業所
代表取締役　小林麻造
〒630 奈良市西新在家町17番地
電話 奈良(0742)26－2901番(代表)

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本　　社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574) 0 6 6 5 福岡出張所 TEL 福岡092(771) 6 1 6 8

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 坪 井 大

本　　社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電　　話 (361) 3 6 7 1 (代)
支　　店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電　　話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・福 山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本　　社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　　社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

総合設備工事〈設計・施行〉
建築・電気・アンテナ・送電線・プラント・計装・空調・土木

太陽工藤工事株式会社

取締役会長 小 林 四 郎
取締役社長 代 谷 正 元

本　社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL (06)452—1151(大代)
事業所 東京・名古屋・広島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本　社 大阪市西区北堀江1丁目10番2号
電話 大阪 (538) 1171代表
営業所 東 京・名古屋・広 島・福 岡

特殊壁装材製造販売 和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場 〒580 大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一 〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二 〒597 大阪府貝塚市王子501

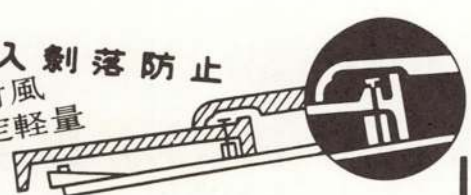
電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本　社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06—364—3056 (代)
支　店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

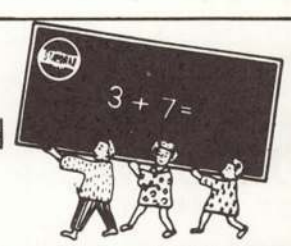
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目七四 電話641五〇六五



Standard Board&Slate

フタバ黒板

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858(代)

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本　　社 大阪市西区西本町1－13—33(靱本町バス停前)
電話 大阪 06(532)代0461 ㊡ 550
天理営業所 天理市丹波市町新町50

株式会社矢橋大理石商店

大阪支店

大阪市東区高麗橋2丁目9 野村ビル5階 電話 大阪(202)4905

白あり　木材保存のトップメーカー　サンヨー

住まいのガン細胞、しろあり公害を未然に防ぎましょう。
◎シロアリ予防・駆除・施工（10ヶ年保証付）
◎製造販売｛サンプレザー（予防剤認定）
サンソイル（土壌処理剤）
ＰＧスケヤー（加圧注入防腐木材・土台・大曳用）

山陽木材防腐株式会社
大阪営業所　〒541 大阪市東区北浜３丁目７信愛ビル　☎06-231-6406
化成品部　〒101 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル　☎03-254-0831

膨張材　小野田エクスパン
防錆剤　ラスナイン
小野田セメント株式会社
本　部　東京都江東区豊洲1-1-7　TEL 531-4111
大阪支店　大阪市北区梅田１－８－17　TEL 341-8331
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

営業種目
●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－21
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材
製造元　日曹マスターピルダーズ株式会社
販売元　ポゾリス物産株式会社
本　社／東京都港区六本木3－16－26　☎ 03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７　☎ 06-202-3294

デンカCSA　デンカセメント
セキサンパイル（S M.AC.PC.RC）
カネライトフォーム. ALC. 鋼材
建築材料一式
浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡　浩
本　社　〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野
TEL　(07727)2－2220(代)
舞鶴営業所　〒624　舞鶴市福来160-1
TEL　(0773) 76－0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号（千代田ビル）

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
（膨張性混和材）
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
（グラウト用無収縮材）
●デンカキューテックス……コンクリート軀体の漏水補修に
（止水・補修用急硬セメント）
●デンカES……地盤補強用薬液注入
（土質安定用急硬材）
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
（製品用超高度混和材）
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181
株式会社トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381

電気・空調・衛生など各種設備分野の記事が1冊の雑誌に！

BE 建築設備 月刊

都市＋建築＋設備＋機器＋材料を総合するユニークな専門誌



～充実した実務家のための内容～

- ■視点・随筆　業界，学会，社会，文化について，学識経験者の見解を発表
- ■新建築・新設備　注目すべき建物の建築と設備を紹介
- ■特　集　業界，社会のニーズにこたえる諸テーマをとらえて，必要知識を紹介
- ■講　座　建築，建築設備，機器，材料に関連し実務上必要とする基礎知識を連載
- ■特別講座　業界，社会のニーズにこたえ，時代的テーマに関し実務上必要とする知識を連載
- ■ニュース　国内・海外ニュース，機器・文献ニュース
- ■会社だより，研究所だより　その他

雑誌B5判・100頁・定価1000円——申込次第見本送付

社団法人　建築設備綜合協会　〒104 東京都中央区銀座1-6-10(皆川ビル) ☎03(535)6690・(561)1765

全国書店毎月18日一斉発売！

月刊 建築技術

建設省建築研究所 監修

No.378　2月号予定目次　定価￥1,000

旭川郵便局—外断熱工法と実測例— ……佐藤安延ほか

合成げたを応用した建物の設計・施工
—プレビーム建築ばり工法— ……青木敬二郎

- ●高級コンクリートの品質・施工管理(その2) ……世良耕作ほか
- ●改装工事を支配する下地処理 ……伊藤　一典
- ●タイル接着剤としてのラテックス混和モルタル ……室井宗一ほか
- ●研究施設の計画と設計
  7.恒温・恒湿室、低温室、変温室 ……浜田　守ほか
- ●建築技術者のためのわかる電気 (7) ……井上　博
- ●構造物の動的解析 (20) ……石丸　辰治
- ●構造計算データシート (89) ……構建設計研究所

●建築経済統計図表●フォトニュース●トピックス●建築家の良識
●読者コーナー●海外の話題●建材の動向　その他

直接購読ご希望の場合年間予約金　￥12,000（送料共）

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル8F　建築技術　振替口座 東京0-72417番 ☎東京(363)4211(代)

●出版案内——好評発売中●

建築構造問題快答集


(各巻共　ビニル表装・函入)

同編集部 編

〔本書の特色〕　建築構造設計の実務に携わる技術者必携の参考書で、日常業務を進めるにあたって実際につきあたった疑問ばかりを集めてこれに専門家の適切な解答をつけたQ＆A集。新刊の第3集には建築基準法の改定に伴う新耐震設計法の問題も数多く収録され、実務家の知りたいと思っている問題に34名の専門家が「ズバリ」解答した正に実務に役立つ利用価値の高い専門書。他に類書のない点が大きな特色。

新刊　3 A 5・373頁　定価3,800円　送料300円

1 A 5・430頁　定価3,800円・送料300円
2 A 5・385頁　定価3,800円・送料300円
（2冊揃いの場合送料350円 / 3冊揃いの場合送料450円）

建築工事 内外装の損傷と補修



同編集部 編

資源の有効利用を図るうえからも、建物はできるだけ長く有効に使用することが必要で、そのための診断技術と処置回復技術等の確立が急務とされている。建物の損耗実態を紹介し、その補修方法を建築現場のナマの体験実例集という形で収録。

B 5・289頁　定価3,600円・送料300円

建築工事 失敗の実例にまなぶ



同編集部 編

建築工事で起こりがちな事故や失敗を未然に防ぐための好資料。調査・着工段階から設備工事までの失敗例225例を収録。それぞれの原因と対策を実務体験の豊かな技術者の方々55氏が執筆している実用書。ぜひ座右に備えてご活用下さい。

B 5・279頁　定価3,600円・送料300円

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

錆びない！ われない！ 燃えない！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスーパーメタル(SPM)
- オリエンタルメタル(OPM)
- オリエンタルスチールライト(STL)
- オリエンタルサンセラム(SS)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・スチールシングル・其の他

※ カタログを御請求下さい


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り3—26　松本ビル　電話大阪(06)412—5131(代)
営業本部　〒660　尼崎市長洲稲川新田44　電話大阪(06)488—1081(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越5丁目6番32号　電話蕨(0484)42—3115(代)
支店及工場　東北

工期の短縮が図れる左官用高級スタッコ
地震に強い家をつくるモルタル下地合板

ロダラスカット 特殊白モルタル

左官作業の近代化を更にすすめる

スーパーローラー


一発で特殊「白モルタル」スタッコが仕上げられます。

㈱新興建材工業所

〒550 大阪市西区南堀江4丁目32—11　☎(06)538—2951

支店・営業所
東京・仙台・高槻・明石・中国・四国・九州

地震考

総合天井システム〈Jライン工法〉〈ALTS工法〉

耐震・耐火そして軽量化を誇る総合天井システム〝Jライン工法〟〝ALTS工法〟は当社独自の照明灯ユニットおよびアルミ製Tバーを建物のモジュールに配列し、天井仕上げ材と一体化したシステム天井です。空調、照明、防災機器、スピーカーなどの設備ゾーンとの組み合せ、さらに間仕切、ブラインドBOXなどの取り付けも可能にした多機能を誇っております。(PAT. 6件)

奥村重兵衛株式会社

本　社　大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530　電話(06) 312—4131(代)
東　京　東京都港区新橋4丁目2番第29森ビル　〒105　電話(03) 437—3361(代)
福　岡　福岡市博多区住吉2丁目16番27号　〒812　電話(092)291—0459(代)
名古屋　名古屋市西区倹町2丁目1番6号　〒451　電話(052)522—5436(代)
仙　台　仙台市本町2丁目1番8号第1広瀬ビル　〒980　電話(0222)65—6568(代)
沖　縄　沖縄県那覇市壺川119番地　〒900　電話(0988)53—6850(代)

最大の敵。

貴重な資源“水”も建物にとって最大の
敵となることもあります。
日本アスは多年の経験と実績を生かして
完全防水に取り組むプロ集団です。



地区	会社名	所在地	電話
北海道	日本防水総業株式会社	札幌市	TEL011(231)7511代
	日本防水総業㈱旭川出張所	旭川市	TEL0166(47)1050
	日本防水総業㈱釧路出張所	釧路市	TEL0154(23)2056
	日新建工㈱札幌出張所	札幌市	TEL011(512)8081代
	大和工業㈱苫小牧出張所	苫小牧市	TEL0144(34)3358
	大和防水工業株式会社	札幌市	TEL011(641)1717
	トーフジ工業株式会社	札幌市	TEL011(822)0331
東北	開発株式会社	秋田市	TEL0188(24)2233
	北原建材工業㈱仙台出張所	仙台市	TEL0222(96)6768代
	協和建材工業㈱仙台支店	多賀城市	TEL02236(6)1136
	日新建工㈱仙台支店	仙台市	TEL0222(73)1921代
	日新建工㈱青森出張所	青森市	TEL0177(22)3155
	日新建工㈱郡山出張所	郡山市	TEL0249(23)1677
関東	葵工業株式会社	江東区	TEL03(632)3385-9
	伊藤建材株式会社	台東区	TEL03(842)1431代
	いわき建材工業株式会社	中野区	TEL03(389)4561代
	春日工業株式会社	荒川区	TEL03(802)3871代
	金岡工業株式会社	新宿区	TEL03(363)4341代
	北原建材工業株式会社	調布市	TEL03(307)1661代
	木下工業株式会社	墨田区	TEL03(634)0821代
	協立工業株式会社	港区	TEL03(432)3517・(433)8485
	大東スレート株式会社	足立区	TEL03(883)3131代
	株式会社東京シングル	練馬区	TEL03(994)3861
	東京瀝青株式会社	荒川区	TEL03(803)3481代
	日新建工株式会社	足立区	TEL03(870)6231代
	日本綜合防水株式会社	渋谷区	TEL03(403)0171代
	日本防水総業㈱東京営業所	渋谷区	TEL03(464)3588代
	野口工材株式会社	北区	TEL03(903)4151-2
	鴻田工業株式会社	千代田区	TEL03(263)4861代
	富士工材株式会社	江東区	TEL03(634)0163代
	藤瀝青興業株式会社	中野区	TEL03(367)1611
	フタバ興業㈱東京営業所	港区	TEL03(591)2491代
	古川株式会社	台東区	TEL03(834)4151代
	北條瀝青工業株式会社	江東区	TEL03(643)3963代
	大和工業株式会社	荒川区	TEL03(802)4751代
	瀝青建材株式会社	千代田区	TEL03(861)2706-8
	有限会社神守建材社	横須賀市	TEL0468(22)4288
	金港瀝青株式会社	横浜市	TEL045(421)6521-2
	不二防水工業株式会社	横浜市	TEL045(231)4461
	北原建材工業㈱千葉営業所	千葉市	TEL0472(22)3161代
	三和工業株式会社	市川市	TEL0473(57)5153代
	石田建材工業株式会社	高崎市	TEL0273(27)3302代
	石田建材工業㈱大宮支店	大宮市	TEL0486(51)1251代
	石田建材工業㈱宇都宮出張所	宇都宮市	TEL0286(24)4191
	瀝青建材㈱宇都宮出張所	宇都宮市	TEL0286(22)9737
	株式会社奈良屋	水戸市	TEL0292(41)5141代
信越	鹿住防水工業株式会社	上越市	TEL0255(24)3402
	株式会社仙嶺	松本市	TEL0263(58)3188代
北陸	株式会社折橋政次郎商店	高岡市	TEL0766(22)0999
	一公工業株式会社	高岡市	TEL0766(23)0391
	㈱折橋商店金沢営業所	金沢市	TEL0762(47)4139
	マルセ化建株式会社	金沢市	TEL0762(42)5151
	石橋建材株式会社	福井市	TEL0776(23)0775・0885
東海	協和建材工業株式会社	清水市	TEL0543(45)2221代

地区	会社名	所在地	電話
東海	三井工業株式会社	静岡市	TEL0542(85)9151-2
	三信建材工業株式会社	豊橋市	TEL0532(45)8211代
	合資会社清谷商店沼津支店	沼津市	TEL0559(21)9610
	大池建工株式会社	名古屋市	TEL052(211)1885代
	重喜防水工業株式会社	名古屋市	TEL052(991)0111代
	辰巳防水工業有限会社	名古屋市	TEL052(501)1401代
	中央建材工業株式会社	名古屋市	TEL052(761)6181代
	東京建材工業株式会社	名古屋市	TEL052(411)6621
	東海物産株式会社	名古屋市	TEL052(721)2211代
	日本建材鋼業株式会社	名古屋市	TEL052(571)5541代
	宮崎建材株式会社	名古屋市	TEL052(331)1531代
近畿	池田瀝青工業株式会社	大阪市	TEL06(699)5757-9
	株式会社神原商店	守口市	TEL06(909)1433・(908)1282
	国際工事株式会社	大阪市	TEL06(211)6385-6
	清水興業株式会社	大阪市	TEL06(372)0250-3
	日新工材株式会社	大阪市	TEL06(541)3785-6
	日新建工㈱大阪出張所	大阪市	TEL06(326)3845-6
	日本綜合防水㈱大阪支店	大阪市	TEL06(361)0471-5
	ヒカリ工業株式会社	大阪市	TEL06(395)1051代
	フタバ興業株式会社	吹田市	TEL06(385)2781代
	有限会社丸藤商店	大阪市	TEL06(351)2150代
	久下商店	京都市	TEL075(311)2044-5
	東洋建材株式会社	京都市	TEL075(672)5351-5
	中村瀝青工業株式会社	神戸市	TEL078(341)5884・1223
	棚田建材有限会社	神戸市	TEL078(841)3551代
	有限会社ミサキ商会	和歌山市	TEL0734(22)3922
	マルフジ工業株式会社	大阪市	TEL0720(57)3293
中国	東中国防水工業株式会社	岡山市	TEL0862(72)1221代
	株式会社三洋技建	大竹市	TEL08275(2)5155代
	三和防水工業株式会社	広島市	TEL0822(83)3366代
	豊永建材株式会社	広島市	TEL0822(61)6371代
	大和工業㈱広島出張所	広島市	TEL0822(64)2761
	株式会社巴商会	宇部市	TEL0836(21)0760
	和光工業株式会社	松江市	TEL0852(38)1321
四国	大三工業株式会社	高松市	TEL0878(51)6811代
	徳島大三工業株式会社	徳島市	TEL0886(31)4161代
	株式会社マルマス河野商店	今治市	TEL0898(32)5000代
	㈱マルマス河野商店松山支店	松山市	TEL0899(22)2121
	株式会社山本商会	松山市	TEL0899(31)6261代
	大三工業㈱高知支店	高知市	TEL0888(45)4800代
北九州	安藤工事株式会社	福岡市	TEL092(561)7012代
	加茂装備株式会社	福岡市	TEL092(561)6250
	草野工業有限会社	北九州市	TEL093(922)7631代
	日建工材株式会社	福岡市	TEL092(741)6665代
	株式会社工材社	北九州市	TEL093(371)1468代
	株式会社三宮工材	大分市	TEL0975(36)2326-7
	安藤工事株式会社	長崎県	TEL09588(2)2200
	山崎工業株式会社	北九州市	TEL093(941)5441
南九州	株式会社大二商会	宮崎市	TEL0985(47)6155代
	日新興業株式会社	延岡市	TEL0982(33)2455-9
	株式会社北原建材商会	鹿児島市	TEL0992(23)9395-6
	上原建設工業社	沖縄県	TEL09889(2)2368

協力組合員

北海道	クレミス工業株式会社	札幌市	TEL011(882)1232代
	株式会社ソロ防水北海道	札幌市	TEL011(751)1736代
	株式会社防水センター	札幌市	TEL011(683)5616代
	株式会社互建防水工業	帯広市	TEL0155(25)5776代
	株式会社昌興建設	砂川市	TEL01255(4)1166代
関東	株式会社大二商会	荒川区	TEL03(803)2651-2
	日瀝工業株式会社	甲府市	TEL0552(32)5477
	合資会社中西商会	板橋区	TEL03(961)1924代
	糖信瀝青株式会社	船橋市	TEL0474(38)4511
	マサル工業株式会社	江東区	TEL03(643)5911代
中部	伊藤防水工業有限会社	名古屋市	TEL052(503)1172代
	株式会社岩昇	一宮市	TEL0586(24)0505・1678
	小野建材株式会社	岐阜市	TEL0582(31)7158
	長登工業株式会社	名古屋市	TEL052(751)8141
	日精工業株式会社	金沢市	TEL0762(49)4593
	株式会社名神防水	岐阜市	TEL0582(71)7459
	名瀝工業株式会社	名古屋市	TEL052(721)5381代
	合資会社明光建材	名古屋市	TEL052(524)1411
	北陸瀝青工業株式会社	富山県	TEL0765(22)4523
	吉田防水店	岐阜県	TEL05732(5)3297
九州	株式会社沖縄装美工業	沖縄県	TEL0988(87)3847

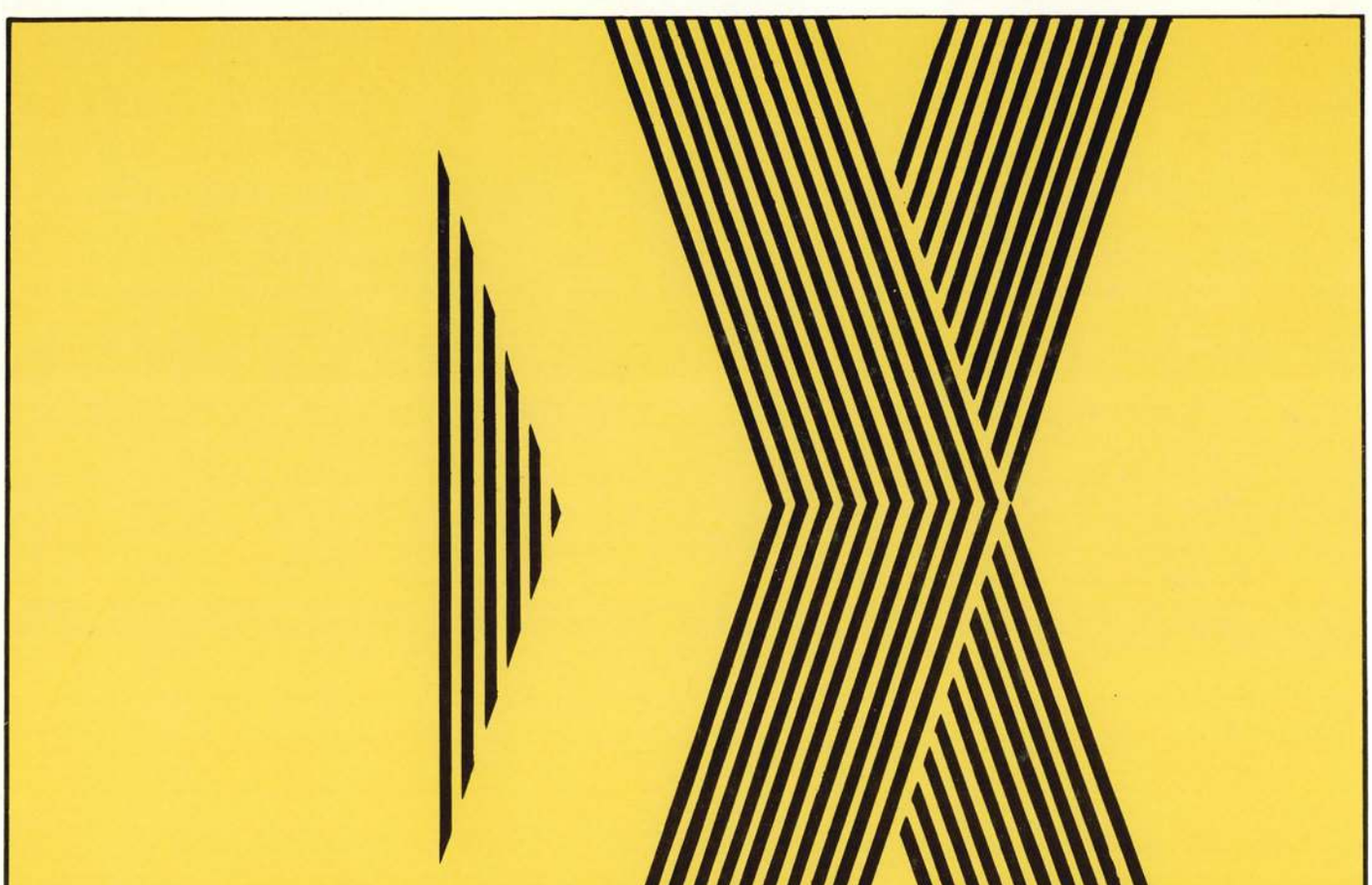
■建設省東計第240号認可

製造元 日新工業株式会社

日本アスファルト防水工業協同組合

本部	東京都足立区千住東2－23－4	☎(870)5051－2
関東支部	東京都足立区千住東2－23－4 日新工業内	☎(882)2424(代表)
中部支部	名古屋市千種区千種通り2-19(岐阜正ビル) 日新工業内	☎(741)6257(代表)
関西支部	大阪市西区新町1－12－2 日新工業内	☎(533)3191(代表)
九州支部	福岡市博多区博多駅前1－24－10 日新工業内	☎(451)1095(代表)
北海道支部	札幌市中央区南3条西13-319(柴田ビル4F) 日新工業内	☎(281)6328(代表)

建築と社会　第64輯第1号
昭和58年1月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人　日本建築協会　〒541　大阪市東区北浜3―37　電話大阪06(202)9648・9649・9640　振替口座大阪三九九七五番
正会員の購読料（会員持価六〇〇円）は会費にふくめて徴収
（表紙デザイン・水野哲雄）
定価七五〇円



既設防水層の改修に最適!!

プレノコートDX防水工法

常温ゴムアスファルト塗膜防水

プレノコートDX防水工法とは……

- ●安全・無公害の常温工法です。
- ●合成繊維を基材とした分厚い本格的なゴムアスファルト塗膜防水工法です。
- ●硬化剤の使用により、強制造膜ができます。
- ●既設防水層の補修用に適しています。
- ●通常使用範囲内での低温脆化、高温流動がありません。

マルエス S 日新　日新工業

日新工業株式会社

本社・東京営業所 ■ 東京都足立区千住東2-23-4 ☎ (882)2424(代表)
大阪支店 ■ 大阪市西区新町1―12―22 ☎ 06(533)3191(代表)
営業所 ■ 九州 ☎ 092(451)1095 ■ 名古屋 ☎ 052(741)6257
■ 札幌 ☎ 011(281)6328
出張所 ■ 広島 ☎ 0822(21)1019 ■ 仙台 ☎ 0222(63)0315
工場 ■ 埼玉 ■ 山形 ■ 北海道